

ごみの減量化・リサイクルに関する 市民・事業所意識調査結果報告書

令和6年3月



<集計結果に関する注意事項>

- 端数処理の関係により、合計が 100%とならない場合がある。
- 複数選択可の設問についても、回答者数を分母として割合を計算しているため、回答割合の合計は 100%とならない。

目 次

第1章 意識調査の概要.....	1
1. 意識調査の実施概要.....	1
(1)調査の主旨.....	1
(2)調査対象.....	1
(3)調査方法・期間.....	1
(4)回収状況.....	1
2. 調査票等.....	2
(1)アンケート依頼文(市民用).....	2
(2)アンケート調査票(市民用).....	4
(3)アンケート依頼文(事業所用).....	14
(4)アンケート調査票(事業所用).....	15
3. 発送及び回収状況.....	26
(1)市民調査.....	26
(2)事業所調査.....	27
第2章 市民意識調査結果.....	29
I. 回答者の属性.....	29
II. アンケート回答集計結果.....	34
1. ごみ排出、減量、リサイクルの取組状況や意識について.....	34
(1)排出する頻度.....	34
(2)排出する量.....	35
(3)分別の頻度.....	36
(4)処分方法がわからない品目.....	50
(5)各種資源物の出し方.....	52
(6)ごみ減量・リサイクルの取組状況.....	57
(7)無料回収拠点の利用意向.....	59
(8)ごみ減量やリサイクルについての考え.....	60
(9)ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法.....	64
(10)ごみ減量・リサイクルに関する情報を入手しやすい方法.....	67
(11)ごみの排出が減った理由.....	70
2. 現在のごみ処理行政について.....	71
(1) 焼却灰の埋め立て地(大阪湾フェニックス)の認知状況.....	71
(2) クリーンセンター老朽化に伴う整備の必要性の認知状況.....	72
(3) ごみ処理の一律サービスについての考え.....	73

(4)「ごみ減量化推進員制度」の認知状況	74
3. 今後のごみ処理行政について	75
(1) 今後、本市に希望する取組について.....	75
(2) 市へのご意見・ご要望(一部抜粋)	77
Ⅲ. 市民意識調査結果まとめ.....	78
1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について	78
(1)生活ごみの排出状況.....	78
(2)品目別の排出状況	78
(3)ごみ減量・リサイクルの取組状況.....	79
2. 現在のごみ処理行政について	79
3. 今後のごみ処理行政について	80
第3章 事業所意識調査結果.....	81
Ⅰ. 回答事業所の属性.....	81
Ⅱ. アンケート回答集計結果	87
1. ごみの排出と処理・分別状況について	87
(1)ごみの排出量について.....	87
(2)ごみの排出量の変化	89
(3)今後のごみの排出量の見込み.....	91
(4)ごみ処理費用の把握状況.....	93
(5)ごみ処理費用の算出方法.....	95
(6)ごみ処理費用の負担感.....	97
(7)排出しているごみの種類.....	99
(8)ごみの分別をしていない品目	105
(9)分別をしていない理由.....	111
(10)ごみの処理方法	116
2. ごみの減量やリサイクルについて	119
(1)排出しているリサイクル可能な紙類.....	119
(2)ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表状況.....	121
(3)ごみ減量に取り組む責任者設置状況.....	123
(4)ごみ減量リサイクルに関する情報の入手先.....	124
(5)ごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況.....	126
(6)ごみ減量・リサイクルに関する取組.....	128
(7)周辺事業所と共同での効率的な収集	130
(8)地域における美化活動取組状況.....	132

(9)マイボトル普及率.....	134
3. 現在のごみ行政について.....	136
(1)知っているごみ処理方法.....	136
(2)一般廃棄物業者費用に市に支払う処理手数料が含まれることを知っているか.....	138
(3)清掃工場へリサイクル可能な紙類搬入禁止を知っているか.....	140
(4)今後のリサイクル可能な紙類の処理方法.....	142
(5)無料の古紙回収場所の利用意向.....	144
(6)事業用大規模建築物を所有する事業者への制度の認知状況.....	146
4. 今後のごみ処理行政について.....	150
(1)資源化可能な資源物の分別協力意向.....	150
(2)市に求める周知施策.....	152
(3)その他導入してほしい施策・制度.....	154
(4)ご意見・ご要望(一部抜粋).....	156
Ⅲ. 事業所意識調査結果まとめ.....	157
1. ごみの排出と処理について.....	157
2. ごみ減量・リサイクルについて.....	157
3. 市のごみ行政について.....	158
4. 今後のごみ行政について.....	158

第1章 意識調査の概要

1. 意識調査の実施概要

(1)調査の主旨

令和3年3月に改定した「堺市一般廃棄物処理基本計画」が令和7年度に中間目標年度を迎えるにあたり、市民・事業所の「堺・ごみ減量4R大作戦」など各種取組に対する認識・浸透度、ごみの減量化等への取組状況、今後の廃棄物行政への要望等を把握することを目的とした。

(2)調査対象

- 市民意識調査：18歳以上かつ堺市在住の個人2,000人
(区別人口を勘案した無作為抽出)
- 事業所意識調査：堺市内2,000事業所
(業種や事業所規模を考慮した無作為抽出)

(3)調査方法・期間

郵送による調査（市民意識調査はインターネット回答方式を併用）

- 市民意識調査 令和5年12月15日（調査票送付）～令和6年1月5日（回答期限）
- 事業所意識調査 令和5年12月20日（調査票送付）～令和6年1月5日（回答期限）

(4)回収状況

- 市民意識調査：最終回答件数…788件（内、WEB回答103件）
回収率…39.4%
- 事業所意識調査：最終回答件数…683件
回収率…34.1%

2. 調査票等

(1) アンケート依頼文（市民用）

ごみの減量に関する意識調査へのご協力をお願い

アンケート調査をお願いする市民の皆様へ

平素は、本市廃棄物行政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する長期計画である「堺市一般廃棄物処理基本計画」改定の基礎資料とするため、前回調査（平成 30 年度）からの市民の皆様の意識の変化や各種取組に対する認識・浸透度等を把握したいと考えております。

ご多忙のこととは存じますが、十分な調査結果を得るため、多くの市民の皆様の回答が必要ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和 5 年 12 月

■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市民の皆様の中から、**無作為で 2,000 名の方**にお送りしています。
2. **無記名**でお答えいただきますので、**どなたのお答えかは、わからない**ようになっており、統計的（「〇〇」と答えた人は△△%でしたというような表現）に処理します。
3. この調査は、上記の**目的以外に使用することはありません**。

■記入上の注意

1. 原則として、**あて名のご本人**がお答えになってください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまるものの番号にハッキリと〇印**をつけてください。

■調査票の回収

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和 6 年 1 月 5 日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください（**切手は不要です**）。

インターネットでの回答について

調査票の回答は、インターネットでも可能です。

スマートフォン等で 2 次元バーコードを読み込むほか、

以下のインターネットアドレスにアクセスをお願いします。

回答には、アンケート票右上の**【5 ケタの英数字】**が必要になります。

URL : <https://lgpos.task-asp.net/cu/271403/ea/residents/procedures/apply/30d68a5b-6997-40d3-aa08-34adead34e36/start>

〔回答用 2 次元バーコード〕



【問合せ先】

堺市環境局 環境事業部
環境事業管理課（担当：小林）
電話：072-228-7478 FAX：072-229-4454

【調査委託会社】

株式会社エムアールビジネス
マーケティング事業部（担当：山口）
電話：06-6231-9541 FAX：06-6231-9543

堺市一般廃棄物処理基本計画のあらましと現在の状況

● 一般廃棄物処理基本計画ってなに？

市民や事業者が出すごみ（一般廃棄物）について、ごみの減量化、適正処理に関する取組や目標等を定めた基本的な計画です。

● 一般廃棄物処理基本計画ではどんなことを決めているの？

一般廃棄物処理基本計画では、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とし、ごみの排出抑制及びその発生から最終処分に至るまでの適正な処理を進めるための基本的な方向性や、ごみの減量化・リサイクルの目標値を定めています。

また、計画に掲げる各施策の進捗管理を毎年行っています。

● 堺市のごみはどんな状況なの？

1人1日あたりの家庭から出るごみの量はこの2年減少傾向であり、令和4年度の一人1日あたりの家庭系ごみの排出量は617グラムと、令和7年度の間目標を前倒しで達成しています。しかし、令和12年度の目標580gに向けて更なるごみの減量・リサイクルが必要なため、ご協力をよろしくお願いします。

また、令和4年度のごみ処理経費（収集運搬＋焼却処理＋埋立処分）は年間1人あたり10,332円となっています。

	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2025 (R7) (中間)	2030 (R12) (最終)
1人1日あたり 家庭系ごみ排出量 (g)	643	645	638	617	628	580

● 家庭で分別したごみはどうやって処理しているの？

生活ごみ、粗大ごみ、蛍光管などと資源（缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属、使用済小型家電）に分けて収集しています。

蛍光管などを除くごみは、清掃工場で焼却（熔融）した後、発生した灰は埋め立て、熔融して発生したスラグなどはリサイクルしています。

また、資源は品目ごとに選別し、異物を除いた後、再生資源化事業者でリサイクルしています。

(2) アンケート調査票（市民用）

ごみの減量化・リサイクル に関するアンケート

（市民の方）

オンライン
回答用 ID

ブイ・ビー・エフ・ダブルユー・エー
vpfwa

※ID はオンライン回答にのみ使用するものです。
回答者の氏名や住所を特定するためのものではありません。
※アルファベットは全て小文字です。

市が収集している「生活ごみ」について、お聞きします。

問 1. どれくらいの回数で「生活ごみ」を出していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 週に 2 回（収集日どおり） | 4. 月に 1 回 |
| 2. 週に 1 回 | 5. その他 |
| 3. 2 週間に 1 回 | () |

問 2. 1 回あたり、どれくらいの量の「生活ごみ」を出していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 45 リットルごみ袋 2 袋以上 | 4. レジ袋 1 袋程度 |
| 2. 45 リットルごみ袋 1 袋程度 | 5. レジ袋半分以下 |
| 3. レジ袋 2 袋程度 | |

市が分別収集を行っている資源物等についてお聞きします。

缶・びんについて



問 3. 「缶・びん」を出す際、どの程度分別していますか。（○はひとつだけ）

- | |
|---------------------------|
| 1. いつもしている → 問 5 へお進みください |
| 2. だいたいしている |
| 3. ときどきしている |
| 4. ほとんどしていない |
| 5. まったくしていない |

問 4. 分別をしないときの理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 分別があることを知らなかった | 5. 収集曜日がわからない |
| 2. リサイクルの必要性がわからない | 6. 洗うための水がもったいない |
| 3. 手間がかかる | 7. 捨てたいときに捨てられない |
| (具体的に:) | 8. その他 |
| 4. 出し方、分け方がわからない | (具体的に:) |

プラスチック製容器包装について



問 5. 「プラスチック製容器包装」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

1. いつもしている → 問 7 へお進みください
2. だいたいしている
3. ときどきしている
4. ほとんどしていない
5. まったくしていない

問 6. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 分別があることを知らなかった	5. 収集曜日がわからない
2. リサイクルの必要性がわからない	6. 洗うための水がもったいない
3. 手間がかかる	7. 捨てたいときに捨てられない
(具体的に:)	8. その他
4. 出し方、分け方がわからない	(具体的に:)

ペットボトルについて



問 7. 「ペットボトル」のキャップとラベルをはずして、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

1. いつもしている → 問 9 へお進みください
2. だいたいしている
3. ときどきしている
4. ほとんどしていない
5. まったくしていない

問 8. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. キャップとラベルをはずすことを知らなかった	5. 収集曜日がわからない
2. リサイクルの必要性がわからない	6. 洗うための水がもったいない
3. 手間がかかる	7. 捨てたいときに捨てられない
(具体的に:)	8. その他
4. 出し方、分け方がわからない	(具体的に:)

小型金属について



問 9. 「小型金属」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

1. いつもしている → 問 11 へお進みください
2. だいたいしている
3. ときどきしている
4. ほとんどしていない
5. まったくしていない

問 10. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 分別があることを知らなかった
2. リサイクルの必要性がわからない
3. 手間がかかる
(具体的に:)
4. 出し方、分け方がわからない
5. 収集曜日がわからない
6. 捨てたいときに捨てられない
7. その他
(具体的に:)

蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等について



問 11. ご家庭では水銀体温計を使っていますか。(○はひとつだけ)

1. 使っている
2. 持っているが使っていない
3. 持っていない

問 12. 「蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

1. いつもしている → 問 14 へお進みください
2. だいたいしている
3. ときどきしている
4. ほとんどしていない
5. まったくしていない

問 13. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 分別があることを知らなかった
2. 分別の必要性がわからない
3. 手間がかかる
(具体的に:)
4. 出し方、分け方がわからない
5. 回収場所がわからない
6. 捨てたいときに捨てられない
7. その他
(具体的に:)

問 14. 「蛍光管や小型家電(デジタルカメラ・携帯電話・音楽プレーヤー等)」は、次のどちらが出しやすいですか。(○はひとつだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 月 1 回だけだが、「生活ごみ」と同じ場所に出せる |
| 2. 区役所や商業施設など離れた場所の回収ボックス等にいつでも出せる |
| 3. どちらでも変わらない |

ご家庭から出る処分品目についてお聞きます。

問 15. 不要になったとき、処分方法がわからない品目をお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 空き缶 | 9. 乾電池 |
| 2. リターナブルびん(ビールびん・牛乳びん等) | 10. ボタン電池 |
| 3. 上記以外のびん | 11. 充電式電池 |
| 4. ペットボトル | 12. 蛍光管 |
| 5. 小型金属(鍋・やかん・はさみ・フライパン・包丁等) | 13. インクカートリッジ |
| 6. 古紙(新聞・雑誌・段ボール等)・古布 | 14. 食品トレイ |
| 7. 牛乳パック | 15. その他(具体的に:) |
| 8. 小型家電(デジタルカメラ・携帯電話・音楽プレーヤー等) | 16. 処分方法がわからないものはない |

問 16. ①～⑭の資源物等が不要になったとき、どのように処理しますか。(それぞれ○はいくつでも)

		市の生活ごみ収集	市の各資源物※の収集	市の粗大ごみ・不燃小物類※の収集	市の拠点回収	自治会等での集団回収	廃品回収業者等※の引き取り	スローパーや家電量販店等の店頭回収	その他(市の清掃工場へ直接持ち込む等)
① 空き缶	→	1	2	3	4	5	6	7	8
② リターナブルびん	→	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 上記②以外のびん	→	1	2	3	4	5	6	7	8
④ ペットボトル	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 小型金属	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 古紙・古布	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 牛乳パック	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 小型家電	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 乾電池	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑩ ボタン電池	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑪ 充電式電池	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑫ 蛍光管	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑬ インクカートリッジ	→	1	2	3	4	5	6	7	8
⑭ 食品トレイ	→	1	2	3	4	5	6	7	8

※1 「缶・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「小型金属」の収集

※2 廃品回収業者が古紙や小型家電などをトラックで回収するもの及び廃品回収業者の回収拠点へ持ち込むもの

ごみ減量やリサイクルに関するお考えについてお聞きします。

問 17. 以下の行動について、次の①②③からあてはまるものをお選びください。
(○はそれぞれひとつだけ)

- ①普段から行っているもの
②今後、新たに取り組もうと考えているもの
③行っていないし、今後、取り組もうと考えていない(どちらでもない)

	行 っ て い る	取 り 組 もう と 考 え て い る	ど ち ら で も な い
1. コンビニなどで使い捨てのストローや割り箸などを断る →	1	2	3
2. マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る →	1	2	3
3. 過剰包装を断る →	1	2	3
4. 不要なダイレクトメールを断る →	1	2	3
5. マイカトラリーやマイボトルを利用し、使い捨て製品を使わない →	1	2	3
6. パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ →	1	2	3
7. 外食時に食べ残しをしないようにする →	1	2	3
8. 「食材を使いきる」「残さず食べる」「生ごみの水をきる」 などして生ごみを減らす →	1	2	3
9. 詰め替え商品を購入する →	1	2	3
10. 不要物をフリーマーケットやリユース(リサイクル)ショップ・アプリ 等で売る →	1	2	3
11. フリーマーケットやリユース(リサイクル)ショップ・アプリ等で買い 物をする →	1	2	3
12. 壊れたものを修理して、長期間使う →	1	2	3
13. 古紙や古布などを地域の集団回収等に出す →	1	2	3
14. 資源物を分別している →	1	2	3
15. 食品トレイ・紙パックなどをスーパーの資源回収に出す →	1	2	3
16. 再生紙でできたトiletペーパーなど、再生品を買う →	1	2	3
17. アップサイクル製品※を購入する →	1	2	3

※不要になったものに、デザイン等で新しい価値を付加して生産された製品

問 18. 集団回収以外に古紙(新聞・雑誌・段ボールなど)の無料の回収拠点があれば利用しますか。
(○はひとつだけ)

1. 徒歩や自転車で行ける場所なら利用する
2. 車でいける場所なら利用する
3. 場所がどこであっても利用する
4. 利用しない

問 19. 次の①～④に関するあなたのお考えをお聞かせください。(それぞれ○はひとつだけ)

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう 思わない
①	ごみをなるべく少なくするために、 物の購入や使い方を工夫する →	1	2	3	4
②	出したごみがリサイクルされるよう に分別に協力する →	1	2	3	4
③	出したごみが最終的にどのように 処理されるかまで関心をもつ →	1	2	3	4
④	ごみ処理は行政の責任であり、 市民が責任をもつ必要はない →	1	2	3	4

ごみ減量やリサイクル、分別等の情報提供についてお聞きます。

問 20. ごみ減量やリサイクル、分別等に関して、ご覧になることがあるものをお聞かせください。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 広報さかい | 10. facebook |
| 2. 資源とごみの分別大辞典 | 11. 堺市ホームページ以外の関連サイト |
| 3. 市役所等で配布するパンフレットやチラシ | 12. 廃品回収業者のチラシ |
| 4. 堺市ホームページ | 13. 新聞、テレビ、ラジオなど |
| 5. 回覧板 | 14. ごみ収集車のアナウンス |
| 6. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」※ | 15. 口コミ |
| 7. X (旧 Twitter) | 16. その他 |
| 8. Instagram | (具体的に:) |
| 9. LINE | 17. どれも見ることはない |

※ お住いの地域を設定することで、ごみ収集日をお知らせする機能や、出したいごみの品目名から分別方法を検索できる機能がついたアプリ

問 21. 今後の情報提供に関して、見たり調べたりしやすいものをお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 広報さかい | 10. facebook |
| 2. 資源とごみの分別大辞典 | 11. 堺市ホームページ以外の関連サイト |
| 3. 市役所等で配布するパンフレットやチラシ | 12. 廃品回収業者のチラシ |
| 4. 堺市ホームページ | 13. 新聞、テレビ、ラジオなど |
| 5. 回覧板 | 14. ごみ収集車のアナウンス |
| 6. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」 | 15. 口コミ |
| 7. X (旧 Twitter) | 16. その他 |
| 8. Instagram | (具体的に:) |
| 9. LINE | 17. どれも見ることはない |

質問はあと少しだよ



ごみ処理に関する堺市の事業についてお聞きます。

問 22. ごみを焼却した後の焼却灰は最終的に大阪湾の埋め立て地(大阪湾フェニックス)に埋め立てられていることをご存じですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 23. 本市クリーンセンターの各施設は、全国の政令指定都市の中でも稼働率が高いうえ、竣工から40年以上経過している施設もあります。クリーンセンター各施設の老朽化が進行する中、整備が必要であることをご存じですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 24. ごみ減量に取り組んでいる人も、そうでない人も、一律のサービスとなっていることについてどう思いますか。(○はひとつだけ)

令和4年度ごみ処理経費(ごみ収集運搬・中間処理・埋立処分にかかる経費)は年間1人あたり10,332円だよ



- | |
|---------------------------------------|
| 1. ごみ減量に取り組んだ分、何らかのメリットや見返りがある方がよい |
| 2. ごみ減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうが、このままでよい |
| 3. 特に何とも思わないし、このままでよい |
| 4. その他(具体的に:) |

問 25. 堺市のごみ減量化推進員制度※についてどの程度ご存じですか。(○はひとつだけ)

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 名前だけ知っている
4. 知らない

※ ごみ減量・リサイクルを推進するため、地域のリーダーとして市と地域をつなぐ役割を担っていただく市民に対し、ごみ減量化推進員を委嘱している

今後の堺市の取組についてお聞きます。

問 26. ごみ減量やリサイクル、分別等に関して、今後、堺市に取り組んでほしいと思うものをお選びください。(○はいくつでも)

1. 詳細な分別品目表の配布(分別に関する辞典等)
2. 市内開催のフリーマーケットやリユース(リサイクル)ショップの取扱品目・日時・場所等の情報提供
3. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」での情報提供
4. 家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供
5. 地域で共同管理の生ごみ処理機などの購入補助制度
6. 不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業(アップサイクル製品含む)
7. 集団回収報償制度※
8. 紙など資源化可能なものを、市内の公共施設や集客施設等に不定期に持ち込める制度
9. その他(具体的に: _____)
10. 特に取り組んでほしいと思うものはない

※ 自治会や子ども会などで自主的に行われている古紙や古布の集団回収に対し、報償金(1kg あたり 4 円)を交付する制度

問 27. ごみ減量やリサイクル、分別等について困っていることや、堺市に取り組んでほしいこと、ご意見などございましたら、できるだけ具体的お聞かせください。

--

最後に、あなたご自身についてお聞きします。

問 28. ここ数年、ごみの排出量が大きく減少しています。ごみが減っている理由として、あなたがあてはまると思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. ごみ減量の意識が高まり自分自身が出すごみの量が減っている
2. 企業が商品やサービスを提供する段階でごみ減量が進んでいる
3. コロナ禍で生活様式が変化した
4. 物価高騰等の社会情勢の変化で買い物を控えた
5. 特に変わっていない
6. その他(具体的に: _____)

問 29. あなたご自身に関する以下の項目について、お聞かせください。

① 居住区	1. 堺区 3. 東区 5. 南区 7. 美原区 2. 中区 4. 西区 6. 北区
② 年代	1. 10代 3. 30代 5. 50代 7. 70代 2. 20代 4. 40代 6. 60代 8. 80代以上
③ 職業	1. 会社員 5. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員 2. 公務員・団体職員 6. 学生 3. 自営業・事業主 7. 無職 4. 家事専業 8. その他(具体的に: _____)
④ 同居人数	自身を含めて _____ 人
⑤ 住居の形態	1. 持家一戸建て住宅 2. 持家一戸建て住宅(事務所や店舗と兼用) 3. 持家集合住宅(分譲マンションなど) 4. 市営・府営などの公営賃貸住宅 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション 6. 社宅・寮・官公舎 7. その他(具体的に: _____)
⑥ 堺市での 通算居住年数	堺市に住み始めて通算 _____ 年くらい

ご協力ありがとうございました。



(3)アンケート依頼文（事業所用）

ごみの減量に関する意識調査へのご協力のお願い

アンケート調査をお願いする事業者の皆様へ

平素は、本市廃棄物行政に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する長期計画である「堺市一般廃棄物処理基本計画」改定の基礎資料とするため、前回調査（平成30年度）からの事業者の皆様意識の変化や各種取組に対する認識・浸透度等を把握したいと考えております。

ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、十分な調査結果を得るために多くの皆様のお答えが必要です。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年12月

堺市

■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市内の事業所の中から、**無作為で2,000社**にお送りしています。
2. いただいたご回答は、統計的（「〇〇」と答えた事業所は△△%でしたというような表現）に処理するだけで、事業者を特定する内容を公表することはありません。
3. この調査は、上記の**目的以外に使用することはありません**。

■記入上の注意

お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまるものの番号にハッキリと○印**をつけてください。

■調査票の回収

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和6年1月5日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください（**切手は不要です**）。

【問合せ先】

堺市環境局 環境事業部
環境事業管理課（担当：小林）
電話：072-228-7478 FAX：072-229-4454

【調査委託会社】

株式会社エムアールビジネス
マーケティング事業部（担当：山口）
電話：06-6231-9541 FAX：06-6231-9543

ごみの減量化・リサイクルに関するアンケート

（事業者の方）

貴事業所のごみ（事業系一般廃棄物）の排出量や分別、処理方法等についてお聞きします。

※排出状況の実態をお伺いするため、設問には実際の法令上の分類と異なる記載があります。

ごみの排出量について

問 1. 貴事業所における、ごみの排出量を把握していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1. 把握している | 2. 把握していない → 問 4 へお進みください。 |
|-----------|----------------------------|

問 2. 5 年前と比べて、ごみ排出量は変化していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1. かなり増えた | 6. わからない |
| 2. やや増えた | 7. 事業所ができてからまだ 5 年経っていない |
| 3. 変わらない | |
| 4. やや減った | |
| 5. かなり減った | |

問 3. ごみ排出量の今後の想定について、あてはまるものをお選びください。（○はひとつだけ）

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 1. 半分以上減らせる | 4. 現在の量から変わらないと思う |
| 2. 3～4 割程度は減らせる | 5. 現在の量より増えると思う |
| 3. 1～2 割程度（若干）は減らせる | 6. その他（具体的に： ） |

ごみの処理費用について

問 4. ごみの処理にかかる費用を把握していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1. 把握している | 2. 把握していない → 問 7 へお進みください。 |
|-----------|----------------------------|

問 5. 費用はどのように算出されていますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|---------|----------|--------------------|
| 1. 重量ごと | 2. 袋の数ごと | 3. 月極め（量や大きさによらない） |
|---------|----------|--------------------|

問 6. 費用の負担感はいかがですか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. かなり高い | 3. 妥当 | 4. やや安い |
| 2. やや高い | | 5. かなり安い |

ごみの種類について

問 7. どのようなごみを排出していますか。次の①～③にあてはまるものを、下の選択からそれぞれひとつずつお選びいただき、その番号をご記入ください。

①最も排出量が多いもの.....

②2 番目に排出量が多いもの.....

③3 番目に排出量が多いもの.....

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 古紙(新聞・雑誌・段ボール・OA 紙等) | 5. ペットボトル |
| 2. 紙くず(ちり紙・紙コップ等) | 6. 缶・びん |
| 3. 生ごみ(料理くず・残飯・茶かす等) | 7. 木くず(木ぎれ等) |
| 4. 弁当・カップ麺の容器や包装材などの
廃プラスチック類 | 8. 古繊維(古着・古布等) |
| | 9. 繊維くず(木綿くず・羊毛くず等) |

ごみの分別について

問 8. 次の中から、貴事業所で分別して「いない」ものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 生ごみ類 |
| 2. 機密書類 |
| 3. 機密書類以外の紙類(新聞・雑誌・段ボール・OA 紙など) |
| 4. 缶・びん |
| 5. 金属やガラスなどの燃えないごみ |
| 6. ペットボトル |
| 7. 弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類 |
| 8. すべて分別している → 問 10 へお進みください。 |

問 9. 問 8 で選択したごみを分別していない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1. 資源物の発生量が少ない | 7. 社員への分別の浸透が難しい |
| 2. 何が資源化できるのかわからない | 8. リサイクルを依頼する業者がわからない |
| 3. 分別が手間 | 9. 分別してもごみ処理費用が安くならない
もしくは高くなる |
| 4. 分別ボックスを購入するなど費用がかかる | 10. その他 |
| 5. 分別しなくても収集してくれる | (具体的に:) |
| 6. 分けた資源を置く場所がない | |

問 10. 「生ごみ類」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 |
| 4. 民間のリサイクル業者でリサイクル |
| 5. 貴事業所の処理施設で処理 |
| 6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

問 11. 「機密書類」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 |
| 4. 民間のリサイクル業者でリサイクル |
| 5. 貴事業所の処理施設で処理 |
| 6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

問 12. 機密書類以外の「紙類(新聞、雑誌、段ボール、OA 紙など)」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託 |
| 3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 |
| 4. 民間のリサイクル業者でリサイクル |
| 5. 貴事業所の処理施設で処理 |
| 6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

問 13. 「缶・びん」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入
4. 民間のリサイクル業者でリサイクル
5. スーパーなどの店頭回収を利用している
6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼
7. その他(具体的に:

)

問 14. 「金属やガラスなどの燃えないごみ」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入
4. 民間のリサイクル業者でリサイクル
5. 貴事業所の処理施設で処理
6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼
7. その他(具体的に:

)

問 15. 「ペットボトル」を、どのように処理していますか。

複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入
4. 民間のリサイクル業者でリサイクル
5. スーパーなどの店頭回収を利用している
6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼
7. その他(具体的に:

)

問 16. 「弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類」を、どのように処理していますか。複数ある場合は、最も多いものをひとつだけお選びください。(○はひとつだけ)

1. 一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
2. 産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託
3. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入
4. 民間のリサイクル業者でリサイクル
5. スーパーなどの店頭回収を利用している
6. 継続ごみとして市に有料収集を依頼
7. その他(具体的に:)

貴事業所におけるごみ減量・リサイクルについてお聞きます。

問 17. 貴事業所に出ているリサイクル可能な紙類をすべてお選びください。(○はいくつでも)

1. 新聞
2. 雑誌・カタログ・パンフレット
3. 段ボール
4. OA 用紙・コピー用紙
5. その他の古紙(紙袋、紙箱、カレンダー、メモ用紙、封筒など)
6. シュレッダーされた紙
7. その他(具体的に:)
8. リサイクル可能な紙類の排出はない

問 18. ごみ減量・リサイクルに関する方針、目標、計画や実施状況などをまとめた「環境報告書※」について、あてはまるものをお選びください。(○はひとつだけ)

※CSR 報告書:環境や社会的な取組をまとめた報告書

1. 作成し公表している
2. 作成しているが公表していない
3. 今後作成する予定がある
4. 今後も作成する予定はない
5. わからない

問 19. 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。(○はいくつでも)

1. 専任の責任者を定めている
2. 他の役割(総務など)との兼務としている
3. 責任者を定めていない

問 20. ごみ減量・リサイクルに関する情報で参考としているものをお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 堺市ホームページ・広報紙・パンフレットなど
2. ビル管理会社などからのお知らせ
3. 収集業者からのお知らせ
4. 同業種の組合・団体等からのお知らせや研修会
5. 新聞・テレビ・ラジオなどの放送番組
6. 堺市ホームページ以外の関連サイト
7. 口コミ
8. その他(具体的に:)
9. 特に参考としているものはない

問 21. 従業員に日頃からごみ減量・リサイクルに関する研修会等を実施していますか。(○はいくつでも)

1. 自社で定期的に実施している
2. 自社で必要に応じて(不定期に)実施している
3. 外部の研修会やシンポジウム等に参加させている
4. その他(具体的に:)
5. 特にしていない

問 22. ごみ減量・リサイクルに関してどのような取組を行っていますか。(○はいくつでも)

1. ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている
2. ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している
3. ごみ問題について検討する組織を設置している
4. 取引先や納入業者に簡易包装や通い箱(くり返し使用できる箱)の使用を依頼している
5. ペーパーレス化を推進している
6. 従業員へのマイボトルを推奨している
7. その他(具体的に:)
8. 特にしていない

問 23. 資源化の取組について、事業所間のネットワーク(オフィス町内会など)を構成するなど、周辺事業所(ビル単位や商店街単位など)と共同での効率的な収集について取り組んでいますか。
(○はひとつだけ)

1. 取り組んでいる
2. 取り組む準備をしている
3. 共同での効率的収集は知っているが、取り組んでいない
4. 共同での効率的収集を知らない

問 24. 地域におけるまちの美化活動に取り組んでいますか。(○はひとつだけ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. できる範囲で取り組んでいる
3. 現在は取り組んでいないが今後、取り組むつもりである
4. 今後も取り組むつもりはない
5. わからない

問 25. 現在の貴事業所のマイボトル普及率はどれくらいですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. マイボトルを見たことがない(0 割) | 4. 6～8 割くらい |
| 2. 1～2 割くらい | 5. 8 割以上 |
| 3. 3～5 割くらい | 6. わからない |

堺市のごみ行政についてお聞きします。

問 26. 市内事業者がごみを処理する方法で、知っているものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

1. 継続ごみ(市の有料収集)
2. 堺市一般廃棄物収集運搬許可業者への委託
3. 排出事業者自らによる清掃工場への直接搬入
4. どれも知らない

問 27. 一般廃棄物収集運搬業者へ支払う処理(収集運搬)費用には、市の施設での処分(焼却)手数料※が含まれていることを、知っていますか。

※100 kgあたり 1,100 円(破砕機使用のものは 100 kgあたり 1,700 円)

1. 知っている
2. 知らない

問 28. 令和 6 年 1 月から事業所から出るリサイクル可能な紙類の清掃工場への搬入が禁止されることを、知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 29. 令和 6 年 1 月以降は、リサイクル可能な紙類の処理をどのようにしますか。(○はひとつだけ)

1. 古紙リサイクル業者に回収を依頼
2. 商店街単位や同業他社等でまとめて古紙リサイクル業者に回収を依頼
3. ごみ収集業者にごみとは別に分別のうえ回収を依頼
4. 古紙リサイクル事業所に直接持込
5. 商店街単位や同業他社等でまとめて古紙リサイクル事業所に直接持込
6. 民間事業者の古紙回収拠点(スーパー等集客施設)に直接持込
7. 民間事業者の古紙回収拠点(ロードサイド等の無人拠点)に直接持込
8. その他(具体的に: _____)
9. 決まっていない

問 30. 古紙(新聞・雑誌・段ボールなど)の無料の回収場所があれば利用しますか。(○はひとつだけ)

1. 徒歩や自転車で行ける場所なら利用する
2. 車ですぐに行ける場所なら利用する
3. 場所がどこであつても利用する
4. 利用しない

問 31. 堺市では、事業用大規模建築物※を所有する事業者を対象として、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理の推進のため、廃棄物管理責任者の設置及び減量計画書作成を義務付けています。このような制度があることをご存じですか。(○はひとつだけ)

※ 事業用延床面積が 3,000 m²以上の建築物、および大規模小売店舗の店舗部延床面積が 1,000 m²を超える事業所

1. 知っている
2. 知らない

問 32. 今後、この制度をどのようにすべきだと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 推進・拡充すべき
2. 現状のまま進めていくべき
3. 廃止又は縮小すべき
4. わからない

堺市の今後のごみ行政についてお聞きします。

問 33. 堺市の清掃工場に搬入されるごみには、資源化可能と考えられる生ごみの搬入が多く見られます。生ごみの減量化・リサイクルについて、どの程度協力したいと思いますか。

(○はひとつだけ)

1. すでに分別し、リサイクルを行っている
2. リサイクル費用が現状の 2 倍程度までなら協力したい
3. リサイクル費用が現状の 1.5 倍程度までなら協力したい
4. リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない
5. 分別はできない

問 34. 堺市が今後、どのような取り組みをすれば、事業系ごみの減量・リサイクルが促進すると思いますか。(○はいくつでも)

1. 法律や条例等の規制に関する情報提供
2. 収集業者や処理業者に関する情報提供
3. ニュースレターの配信
4. 講習会の開催
5. 事業所への出前研修会や相談員等の派遣
6. 優良事例の紹介
7. マニュアル等の情報提供
8. 古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供
9. その他(具体的に:)
10. どのような取り組みがあっても促進すると思わない

問 35. ごみ減量・リサイクルに関するどのような施策・制度があれば、利用して取り組んでもよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度
2. ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者の表彰制度
3. 商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場(ワークショップなど)の設置
4. 市の清掃工場でのリサイクル可能物の搬入規制
5. ごみ減量に関する情報誌の発行
6. アップサイクルにより生産されたオフィス家具の購入機会の創出
7. 市内事業者が実施しているごみ減量方法の紹介
8. その他(具体的に:)
9. どのような施策・制度があっても取り組みたいと思わない

問 37. 貴事業所に関する以下の項目について、お聞かせください。

- 10 -

⑤ 事業用大規模 建築物の指定	1. 指定されている 2. 指定されていない 3. わからない
----------------------------	--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3. 発送及び回収状況

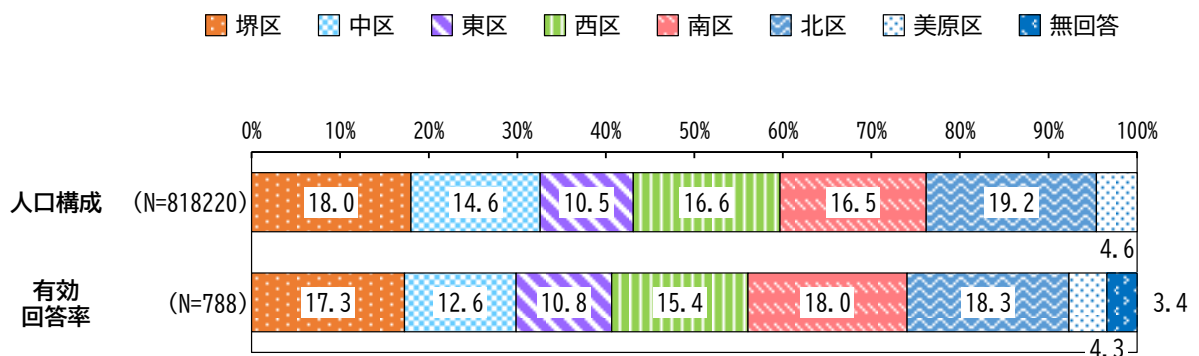
(1) 市民調査

市民アンケートは、2,000 件の配布に対し、788 件の有効回答があり、回収率は市全体で 39.4% であった。

本調査の所在地構成は堺市の人口分布と大きな差はみられない。

		人口※	発送数	有効回答数	回収率
全 体		818,220 (100.0%)	2,000 (100.0%)	788 (100.0%)	39.4
居住地別	堺区	147,377 (18.0%)	361 (18.1%)	136 (17.3%)	37.7
	中区	119,474 (14.6%)	292 (14.6%)	99 (12.6%)	33.9
	東区	85,955 (10.5%)	210 (10.5%)	85 (10.8%)	40.5
	西区	135,767 (16.6%)	332 (16.6%)	121 (15.4%)	36.4
	南区	134,840 (16.5%)	329 (16.5%)	142 (18.0%)	43.2
	北区	157,215 (19.2%)	384 (19.2%)	144 (18.3%)	37.5
	美原区	37,592 (4.6%)	92 (4.6%)	34 (4.3%)	37.0
	無回答			27 (3.4%)	

※ 令和5年9月末現在の住民基本台帳（外国人含む）を参照



(2)事業所調査

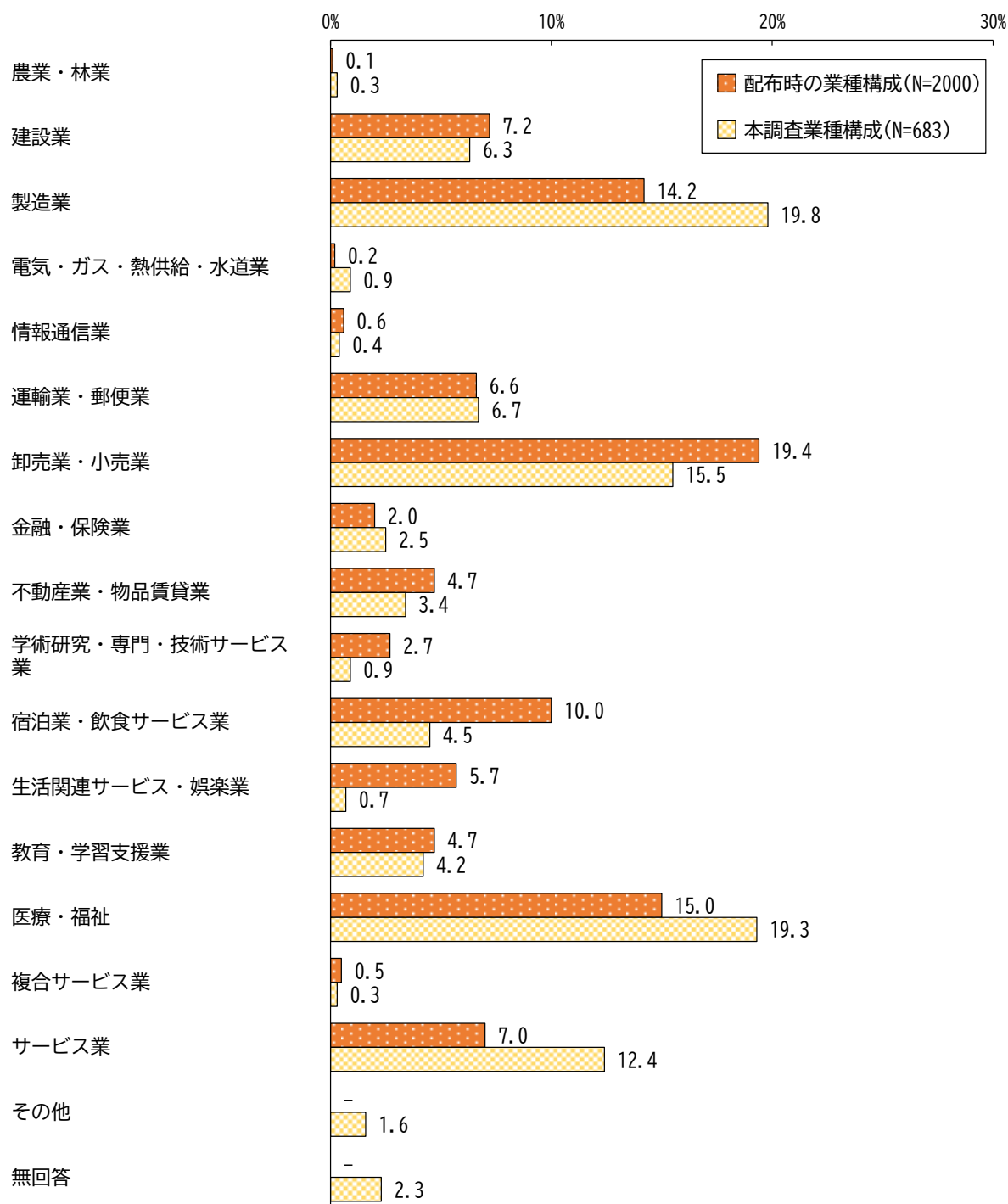
事業所アンケートは、2,000 件の配布に対し、683 件の有効回答があり、回収率は市全体で34.2%であった。

配布時の業種構成に対して、本調査では「製造業」「医療・福祉」「サービス業」の割合が4～5ポイント高く、「卸売業・小売業」「宿泊業・飲食サービス業」「生活関連サービス・娯楽業」が4～5ポイント低くなっている。それ以外の業種では概ね配布時の業種構成と一致している。

		発送数			有効回答数※1	回収率※2
		従業者 30人未満	従業者 30人以上	合計		
全 体		1,000	1,000	2,000	683	34.2
業 種 別	農業・林業	1	1	2	2	100.0
	建設業	100	43	143	43	30.1
	製造業	95	189	284	135	47.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	1	2	3	6	200.0
	情報通信業	6	6	12	3	25.0
	運輸業・郵便業	26	105	131	46	35.1
	卸売業・小売業	219	169	388	106	27.3
	金融・保険業	12	27	39	17	43.6
	不動産業・物品賃貸業	85	8	93	23	24.7
	学術研究・専門・技術サービス業	40	13	53	6	11.3
	宿泊業・飲食サービス業	113	86	199	31	15.6
	生活関連サービス・娯楽業	82	31	113	5	4.4
	教育・学習支援業	35	58	93	29	31.2
	医療・福祉	119	180	299	132	44.1
	複合サービス業	5	4	9	2	22.2
	サービス業	61	78	139	85	61.2
	その他				11	
	無回答				16	

※1 結果の集計には、事業所からの回答に記載されている業種を用いている。

※2 市で把握している業種と事業所からの回答に記載されている業種は異なるものがあるため、回収率が100%を超えている場合がある。



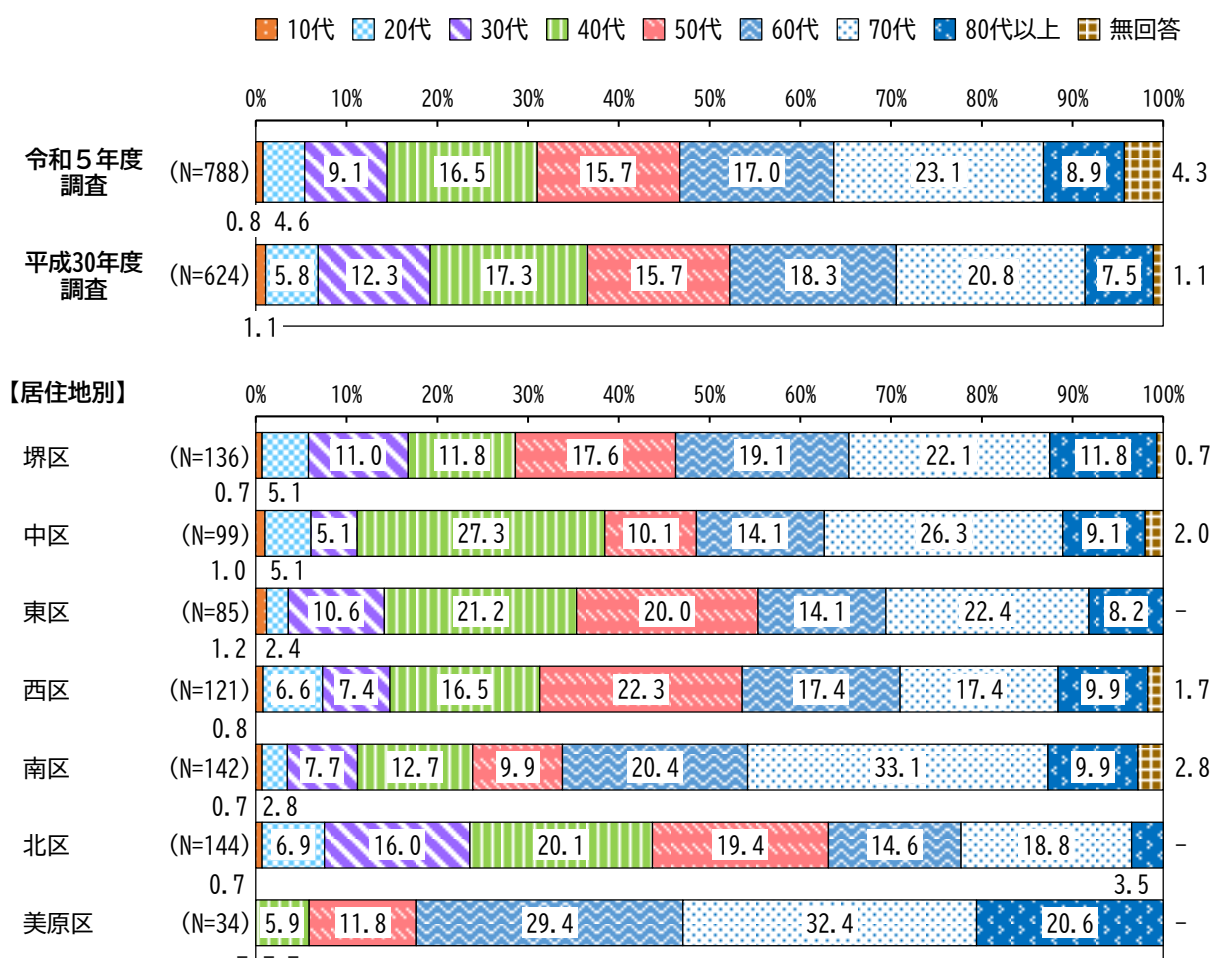
第2章 市民意識調査結果

I. 回答者の属性

問 29. あなたご自身に関する以下の項目について、お聞かせください。

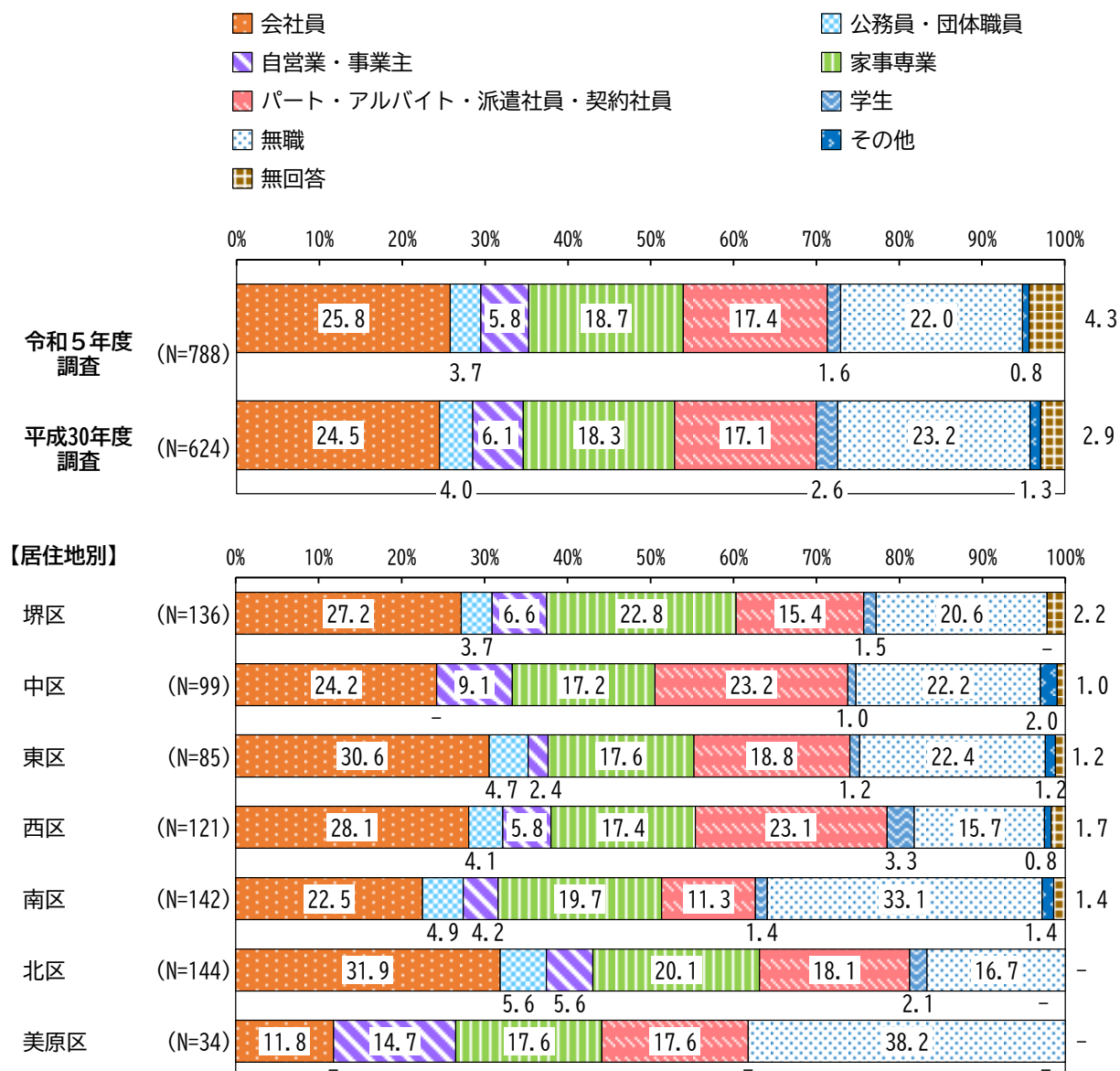
① 年齢

回答者の年齢について、市全体でみると「70代」の割合が23.1%と最も高く、次いで「60代」が17.0%、「40代」が16.5%となっている。前回調査と比較して大きな差はみられない。



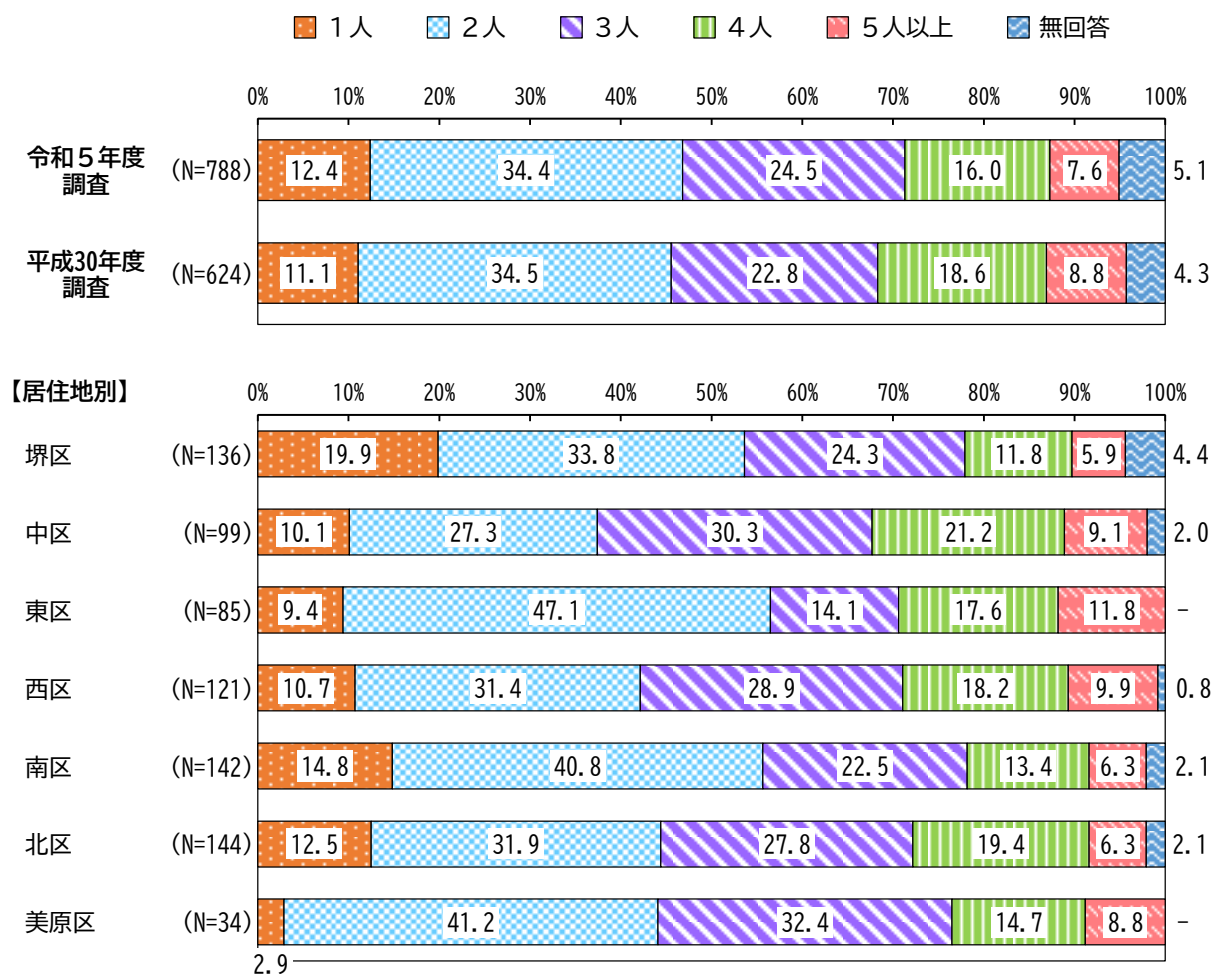
② 職業

回答者の職業について、市全体でみると「家事専業」と「学生」、「無職」を合わせた非就労者が全体の42.3%を占めている。前回調査と比較して大きな差はみられない。



③ 世帯人数

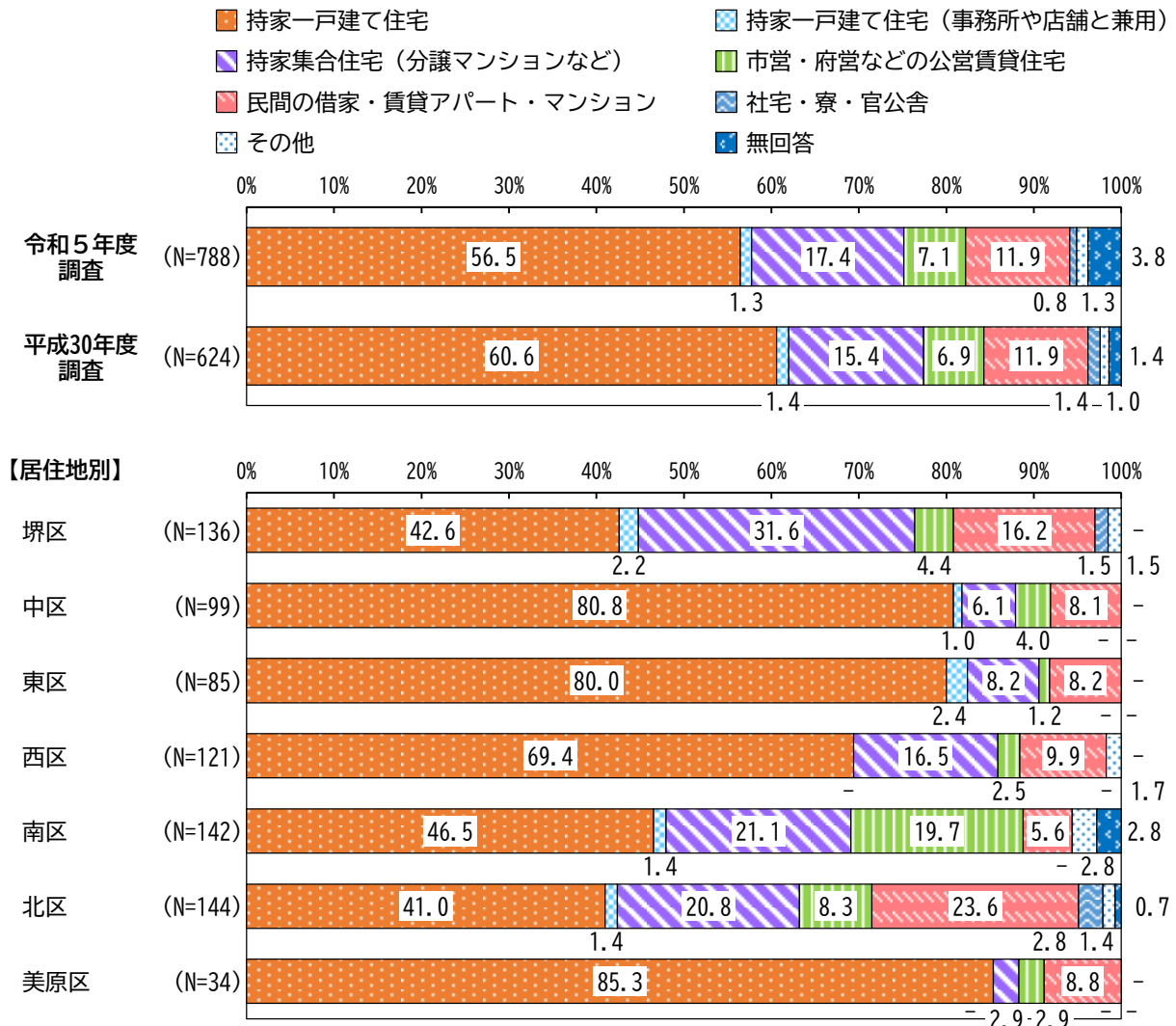
回答者の世帯人数について、市全体でみると「2人」が34.4%と最も高く、次いで「3人」が24.5%、「4人」が16.0%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。



④ 居住形態

回答者の居住形態について、市全体でみると「持家一戸建て住宅」が56.5%、次いで「持家集合住宅（分譲マンションなど）」が17.4%、「民間の借家・賃貸アパート・マンション」が11.9%である。

前回調査と比較して大きな差はみられない。

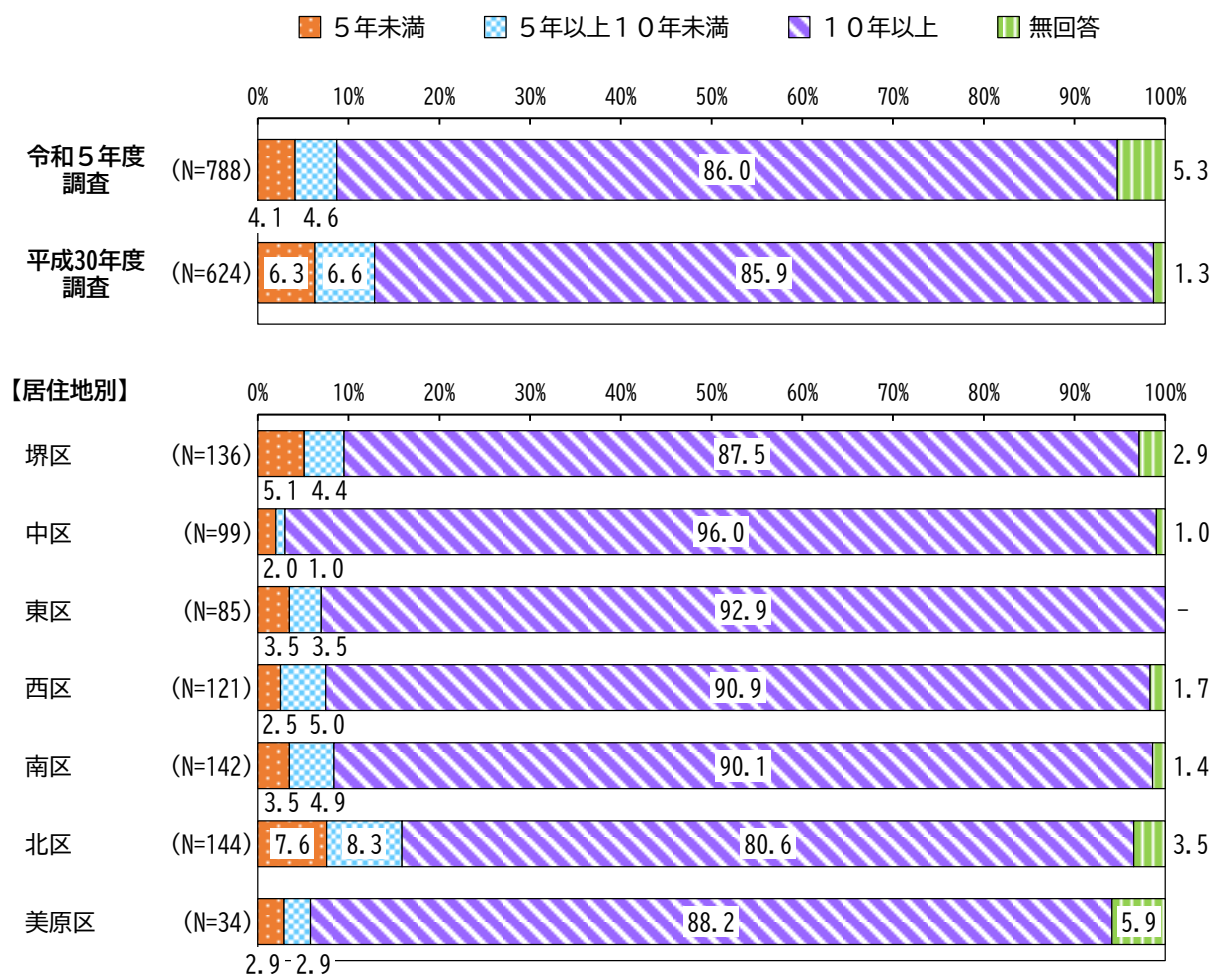


⑤ 居住年数

回答者の居住年数について、市全体でみると「10年以上」が86.0%で多数を占めている。

前回調査と比較して大きな差はみられない。

居住地別にみると、北区で「5年未満」が7.6%、「5年以上10年未満」が8.3%と僅かながら他区に比べて割合が高くなっている。



Ⅱ. アンケート回答集計結果

1. ごみ排出、減量、リサイクルの取組状況や意識について

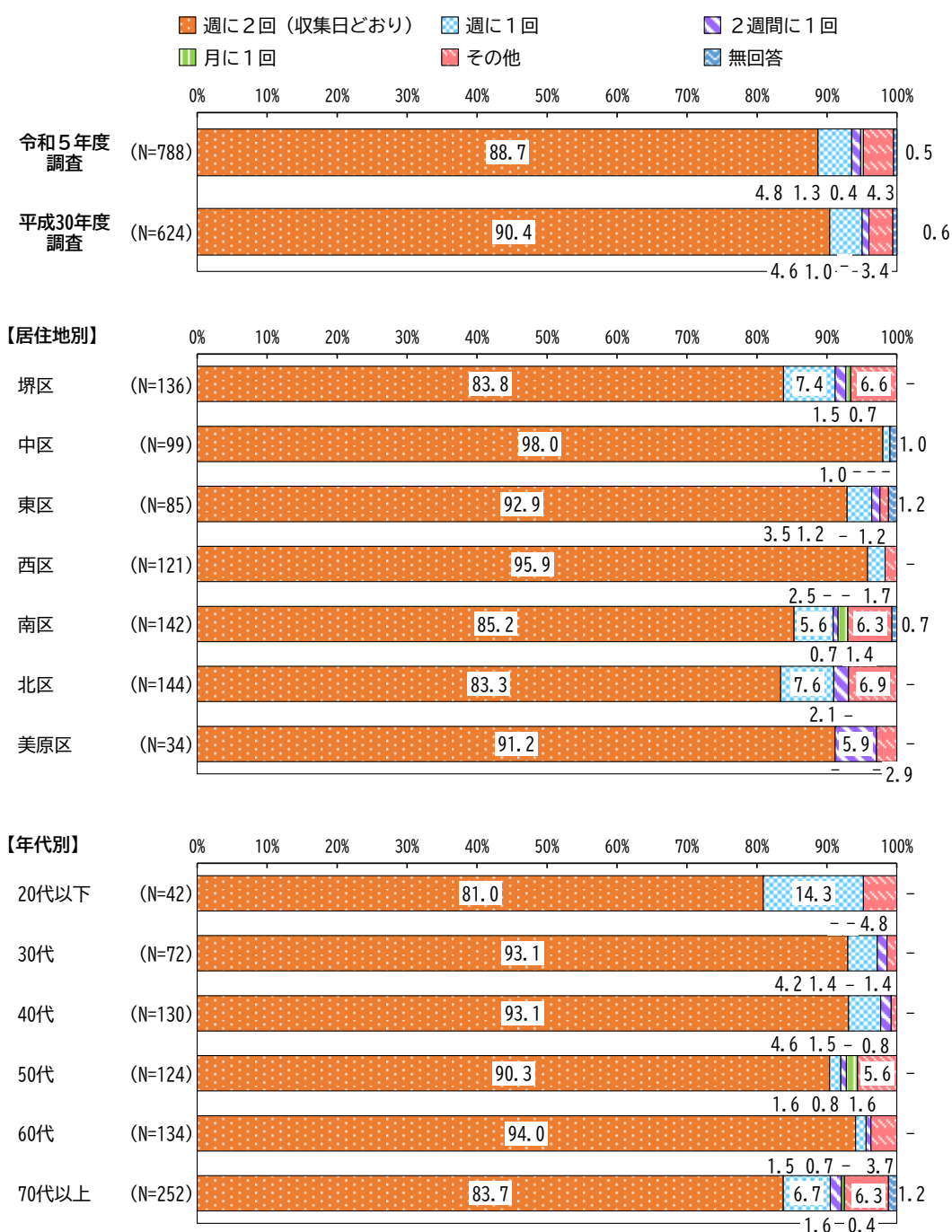
(1) 排出する頻度

問 1. どれくらいの回数で「生活ごみ」を出していますか。(○はひとつだけ)

生活ごみの排出頻度について、市全体でみると「週に2回（収集日どおり）」の割合が88.7%で最も高く、次いで「週に1回」が4.8%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

居住地別にみると、「週に2回（収集日どおり）」の割合はすべてのエリアで80%を超えている。

年代別にみると、「週に2回（収集日どおり）」の割合はすべての年代で80%を超えている。



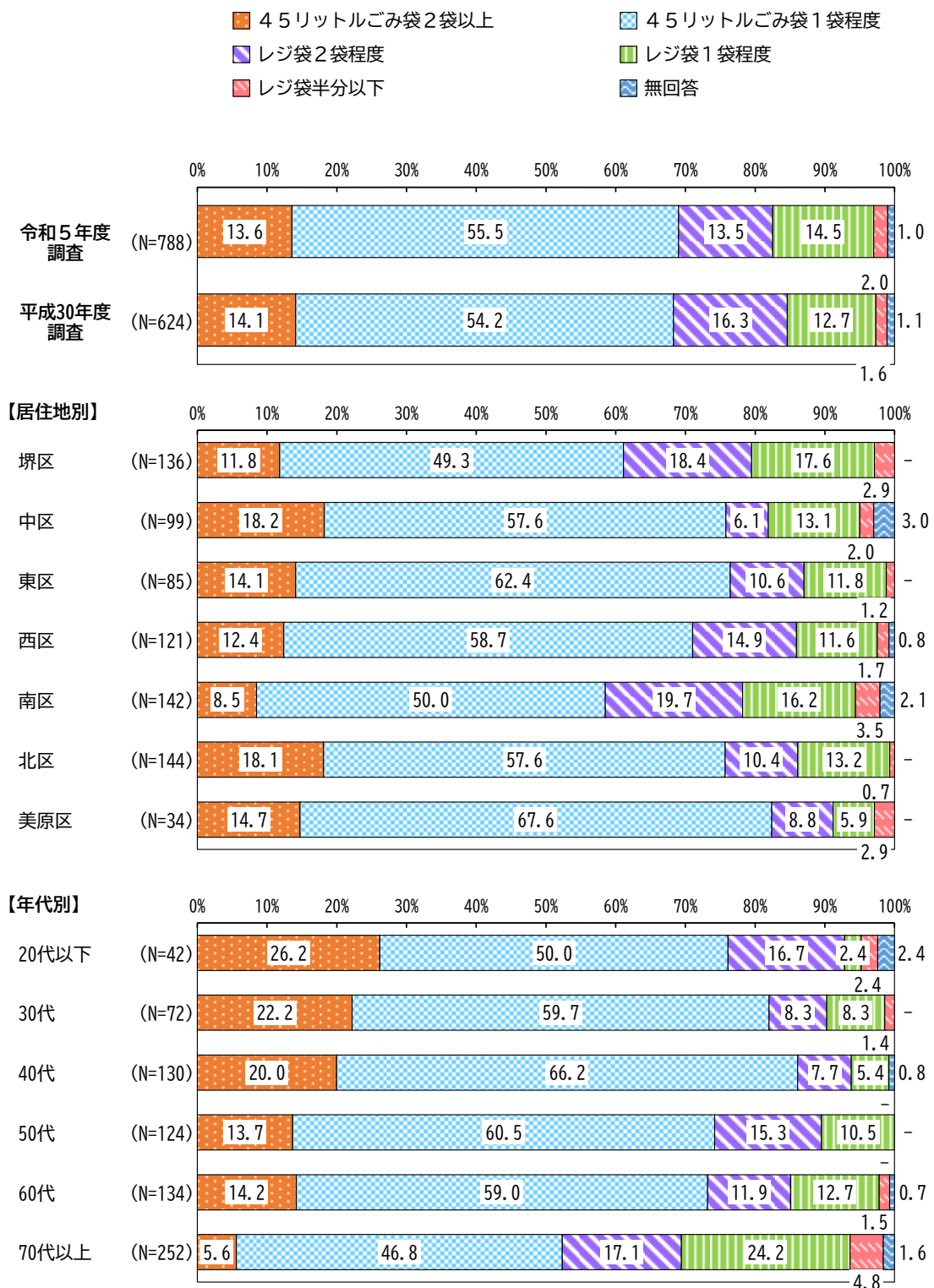
(2)排出する量

問2. 1回あたり、どれくらいの量の「生活ごみ」を出していますか。(○はひとつだけ)

生活ごみを排出する量は、市全体でみると「45 リットルごみ袋 1 袋程度」が 55.5%と最も高く、次いで「レジ袋 1 袋程度」が 14.5%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

居住地別にみると、すべての区で「45 リットルごみ袋 1 袋程度」の割合が最も高く、中区、北区では「4 5 リットルごみ袋 2 袋以上」、南区では「レジ袋 2 袋程度」の割合も高めである。

年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「4 5 リットルごみ袋 2 袋以上」の割合が高く、20 代以下で 26.2%である。

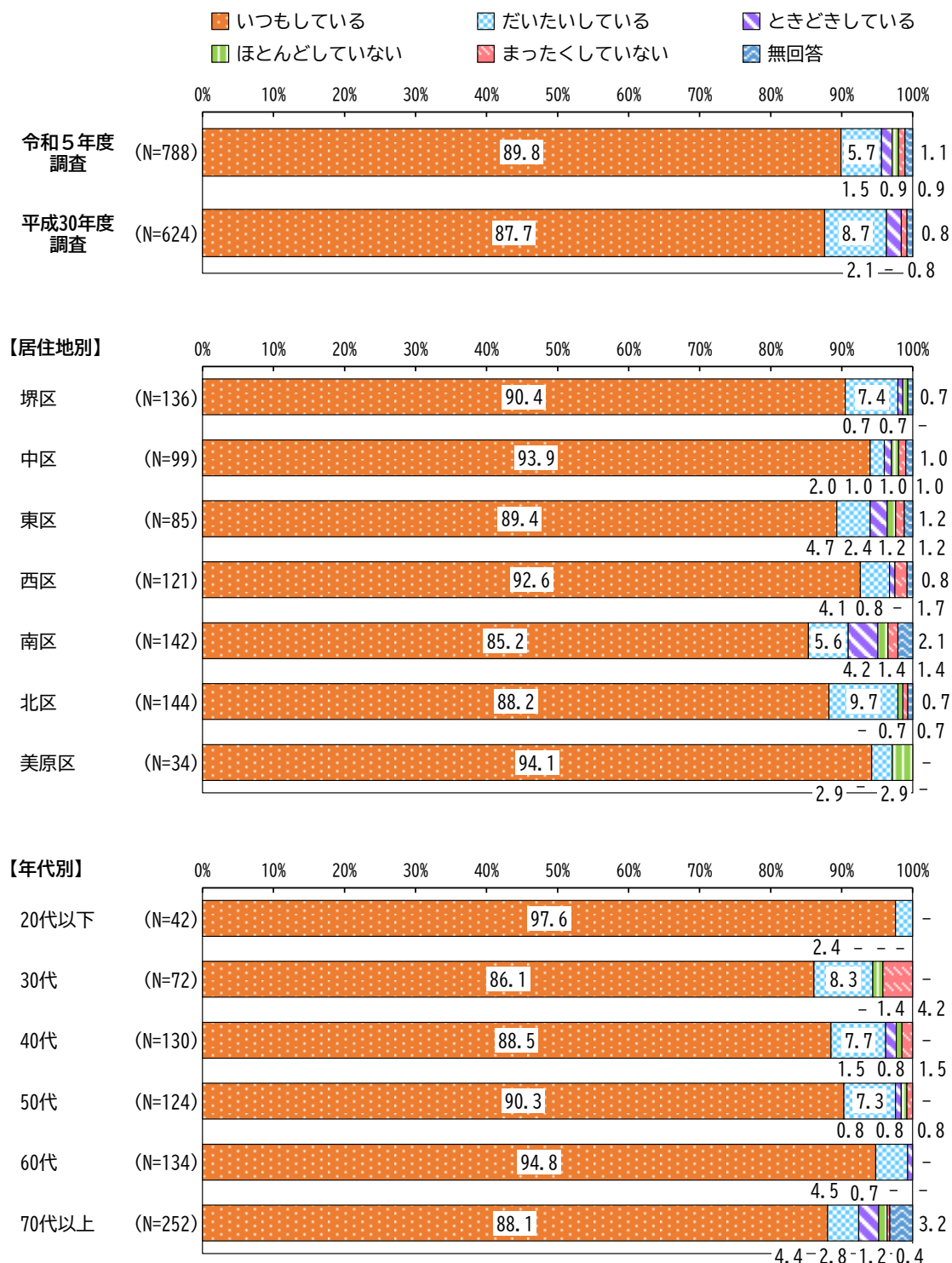


(3) 分別の頻度

①-1 「缶・びん」 分別の頻度

問3. 「缶・びん」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

「缶・びん」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が89.8%と最も高く、次いで「だいたいしている」は5.7%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。居住地別にみると、「いつもしている」の割合はすべてのエリアで80%を超えている。年代別にみると、「いつもしている」の割合はすべての年代で80%を超えている。

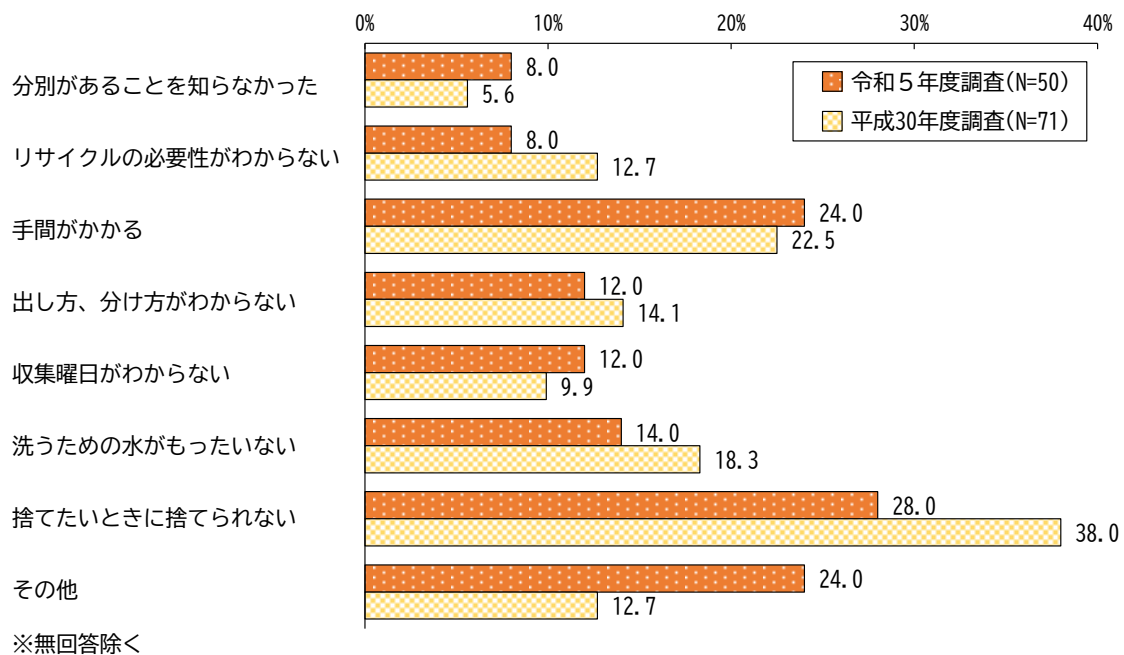


①-2 「缶・びん」 分別しない理由

問4. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「缶・びん」を分別しない理由について、市全体でみると「捨てたいときに捨てられない」の割合が28.0%と最も高く、次いで「手間がかかる」が24.0%、「洗うための水がもったいない」が14.0%となっている。

前回調査と比較すると、「捨てたいときに捨てられない」の割合が10.0ポイントと大きく低下しており、「リサイクルの必要性がわからない」「洗うための水がもったいない」も4ポイント程低下している。



単位：%

	回答者数(N)	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他
全 体	50	8.0	8.0	24.0	12.0	12.0	14.0	28.0	24.0
居住地別	堺区	7	14.3	-	42.9	-	-	42.9	-
	中区	4	-	25.0	-	-	-	50.0	25.0
	東区	7	-	14.3	42.9	-	28.6	14.3	14.3
	西区	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0
	南区	12	16.7	-	16.7	16.7	8.3	33.3	33.3
	北区	14	-	7.1	21.4	14.3	28.6	21.4	28.6
	美原区	1	100.0	-	-	-	-	-	-
年代別	20代以下	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	30代	9	-	11.1	22.2	22.2	-	55.6	22.2
	40代	13	7.7	7.7	15.4	30.8	7.7	30.8	7.7
	50代	12	-	-	41.7	-	50.0	16.7	25.0
	60代	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7
	70代以上	10	10.0	20.0	20.0	-	10.0	30.0	30.0

②-1 「プラスチック製容器包装」 分別の頻度

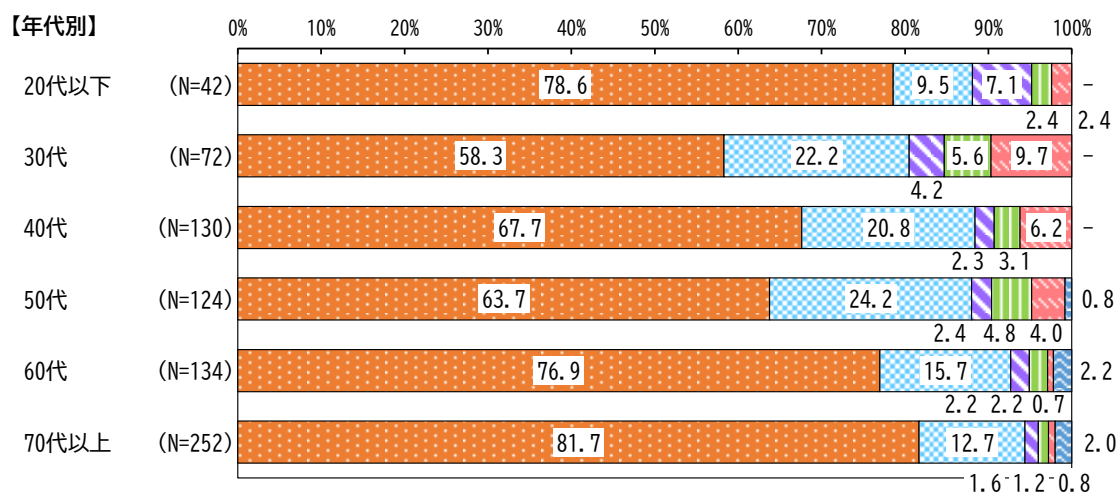
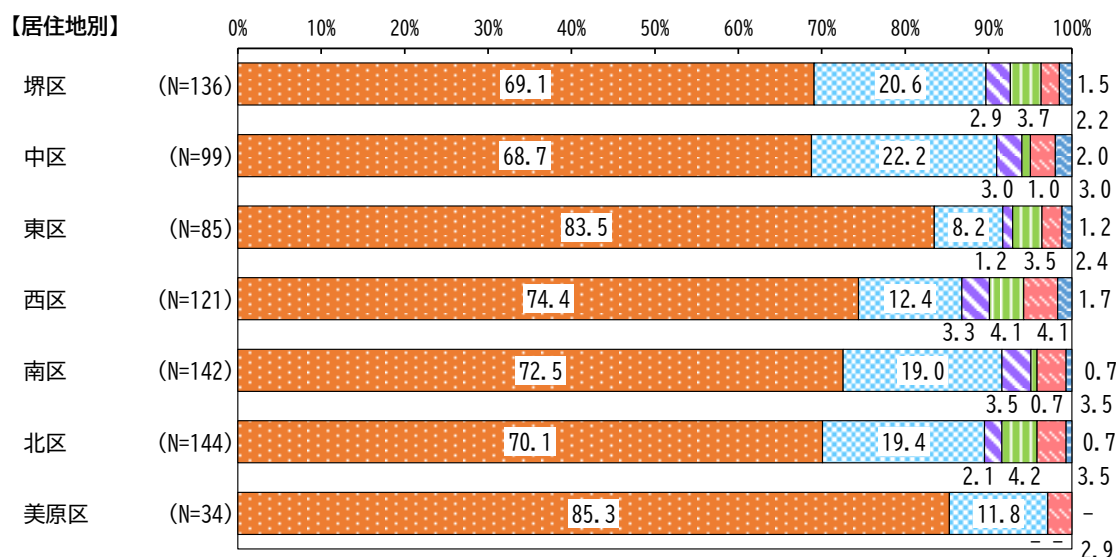
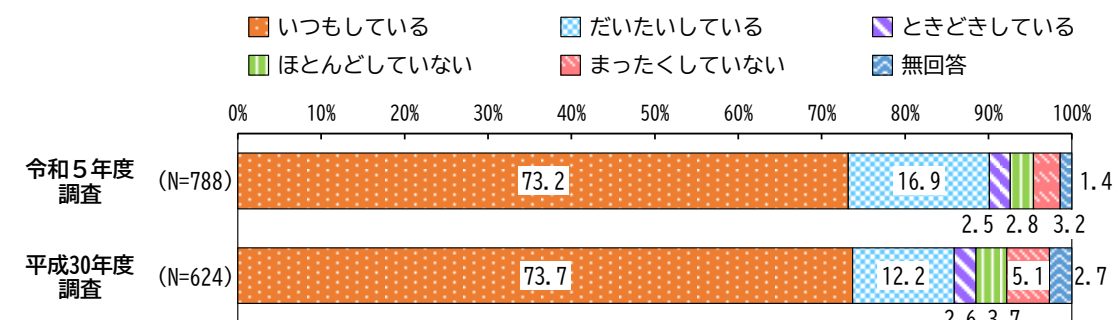
問5. 「プラスチック製容器包装」を出す際、どの程度分別していますか。(〇はひとつだけ)

「プラスチック製容器包装の分別」について、市全体でみると「いつもしている」が73.2%と最も高く、次いで「だいたいしている」は16.9%となっている。

前回調査と比較すると、「いつもしている」の割合に大きな差はみられないが、「だいたいしている」が4.7ポイント上昇している。

居住地別にみると、「いつもしている」の割合は東区、美原区で85%前後と高めである。

年代別にみると、「いつもしている」の割合は30代で58.3%と他の年代より低めである。

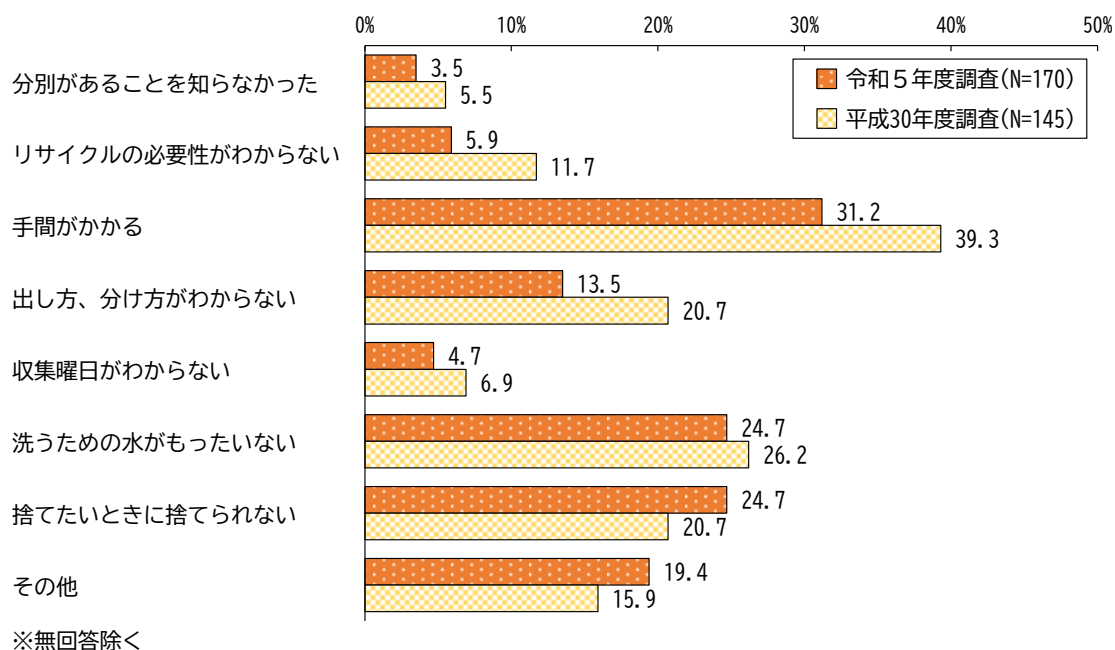


②-2 「プラスチック製容器包装」 分別の頻度

問6. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「プラスチック製容器包装」を分別しない理由について、市全体でみると「手間がかかる」が31.2%と最も高く、次いで「洗うための水がもったいない」「捨てたいときに捨てられない」が24.7%となっている。

前回調査と比較すると、「手間がかかる」「出し方、分け方がわからない」「リサイクルの必要性がわからない」の割合が低下している。



単位：％

		回答者数（N）	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもたない	捨てられないときに	その他
全 体		170	3.5	5.9	31.2	13.5	4.7	24.7	24.7	19.4
居住地別	堺区	33	3.0	3.0	27.3	18.2	-	24.2	18.2	21.2
	中区	25	-	8.0	40.0	4.0	-	28.0	40.0	12.0
	東区	13	7.7	7.7	23.1	7.7	-	23.1	15.4	38.5
	西区	22	-	13.6	40.9	22.7	9.1	22.7	27.3	18.2
	南区	32	6.3	6.3	21.9	6.3	-	25.0	28.1	21.9
	北区	37	2.7	2.7	35.1	21.6	13.5	24.3	16.2	18.9
	美原区	5	20.0	-	40.0	-	-	40.0	20.0	-
年代別	20代以下	9	-	-	66.7	11.1	-	55.6	44.4	-
	30代	28	3.6	3.6	28.6	21.4	10.7	17.9	28.6	14.3
	40代	41	4.9	7.3	24.4	19.5	2.4	29.3	29.3	14.6
	50代	43	-	-	34.9	14.0	2.3	16.3	18.6	27.9
	60代	21	9.5	14.3	28.6	4.8	-	33.3	9.5	33.3
	70代以上	24	4.2	12.5	33.3	4.2	8.3	25.0	20.8	16.7

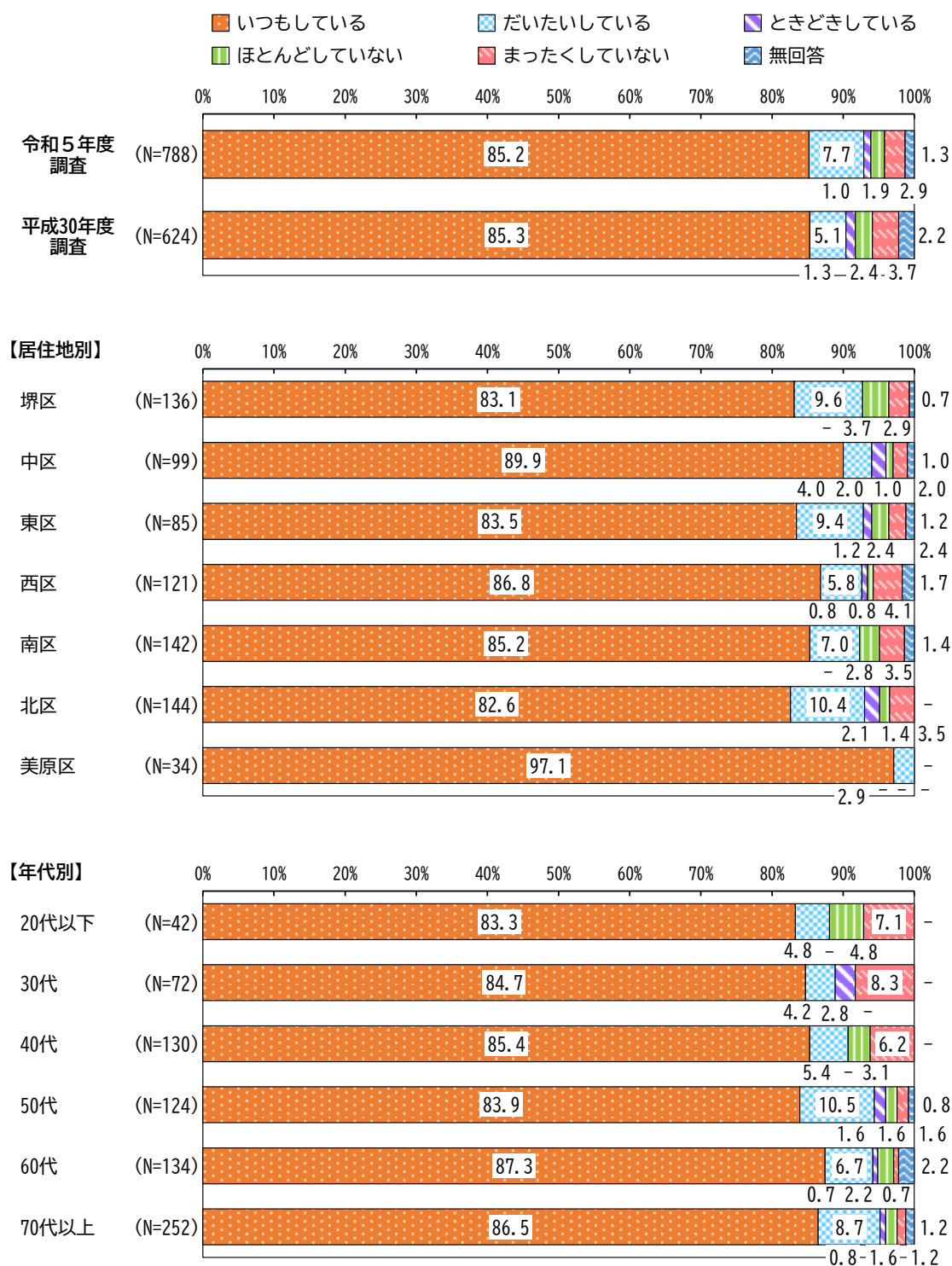
③-1 「ペットボトル」 分別の頻度

問7. 「ペットボトル」のキャップとラベルをはずして、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

「ペットボトル」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が85.2%と多数を占める。前回調査と比較して大きな差はみられない。

居住地別にみると、「いつもしている」の割合は美原区で97.1%と他区に比べて高めである(美原区はサンプル数が少ない点に留意が必要である)。

年代別にみると、「いつもしている」の割合に大きな差はみられないが、「まったくしていない」の割合は40代以下で5%を超えており、他の年代に比べて高めである。

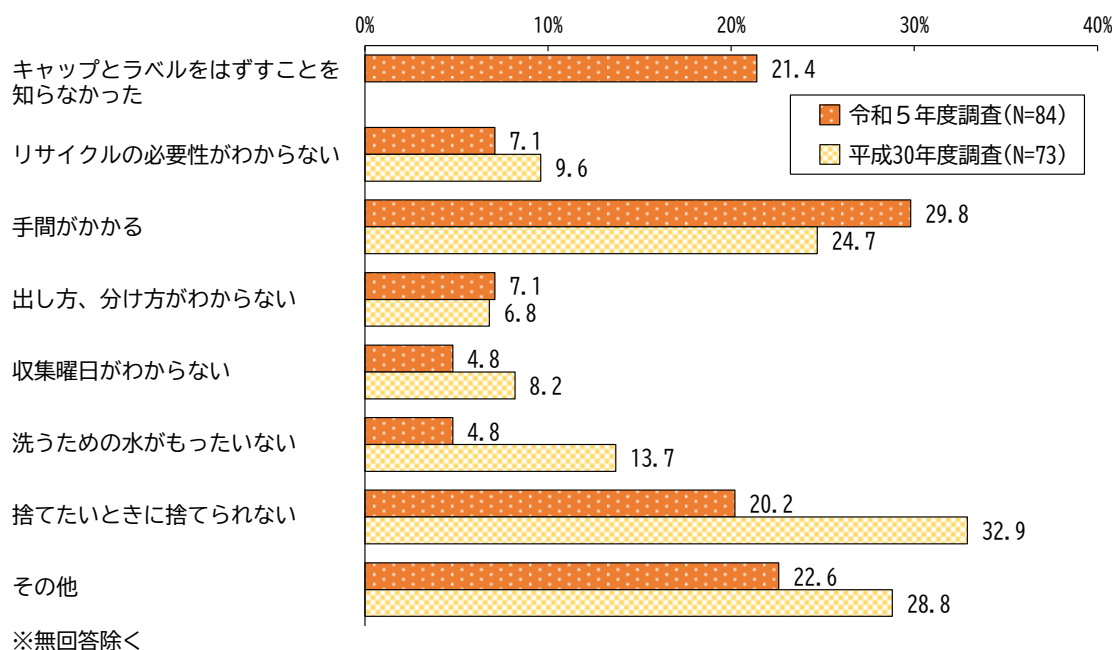


③-2 「ペットボトル」 分別しない理由

問8. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「ペットボトル」を分別しない理由について、市全体でみると「手間がかかる」が29.8%と最も高く、次いで「キャップとラベルをはずすことを知らなかった」が21.4%、「捨てたいときに捨てられない」が20.2%となっている。

前回調査と比較すると、「手間がかかる」の割合が5.1ポイント上昇し、「捨てたいときに捨てられない」「洗うための水がもったいない」の割合が低下している。



単位：%

		回答者数（N）	キャップとラベルをはずすことができなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他
全 体		84	21.4	7.1	29.8	7.1	4.8	4.8	20.2	22.6
居住地別	堺区	15	40.0	-	26.7	6.7	6.7	-	6.7	20.0
	中区	7	14.3	14.3	14.3	-	-	-	57.1	-
	東区	13	15.4	7.7	23.1	7.7	-	15.4	15.4	30.8
	西区	11	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	-	36.4	18.2
	南区	13	15.4	7.7	38.5	-	7.7	-	15.4	23.1
	北区	21	23.8	4.8	47.6	14.3	-	9.5	14.3	19.0
	美原区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年代別	20代以下	7	-	14.3	42.9	-	14.3	-	-	28.6
	30代	11	18.2	9.1	45.5	18.2	9.1	-	36.4	27.3
	40代	19	21.1	5.3	21.1	10.5	10.5	5.3	21.1	15.8
	50代	18	16.7	-	33.3	11.1	-	16.7	22.2	27.8
	60代	11	45.5	9.1	18.2	-	-	-	9.1	18.2
	70代以上	14	28.6	14.3	35.7	-	-	-	14.3	14.3

④-1 「小型金属」 分別の頻度

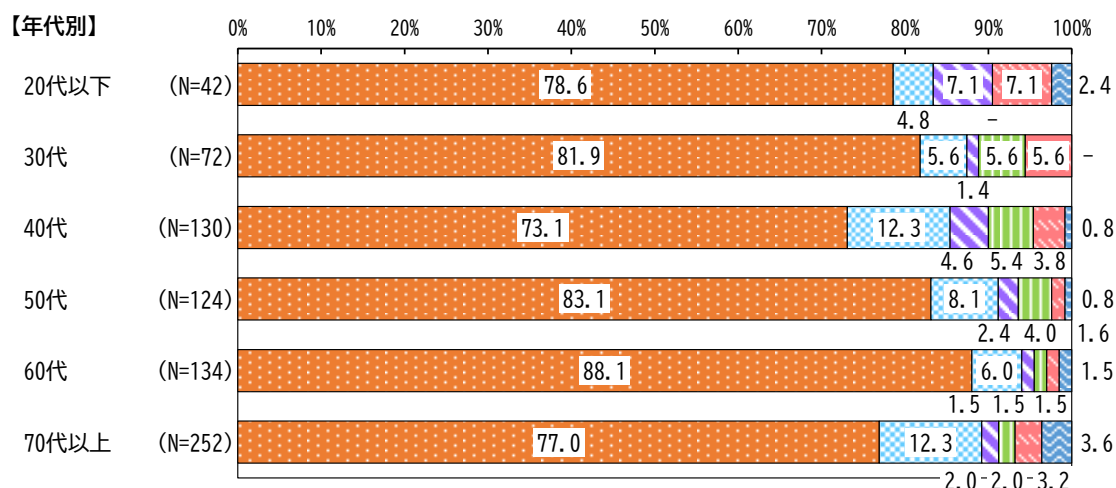
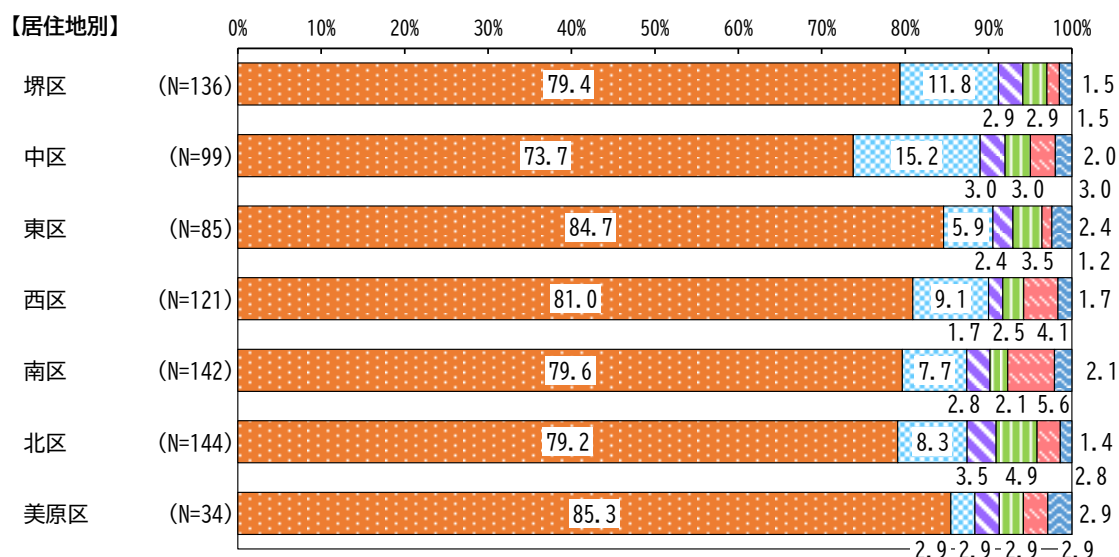
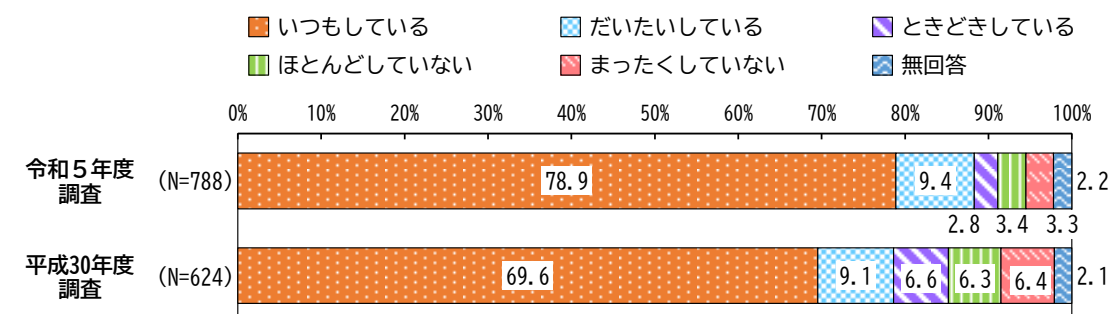
問9. 「小型金属」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

「小型金属」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が78.9%と最も高く、次いで「だいたいしている」が9.4%である。

前回調査と比較すると、「いつもしている」の割合が9.3ポイント高くなっている。

居住地別にみると、「いつもしている」の割合は東区、西区、美原区で8割と他区に比べて高めである。

年代別にみると、「いつもしている」の割合は30代、50代、60代で8割と他の年代に比べて高めである。

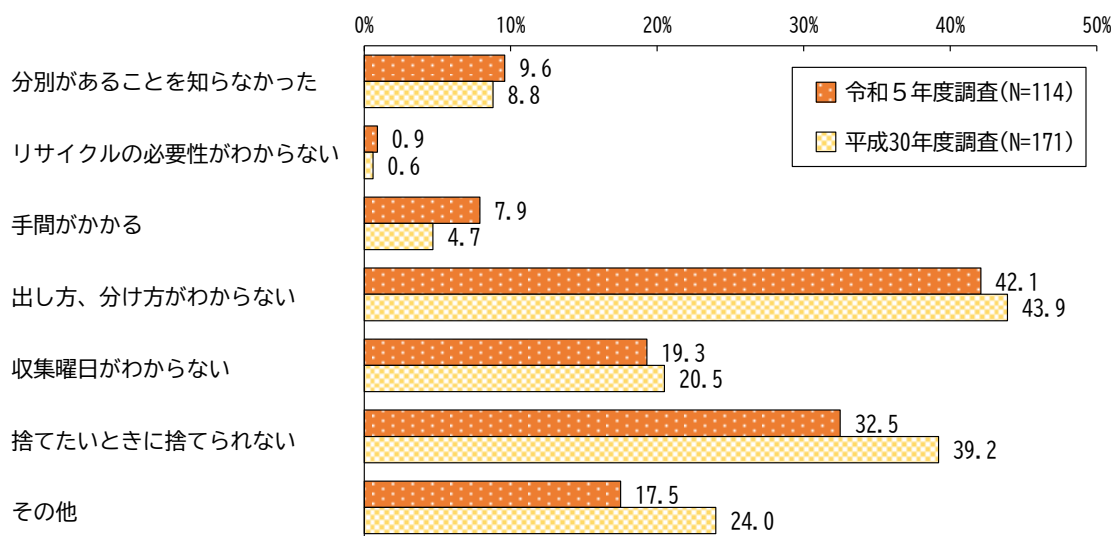


④-2 「小型金属」 分別しない理由

問 10. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

「小型金属」を分別しない理由について、市全体でみると「出し方、分け方がわからない」が42.1%と最も高く、次いで「捨てたいときに捨てられない」が32.5%、「収集曜日がわからない」が19.3%となっている。

前回調査と比較すると、「捨てたいときに捨てられない」の割合が6.7ポイント低下している。



※無回答除く

単位：％

	回答者数(N)	を分別 知らな いこと	リサイ クルの 必要が ない	手間 がか かる	出し 方、 分け 方が わから ない	収集 曜日 がわか らない	捨て たい とき に捨て られ ない	そ の 他
全 体	114	9.6	0.9	7.9	42.1	19.3	32.5	17.5
居住地別	堺区	20	10.0	-	40.0	15.0	45.0	10.0
	中区	18	5.6	-	33.3	16.7	44.4	11.1
	東区	6	-	-	16.7	33.3	16.7	50.0
	西区	17	-	-	11.8	47.1	41.2	35.3
	南区	20	15.0	-	10.0	45.0	20.0	5.0
	北区	24	16.7	4.2	12.5	50.0	29.2	8.3
	美原区	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0
年代別	20代以下	8	-	-	87.5	-	-	12.5
	30代	12	8.3	-	25.0	33.3	50.0	16.7
	40代	32	6.3	-	3.1	50.0	28.1	18.8
	50代	20	5.0	-	20.0	40.0	15.0	10.0
	60代	12	8.3	-	8.3	25.0	8.3	41.7
	70代以上	21	23.8	4.8	-	38.1	9.5	19.0

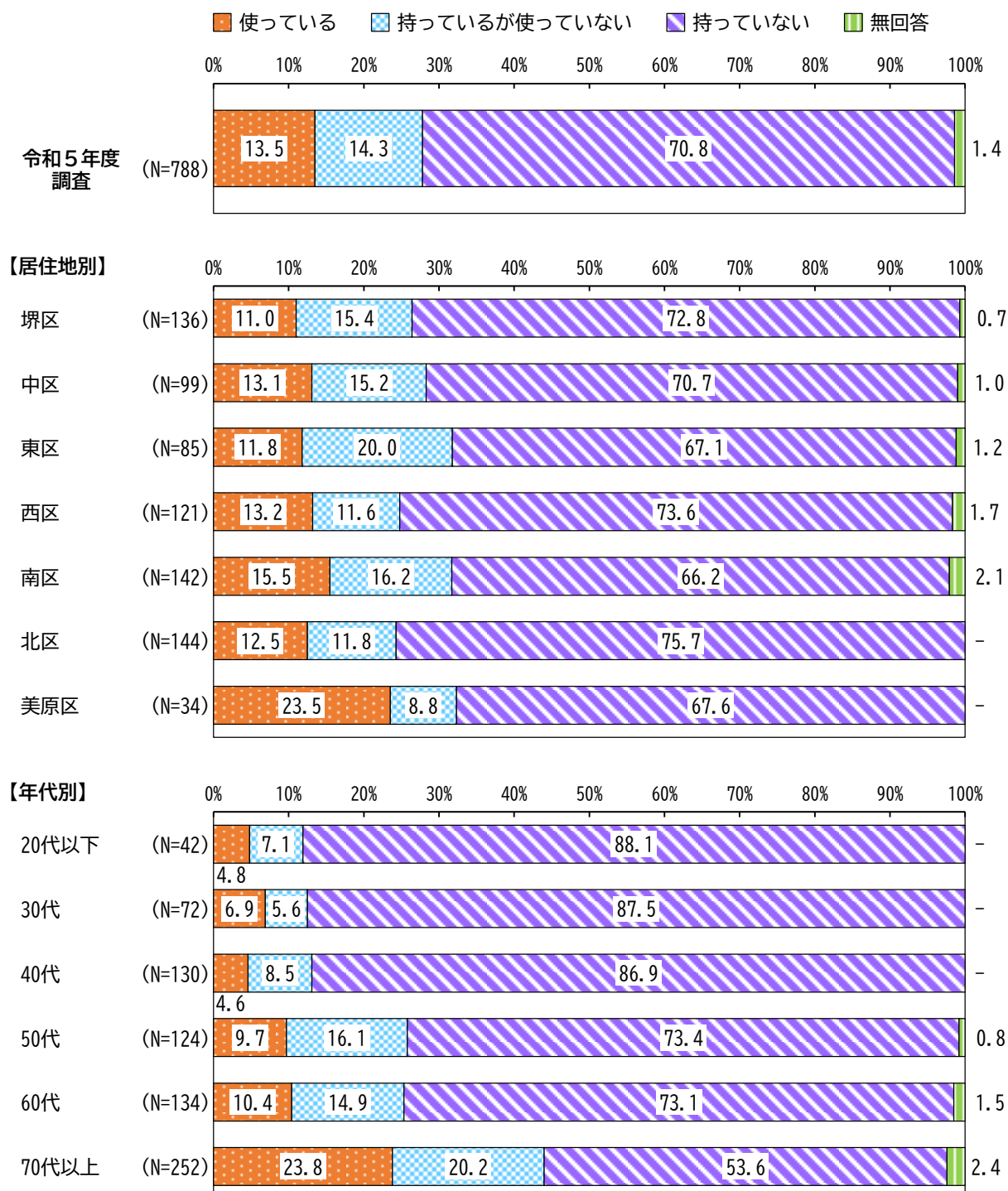
④-1 「蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等」 利用状況

問 11. ご家庭では水銀体温計を使っていますか。(○はひとつだけ)

水銀体温計について、市全体でみると「使っている」の割合が13.5%、「持っているが使ってない」が14.3%で、水銀体温計を所有している割合は27.8%である。

居住地別にみると、水銀体温計を所有している割合が3割を超えているのは、東区、南区、美原区であった。

年代別にみると、水銀体温計を所有している割合は40代以下では1割程だが、50～60代で25%程、70代以上の44.0%と高めである。



④-2 「蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等」 分別の頻度

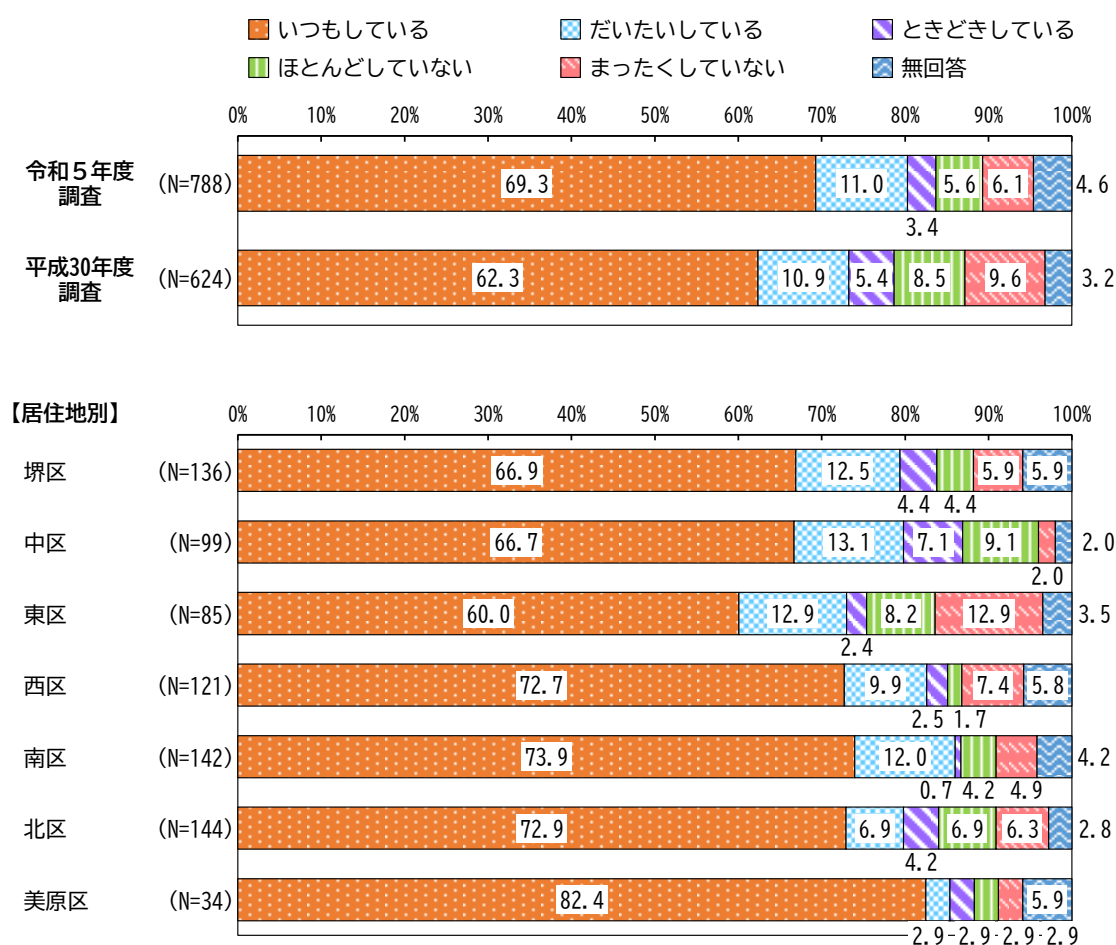
問 12. 「蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等」を出す際、どの程度分別していますか。(○はひとつだけ)

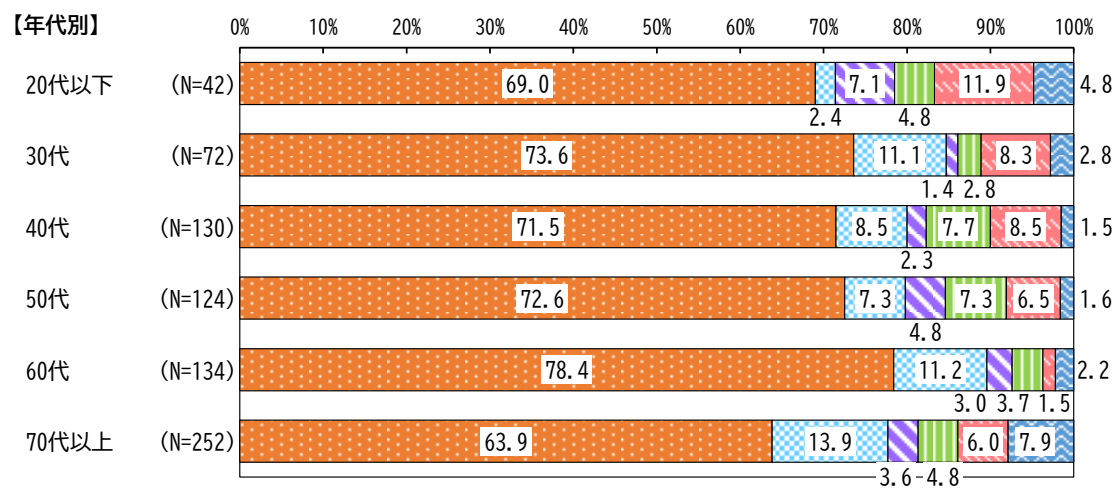
「蛍光灯・ボタン電池・水銀体温計等」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が69.3%と最も高く、次いで「だいたいしている」は11.0%となっている。

前回調査と比較すると、「いつもしている」の割合は前回調査より7.0ポイント高くなっている。

居住地別にみると、「いつもしている」の割合は美原区で82.4%と比較的高く、東区で60.0%と他区に比べて低くなっている（美原区はサンプル数が少ない点に留意が必要である）。

年代別にみると、20代以下で「まったくしていない」の割合が11.9%と他の年代に比べて高くなっている。



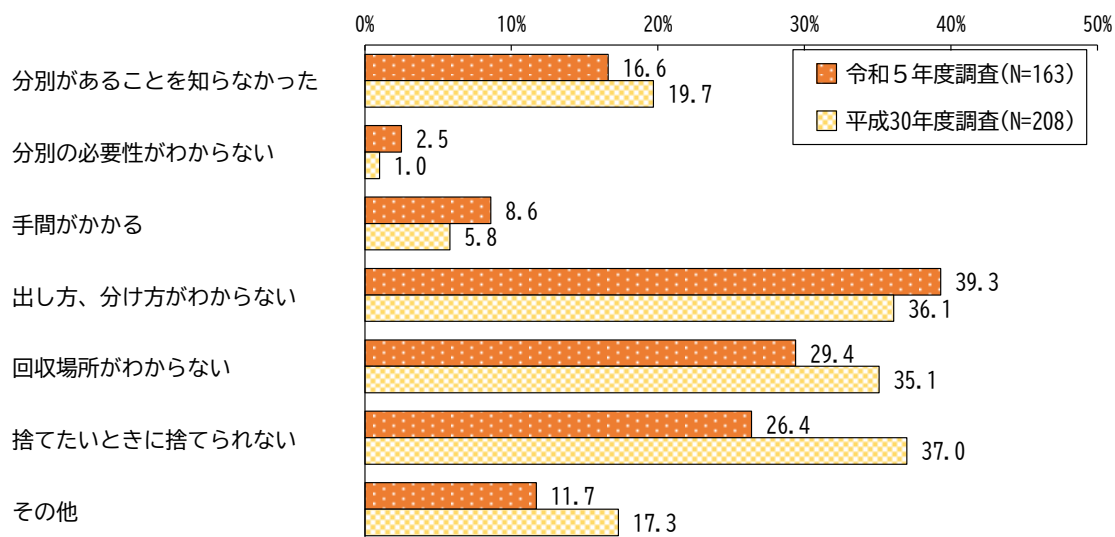


④-3 「蛍光灯・ボタン電池・水銀体温計等」 分別しない理由

問 13. 分別をしないときの理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

「蛍光灯・ボタン電池・水銀体温計等」を分別しない理由について、市全体でみると「出し方、分け方がわからない」が 39.3%と最も高く、次いで「回収場所がわからない」が 29.4%、「捨てたいときに捨てられない」が 26.4%となっている。

前回調査と比較すると、「回収場所がわからない」「捨てたいときに捨てられない」の割合が低下し、「出し方、分け方がわからない」の割合が僅かながら上昇している。



※無回答除く

単位：％

		回答者数 (N)	を分別 知らな なかつ たこと	わ分別 か の必要 性が	手間 が か か る	が 出 し 方 、 分 け 方	ら回 収 場 所 が わ か ら ない	捨 て た い と き に 捨 て ら れ ない	そ の 他
全 体		163	16.6	2.5	8.6	39.3	29.4	26.4	11.7
居住地別	堺区	30	20.0	3.3	6.7	16.7	26.7	33.3	10.0
	中区	24	12.5	4.2	8.3	45.8	20.8	25.0	4.2
	東区	27	14.8	-	7.4	40.7	22.2	25.9	18.5
	西区	17	11.8	5.9	17.6	23.5	29.4	35.3	17.6
	南区	22	18.2	-	4.5	54.5	45.5	9.1	4.5
	北区	32	15.6	3.1	12.5	43.8	21.9	31.3	18.8
	美原区	3	33.3	-	-	100.0	-	-	-
年代別	20代以下	11	9.1	-	-	54.5	9.1	9.1	18.2
	30代	15	6.7	6.7	33.3	40.0	26.7	46.7	13.3
	40代	33	21.2	-	3.0	48.5	30.3	18.2	9.1
	50代	31	3.2	-	19.4	32.3	16.1	35.5	22.6
	60代	24	12.5	-	8.3	20.8	45.8	41.7	4.2
	70代以上	40	30.0	5.0	-	42.5	25.0	15.0	10.0

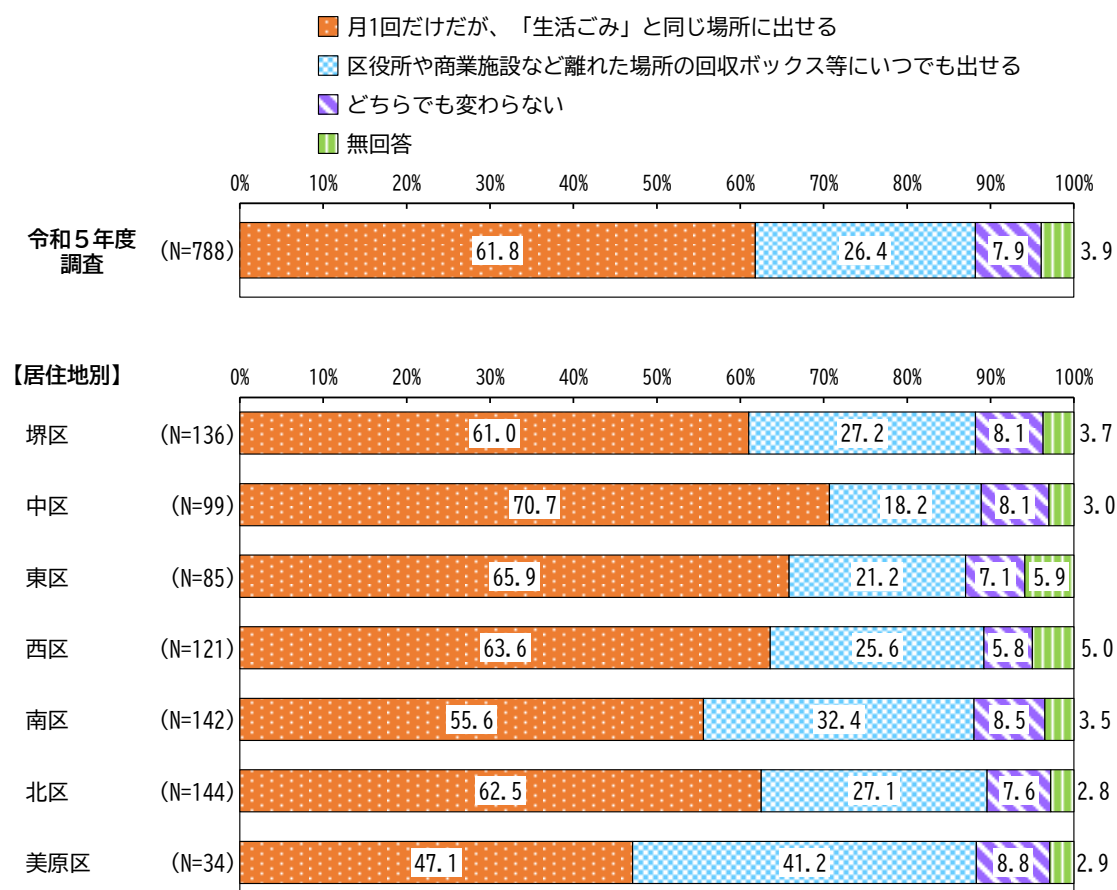
④-4 「蛍光管・ボタン電池・水銀体温計等」 希望する排出方法

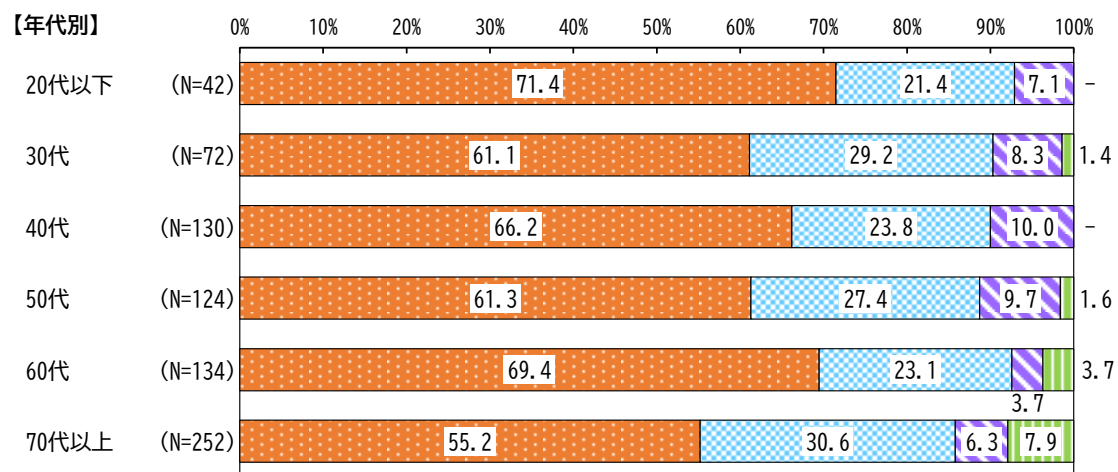
問 14. 「蛍光管や小型家電（デジタルカメラ・携帯電話・音楽プレーヤー等）」は、次のどちらが出しやすいですか。（○はひとつだけ）

「蛍光管や小型家電（デジタルカメラ・携帯電話・音楽プレーヤー等）」の出し方について、市全体でみると「月1回だけだが、「生活ごみ」と同じ場所に出せる」が61.8%と最も高く、次いで「区役所や商業施設など離れた場所の回収ボックス等にいつでも出せる」が26.4%となっている。

居住地別にみると、すべてのエリアで「月1回だけだが、「生活ごみ」と同じ場所に出せる」の割合が最も高く、美原区では「区役所や商業施設など離れた場所の回収ボックス等にいつでも出せる」が41.2%と他区に比べて高くなっている（美原区はサンプル数が少ない点に留意が必要である）。

年代別にみると、すべての年代で「月1回だけだが、「生活ごみ」と同じ場所に出せる」の割合が最も高くなっている。





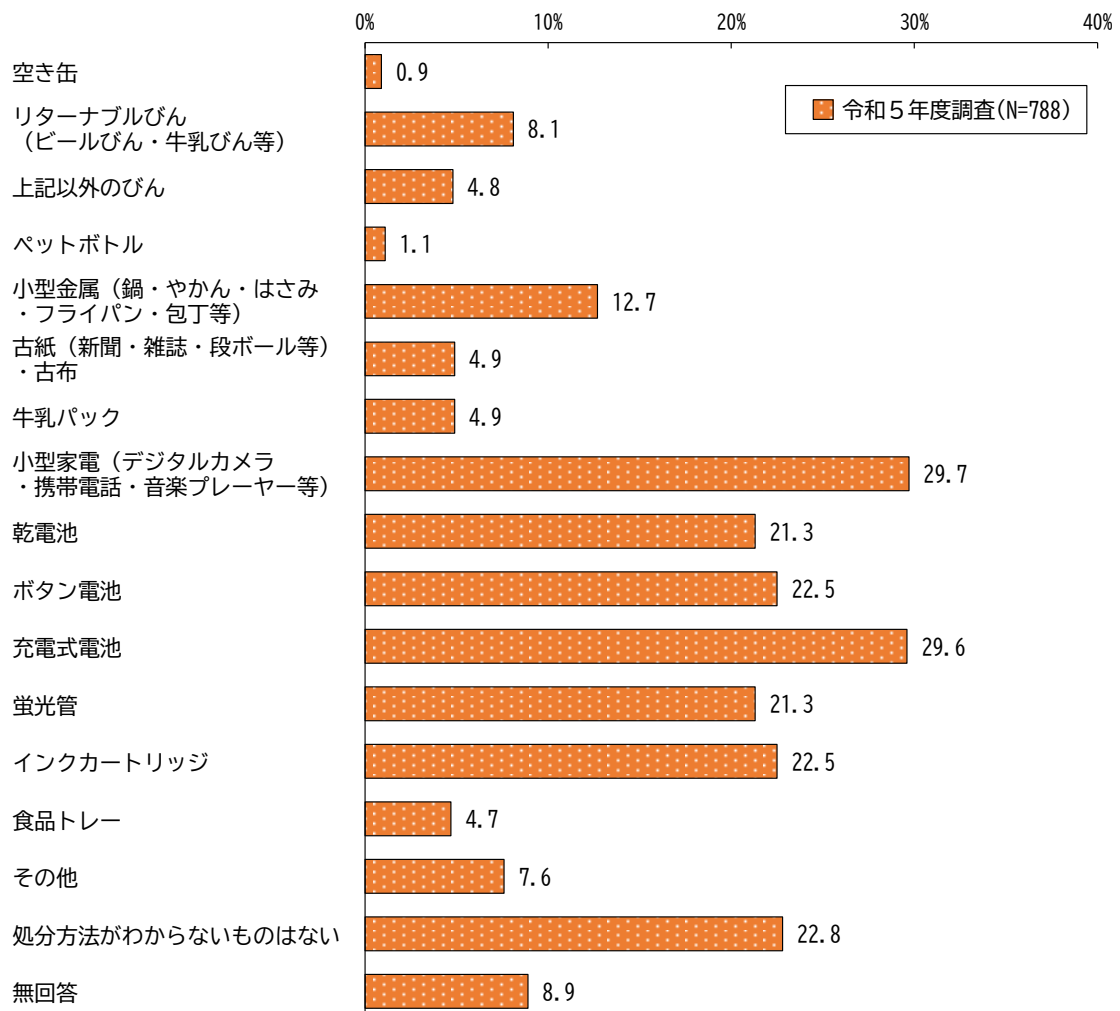
(4) 処分方法がわからない品目

問 15. 不要になったとき、処分方法がわからない品目をお選びください。(○はいくつでも)

不要になったとき、処分方法がわからない品目について、市全体でみると「小型家電」が29.7%と最も高く、「充電式電池」が29.6%、「ボタン電池」「インクカートリッジ」が22.5%、「乾電池」「蛍光管」が21.3%と、6項目で20%を超えている。また、「処分方法がわからないものはない」は22.8%である。

居住地別にみると、堺区で「インクカートリッジ」「充電式電池」、東区で「小型家電」、「乾電池」「充電式電池」「蛍光管」、北区で「小型金属」の割合が他区に比べて高めである。美原区で「処分方法がわからないものはない」の割合が高めである（美原区はサンプル数が少ない点に留意が必要である）。

年代別にみると、20代以下で「処分方法がわからないものはない」の割合が14.3%と他の年代に比べて低く、「小型金属」「小型家電」「ボタン電池」「充電式電池」「蛍光管」の割合が高めである。



単位：％

		回答者数(N)	空き缶	リターナブルびん(ビールびん・牛乳びん等)	上記以外のびん	ペットボトル	小型金属(鍋・やかん・はさみ・フライパン・包丁等)	古紙(新聞・雑誌・段ボール等)・古布	牛乳パック	小型家電(デジタルカメラ・携帯電話・音楽プレーヤー等)	乾電池	ボタン電池	充電式電池	蛍光管	インクカートリッジ	食品トレー	その他	処分方法がわからないものはない	無回答
全 体		788	0.9	8.1	4.8	1.1	12.7	4.9	4.9	29.7	21.3	22.5	29.6	21.3	22.5	4.7	7.6	22.8	8.9
居住地別	堺区	136	0.7	11.8	5.9	0.7	12.5	4.4	5.9	32.4	24.3	27.2	34.6	25.0	33.8	4.4	7.4	21.3	4.4
	中区	99	-	10.1	2.0	-	11.1	4.0	5.1	30.3	22.2	23.2	32.3	24.2	25.3	3.0	4.0	24.2	8.1
	東区	85	-	11.8	5.9	1.2	10.6	5.9	5.9	40.0	29.4	27.1	38.8	30.6	25.9	3.5	7.1	18.8	14.1
	西区	121	2.5	6.6	8.3	1.7	9.9	5.8	5.0	22.3	20.7	25.6	33.1	17.4	15.7	6.6	9.1	27.3	6.6
	南区	142	-	6.3	1.4	0.7	13.4	4.2	4.2	28.2	15.5	16.9	18.3	17.6	22.5	4.2	5.6	21.8	12.7
	北区	144	0.7	6.3	4.9	1.4	18.8	6.3	3.5	33.3	19.4	19.4	27.8	19.4	15.3	4.2	11.8	23.6	6.3
	美原区	34	2.9	-	-	2.9	-	-	2.9	20.6	11.8	5.9	14.7	2.9	11.8	8.8	8.8	32.4	14.7
年代別	20代以下	42	-	4.8	4.8	-	26.2	9.5	2.4	45.2	26.2	33.3	42.9	38.1	26.2	4.8	7.1	14.3	2.4
	30代	72	2.8	12.5	8.3	5.6	18.1	20.8	11.1	40.3	26.4	26.4	36.1	27.8	25.0	5.6	1.4	26.4	4.2
	40代	130	1.5	13.1	7.7	0.8	22.3	6.9	6.2	30.0	19.2	23.1	33.8	17.7	19.2	5.4	13.1	20.0	6.9
	50代	124	-	11.3	3.2	-	9.7	2.4	4.8	29.8	20.2	22.6	32.3	18.5	24.2	4.0	10.5	21.0	4.8
	60代	134	0.7	6.0	2.2	1.5	6.0	2.2	3.7	25.4	14.9	16.4	23.1	15.7	20.9	6.0	8.2	32.8	5.2
	70代以上	252	0.8	4.8	3.6	0.8	8.7	1.2	3.6	27.8	22.6	21.0	24.6	21.8	21.8	4.0	5.6	21.8	15.5

(5)各種資源物の出し方

ア. 各種資源物の出し方

問 16. ①～⑭の資源物等が不要になったとき、どのように処理しますか。
(それぞれ〇はいくつでも)

各種資源物の出し方について、『①空き缶』『②リターナルびん』『③リターナル以外のびん』『④ペットボトル』『⑤小型金属』『⑭食品トレー』は「市の各資源物の収集」が5割程である。前回調査と比較すると、いずれの項目も「市の「生活ごみ」収集」を利用する割合が上昇している。

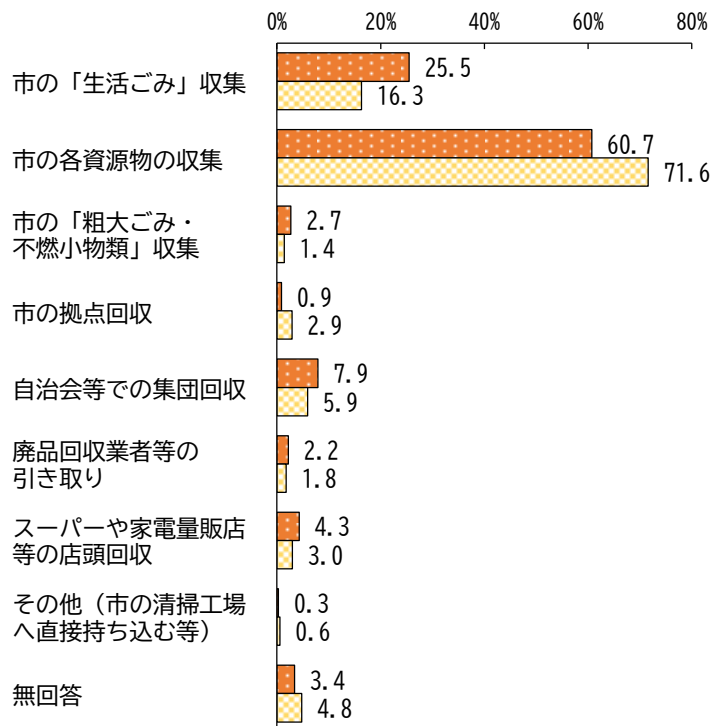
『⑥古紙・古布』は「自治会等での集団回収」が45.8%で前回調査と比べて低下しており、「市の「生活ごみ」の収集」を利用する割合が僅かながら上昇している。

「市の拠点回収」を実施している項目について、『⑨乾電池』『⑩ボタン電池』『⑫蛍光管』は14%程、『⑤小型家電』『⑬インクカートリッジ』は6%程と低めで、「スーパーや家電量販店等の店頭回収」が比較的に利用されている。前回調査と比較すると、『⑨乾電池』『⑩ボタン電池』『⑫蛍光管』『⑬インクカートリッジ』は「市の拠点回収」「スーパーや家電量販店等の店頭回収」とともに割合が概ね上昇し、『⑤小型家電』は「市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集」の割合が上昇している。

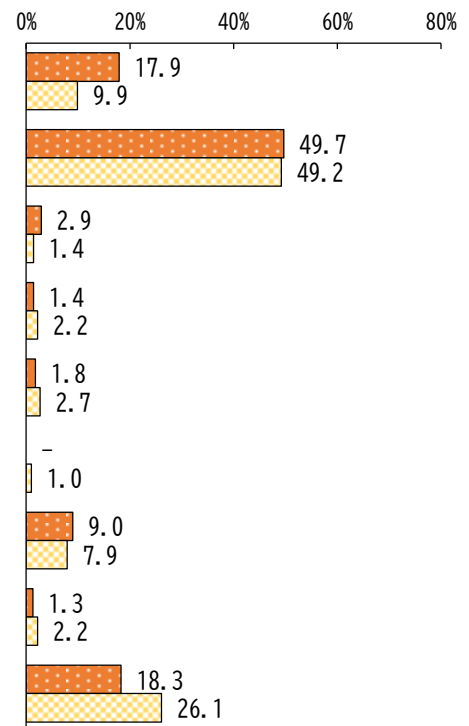
単位：％

	回答者数(N)	市の「生活ごみ」収集	市の各資源物の収集	市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集	市の拠点回収	自治会等での集団回収	廃品回収業者等の引き取り	スーパーや家電量販店等の店頭回収	その他（工場・直営店・清掃等）	無回答
① 空き缶	788	25.5	60.7	2.7	0.9	7.9	2.2	4.3	0.3	3.4
② リターナルびん	788	17.9	49.7	2.9	1.4	1.8	-	9.0	1.3	18.3
③ 上記②以外のびん	788	20.6	56.0	5.1	1.3	2.7	0.4	2.4	0.4	13.6
④ ペットボトル	788	22.3	62.2	1.4	0.5	3.0	0.1	12.6	0.1	4.1
⑤ 小型金属	788	17.3	48.9	15.9	2.4	2.7	4.4	3.0	3.0	7.9
⑥ 古紙・古布	788	26.9	9.0	0.3	1.3	45.8	13.5	3.3	0.6	5.6
⑦ 牛乳パック	788	51.4	5.6	0.3	0.3	10.2	2.8	24.1	1.0	8.5
⑧ 小型家電	788	6.6	7.1	25.3	6.0	1.5	22.8	20.6	10.7	11.0
⑨ 乾電池	788	15.6	5.7	6.2	14.8	1.0	0.5	51.4	1.4	8.6
⑩ ボタン電池	788	14.1	5.1	5.5	14.1	0.9	0.5	51.5	1.1	11.5
⑪ 充電式電池	788	11.5	4.9	6.5	11.7	0.6	1.4	45.8	3.2	18.7
⑫ 蛍光管	788	12.6	6.3	10.8	14.2	1.1	0.5	42.0	3.7	12.6
⑬ インクカートリッジ	788	20.7	3.4	2.9	6.2	1.1	0.4	46.4	2.0	20.6
⑭ 食品トレー	788	31.7	47.3	1.1	0.9	1.8	0.3	17.0	0.4	5.2

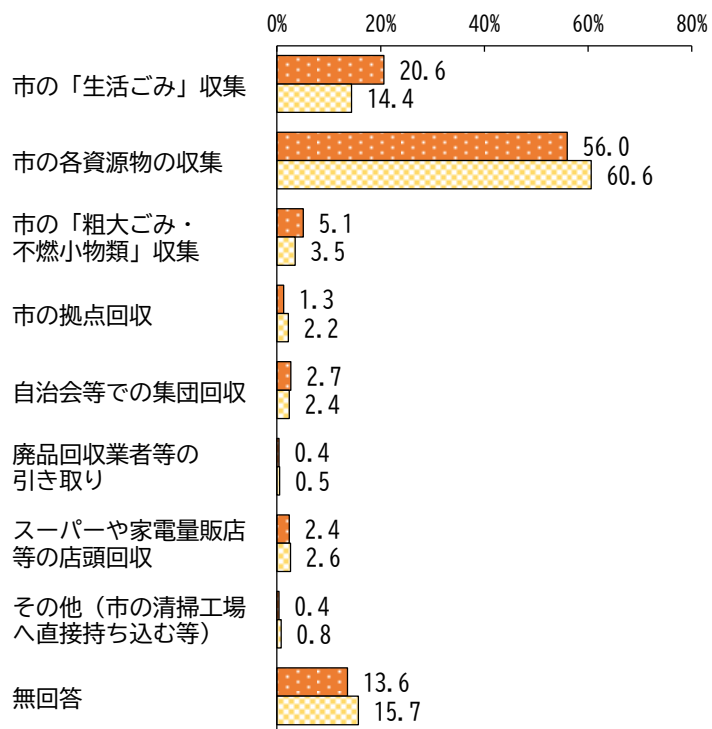
①空き缶



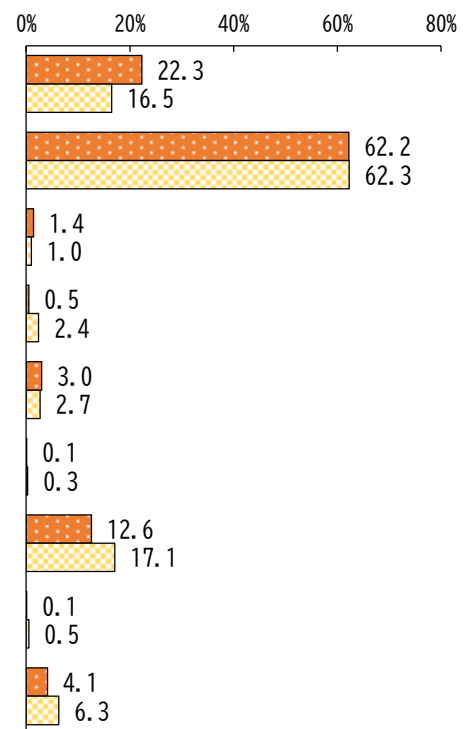
②リターナブルびん



③上記②以外のびん

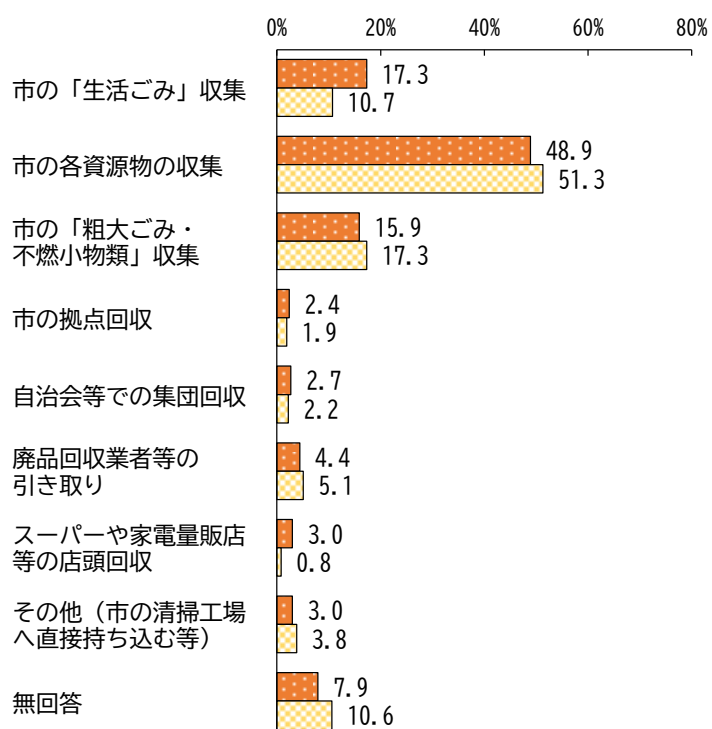


④ペットボトル

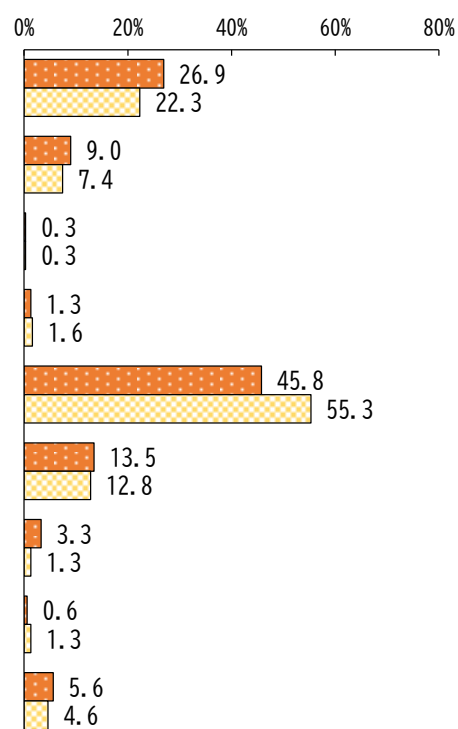


令和5年度調査(N=788)
平成30年度調査(N=624)

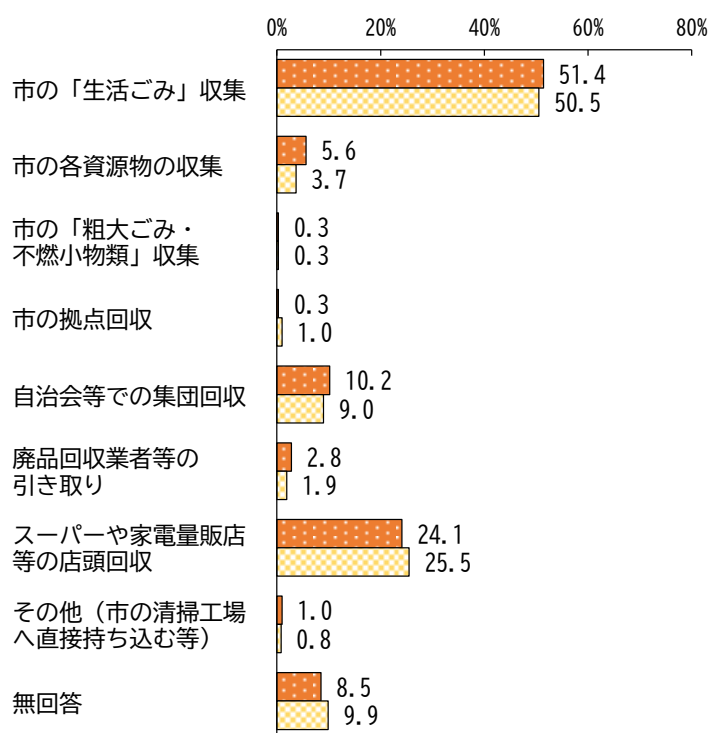
⑤小型金属



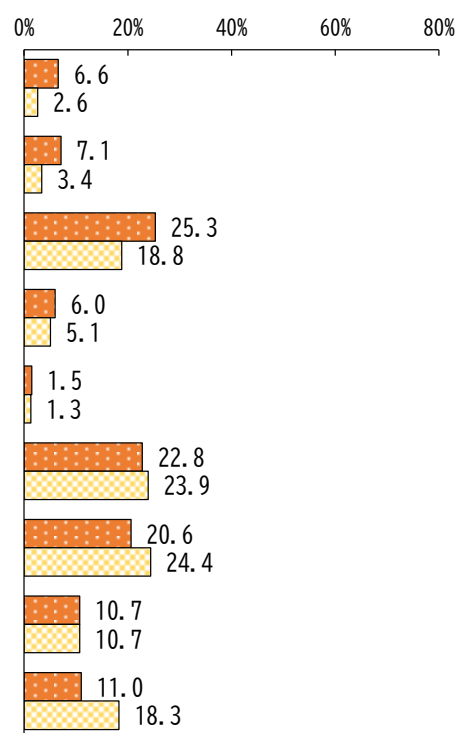
⑥古紙・古布



⑦牛乳パック

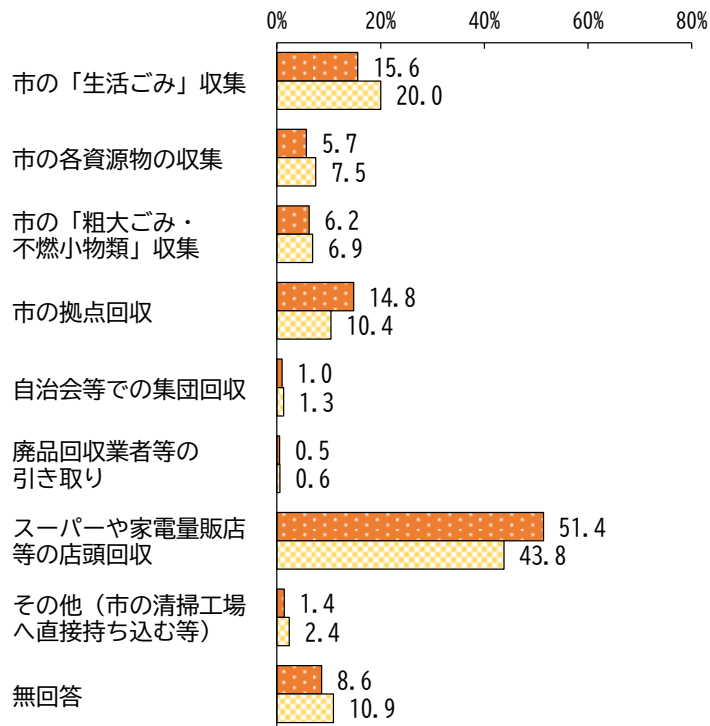


⑧小型家電

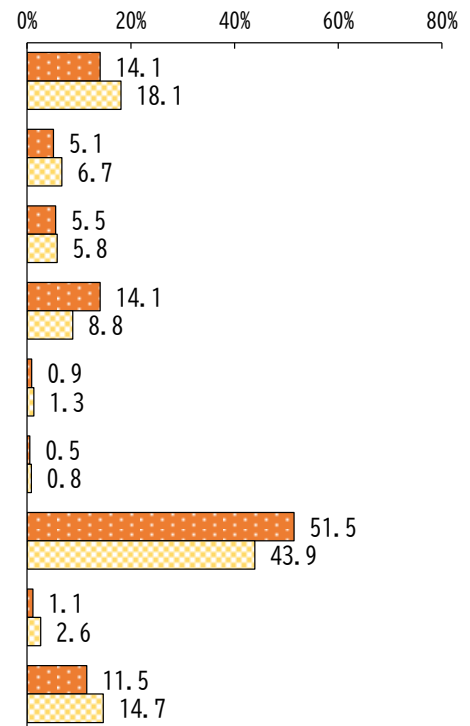


■ 令和5年度調査(N=788)
■ 平成30年度調査(N=624)

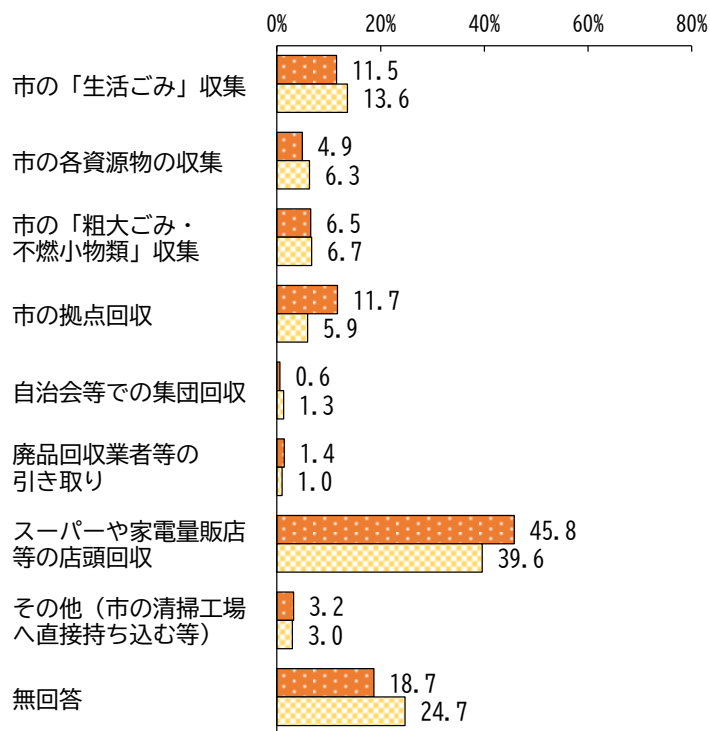
⑨乾電池



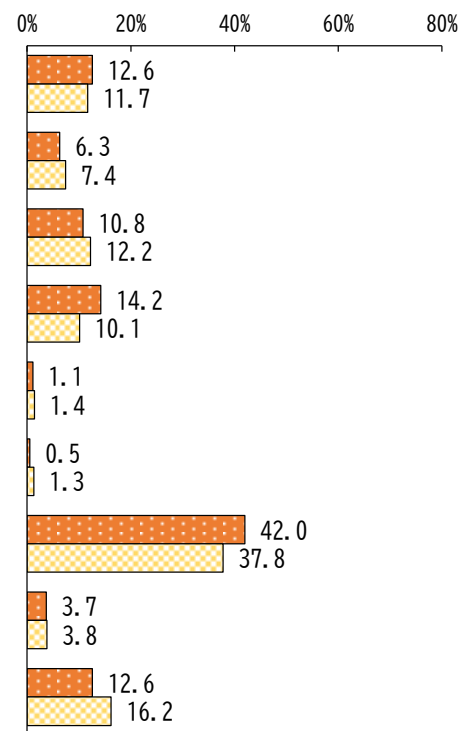
⑩ボタン電池



⑪充電式電池

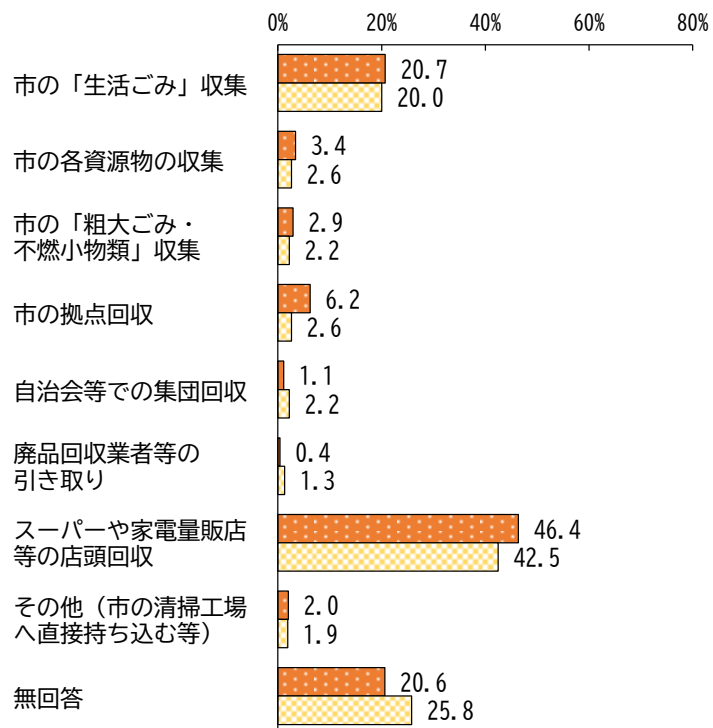


⑫蛍光管

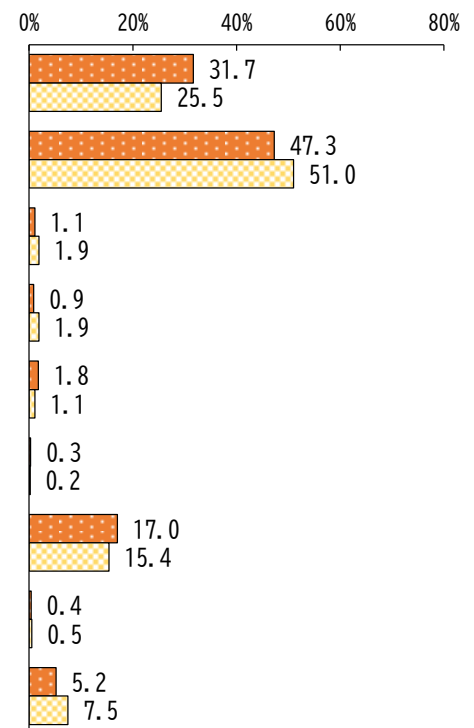


令和5年度調査(N=788)
 平成30年度調査(N=624)

⑬ インクカートリッジ



⑭ 食品トレイ



令和5年度調査(N=788)

平成30年度調査(N=624)

(6)ごみ減量・リサイクルの取組状況

問 17. 以下の行動について、次の①②③からあてはまるものをお選びください。(○はそれぞれひとつだけ)

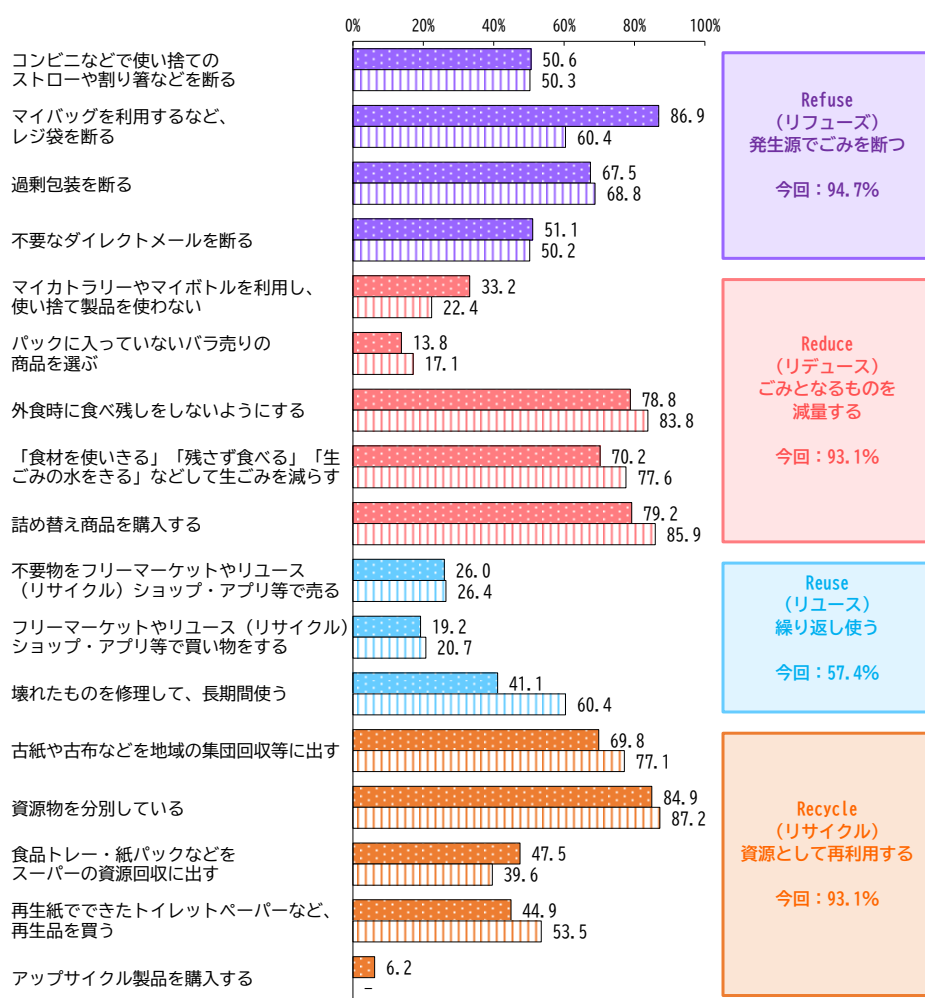
① 普段から行っているもの

ごみ減量・リサイクルの取組について、リフューズは「普段から行っている」の割合が94.7%で、「マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る」の割合が86.9%と比較的高い。その他の項目についても50%を超えている。前回調査と比較して「マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る」の割合は26.5ポイントと大きく上昇している。

リデュースを「普段から行っている」の割合は93.1%で、「外食時に食べ残しをしないようにする」「食材を使いきる」「残さず食べる」「生ごみの水をきる」などして生ごみを減らす」「詰め替え商品を購入する」の割合が7割と高めである。その他の項目は1～3割と比較的低くなっているが、前回調査と比較すると、「マイカトラリーやマイボトルを利用し、使い捨て製品を使わない」の割合が10.8ポイント上昇している。

リユースを「普段から行っている」の割合は57.4%で、「壊れたものを修理して、長期間使う」の割合が41.1%、その他の項目も1～2割と比較的低い。前回調査と比較すると、「壊れたものを修理して、長期間使う」の割合が19.3ポイント低下している。

リサイクルを「普段から行っている」の割合は93.1%で、「資源物を分別している」の割合が84.9%と高めである。前回調査と比較すると、「食品トレー・紙パックなどをスーパーの資源回収に出す」の割合が7.9ポイント上昇している。



※今回調査から「普段から行っている」「新たに取り組もうと考えている」に加えて「どちらでもない」を追加したため、単純比較には留意する必要がある。

■ 令和5年度調査(N=788)
□ 平成30年度調査(N=624)

② 今後、新たに取り組もうと考えているもの

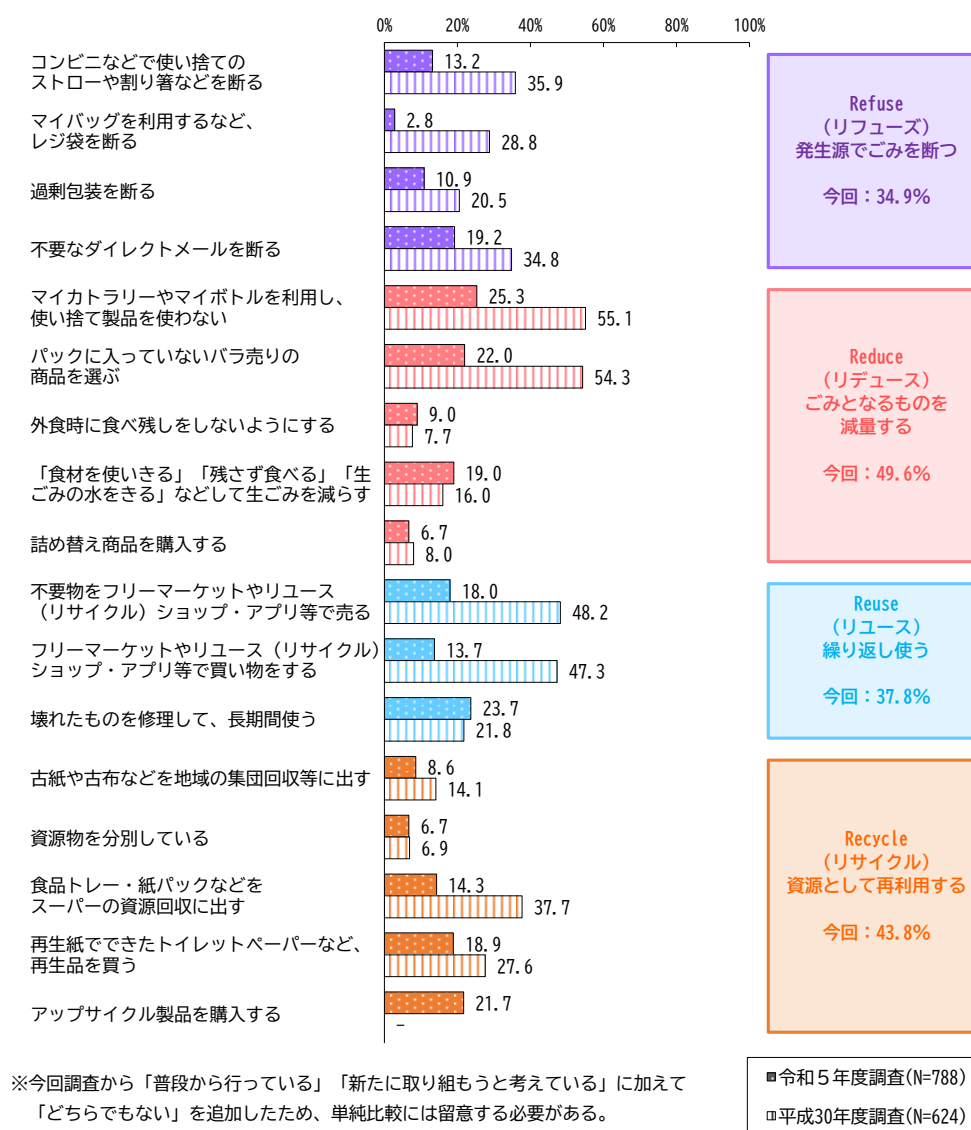
リフューズは「新たに取り組もうと考えている」の割合が34.9%で、具体的な取組は『不要なダイレクトメールを断る』が19.2%で最も高い。

リデュースは「新たに取り組もうと考えている」の割合が49.6%で、具体的な取組は「マイカトラリーやマイボトルを利用し、使い捨て製品を使わない」が25.3%、「パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ」が22.0%と2項目で20%を超えている。

リユースは「新たに取り組もうと考えている」の割合が37.8%で、具体的な取組は「壊れたものを修理して、長期間使う」が23.7%と1項目で20%を超えている。

リサイクルは「新たに取り組もうと考えている」の割合が43.8%で、具体的な取組は「アップサイクル製品を購入する」が21.7%と1項目で20%を超えている。

前回調査と比べて多くの項目で割合が低下しているものの、今回調査では聴取方法を変更しているため、比較にあたっては留意する必要がある。



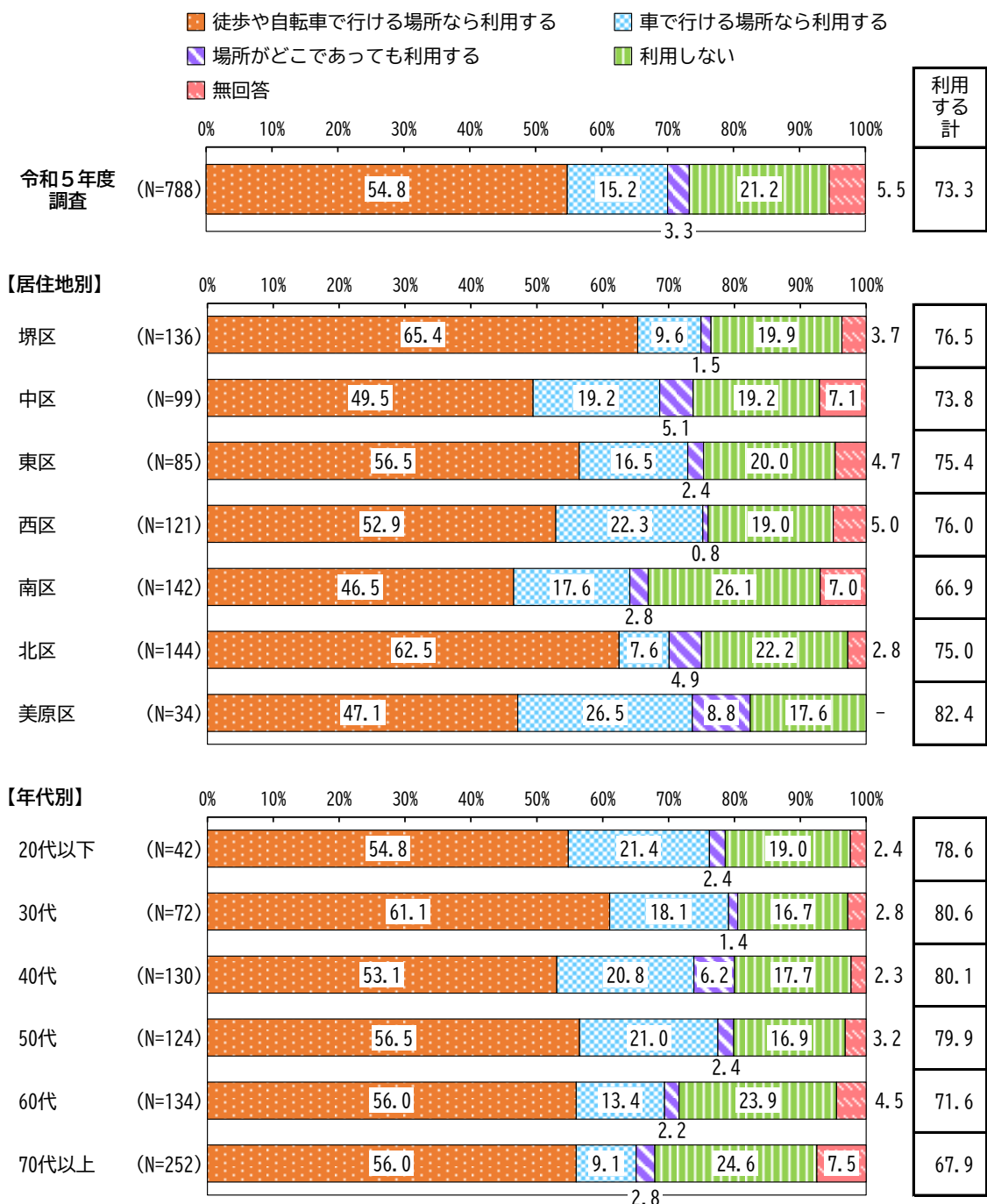
(7)無料回収拠点の利用意向

問 18. 集団回収以外に古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）の無料の回収拠点があれば利用しますか。（○はひとつだけ）

集団回収以外に古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）の無料の回収拠点の利用について、市全体でみると「徒歩や自転車で行ける場所なら利用する」の割合が54.8%と最も高く、「車で行ける場所なら利用する」「場所がどこであっても利用する」を合わせた割合は73.3%である。

居住地別にみると、すべてのエリアで「徒歩や自転車で行ける場所なら利用する」の割合が最も高く、利用する割合は南区で66.9%と他区に比べて低くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「徒歩や自転車で行ける場所なら利用する」の割合が5～6割で最も高く、利用する割合は70代以上で67.9%と他の年代に比べて低くなっている。



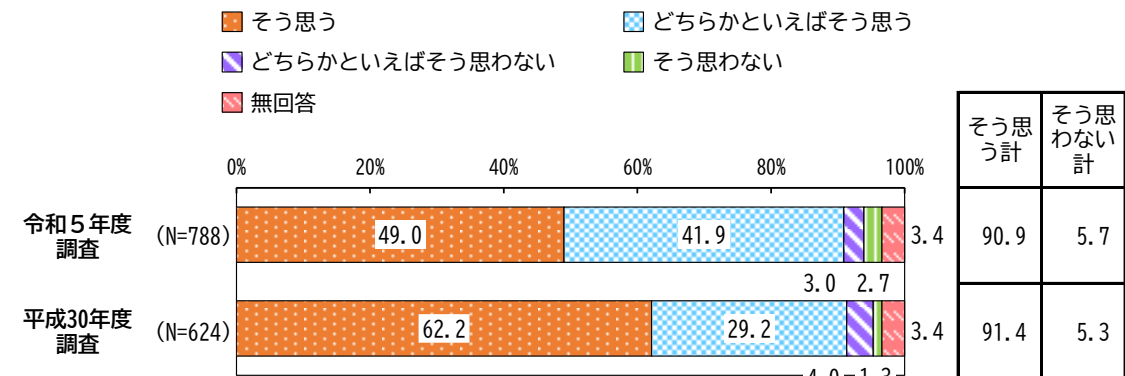
(8)ごみ減量やリサイクルについての考え

問 19. 次の①～④に関するあなたのお考えをお聞かせください。(それぞれ○はひとつだけ)

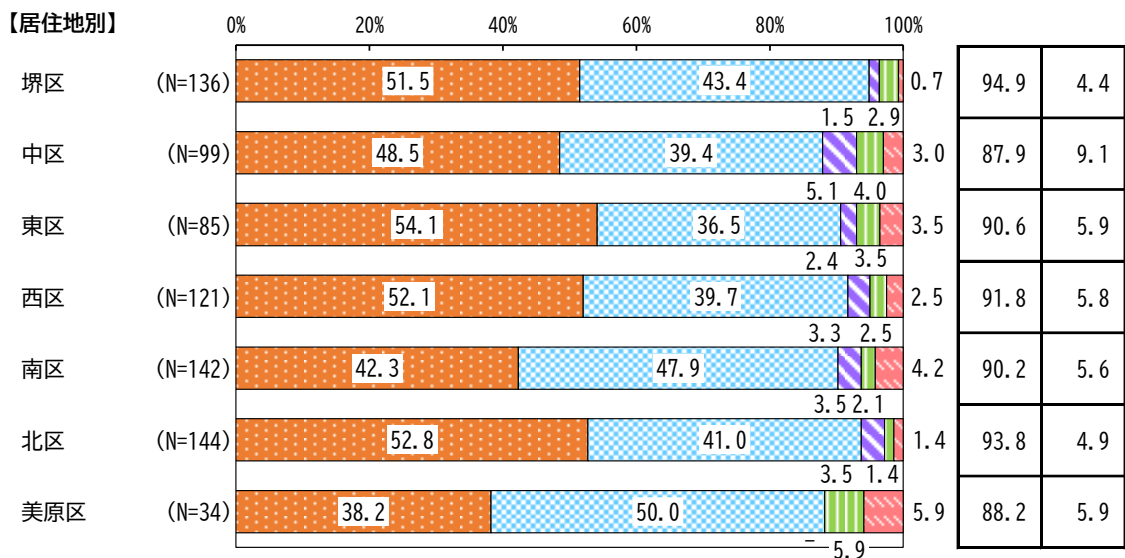
① ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方を工夫する

『ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方を工夫する』について、市全体で見ると「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、90.9%で、前回調査に比べて大きな差はみられない。

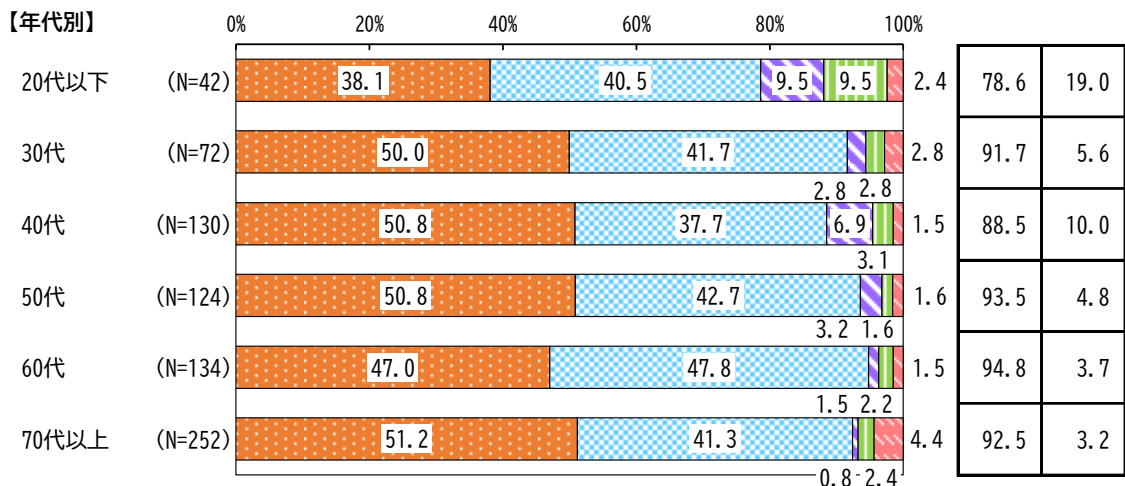
年代別にみると、20代以下でそう思う割合が78.6%と他の年代に比べて低くなっている。



【居住地別】



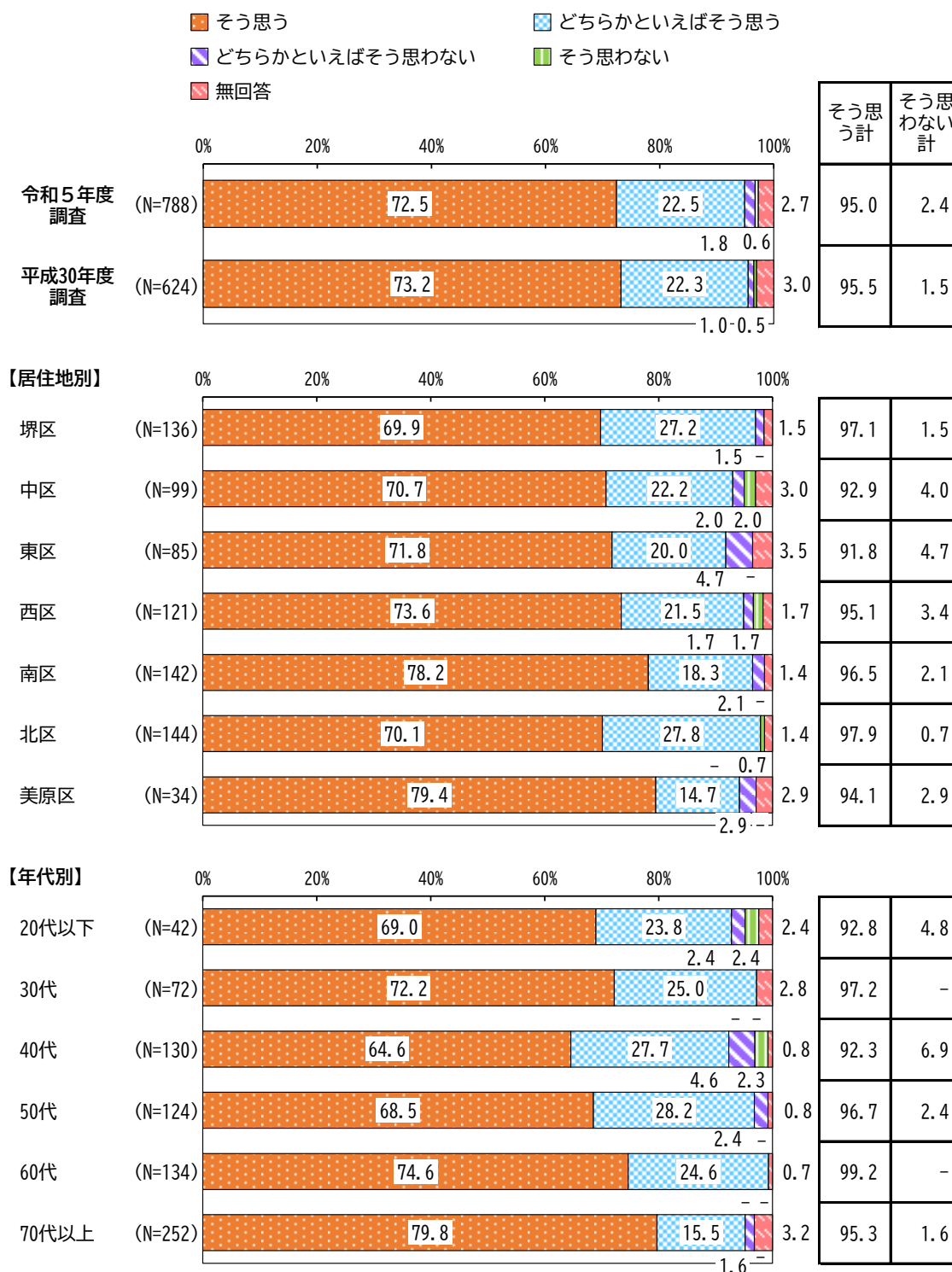
【年代別】



② 出したごみがリサイクルされるように分別に協力する

『出したごみがリサイクルされるように分別に協力する』について、市全体でみると「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、95.0%で、前回調査に比べて大きな差はみられない。

年代別にみると、そう思う割合はすべての年代で90%を超えている。

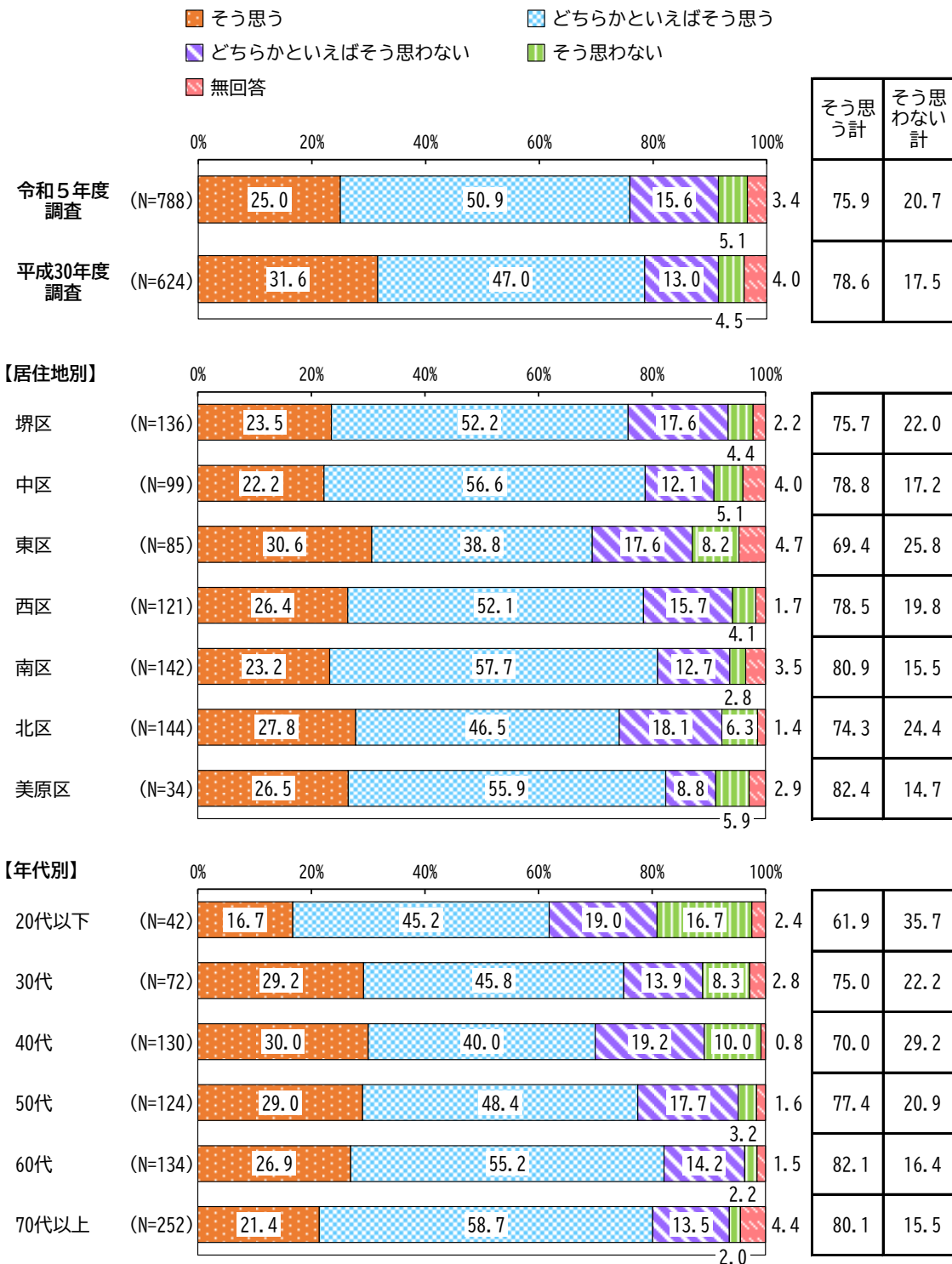


③ 出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心をもつ

『出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心をもつ』について、市全体でみると「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、75.9%と、前回調査と比較して大きな差はみられない。

居住地別にみると、そう思う割合は東区で69.4%と他区に比べて低くなっている。

年代別にみると、20代以下でそう思う割合が61.9%と他の年代に比べて低くなっている。

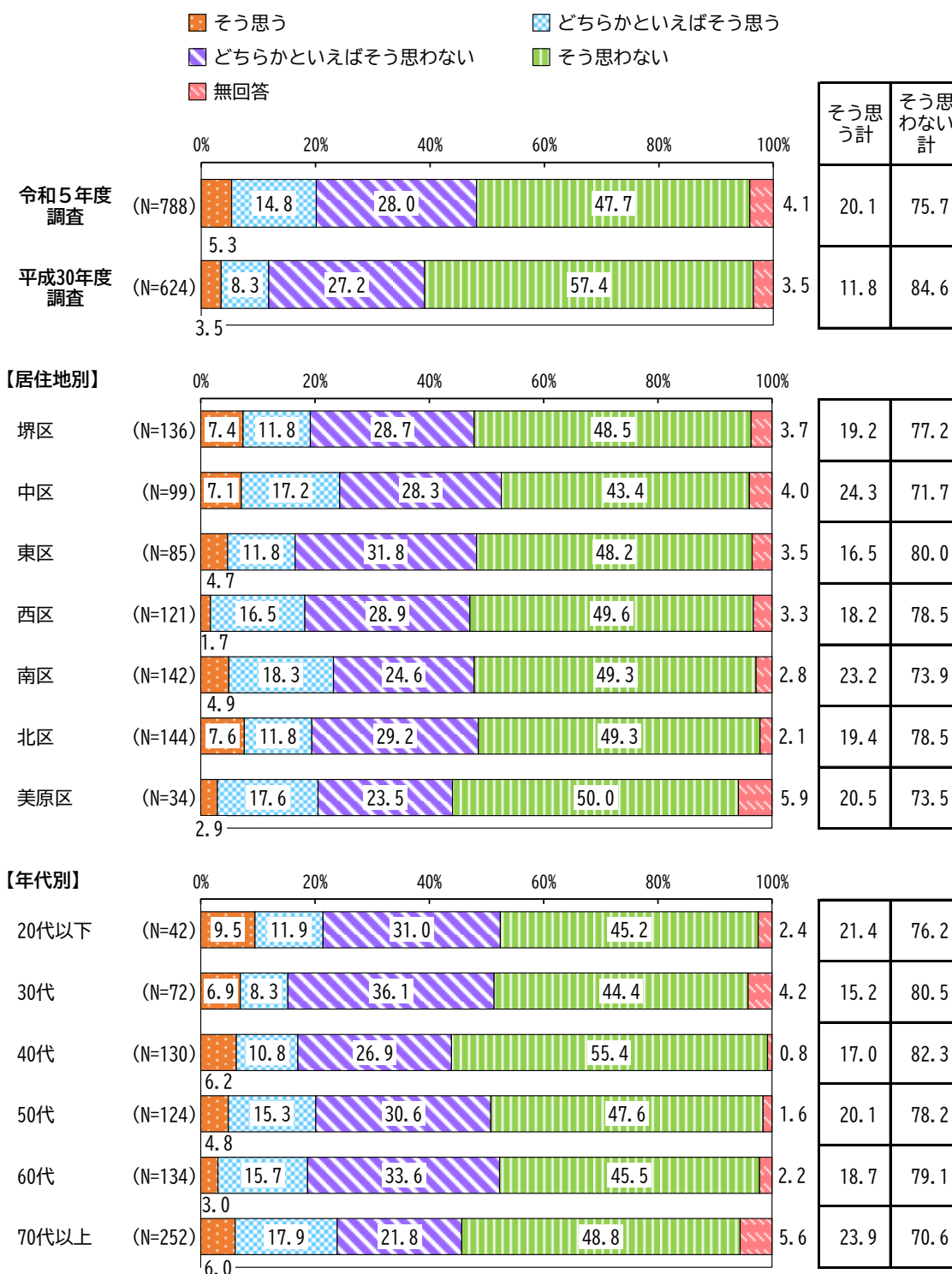


④ ごみ処理は行政の責任であり、市民が責任をもつ必要はない

『ごみ処理は行政の責任であり、市民が責任をもつ必要はない』について、市全体でみると「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、75.7%と、前回調査に比べて8.9ポイント低下している。

所在地別にみると、そう思わない割合は東区で80.0%と他区に比べて高くなっている。

年代別にみると、そう思わない割合は30代で15.2%、40代で82.3%と他の年代に比べて高く、70代以上で70.6%と他の年代に比べて低くなっている。



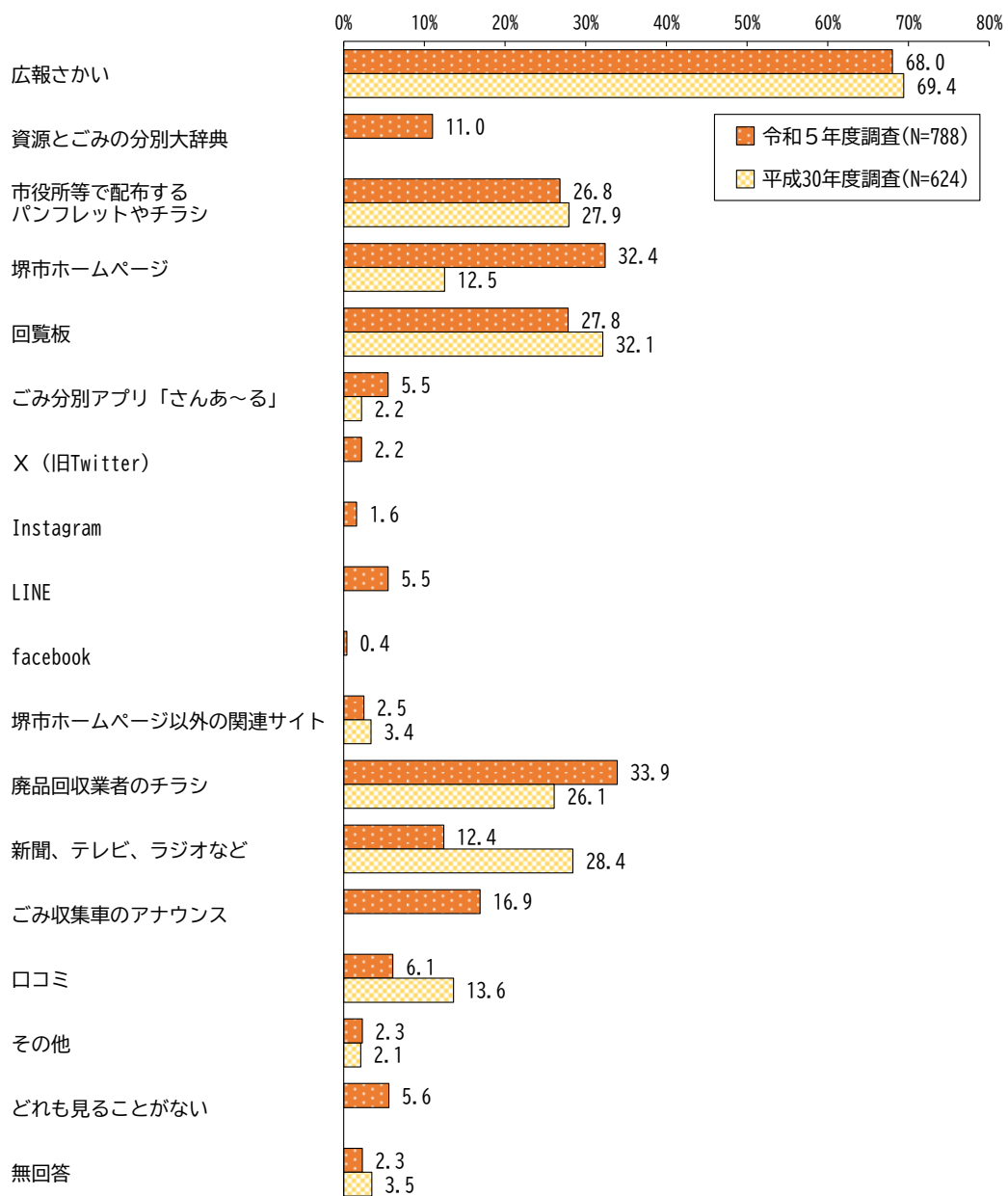
(9)ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法

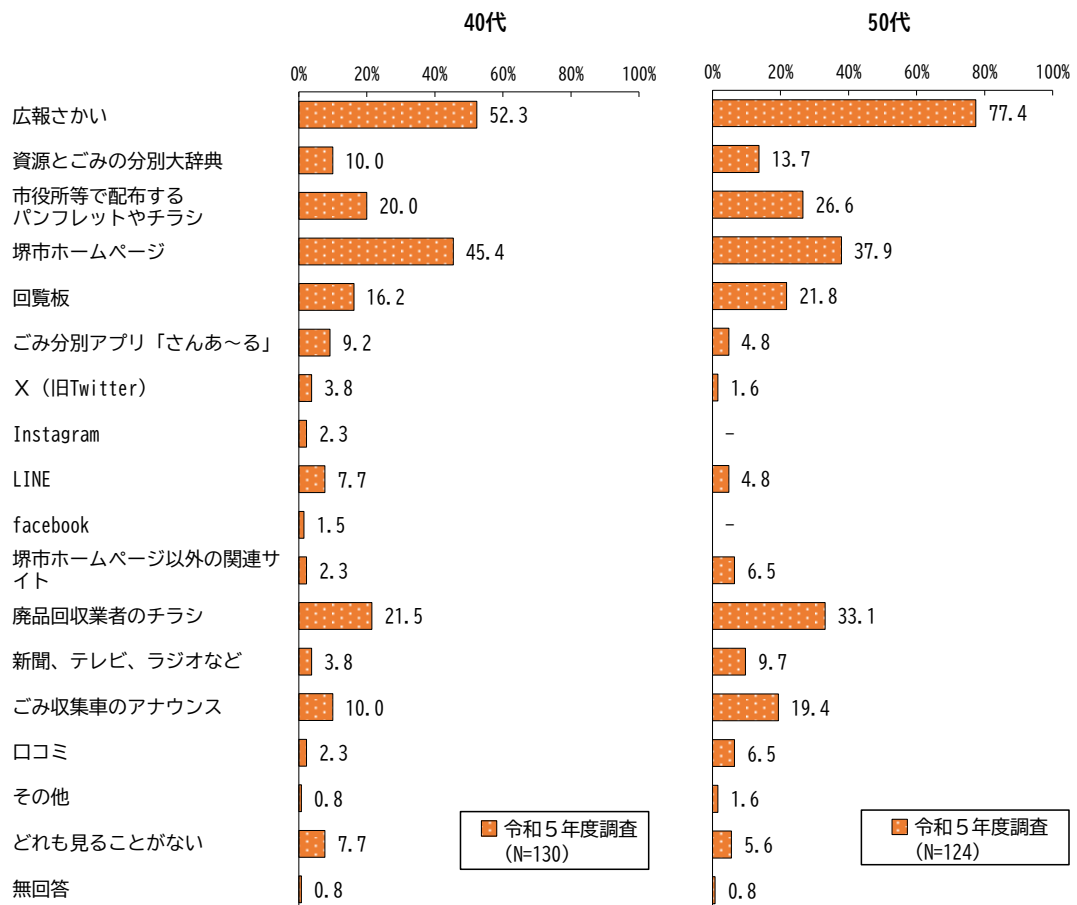
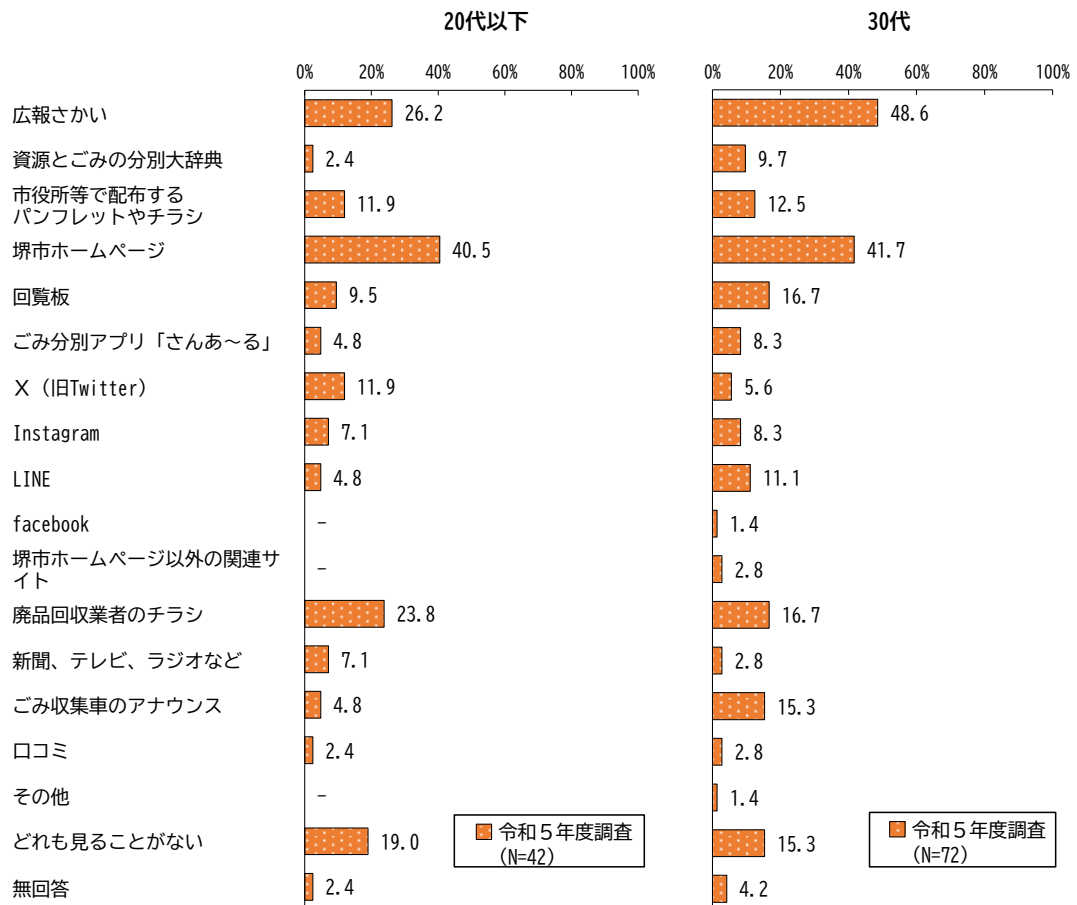
問 20. ごみ減量やリサイクル、分別等に関して、ご覧になることがあるものをお聞かせください。(〇はいくつでも)

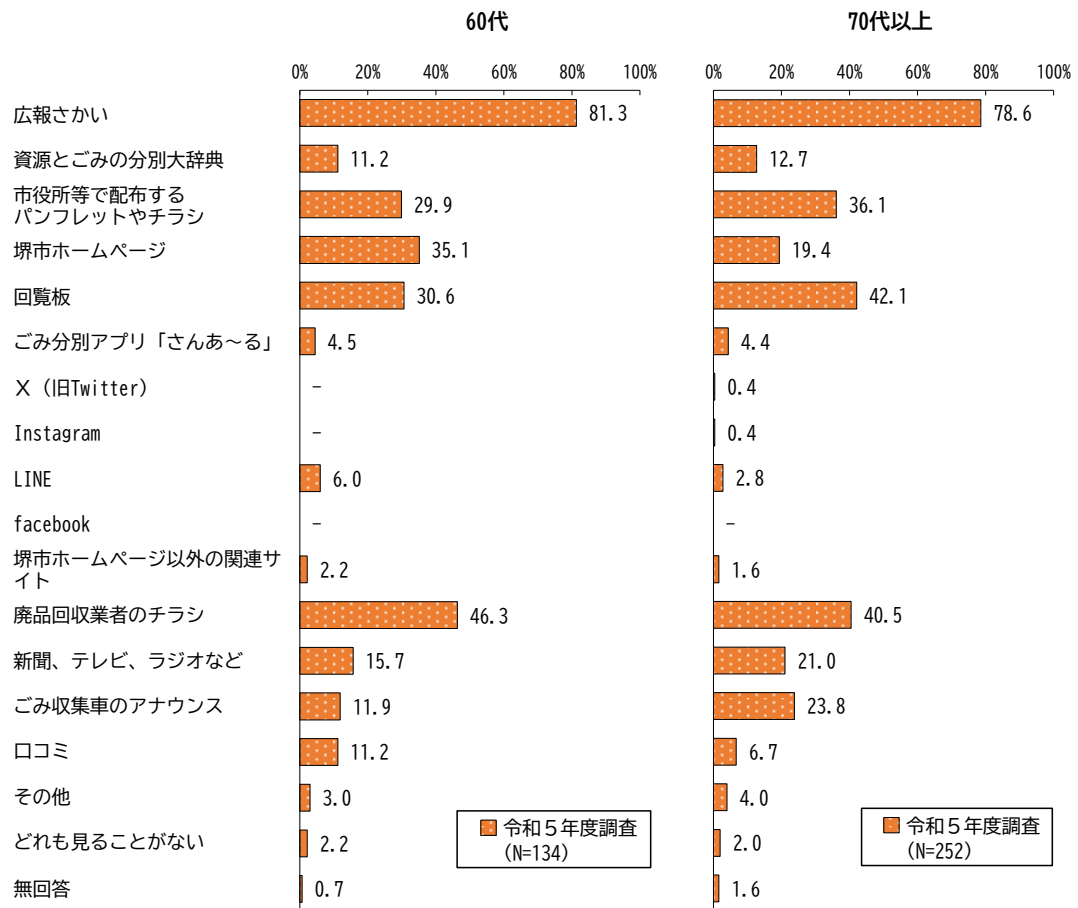
ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法について、市全体でみると「広報さかい」が68.0%と最も高く、次いで「廃品回収業者のチラシ」が33.9%、「堺市ホームページ」が32.4%、「回覧板」が27.8%、「市役所等で配布するパンフレットやチラシ」が26.8%となっている。

前回調査と比較すると、「堺市ホームページ」の割合が19.9ポイントと大きく上昇している他、「廃品回収業者のチラシ」も7.8ポイント上昇している。「新聞、テレビ、ラジオなど」は16.0ポイントと大きく低下している。

年代別にみると、「広報さかい」「市役所等で配布するパンフレットやチラシ」「回覧板」は年代が高くなるほど割合が高く、「堺市ホームページ」「X（旧Twitter）」「Instagram」は概ね年代が低くなるほど割合が高くなっている。





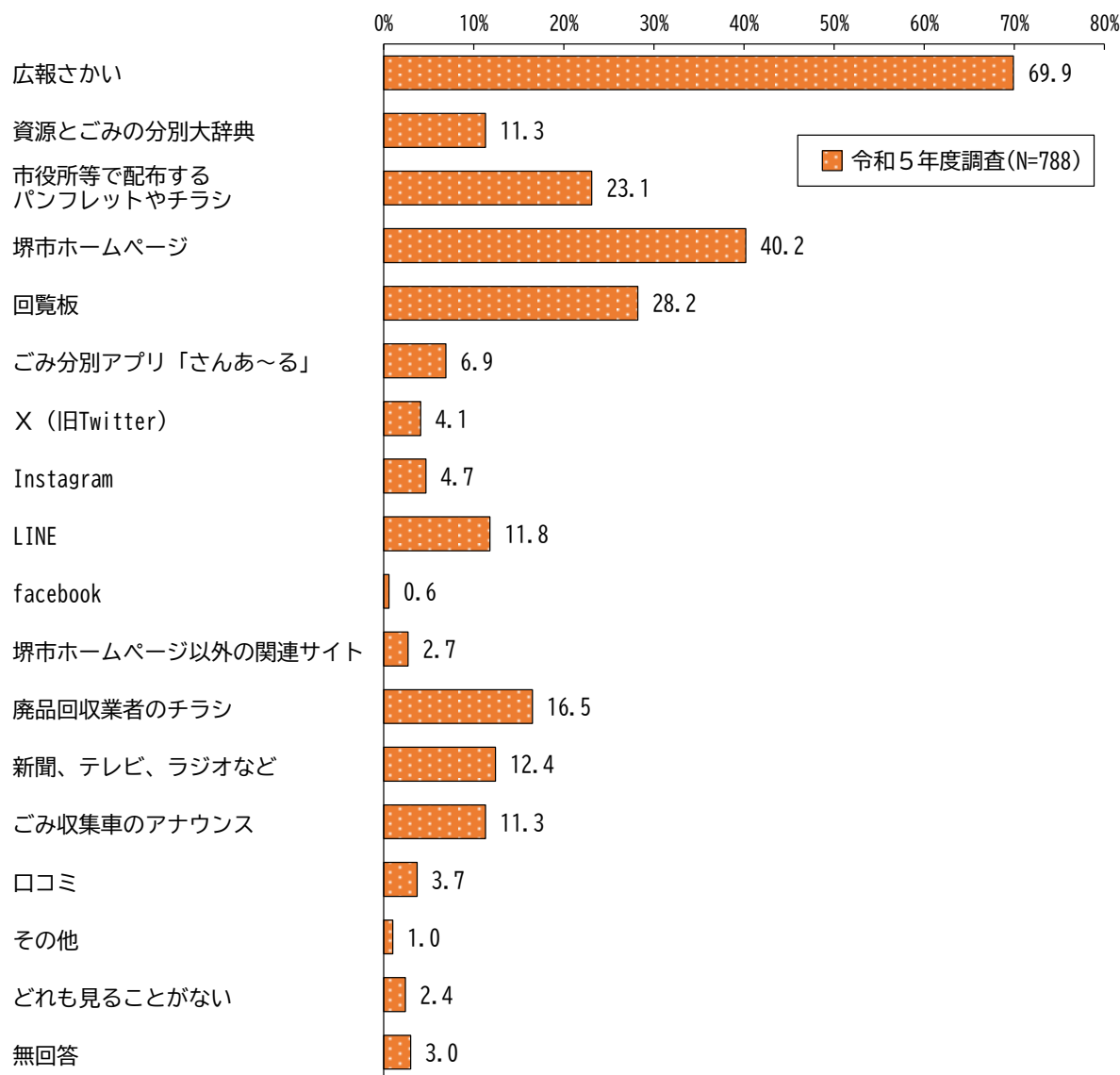


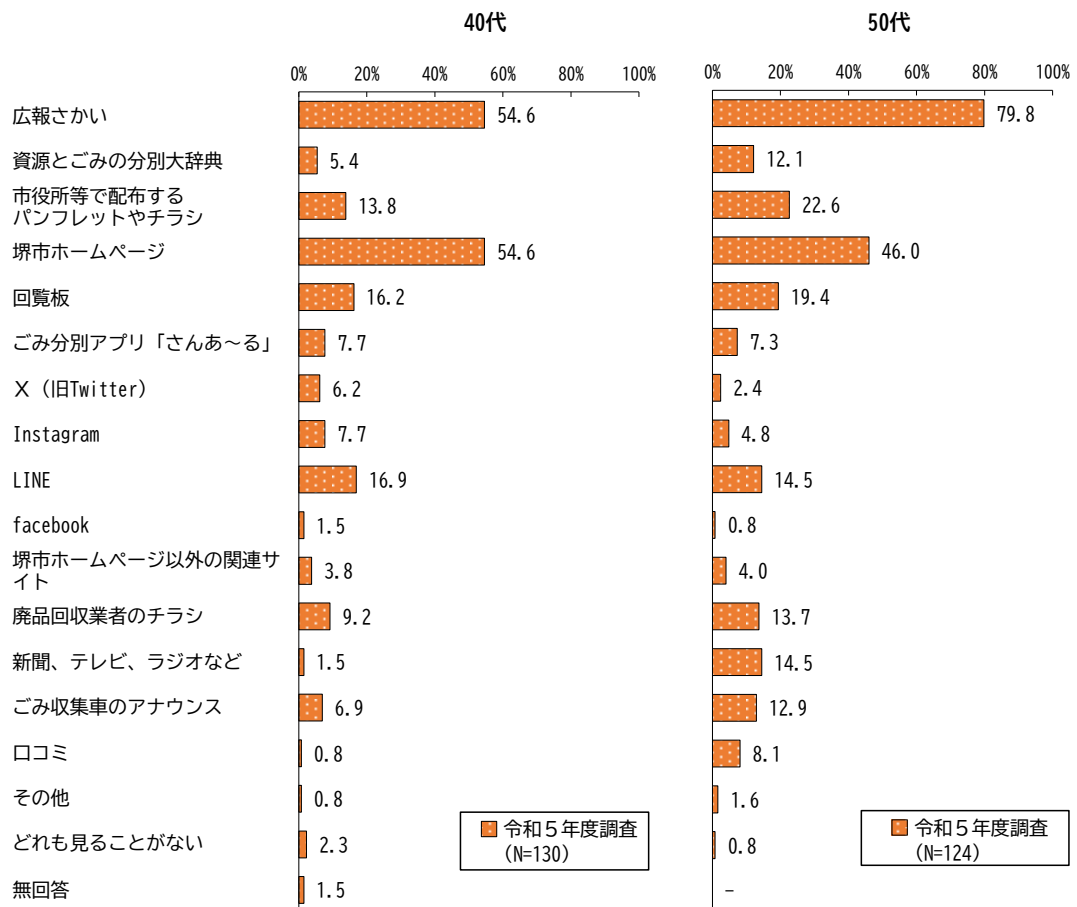
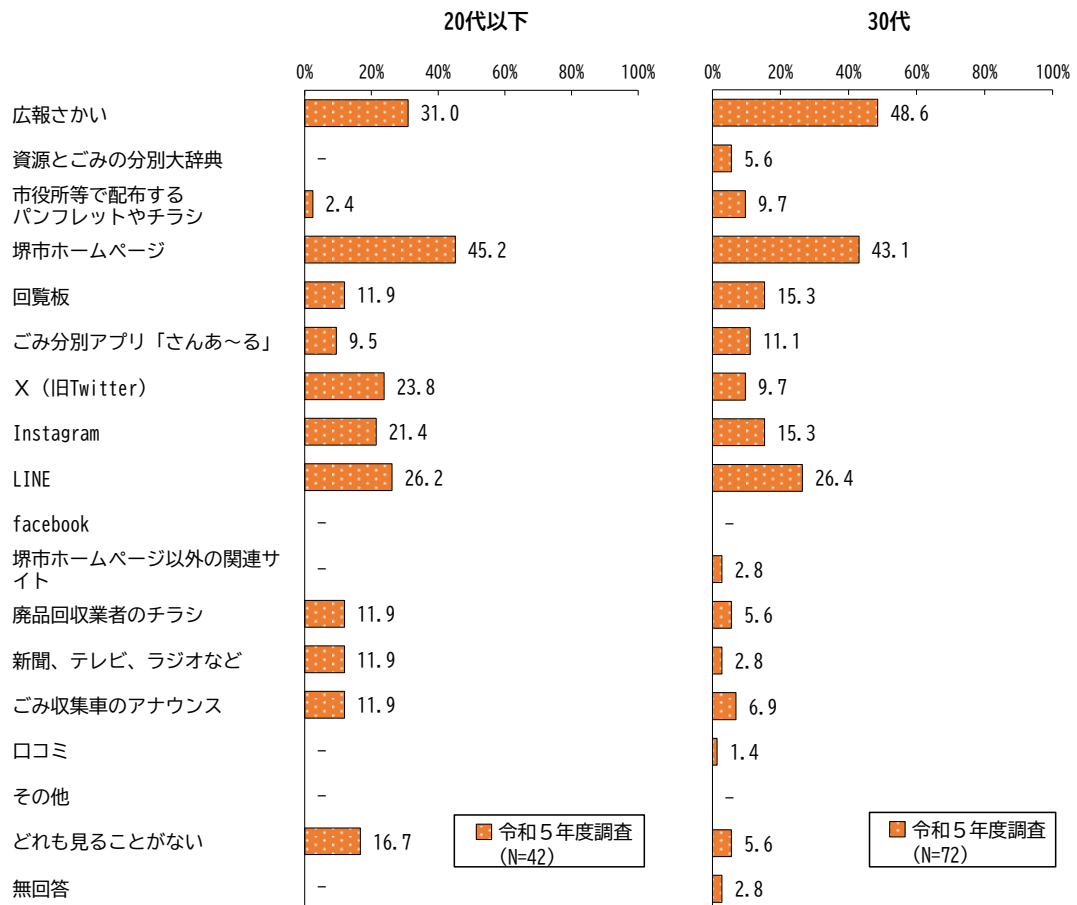
(10)ごみ減量・リサイクルに関する情報を入手しやすい方法

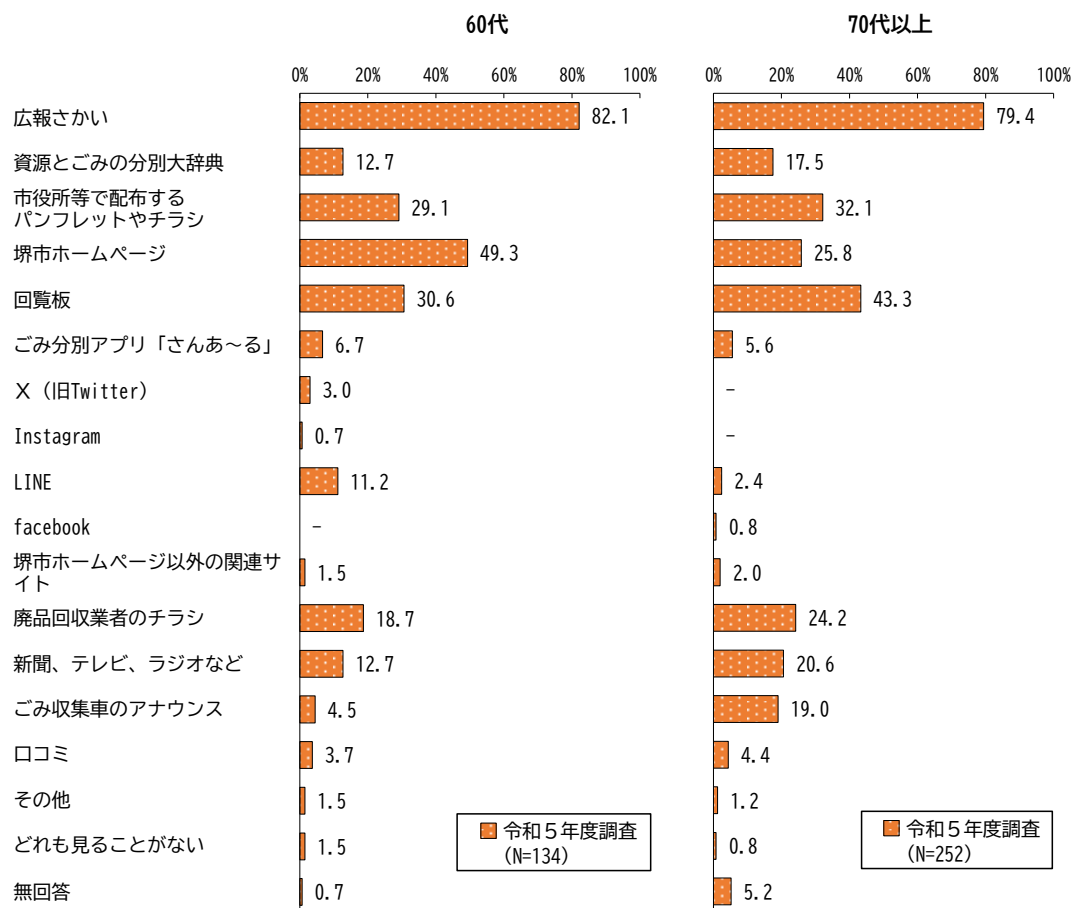
問 21. 今後の情報提供に関して、見たり調べたりしやすいものをお聞かせください。(〇は
いくつでも)

今後の情報提供に関して、見たり調べたりしやすいものについて、市全体でみると「広報さかい」が69.9%と最も高く、次いで「堺市ホームページ」が40.2%、「回覧板」が28.2%、「市役所等で配布するパンフレットやチラシ」が23.1%となっている。

年代別にみると、「広報さかい」「市役所等で配布するパンフレットやチラシ」「回覧板」は概ね年代が高くなるほどに割合が高く、「X（旧Twitter）」「Instagram」「LINE」は概ね年代が低くなるほど割合が高くなっている。







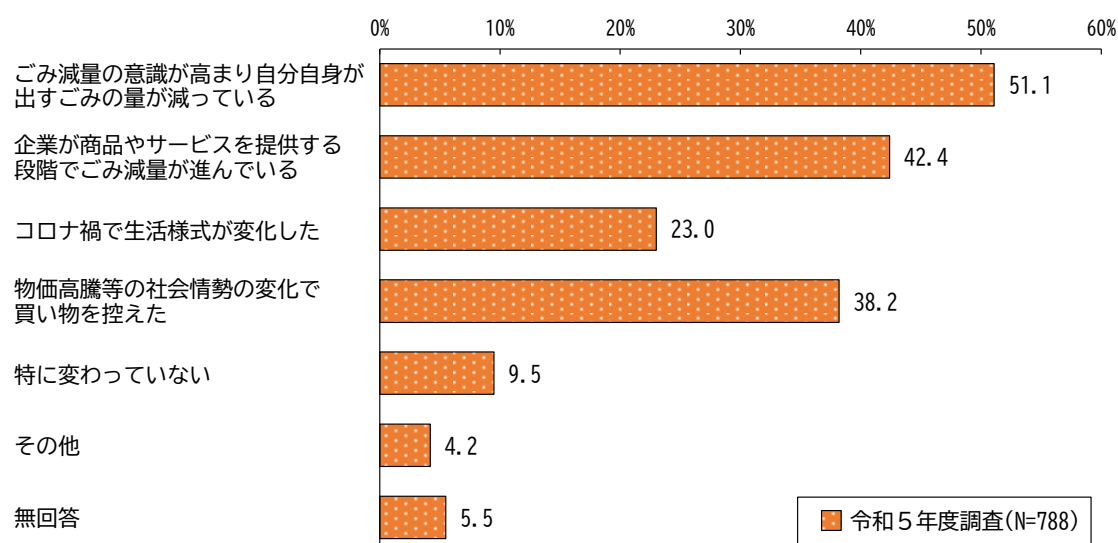
(11)ごみの排出が減った理由

問 28. ここ数年、ごみの排出量が大きく減少しています。ごみが減っている理由として、あなたがあてはまると思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

ごみの排出が減った理由について、市全体でみると「ごみ減量の意識が高まり自分自身が出すごみの量が減っている」が 51.1%と最も高く、次いで「企業が商品やサービスを提供する段階でごみ減量が進んでいる」が 42.4%、「物価高騰等の社会情勢の変化で買い物を控えた」が 38.2%である。

居住地別にみると、「物価高騰等の社会情勢の変化で買い物を控えた」は中区で 49.5%、北区で 47.2%と、他区に比べて高くなっている。

年代別にみると、20 代以下で「コロナ禍で生活様式が変化した」の割合が、50 代以上で「ごみ減量の意識が高まり自分自身が出すごみの量が減っている」の割合が他の年代に比べて高くなっている。



単位：％

		回答者数（N）	減出高ごみ つすまり減 いごみ分の意 る量の識が	階でいる ごみ減量 の進	企スが 業を提 品する やサ	式口 がナ 変禍 化し た	物情物 を勢の 控高 えた騰 た等 の買 社会	い特 に 変 わ つ て い な	その他	無 回 答
全 体		788	51.1	42.4	23.0	38.2	9.5	4.2	5.5	
居住地別	堺区	136	54.4	41.2	25.0	36.8	11.8	3.7	2.2	
	中区	99	51.5	39.4	20.2	49.5	13.1	3.0	4.0	
	東区	85	57.6	42.4	23.5	40.0	9.4	5.9	1.2	
	西区	121	56.2	38.8	20.7	29.8	7.4	5.8	3.3	
	南区	142	57.0	48.6	23.2	35.2	9.9	4.9	1.4	
	北区	144	41.7	48.6	29.9	47.2	9.0	3.5	0.7	
	美原区	34	58.8	47.1	17.6	41.2	5.9	2.9	5.9	
年代別	20代以下	42	35.7	54.8	40.5	35.7	4.8	-	2.4	
	30代	72	34.7	45.8	29.2	37.5	12.5	5.6	1.4	
	40代	130	43.1	45.4	22.3	41.5	14.6	3.1	1.5	
	50代	124	52.4	43.5	22.6	38.7	8.9	3.2	0.8	
	60代	134	59.7	51.5	25.4	36.6	5.2	2.2	2.2	
	70代以上	252	62.3	36.9	20.2	41.3	10.3	7.1	3.2	

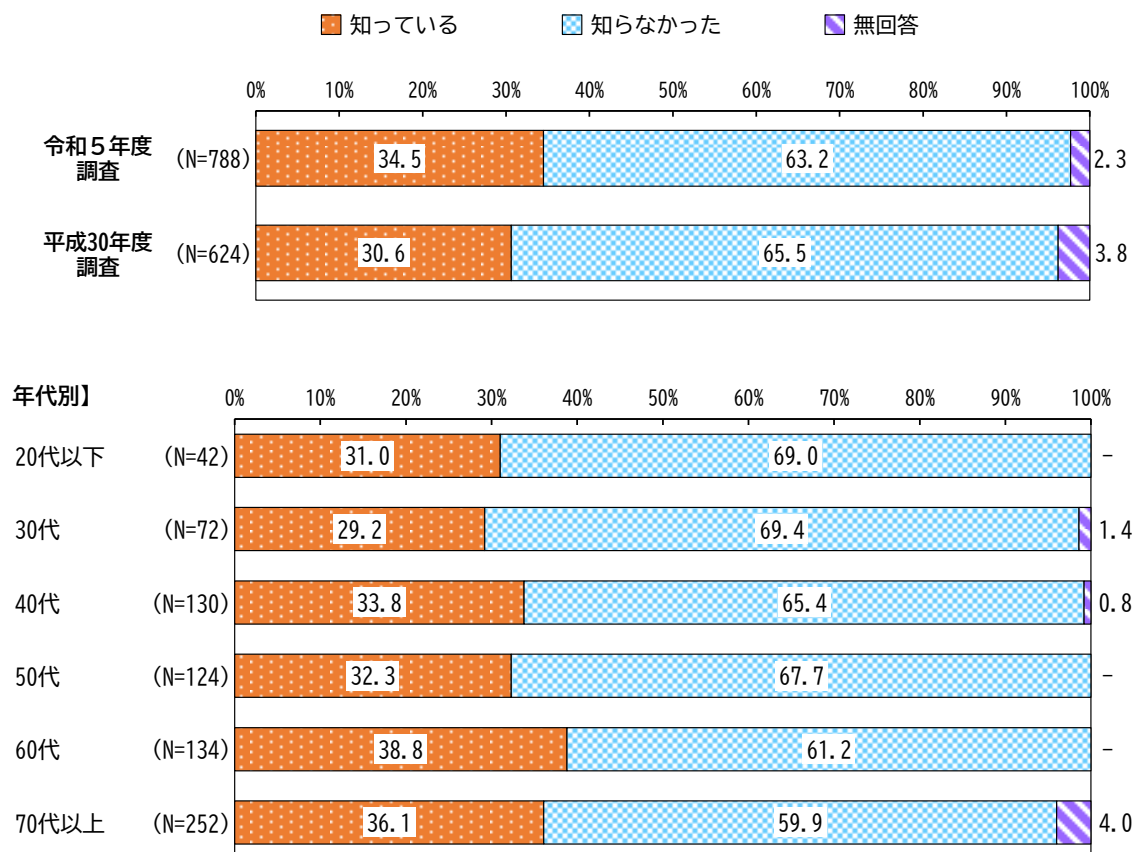
2. 現在のごみ処理行政について

(1) 焼却灰の埋め立て地（大阪湾フェニックス）の認知状況

問 22. ごみを焼却した後の焼却灰は最終的に大阪湾の埋め立て地（大阪湾フェニックス）に埋め立てられていることをご存じですか。（○はひとつだけ）

大阪湾の埋め立て地（大阪湾フェニックス）について、市全体でみると「知っている」の割合が34.5%で、「知らなかった」が63.2%である。前回調査と比較すると、3.9ポイントと僅かながら認知度が向上している。

年代別にみると、30代で「知っている」の割合が29.2%と他の年代に比べて低くなっている。

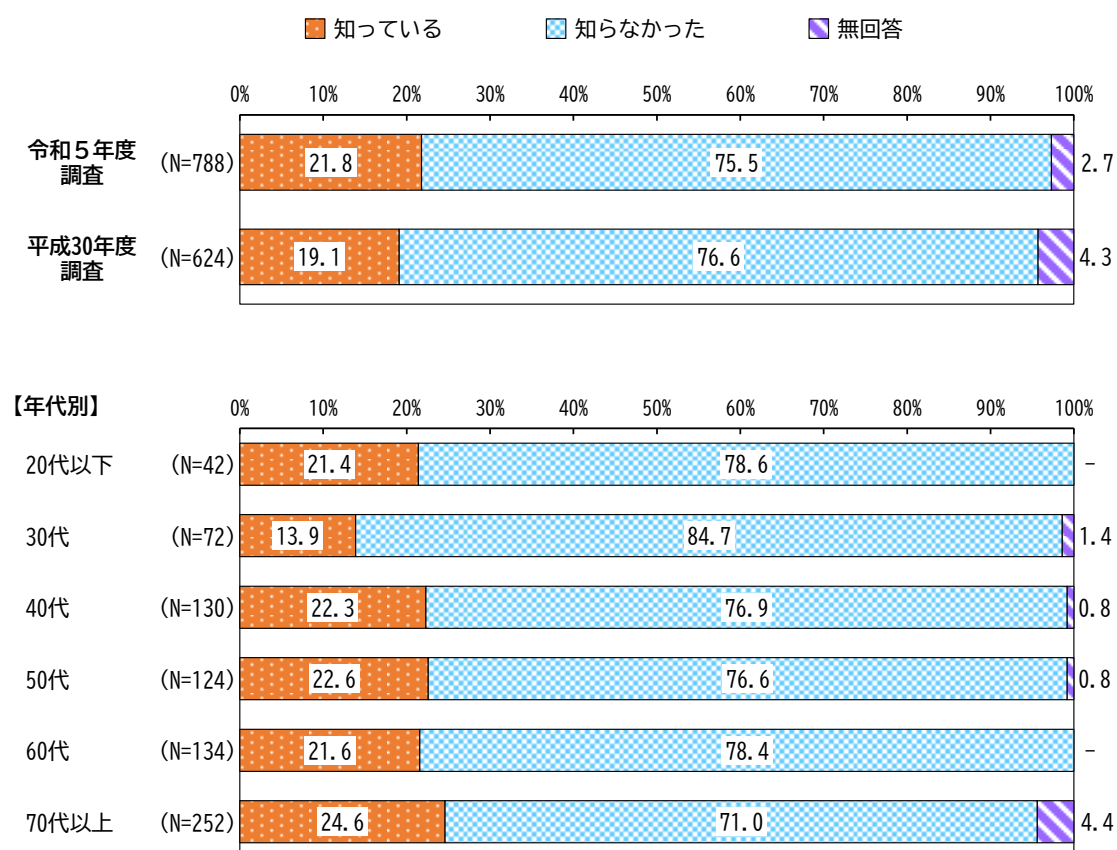


(2) クリーンセンター老朽化に伴う整備の必要性の認知状況

問 23. 本市クリーンセンターの各施設は、全国の政令指定都市の中でも稼働率が高いうえ、竣工から 40 年以上経過している施設もあります。クリーンセンター各施設の老朽化が進行する中、整備が必要であることをご存じですか。(〇はひとつだけ)

クリーンセンター老朽化に伴う整備の必要性について、市全体でみると「知っている」の割合が 21.8%で、「知らなかった」が 75.5%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

年代別にみると、「知っている」の割合は 30 代で 13.9%と他の年代に比べて低くなっている。



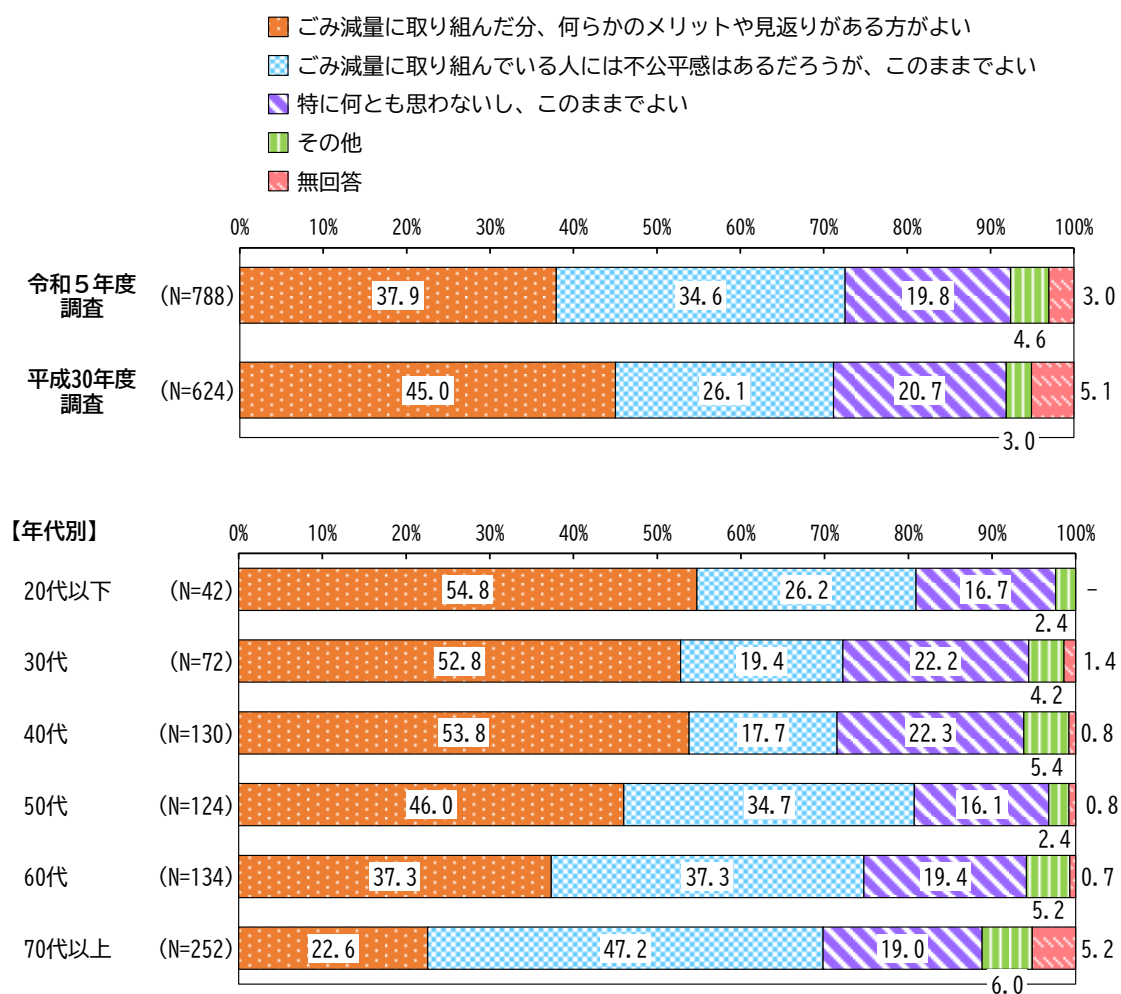
(3) ごみ処理の一律サービスについての考え

問 24. ごみ減量に取り組んでいる人も、そうでない人も、一律のサービスとなっていることについてどう思いますか。(○はひとつだけ)

ごみ処理の一律サービスについて、市全体でみると「ごみ減量に取り組んだ分、何らかのメリットや見返りがある方がよい」の割合が37.9%で最も高く、次いで「ごみ減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうが、このままでよい」が34.6%である。

前回調査と比較すると、「ごみ減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうが、このままでよい」の割合が8.5ポイント上昇し、「ごみ減量に取り組んだ分、何らかのメリットや見返りがある方がよい」は7.1ポイント低下している。

年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「ごみ減量に取り組んだ分、何らかのメリットや見返りがある方がよい」の割合が高くなっており、40代以下で50%を超えている。

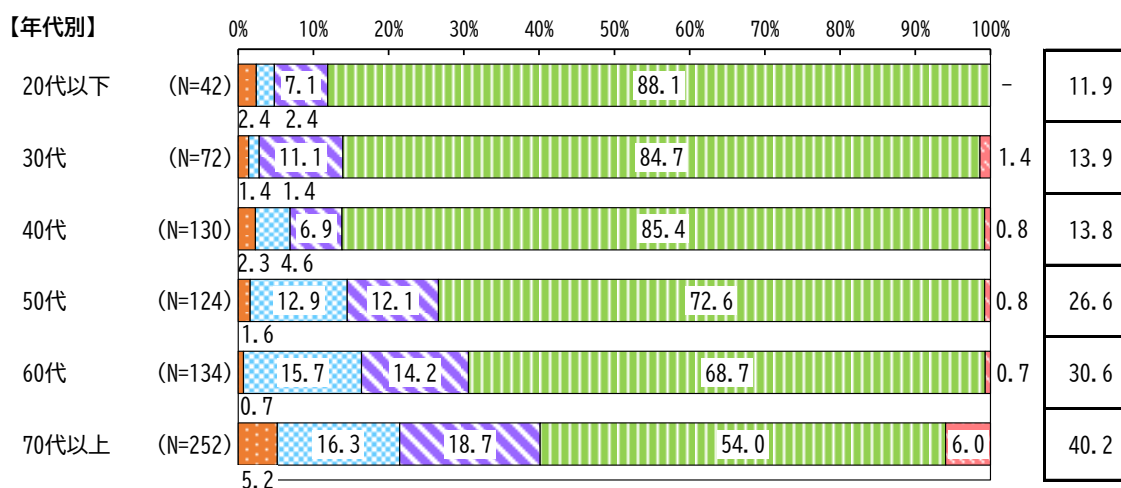
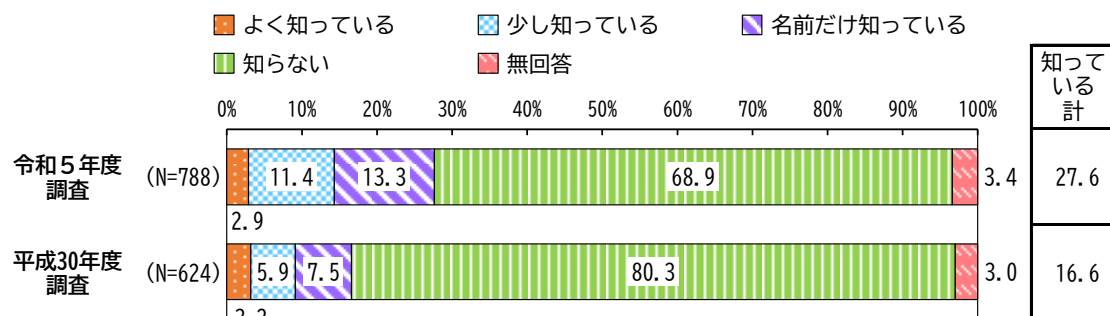


(4) 「ごみ減量化推進員制度」の認知状況

問 25. 堺市のごみ減量化推進員制度※についてどの程度ご存じですか。(〇はひとつだけ)

堺市のごみ減量化推進員制度について、市全体でみると「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた割合は 27.6%で、前回調査と比較して 11.0 ポイント上昇している。

年代別にみると、概ね年代が低くなるほど知っている割合が低くなっている。



3. 今後のごみ処理行政について

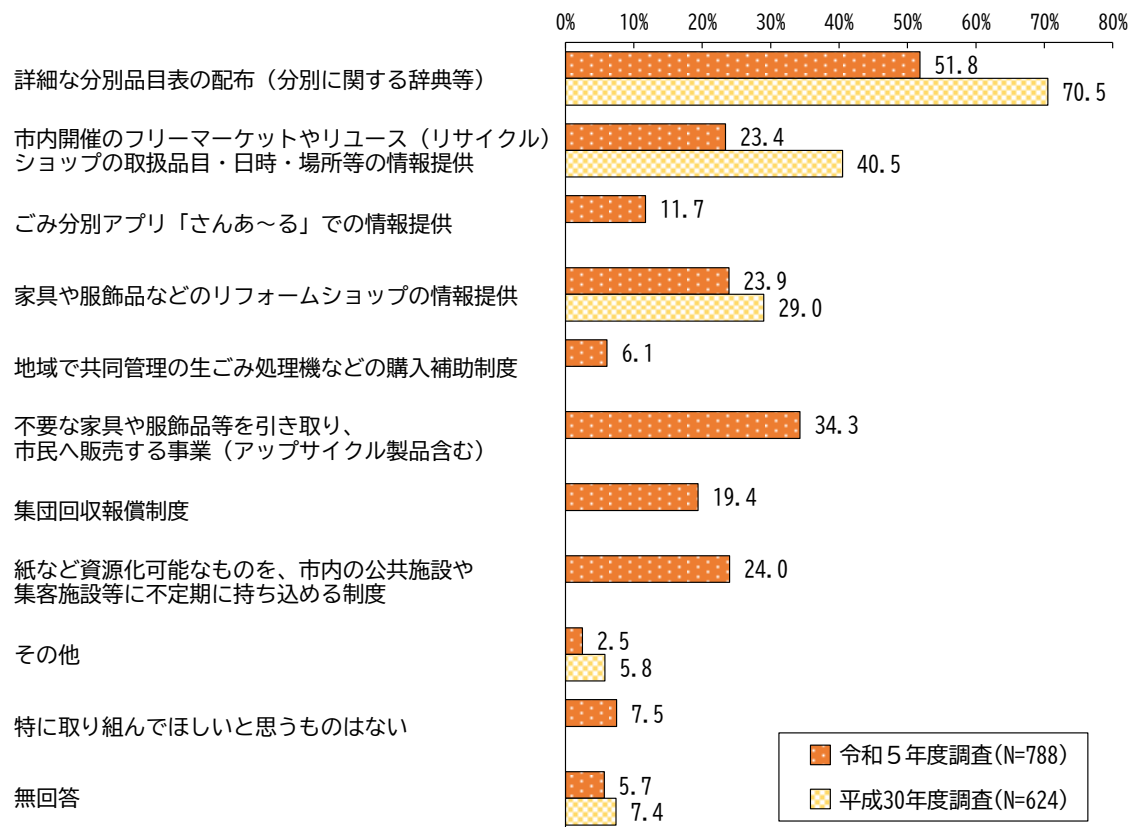
(1) 今後、本市に希望する取組について

問 26. ごみ減量やリサイクル、分別等に関して、今後、堺市に取り組んでほしいと思うものをお選びください。(〇はいくつでも)

ごみ減量やリサイクル、分別等に関する取組への希望は、市全体でみると「詳細な分別品目表の配布」の割合が51.8%で最も高く、次いで「不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業」が34.3%、「紙など資源化可能なものを、市内の公共施設や集客施設等に不定期に持ち込める制度」が24.0%である。前回調査と比較すると、今回新設の選択肢である「不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業」「紙など資源化可能なものを、市内の公共施設や集客施設等に不定期に持ち込める制度」が20%を超えている。

居住地別にみると、東区で「集団回収報償制度」、南区で「詳細な分別品目表の配布」、北区と美原区で「不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業」の割合が高めである。

年代別にみると、30代で「地域で共同管理の生ごみ処理機などの購入補助制度」、50代で「紙など資源化可能なものを、市内の公共施設や集客施設等に不定期に持ち込める制度」、60代で「詳細な分別品目表の配布」「不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業」「家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供」の割合が他の年代に比べて高めである。また、20代以下で「特に取り組んでほしいと思うものはない」の割合が高めで、関心の低さがうかがえる。



単位：％

		回答者数（N）	詳細な分別品目表の配布（分別に関する辞典等）	市内開催のフリーマーケット（リサイクル）品目・日時・場所等の情報提供	市内開催のフリーマーケット（リサイクル）品目・日時・場所等の情報提供	家具や服飾品などのリフォーム	地域で共同管理の生ごみ処理機などの購入補助制度	不要な家具や服飾品等を引き取り、市民へ販売する事業（アツプサイクル製品含む）	集団回収報償制度	紙など資源化可能なものを、市内の公共施設や集客施設等に不定期に持ち込める制度	その他	特に取り組んでほしいと思うものはない	無回答
全 体		788	51.8	23.4	11.7	23.9	6.1	34.3	19.4	24.0	2.5	7.5	5.7
居住地別	堺区	136	53.7	24.3	9.6	25.7	5.1	27.2	20.6	30.9	0.7	5.9	5.9
	中区	99	53.5	25.3	10.1	16.2	7.1	35.4	12.1	27.3	2.0	12.1	6.1
	東区	85	44.7	27.1	12.9	24.7	9.4	31.8	30.6	21.2	3.5	8.2	4.7
	西区	121	54.5	24.0	14.0	24.8	8.3	33.9	14.0	22.3	5.0	7.4	1.7
	南区	142	57.7	24.6	11.3	25.4	2.8	37.3	21.1	26.8	2.8	4.2	4.9
	北区	144	47.9	19.4	11.1	25.0	6.9	40.3	20.8	20.8	1.4	10.4	4.9
	美原区	34	38.2	20.6	14.7	23.5	2.9	41.2	20.6	14.7	2.9	5.9	8.8
年代別	20代以下	42	47.6	21.4	7.1	11.9	4.8	19.0	4.8	26.2	-	21.4	-
	30代	72	45.8	26.4	11.1	19.4	12.5	37.5	20.8	26.4	2.8	11.1	1.4
	40代	130	41.5	25.4	14.6	20.8	10.0	32.3	16.9	26.2	5.4	11.5	3.1
	50代	124	55.6	22.6	12.1	25.8	4.8	33.9	18.5	29.8	3.2	8.1	3.2
	60代	134	58.2	26.9	11.9	31.3	4.5	46.3	21.6	21.6	1.5	2.2	0.7
	70代以上	252	55.2	20.2	10.7	23.4	4.0	31.3	23.0	21.8	1.6	5.6	10.3

(2) 市へのご意見・ご要望（一部抜粋）

番号	ご意見
38	東京からこの春引っ越してきました。夫の家族と同居です。家の人は分別も意識して行っていますが、ビニールとプラスチックの区別をしなかったり、食べ物が付着したままリサイクルに入れています。意識の低さより、知識の問題だと思います。大阪の職場も分別せず、昔のスタイル（2分別）で捨てているので驚きました。東京の職場では5分別しています。「どうせリサイクルしないで燃やしている」と認識しています。汚れていたり、別の物が混ざっていてリサイクルできず、燃やさざるを得ない、という理解が必要かと
43	小型金属にあてはまる基準がよく分からない。粗大ごみの申し込みをパソコンで出来ると便利だと思います
48	リサイクル、分別が本当に役に立っている事をもっとアピールしていかないと、リサイクル分別は進まないと思う。費用対効果も示してほしい。回収にかかる費用はリサイクルしない時よりどうなっているのか
91	ネットで調べやすくしてほしい。アプリは容量食うのでインストールしたくない。どのゴミで捨てるか調べて3分以上かかって分からないと諦めてしまう（後日に回しておっくうになる。もしくは生活ごみに入れてしまう）。お祭りやイベント時に、プラスチックの分別方法知ってますか。みたいな楽しく聞ける短いトークショーみたいながあればめっちゃ聞きたいです。親子で遊びに行く場だと子供の教育にもなって嬉しいです
116	制服のリサイクルを取り入れるべきだと思う。その他学校がリサイクルにもっと取り組むべき。制服の業者が困るからという理由はもはや時代遅れ。それなら制服を修繕する等、他の方法を考えるべき
131	子どものサイズアウトや使わなくなる時期がとてもし早いので、大仙公園や商店街でもフリーマーケット開催していただけたら嬉しいです。堺市役所のフリマも増えると嬉しいです
206	パソコンやスマホを使えませんので、ホームページを開いたりアプリとかライン等で調べる事ができません。老人向けに分かりやすい分別品目表があれば助かります
228	資源ごみがどのようなものに生まれ変わるのかもっとPRできれば多くの人がゴミ減量やリサイクルに協力してくれるのではないかと。イベントなどでPRするなどしてみたらどうか
234	近所に古紙や、古布の集団回収がなく、生活ごみに出しているのが勿体ないと思っています。前に住んでいた地域には、古紙・古布の回収日がありとても便利でした（ダンボール、新聞、本、紙箱、プリント用紙なども回収）
235	近くに外国（たぶん中国）の方がいます。夜遅くか朝早くしか見かけない為、声掛けできていません。玄関近くにゴミが積まれていて、夏は臭い、ハエで閉口しました。ゴミの出し方などの自治会のパンフレットは渡してあり、先日でも年内のゴミ収集日を書いてポストに貼りましたが、外国の方向けのパンフレットなどがあればと思います
247	資源物収集後のリサイクル工程について情報発信を広くする、分別の意識向上、分別の細分化をすすめる、不要なものの環境負荷の高い物を使わない、買わない。小中学生への環境教育に分別の重要性を見学を通して体感してもらう（親子での話し合い機会を増す）
252	最近堺市へ転入し、市役所でごみ大辞典をいただきましたが、4月から乾電池の出し方が変わり戸惑いました。分別方法等変更点がある時は、分かりやすくお知らせいただきたいです
298	粗大ゴミをもう少し安くしてほしい
313	子供用品を常時市役所等で引き取ってもらえたら、ゴミに出さなくても助かります。（まだ使えるけどサイズアウトしたもの等リサイクルショップに持っていくのは気が引けるので、新品じゃないと持っていくにくいです）11月に取組まれていたと思います
366	分別の仕方が良くわからないので、LINEなどで情報発信していただけるとありがたいです
462	みんなができること、やるべきことをやればいいのになと思う。指定場所にペットボトルを出すとき、キャップ、ラベルをつけたままのを目にするとなんか淋しくなる
573	指定のゴミ袋をひと家庭に年間に何枚か無料で配布したらあまり使わない人はそれでいいし、足りない人は袋を購入したらいいと思います。スーパー袋が出なくなったので、ゴミを捨てる時の袋を買わないとだめだから、ゴミは分けて捨てていますので、生活ごみは少なくなっています
652	自治体によってはごみの分別が細かすぎて住みにくさを感じる事があった。ゴミ袋が指定され有料だったので、堺市では現状負担を感じることがないのでこのままでもいい
664	古着回収等の取り組みを行ってほしいです
682	アパートに住んでいる為、古紙の集団回収ができず非常に不便だと感じている（管理会社が府外のため対応はしてくれない）。生活ごみである程度は出して良いとのことだが、「古紙に資源ごみ」の印象があるため罪悪感を感じるし、ダンボールは出しづらい。これまで何度か引っ越しをしてきたが、古紙を資源ごみで回収していない自治体は初めて。古紙の回収を行うか、もう少し出しやすい仕組みを整えてほしい
1008	市民だけにゴミ減量と呼びかけるのではなく、商品を販売する企業にも、過剰包装をしない、プラスチックの使用を減らす等の取り組みを呼びかけをしてほしい。道路や公園、空き地などにゴミを捨てないようにもっと呼びかけや看板設置などをしてほしい
1018	水銀を含まない乾電池が、不燃小物類の申告回収になりましたが、とても利用しにくい。小型金属みたいに、最低月1でも良いので、定期回収をして欲しい
1076	無料の不燃小物を出す時に連絡して予約しないといけないのはかなり面倒なので月1回でも回収にきてもらえるとう助かります
1079	市町村の処理では、コストが必要になるので、処理においても、廃棄物処理業者などの民間企業に委託すればコストが下がると思います。長年の法令の取り決めで自治体の処理責任ではありますが、人口減少など外部環境が変化していますので、廃棄物処理のあり方を堺市が率先して変えていくべきだと思います
1095	ゴミ減量やゴミ量による公平性のため、他市のようにゴミ袋を有料化しても良いと思います

Ⅲ. 市民意識調査結果まとめ

1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について

(1)生活ごみの排出状況

- 生活ごみの排出頻度について、市全体でみると前回調査に引き続き9割弱が「週に2回（収集日どおり）」と多数が収集日通りに排出している。一回あたりの排出量は「45 リットルごみ袋1袋程度」の割合が5割強で最も高く、「45 リットルごみ袋2袋程度」「レジ袋2袋程度」がそれぞれ1割強となっていることから現状の頻度の維持が望ましいと考えられる。

(2)品目別の排出状況

〔「缶・びん」の分別について〕

- いつも分類している割合は9割弱で、前回調査と比較して大きな差はみられない。
- 排出方法は「市の各資源物の収集」が5割程と最も高いが、前回調査と比較すると「市の「生活ごみ」収集」の利用率が高まっている。
- 分別しない理由は「捨てたいときに捨てられない」の割合が大きく低下しているものの、分別しない理由の上位となっている。

〔「プラスチック製容器包装の分別」について〕

- いつも分類している割合が7割で、前回調査と比較するといつも分類している割合に大きな差はみられないものの、だいたい分類している割合が上昇しており少しずつではあるものの協力率が上昇している。
- 分別しない理由については「手間がかかる」が主要な理由となっている。前回調査から「手間がかかる」「出し方、分け方がわからない」「リサイクルの必要性がわからない」の割合が低下しており、情報発信の一定の効果がうかがえる。

〔「ペットボトル」の分別について〕

- いつもしている割合は8割強で、前回調査から大きな差はみられない。
- 排出方法は「市の各資源物の収集」が6割程と最も高い。前回調査と比較すると「市の「生活ごみ」収集」を利用する割合がやや上昇し、「スーパーや家電量販店等の店頭回収」を利用する割合がやや低下している。
- 分別しない理由は「手間がかかる」「キャップとラベルをはずすことを知らなかった」が主要な理由となっており、意識啓発など情報発信の強化が引き続き求められる。「捨てたいときに捨てられない」など排出方法に関する理由も上位だが、前回調査から割合は低下している。

〔「小型金属」の分別について〕

- いつもしている割合が8割弱で、前回調査から協力率が高くなっており、分別意識の向上がうかがえる。
- 排出方法は「市の各資源物の収集」が5割弱と最も高い。前回調査から比較すると、「市の「生活ごみ」収集」を利用する割合が上昇している。
- 分別しない理由は「出し方、分け方がわからない」「収集曜日がわからない」など排出方法の認知状況によるものが上位で、わかりやすい情報提供など工夫が求められる。

〔「蛍光灯・ボタン電池・水銀体温計等」の分別について〕

- いつもしている割合が7割弱で、前回調査より分別協力率が上昇している。
- 排出方法は、「スーパーや家電量販店等の店頭回収」を利用する割合が4～5割で最も高い
- 「市の拠点回収」は1割程と低めではあるものの前回調査から利用率はやや上昇している。
- 分別しない理由については「出し方、分け方がわからない」「回収場所がわからない」など排出方法によるものが上位で、わかりやすい情報提供など工夫が求められる。また、蛍光管や小型家電の排出方法について、6割が「月1回だけだが、「生活ごみ」と同じ場所に出せる」ことを希望している。

〔その他品目の排出方法について〕

- 食品トレーの排出方法は、「市の各資源物の収集」が5割弱と最も高いが、前回調査と比較すると「市の「生活ごみ」収集」を利用する割合が上昇している。
- 古紙・古布の排出方法は前回調査から「自治会等での集団回収」が5割から4割に低下し、「市の「生活ごみ」の収集」を利用する割合が僅かながら上昇していることから改めて古紙・古布の回収方法に関する積極的な情報発信が求められる。
- 集団回収以外の古紙の無料の回収拠点については7割に利用意向があり、その内5割が「徒歩や自転車で行ける場所」を希望している。
- 牛乳パックの排出方法は前回調査に引き続き「市の「生活ごみ」収集」が5割程と最も高い。
- 小型家電の排出方法は「市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集」「廃品回収業者等の引き取り」「スーパーや家電量販店等の店頭回収」がそれぞれ2割で並んでいる。前回調査から「市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集」を利用する割合が上昇している。
- インクカートリッジの排出方法は、「スーパーや家電量販店等の店頭回収」を利用する割合が5割弱で最も高く、「市の「生活ごみ」の収集」が2割である。「市の拠点回収」は1割弱に留まる。
- ごみの量が減少した理由は「ごみ減量への意識の高まり」「商品やサービスを提供する段階でのごみ減量」の割合が4～5割と高めで、啓発による効果がうかがえる。「ごみ減量への意識の高まり」を理由とする割合は年代の高い層で顕著であり、年代の若い層では「コロナ禍による生活様式の変化」を理由とする割合が高めである。

(3)ごみ減量・リサイクルの取組状況

- 4Rの取組について、普段から行っている割合はリフューズ、リデュース、リサイクルは9割が何らかの取組を行っているのに対して、リユースは6割弱に留まる。また、リフューズ、リデュース、リサイクルについても個別の取組をみると実践状況には差がみられる。
- リフューズは前回調査から「マイバッグを利用する」の割合が大きく上昇し、9割弱に上る。その他の取組も5～6割と比較的高い。
- リデュースは、「外食時に食べ残しをしない」「生ごみを減らす」など食品ロスや生ごみの減量に関する取組や、「詰め替え商品を購入する」の割合が7割を超えている。これらに比べると「マイカトラリーやマイボトルの利用」「バラ売りの商品を選ぶ」は割合が低いものの、今後新たに行いたい取組としては比較的高く、実践への意識が向けられている状況がうかがえる。
- リユースは「壊れたものを修理して、長期間使う」の割合が41.1%で最も高く、その他の取組も1～2割と比較的低い。前回調査と比較すると、すべての項目で普段から行っている割合が低下しており、改めて啓発が求められる。
- リサイクルは「資源物を分別している」「古紙・古布を地域の集団回収などに出す」が60%を超えており、その他の取組も4割台である。前回調査と比較すると、「食品トレー・紙パックなどをスーパーの資源回収に出す」の割合が上昇している。

2. 現在のごみ処理行政について

- 堺市のごみ減量化推進員制度について、前回調査から認知率は大きく上昇しているものの、27.6%に留まる。
- ごみ処理の一律サービスについては年代の高い層ではこのままでよいの割合が高いものの、概ね年代が低くなるほど何らかのメリットや見返りを求める割合が高い。
- クリーンセンター老朽化に伴う整備の必要性については前回調査に引き続き認知度が21.8%と低めである。

3. 今後のごみ処理行政について

- 今後、市に希望する取組については、「詳細な分別品目表の配布」の割合が5割で最も高い。排出頻度の比較的低い品目では分別しない理由として「出し方、分け方がわからない」「収集曜日がわからない」など認知状況に関わる理由が上位となっており、わかりやすい工夫が求められている。
- 情報の入手先としては「広報さかい」が7割弱と最も高い。前回調査と比較すると、「堺市ホームページ」から情報を入手している割合が大きく上昇している。「広報さかい」「市役所等で配布するパンフレットやチラシ」「回覧板」などは概ね年代が高くなるほどに主要な情報源となっているのに対して、堺市ホームページやLINEを中心とするSNSは概ね年代が低くなるほど主要な情報源となっていることから、年代層に応じてより適切な情報提供媒体を検討することが望ましい。

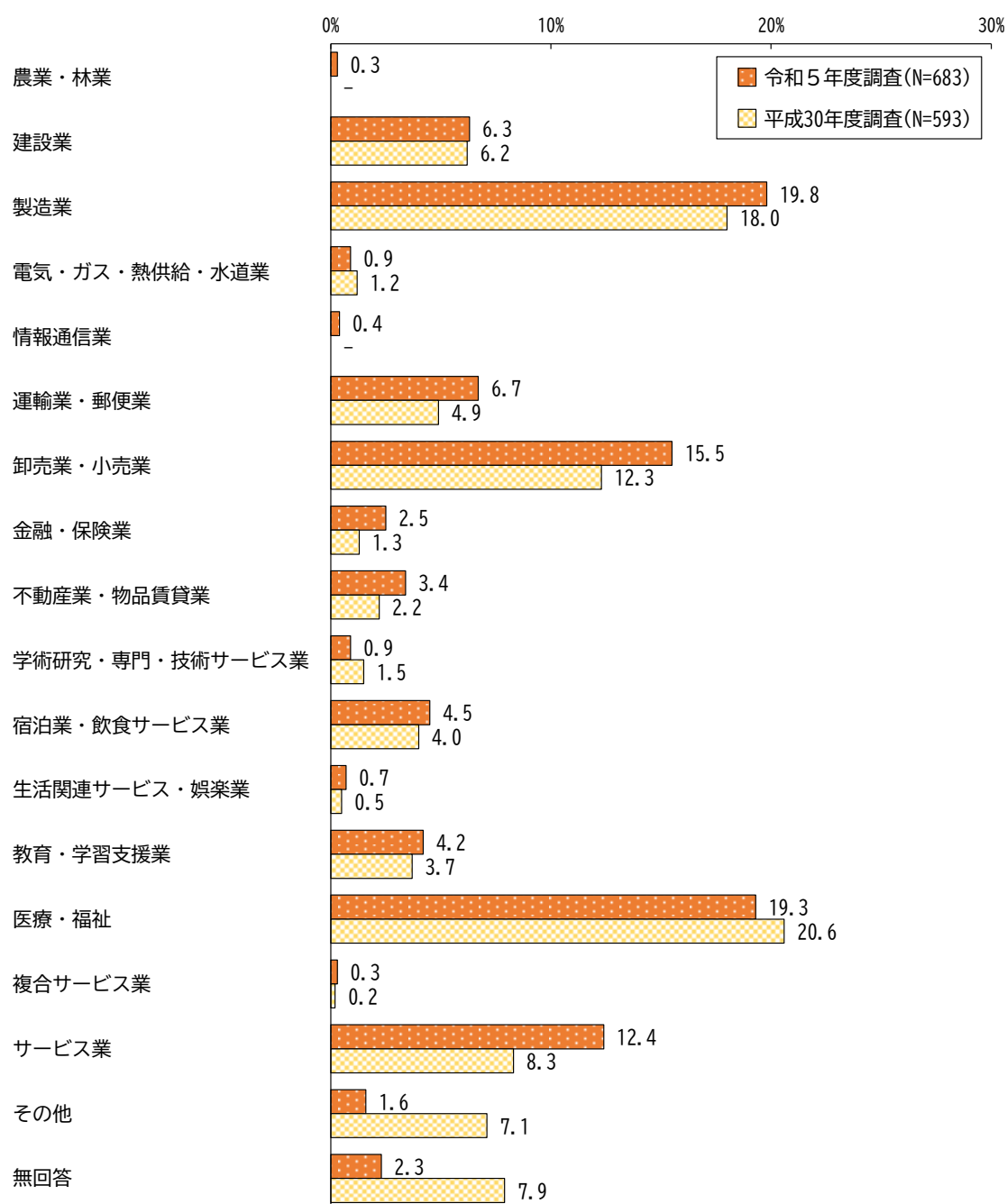
第3章 事業所意識調査結果

I. 回答事業所の属性

① 業種

回答事業所の業種は、市全体でみると「製造業」が19.8%と最も高く、次いで「医療・福祉」が19.3%、「卸売業・小売業」が15.5%となっており、前回調査と比較すると、「サービス業」の割合が4.1ポイント、「卸売業・小売業」が3.2ポイント上昇している。

所在地別でみると、東区で「教育・学習支援業」が17.9%、西区で「製造業」が24.8%、南区で「医療・福祉」が29.8%、美原区で「製造業」が43.8%、「運輸業・郵便業」が20.8%と他区に比べて高くなっている。



単位：％

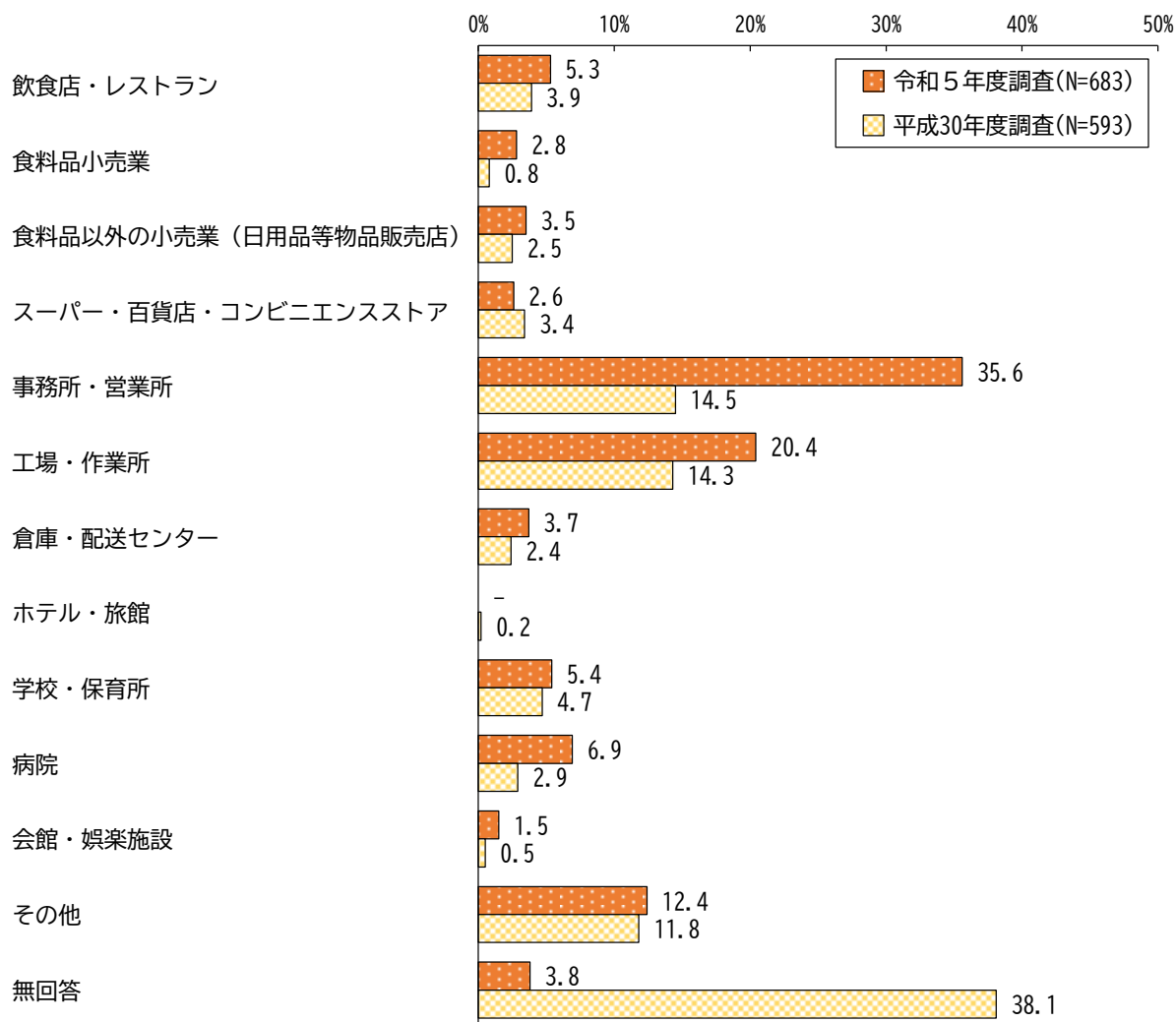
		回答者数（N）	農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	サービス業	その他	無回答
全 体		683	0.3	6.3	19.8	0.9	0.4	6.7	15.5	2.5	3.4	0.9	4.5	0.7	4.2	19.3	0.3	12.4	1.6	2.3
所在地別	堺区	224	-	9.4	22.3	0.9	0.4	5.8	17.9	4.5	1.3	0.9	6.7	0.9	1.8	12.5	-	14.3	0.9	1.8
	中区	91	1.1	5.5	19.8	2.2	-	2.2	23.1	1.1	6.6	-	2.2	-	3.3	19.8	-	13.2	3.3	-
	東区	39	-	-	15.4	-	-	-	20.5	2.6	-	-	5.1	-	17.9	17.9	-	15.4	7.7	-
	西区	113	-	6.2	24.8	0.9	-	12.4	9.7	-	6.2	-	4.4	1.8	2.7	22.1	-	8.0	0.9	0.9
	南区	57	1.8	5.3	8.8	-	1.8	8.8	17.5	-	3.5	-	1.8	-	14.0	29.8	1.8	10.5	-	-
	北区	94	-	2.1	4.3	-	1.1	2.1	11.7	4.3	4.3	4.3	6.4	-	2.1	35.1	-	19.1	2.1	1.1
	美原区	48	-	10.4	43.8	2.1	-	20.8	8.3	-	2.1	-	-	2.1	4.2	6.3	2.1	2.1	-	-

② 事業形態

事業形態は、市全体でみると「事務所・営業所」が35.6%と最も高く、次いで「工場・作業所」が20.4%となっている。

前回調査と比較すると「事務所・営業所」は21.1ポイント、「工場・作業所」は6.1ポイント上昇している（前回調査から無回答の割合が大きく低下している点に留意が必要である）。

所在地別でみると、美原区では「工場・作業所」が43.8%、東区では「学校・保育所」が17.9%と他区に比べて高くなっている。



単位：％

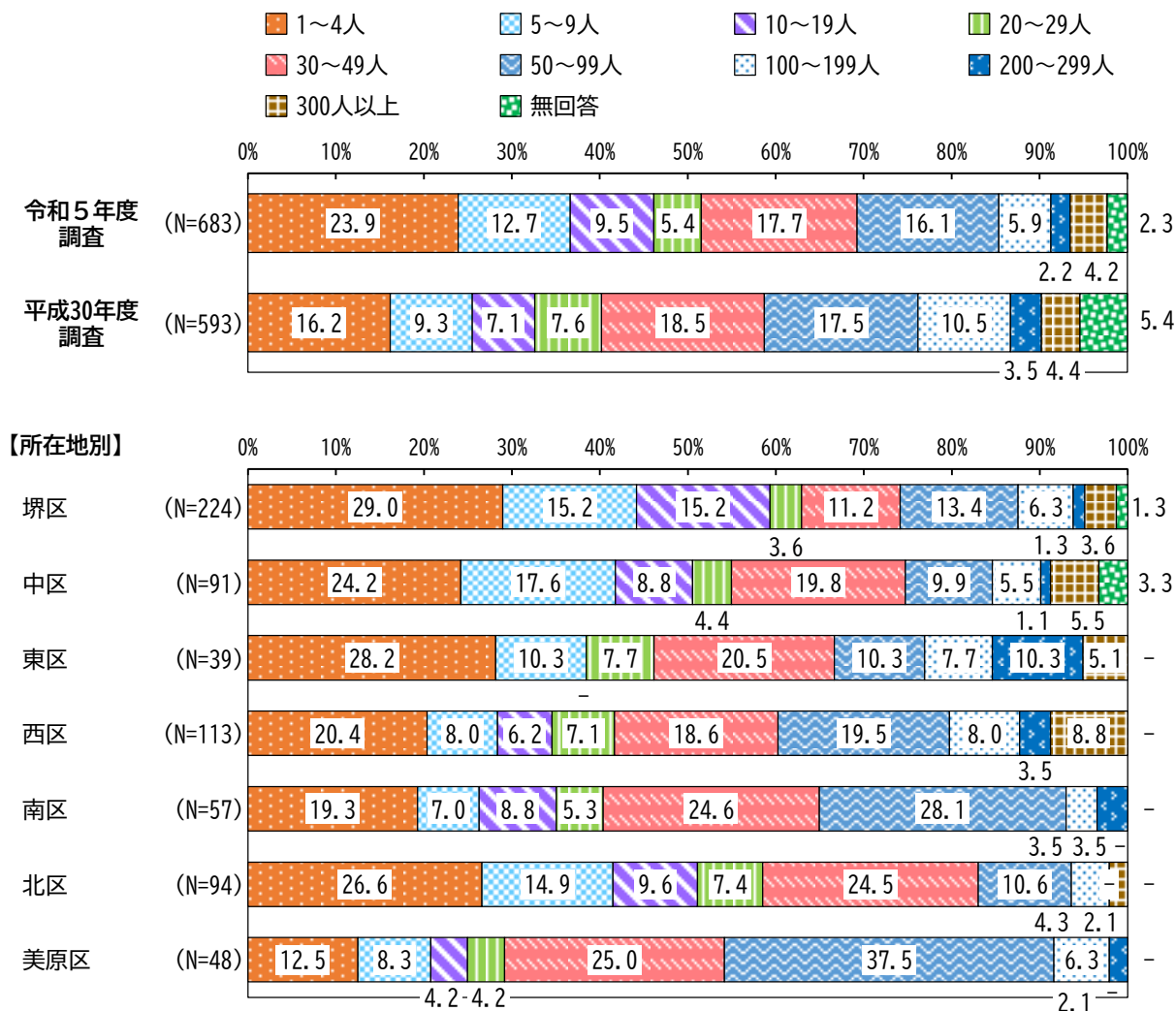
		回答者数（N）	飲食店・レストラン	食料品小売業	食料品以外の小売業 （日用品等物品販売店）	スーパー・百貨店・コンビニエンスストア	事務所・営業所	工場・作業所	倉庫・配送センター	ホテル・旅館	学校・保育所	病院	会館・娯楽施設	その他	無回答
	全 体	683	5.3	2.8	3.5	2.6	35.6	20.4	3.7	-	5.4	6.9	1.5	12.4	3.8
所在地別	堺区	224	8.0	3.6	3.6	2.2	39.3	21.4	3.1	-	2.7	4.9	0.4	9.4	3.6
	中区	91	4.4	7.7	4.4	2.2	29.7	20.9	3.3	-	4.4	7.7	-	17.6	2.2
	東区	39	5.1	-	7.7	2.6	25.6	20.5	-	-	17.9	2.6	2.6	15.4	5.1
	西区	113	5.3	1.8	2.7	1.8	38.1	27.4	3.5	-	2.7	8.0	0.9	12.4	0.9
	南区	57	1.8	-	5.3	8.8	33.3	8.8	3.5	-	14.0	8.8	8.8	8.8	-
	北区	94	5.3	2.1	3.2	2.1	38.3	5.3	1.1	-	7.4	14.9	2.1	17.0	2.1
	美原区	48	-	-	-	-	33.3	43.8	14.6	-	4.2	-	-	14.6	-

③ 従業員数

従業員数は、市全体でみると「1～4人」が23.9%と最も高く、次いで「30～49人」が17.7%、「50～99人」が16.1%となっている。

前回調査と比較すると、「1～4人」が7.7ポイント高くなっている。

所在地別でみると、東区では「200～299人」が10.3%で他区に比べて高くなっている。堺区、北区は従業員30人未満の事業所の割合が、西区、南区、美原区は従業員50人以上の割合が他区に比べて高くなっている。

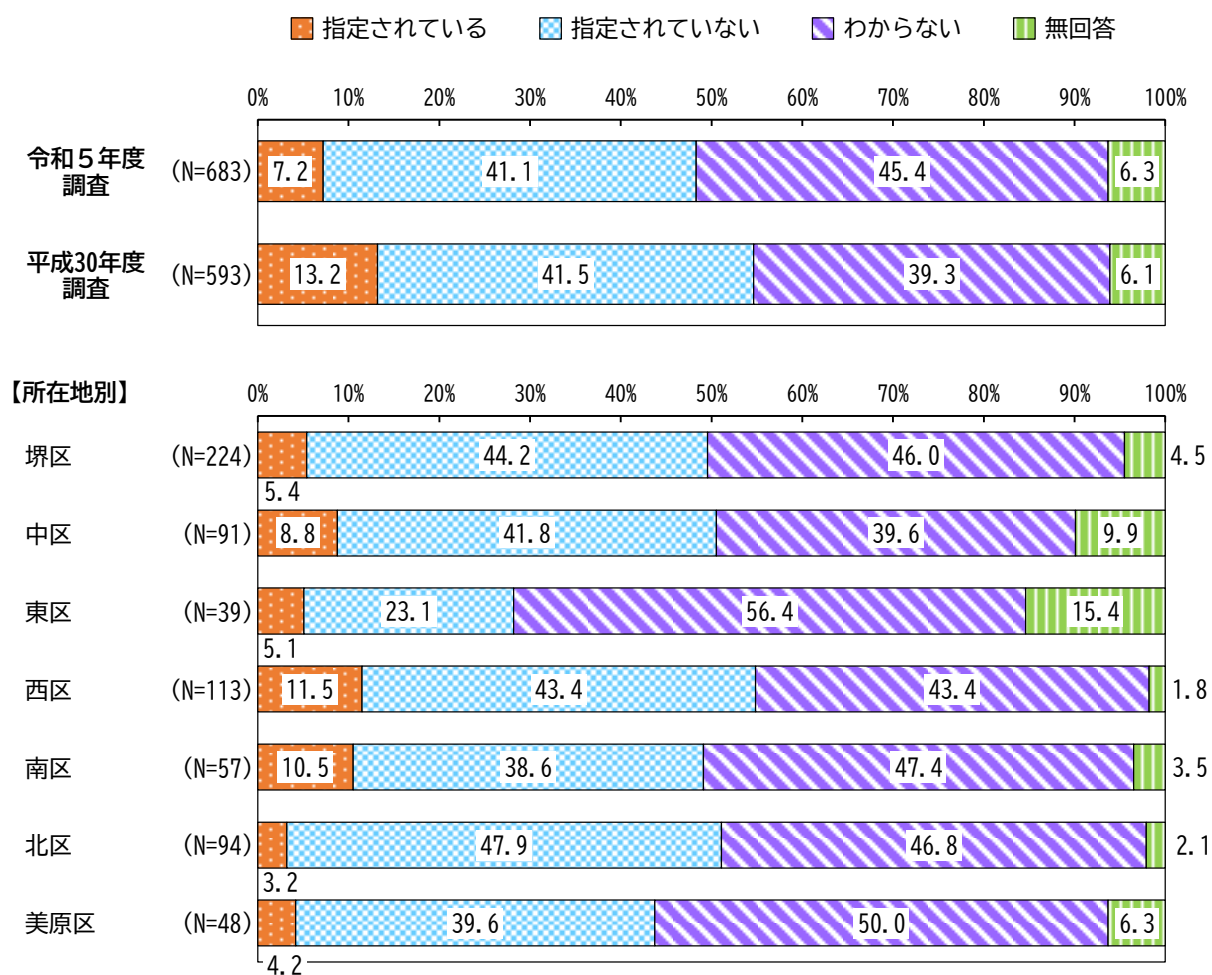


④ 事業用大規模建築物の指定

事業用大規模建築物を所有する事業所は、市全体でみると「指定されている」は 7.2%であり、「指定されていない」は 41.1%である。

前回調査と比較すると、「指定されている」の割合が 6.0 ポイント低くなっている。

所在地別でみると、「指定されている」の割合が西区で 11.5%、南区 10.5%と他区に比べてやや高くなっている。



Ⅱ. アンケート回答集計結果

1. ごみの排出と処理・分別状況について

(1) ごみの排出量について

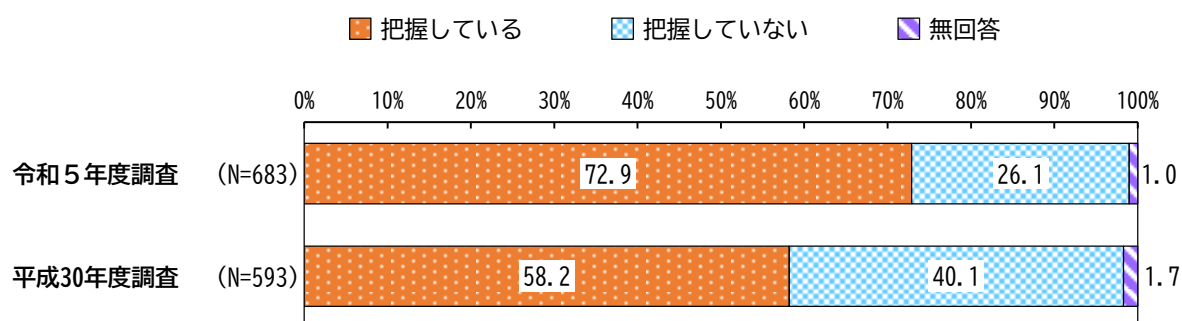
問 1. 貴事業所における、ごみの排出量を把握していますか。(○はひとつだけ)

ごみの排出量の把握について、市全体でみると「把握している」は 72.9%で、「把握していない」は 26.1%となっている。

前回調査と比較すると、「把握している」の割合は 14.7 ポイント高くなっている。

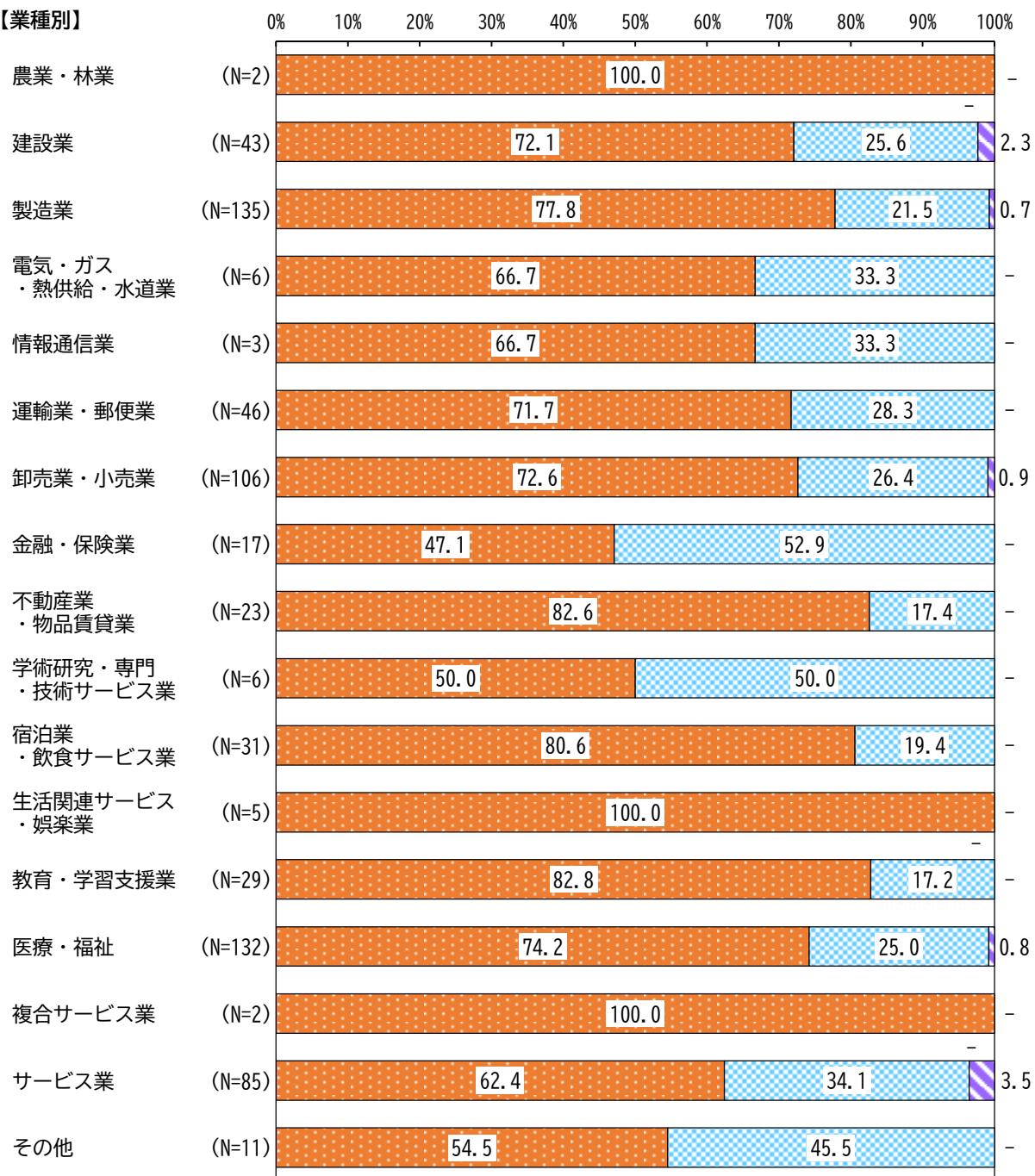
業種別でみると、30 件以上回答のあった業種で「把握している」が他業種に比べて高かったのは、宿泊業・飲食サービス業で 80.6%、製造業で 77.8%である。

大規模建築物の指定別にみると、指定されている事業所で「把握している」の割合が 93.9%と指定されていない事業所に比べて高くなっている。

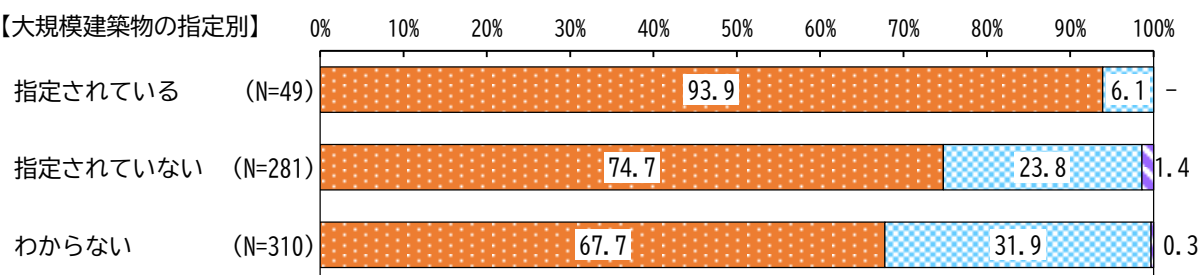


■ 把握している ■ 把握していない ■ 無回答

【業種別】



【大規模建築物の指定別】



(2)ごみの排出量の変化

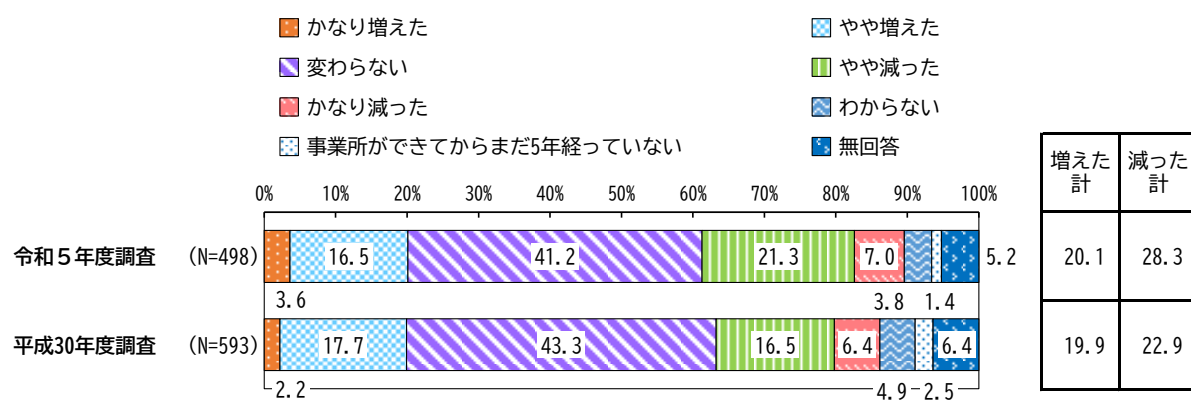
問2. 5年前と比べて、ごみ排出量は変化していますか。(○はひとつだけ)

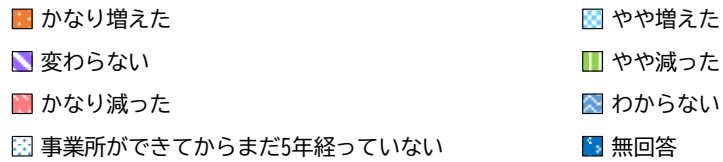
ごみの排出量は、市全体でみると「かなり増えた」と「やや増えた」を合わせた割合は20.1%、「変わらない」が41.2%、「やや減った」と「かなり減った」を合わせた割合が28.3%となっている。

前回調査と比較すると、増えた割合はほぼ横ばいとなっているものの、減った割合が5.4ポイント上昇している。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち運輸業・郵便業、卸売業・小売業、サービス業でごみの排出量が減った割合が他業種に比べて高くなっており、建設業、製造業、医療・福祉では増えた割合が他業種に比べて高くなっている。

大規模建築物の指定別にみると指定されている事業所では減った割合が34.8%と指定されていない事業所に比べて高くなっている。

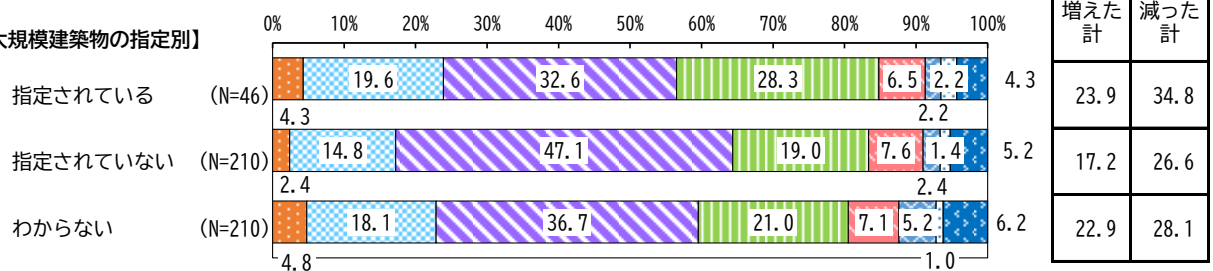




【業種別】



【大規模建築物の指定別】



(3) 今後のごみの排出量の見込み

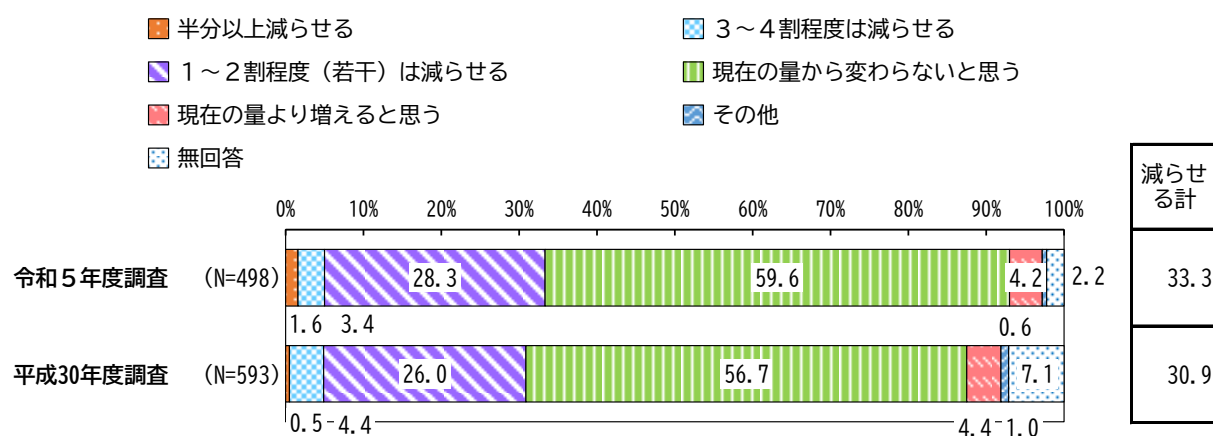
問 3. ごみ排出量の今後の想定について、あてはまるものをお選びください。(○はひとつだけ)

今後のごみの排出量の見込みについて、市全体でみると「現在の量から変わらないと思う」が 59.6%で最も高い。「半分以上減らせる」の割合が 1.6%、「3～4 割程度は減らせる」が 3.4%、「1～2 割程度（若干）は減らせる」が 28.3%で減らせると想定している割合は 33.3%、「現在の量より増えると思う」が 4.2%である。全体的にごみ排出量は減少傾向となっている。

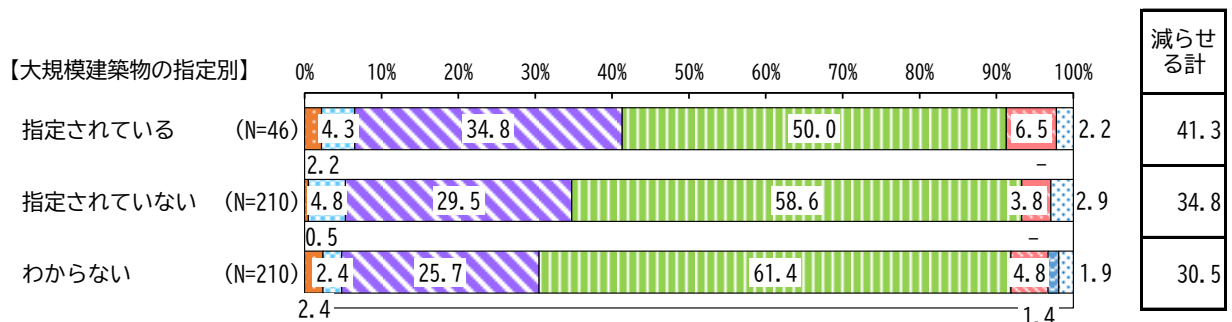
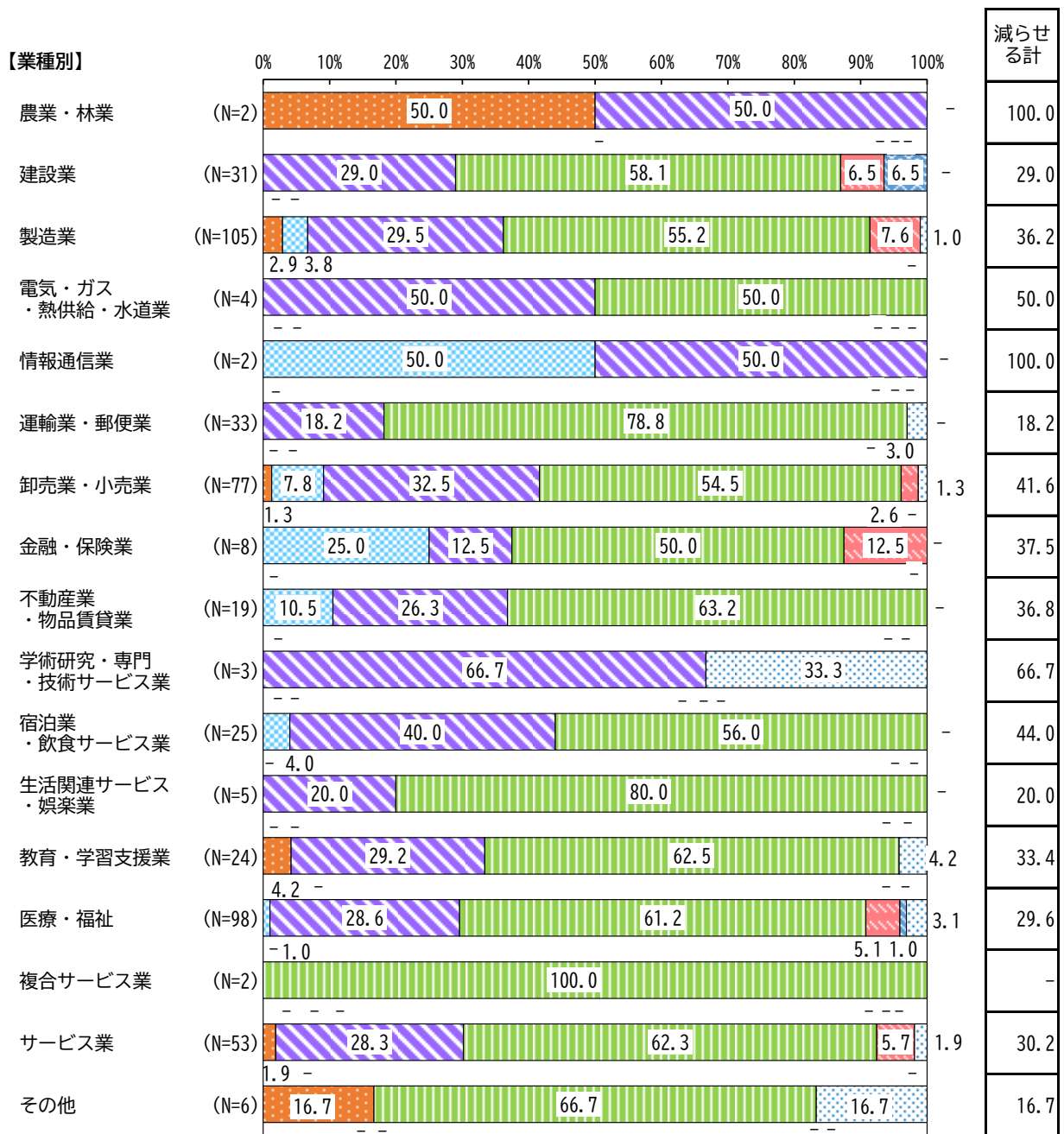
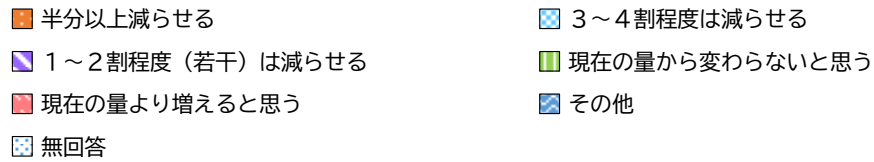
前回調査と比較して大きな差はみられない

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち減らせると想定した割合は卸売業・小売業で 41.6%と他業種に比べて高くなっている。

大規模建築物の指定別でみると、指定されている事業所で減らせると想定した割合は 41.3%と指定されていない事業所に比べて高くなっている。



※平成 30 年度調査では「3 割程度は減らせる」「1 割程度（若干）は減らせる」と表記



(4)ごみ処理費用の把握状況

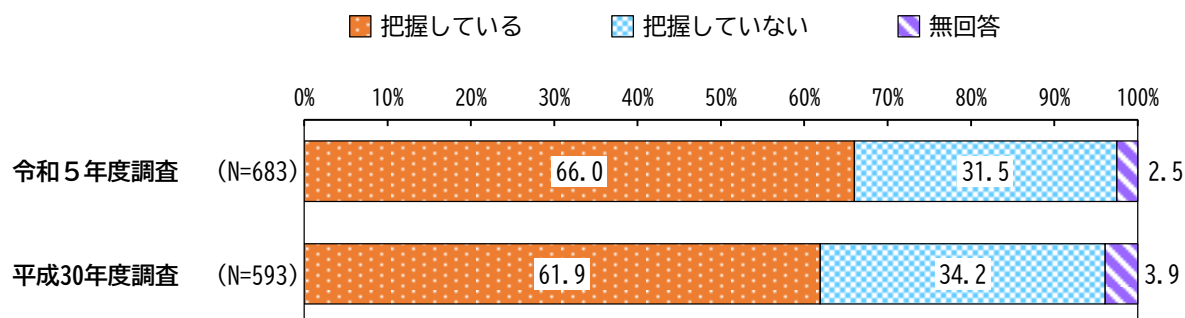
問 4. ごみの処理にかかる費用を把握していますか。(○はひとつだけ)

処理費用の把握について、市全体でみると「把握している」は 66.0%で、「把握していない」は 31.5%である。

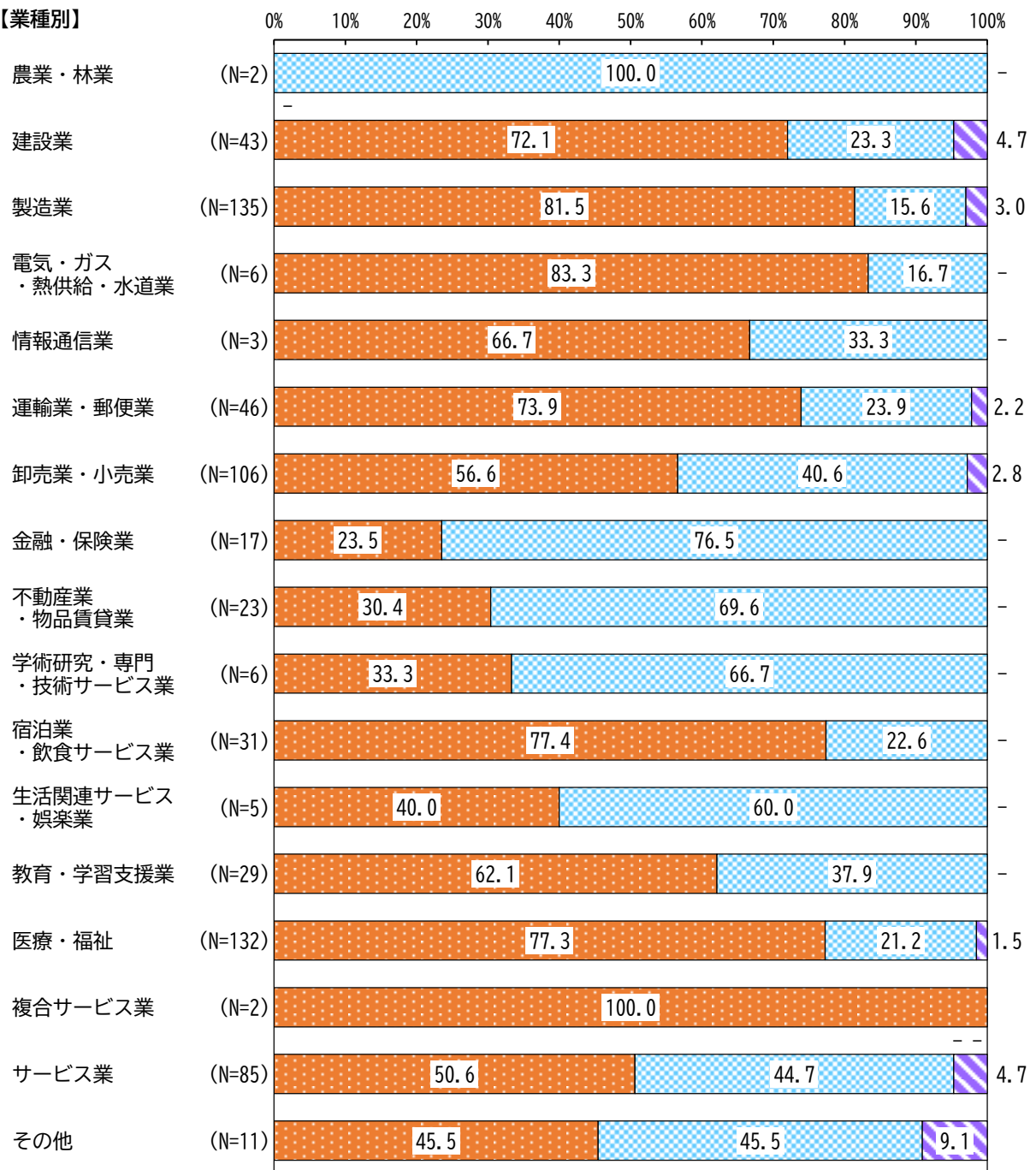
前回調査と比較すると、「把握している」の割合は 4.1 ポイント高くなっている。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち「把握している」が他業種に比べて高かったのは、製造業（81.5%）と宿泊業・飲食サービス業（77.4%）、医療・福祉（77.3%）、運輸業・郵便業（73.9%）、建設業（72.1%）である。

ごみの排出量の把握状況と合わせてみると、ごみに対するコスト意識の高まりがうかがえる。



【業種別】



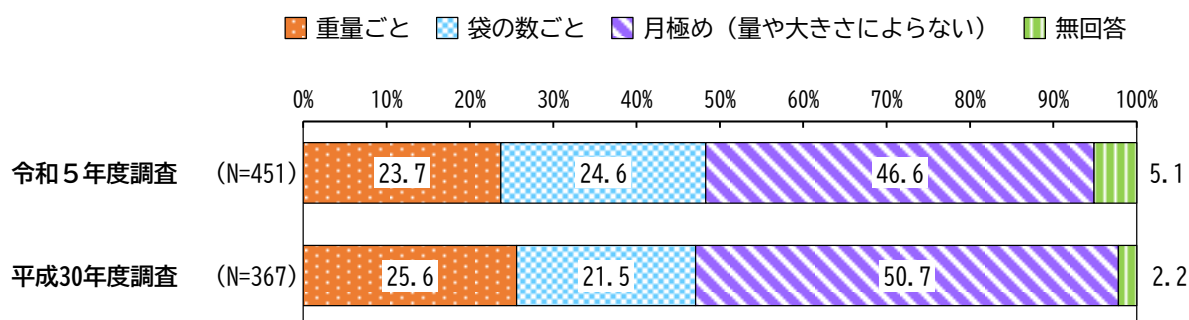
(5)ごみ処理費用の算出方法

問 5. 費用はどのように算出されていますか。(○はひとつだけ)

ごみ処理費用の算出方法は、市全体でみると、「月極め（量や大きさによらない）」が46.6%と最も高く、次いで「袋の数ごと」が24.6%、「重量ごと」が23.7%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

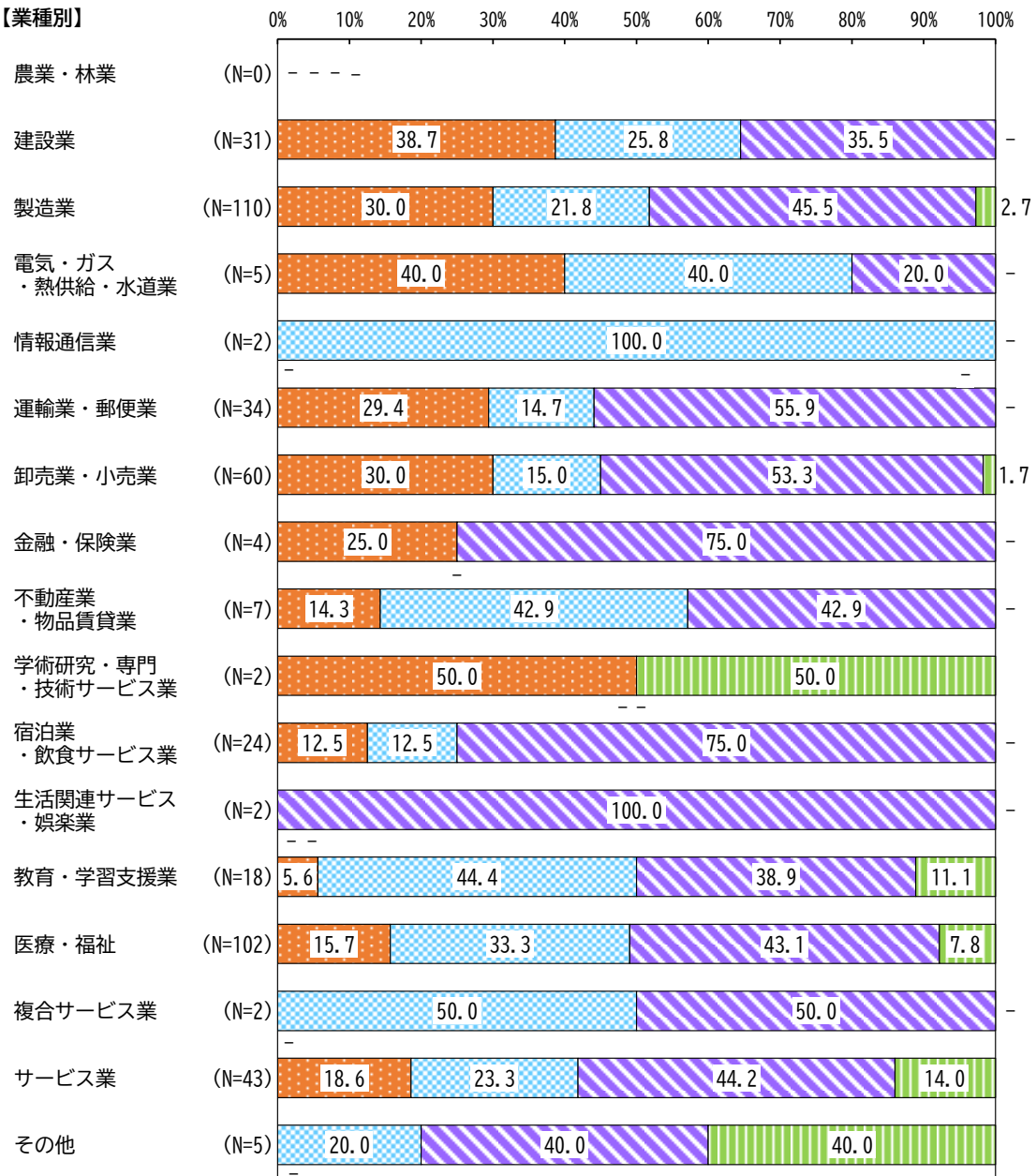
業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち「月極め（量や大きさによらない）」は、運輸業・郵便業で55.9%、卸売業・小売業で53.3%と他業種に比べて高くなっている。

ごみの排出量の変化別にみると、排出量の変化があった事業所では「重量ごと」の割合が全体に比べて10ポイント以上高くなっており、排出量が変わらない事業所では「月極め（量や大きさによらない）」の割合が52.4%と比較的高くなっている。

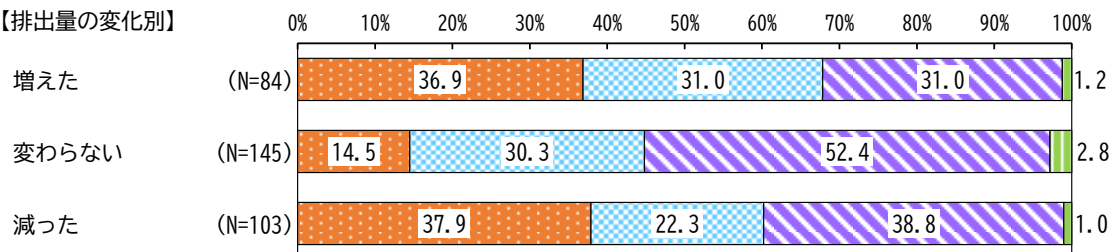


■ 重量ごと ■ 袋の数ごと ■ 月極め（量や大きさによらない） ■ 無回答

【業種別】



【排出量の変化別】



(6)ごみ処理費用の負担感

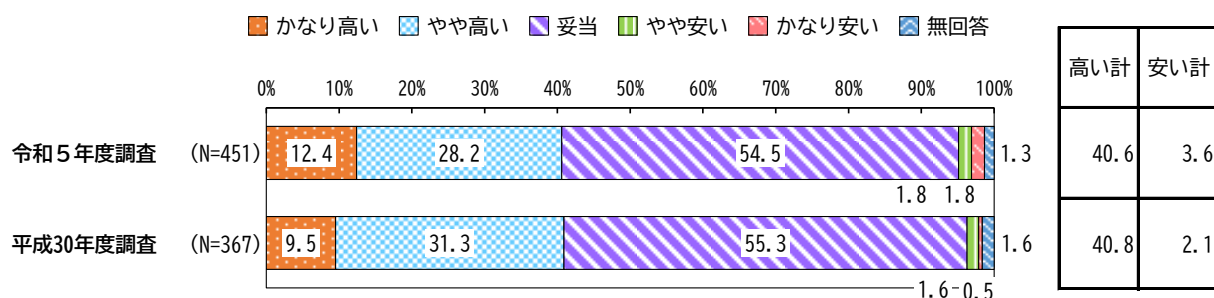
問 6. 費用の負担感はいかがですか。(○はひとつだけ)

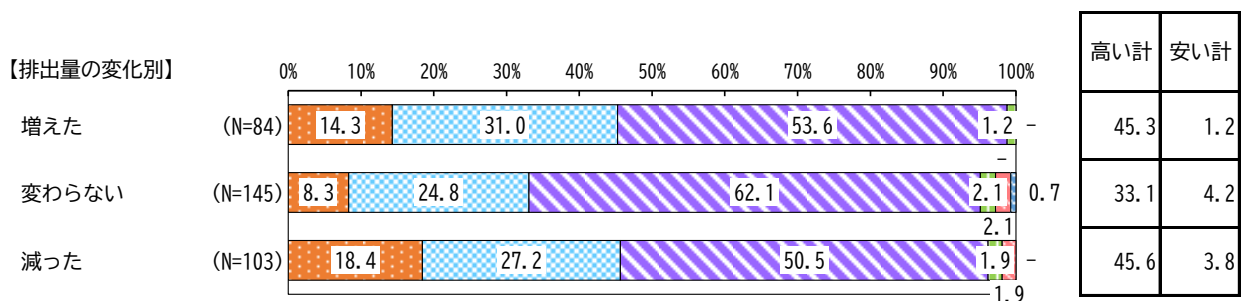
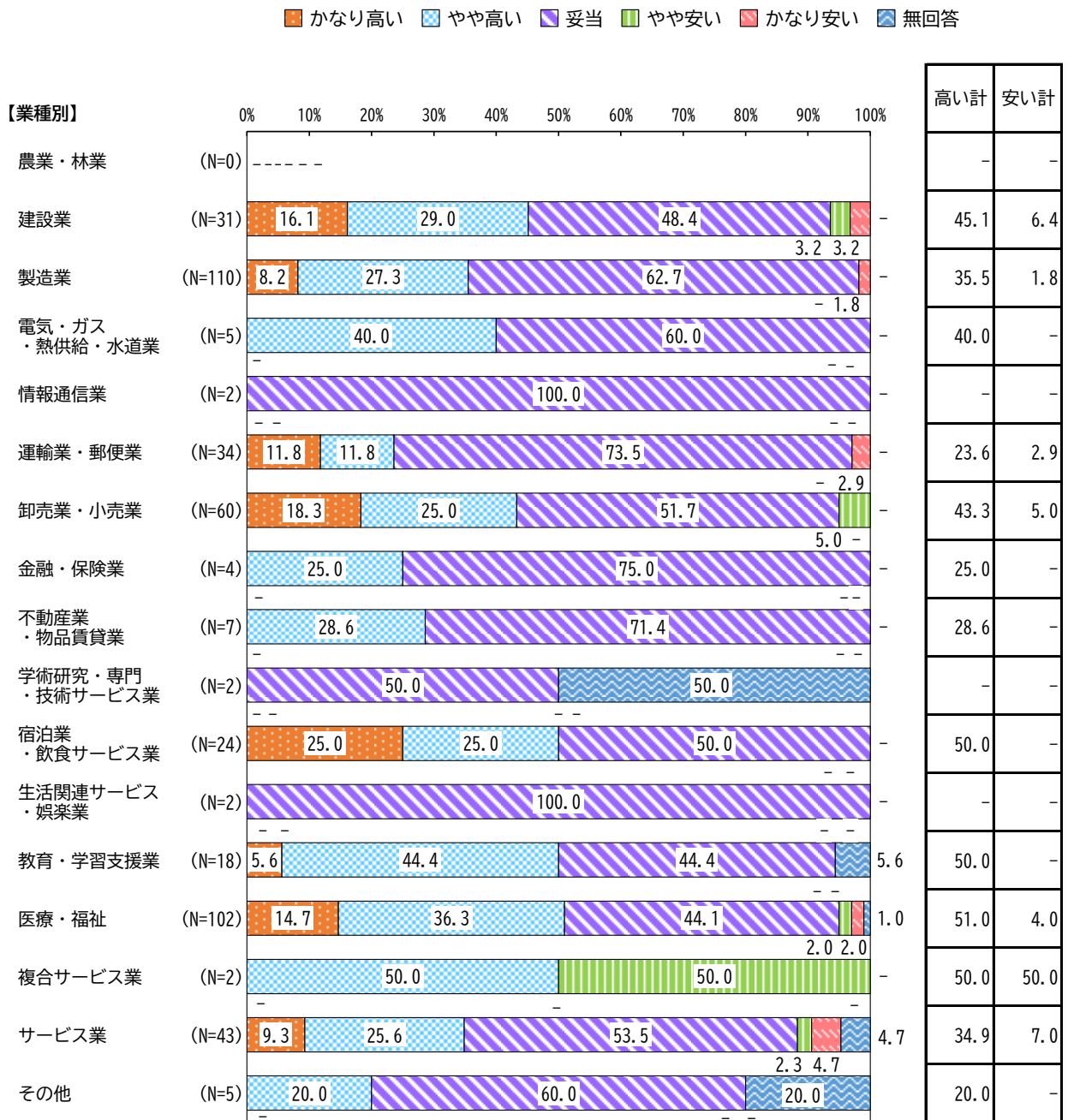
ごみ処理費用の負担感は、市全体でみると、「妥当」が54.5%と最も高い。「かなり高い」「やや高い」をあわせた割合が40.6%、「やや安い」「かなり安い」をあわせた割合は3.6%である。

前回調査と比較して大きな差はみられない。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち高いと考える割合は医療・福祉で51.0%と他の業種に比べて高くなっている。「妥当」と考える割合は製造業で62.7%、運輸業・郵便業で73.5%と他の業種に比べて高くなっている。

ごみの排出量の変化別にみると、排出量の変化があった事業所では高いと考える割合が全体に比べて5ポイント程高くなっており、排出量が変わらない事業所では「妥当」の割合が62.1%と比較的高くなっている。





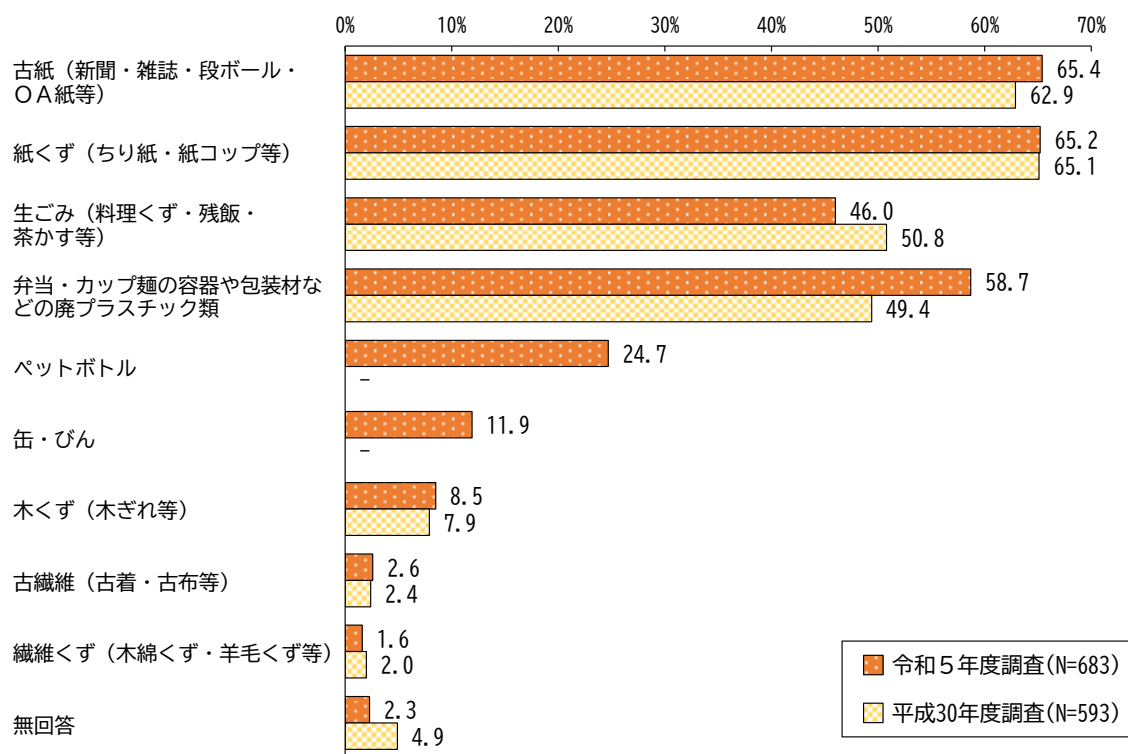
(7)排出しているごみの種類

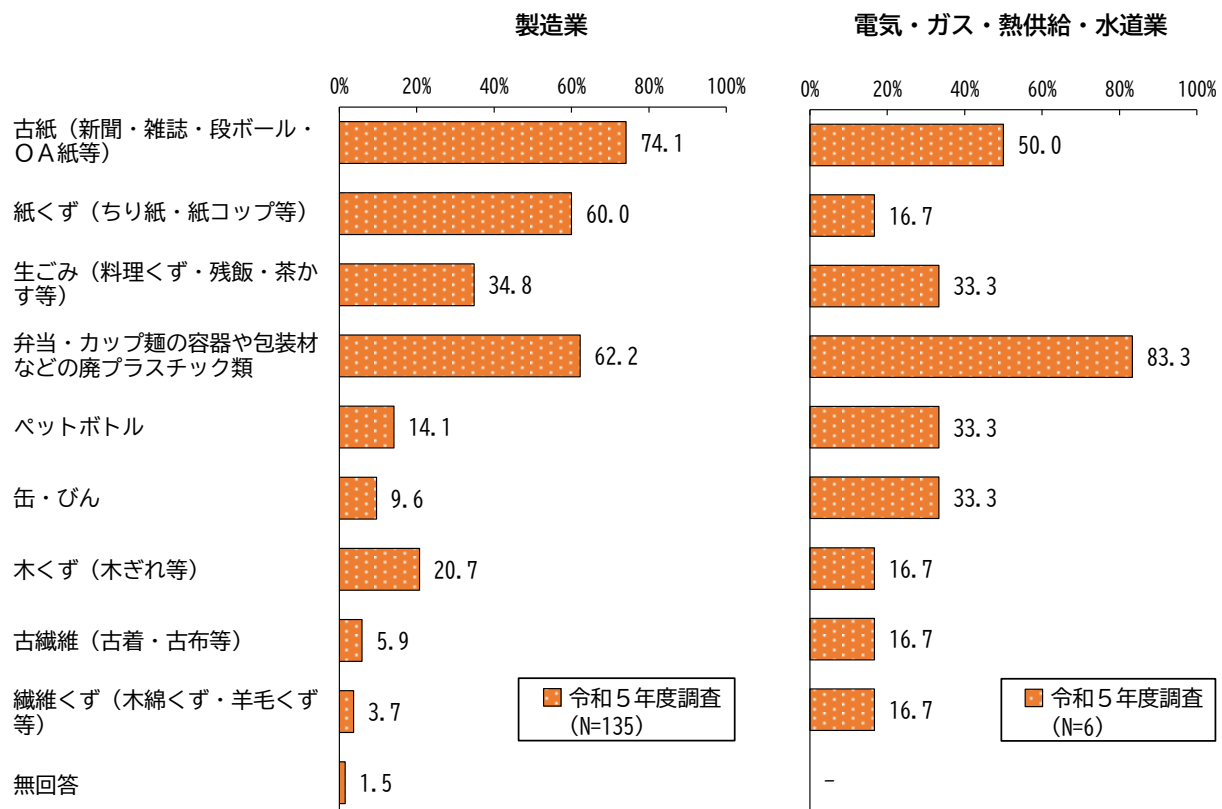
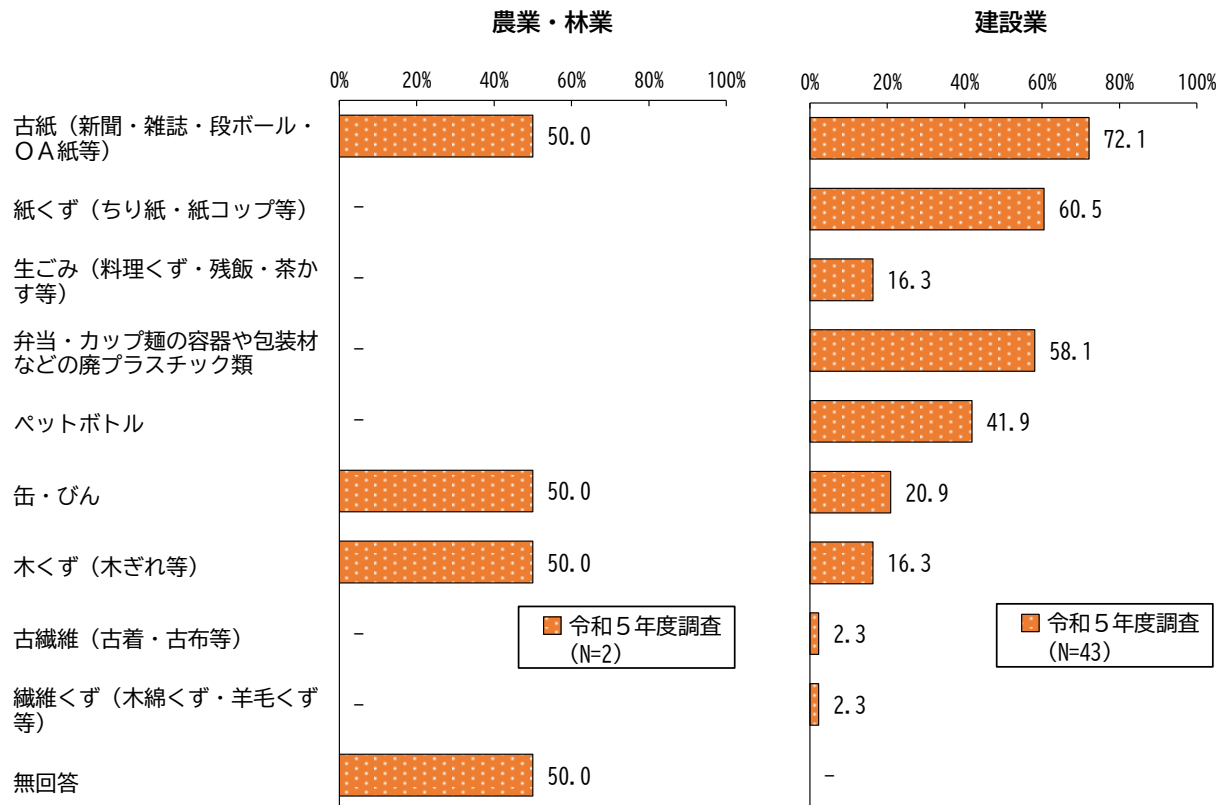
問7. どのようなごみを排出していますか。次の①～③にあてはまるものを、下の選択からそれぞれひとつずつお選びいただき、その番号をご記入ください。

排出するごみの種類（上位3位まで）について、市全体でみると「古紙」が65.4%で最も高く、次いで「紙くず」が65.2%、「弁当・カップ麺の廃プラスチック類」のごみが58.7%、「生ごみ」が46.0%である。

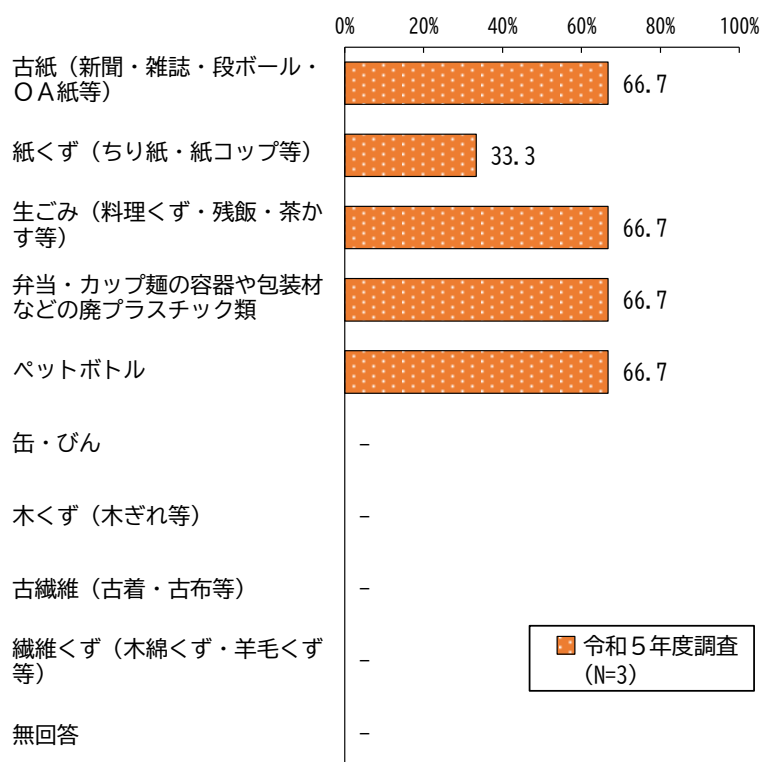
前回調査と比較して、「弁当・カップ麺の廃プラスチック類」が9.3ポイント上昇している。

業種別でみると、すべての業種で「古紙」「紙くず」の割合が高く、「生ごみ」の割合は宿泊業・飲食サービス業で100.0%、医療・福祉で63.6%と高めである。「弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類」の割合は卸売業・小売業で64.2%、金融・保険業で82.4%、宿泊業・飲食サービス業で64.5%と高めである。

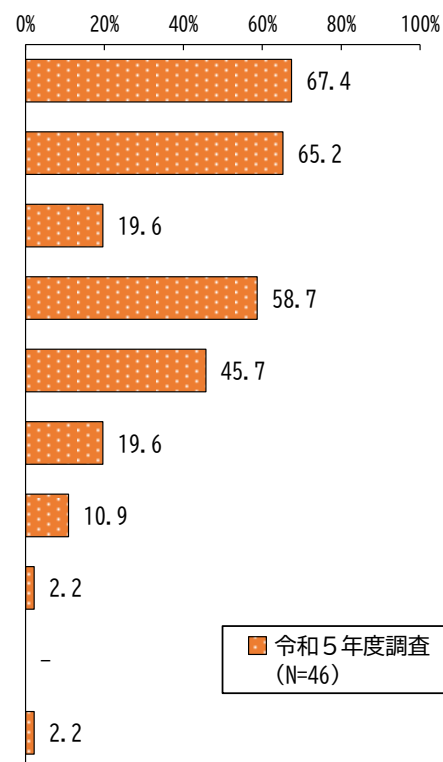




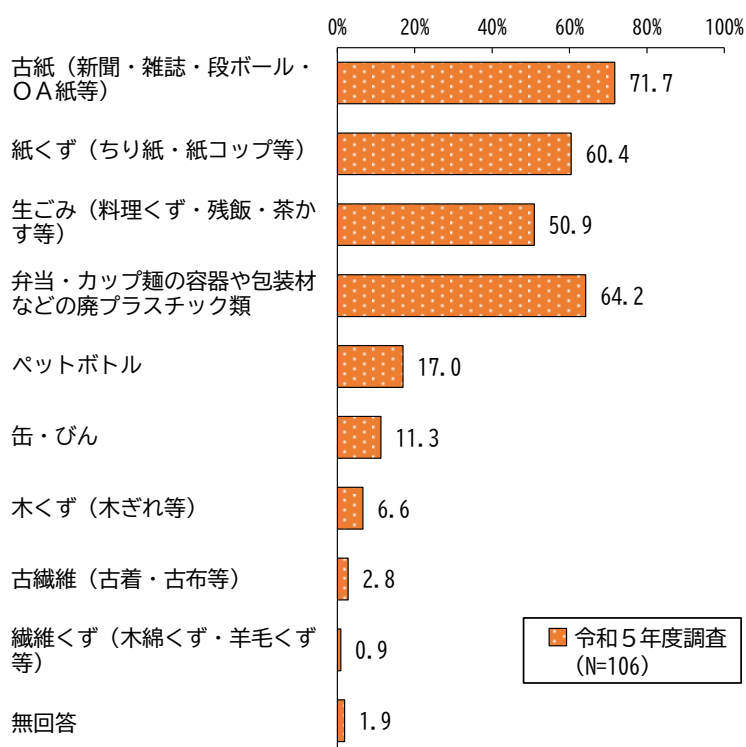
情報通信業



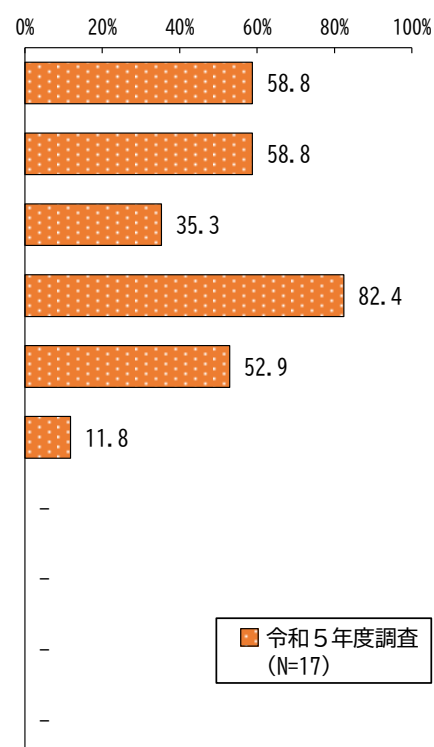
運輸業・郵便業



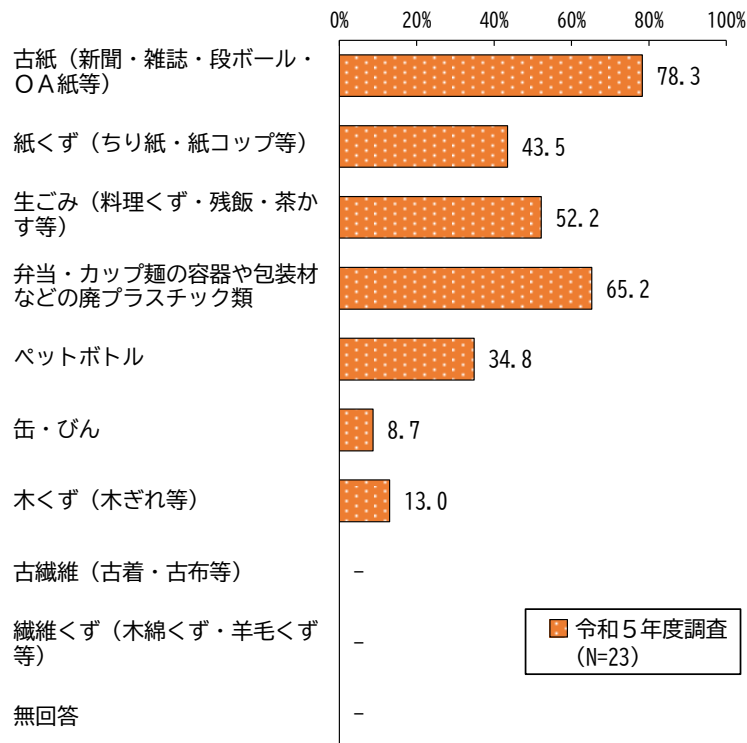
卸売業・小売業



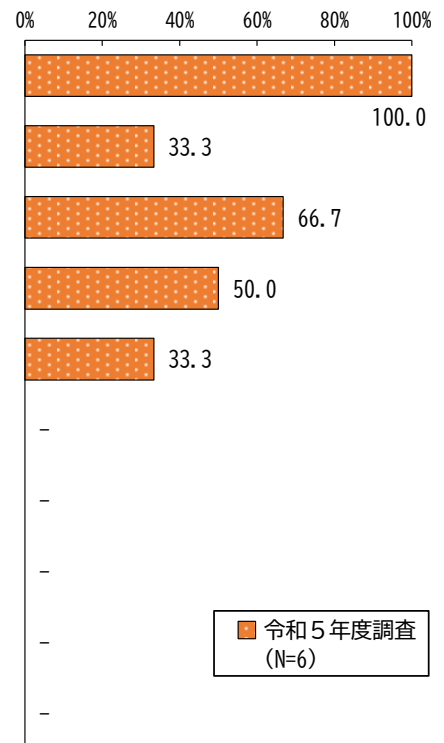
金融・保険業



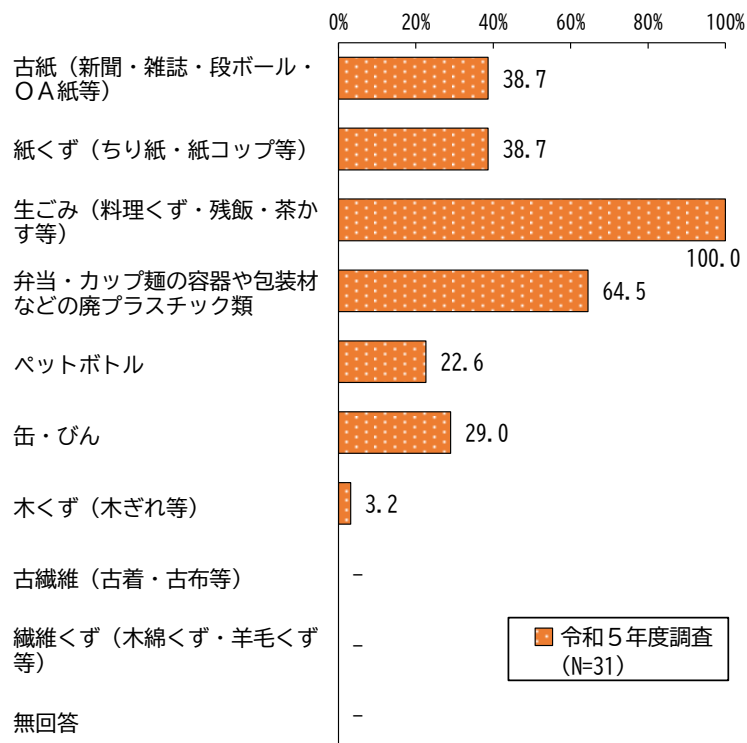
不動産業・物品賃貸業



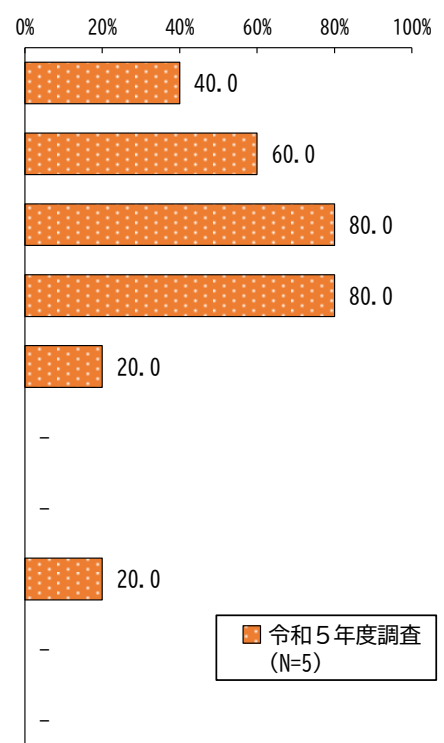
学術研究・専門・技術サービス業



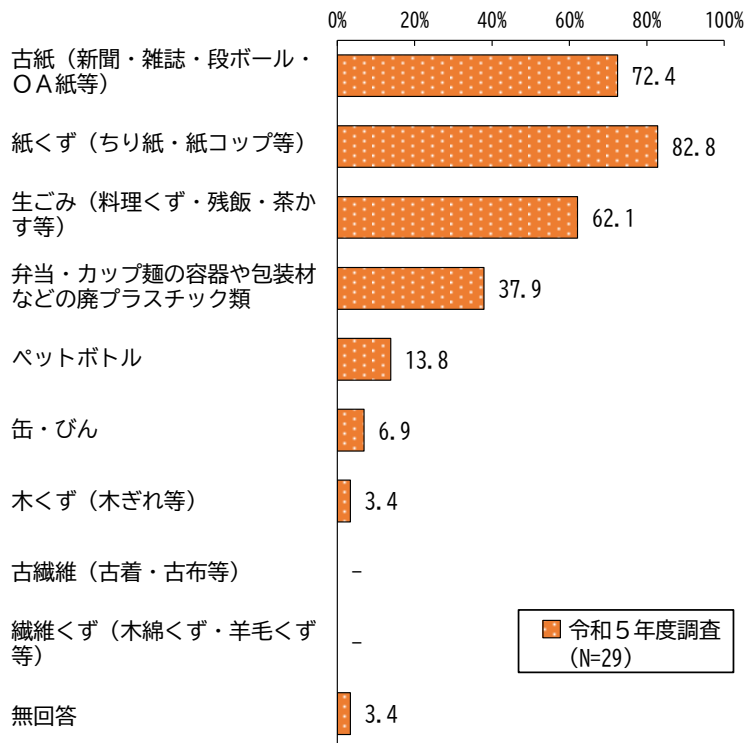
宿泊業・飲食サービス業



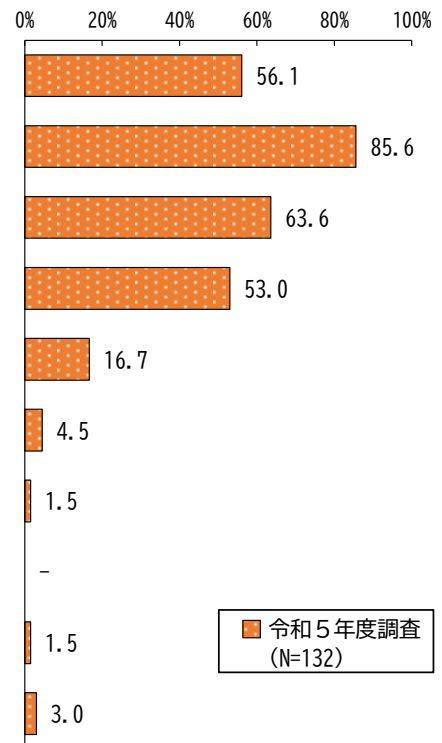
生活関連サービス・娯楽業



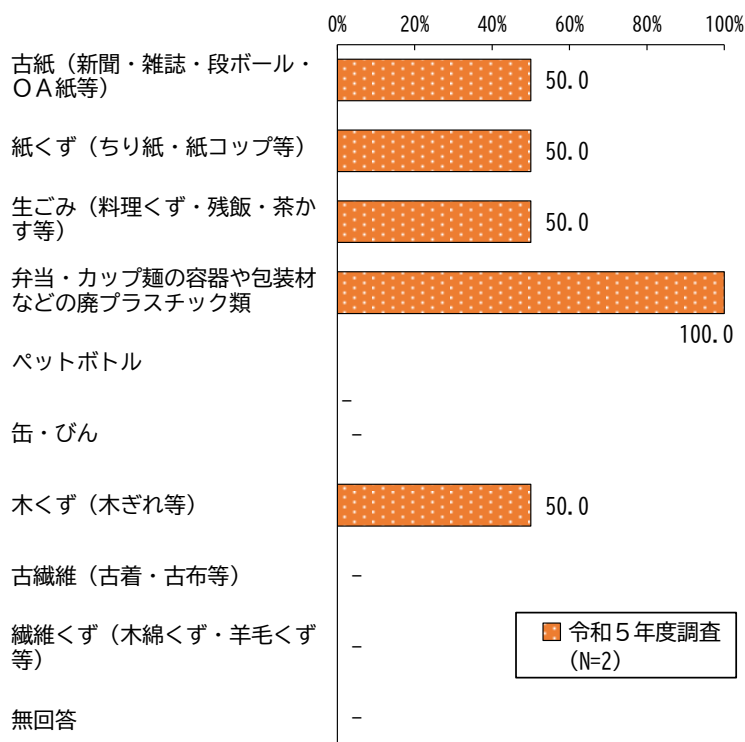
教育・学習支援業



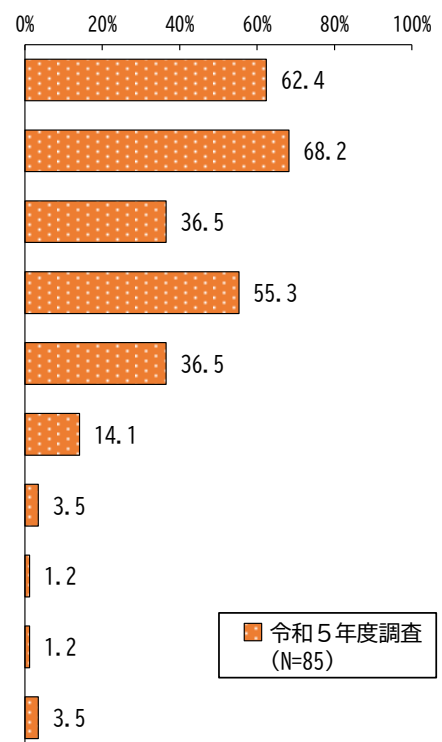
医療・福祉

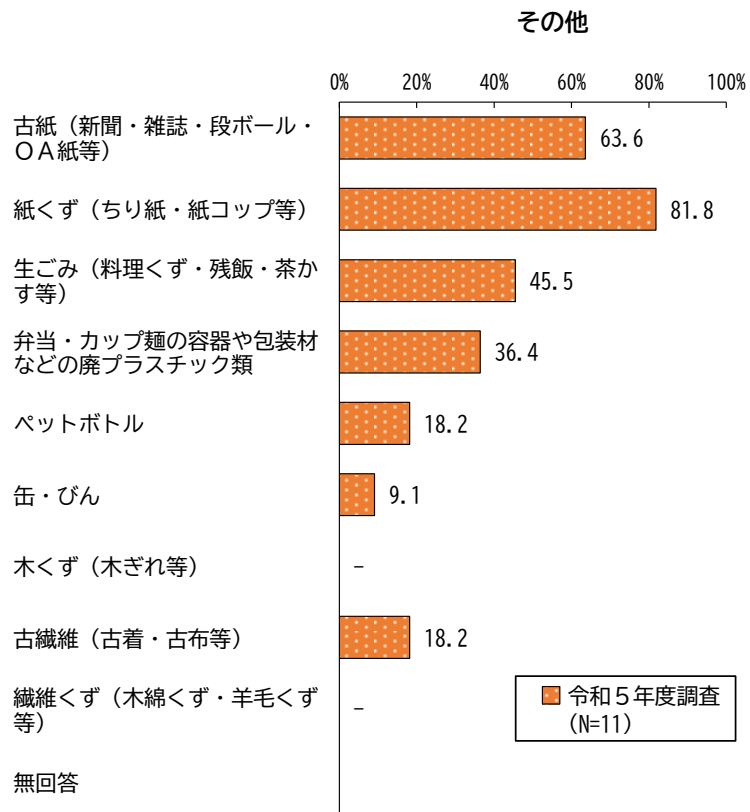


複合サービス業



サービス業



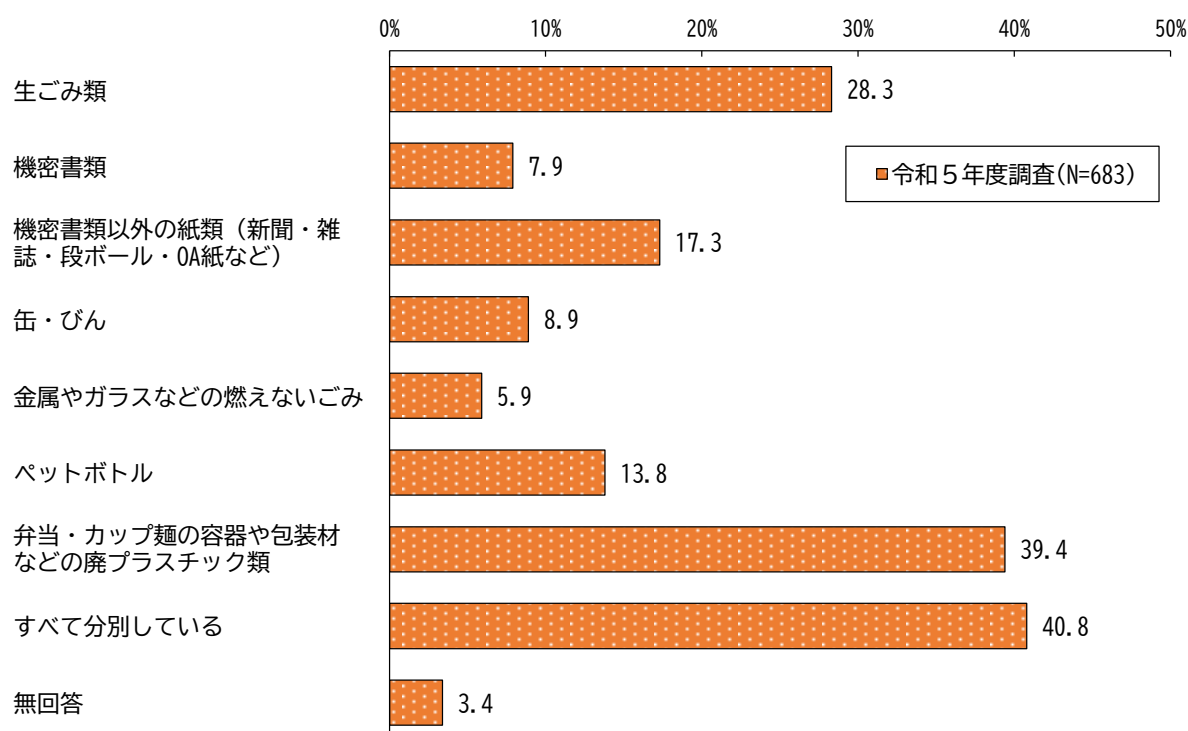


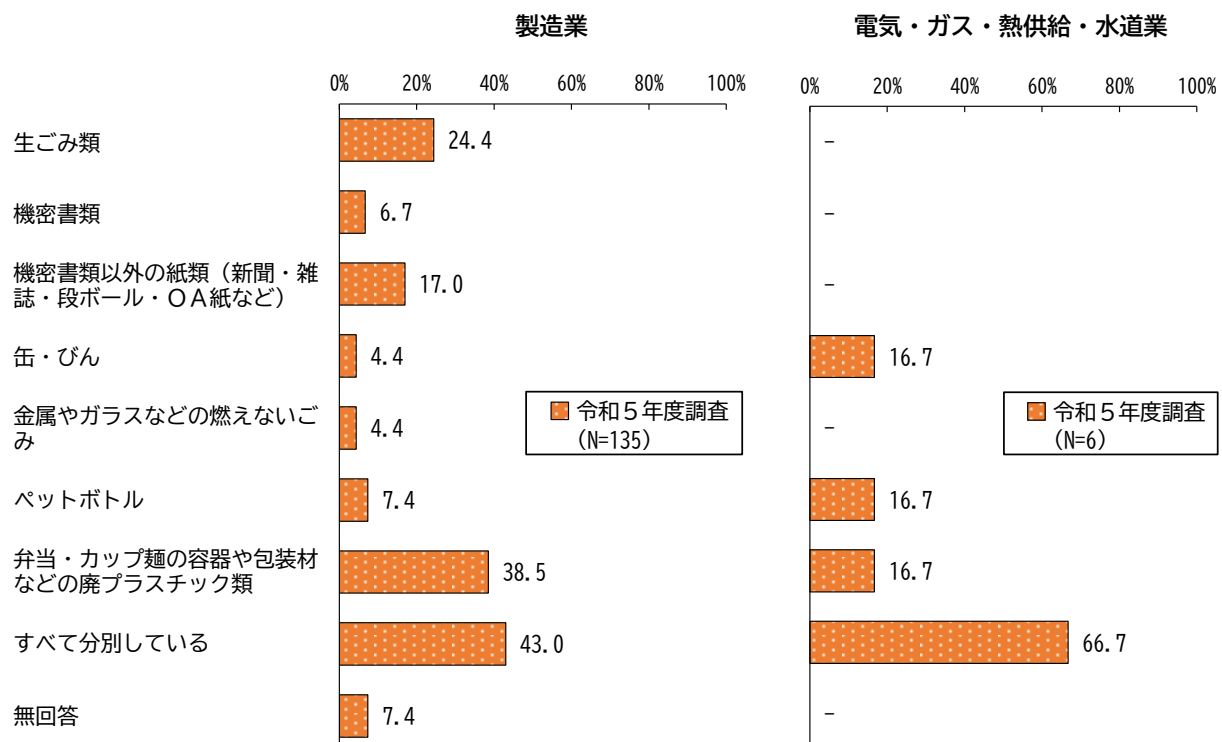
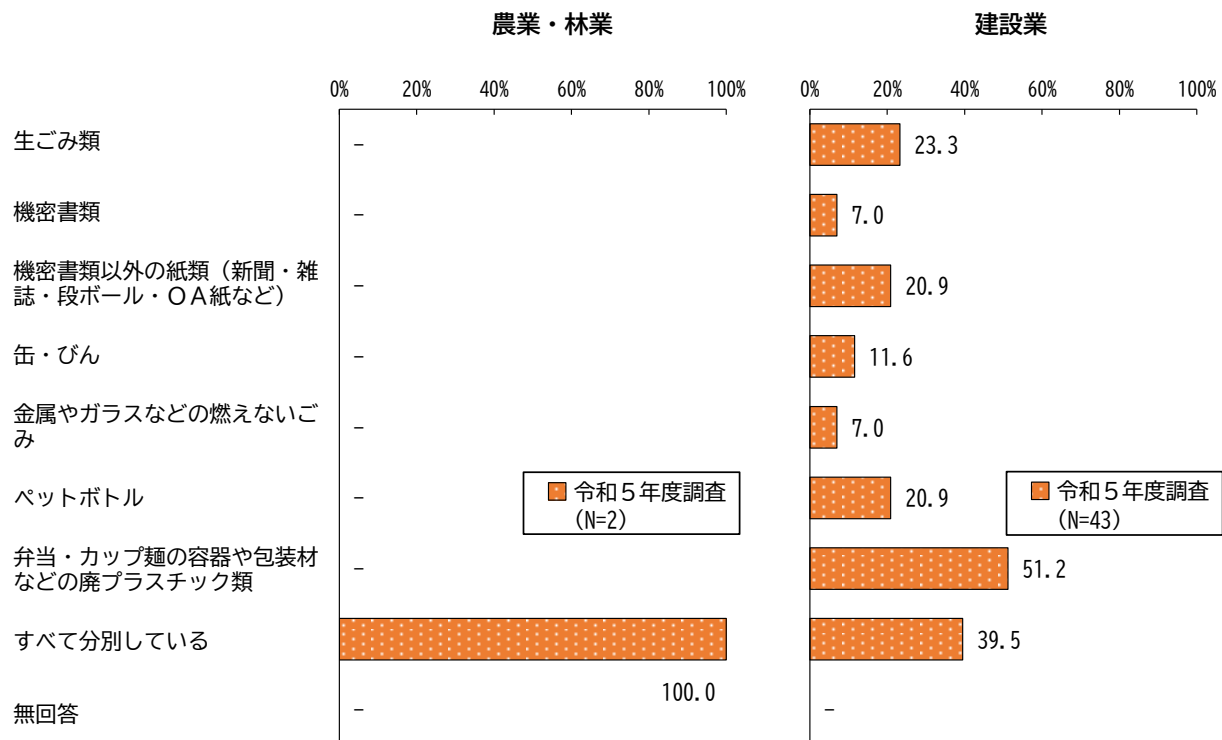
(8)ごみの分別をしていない品目

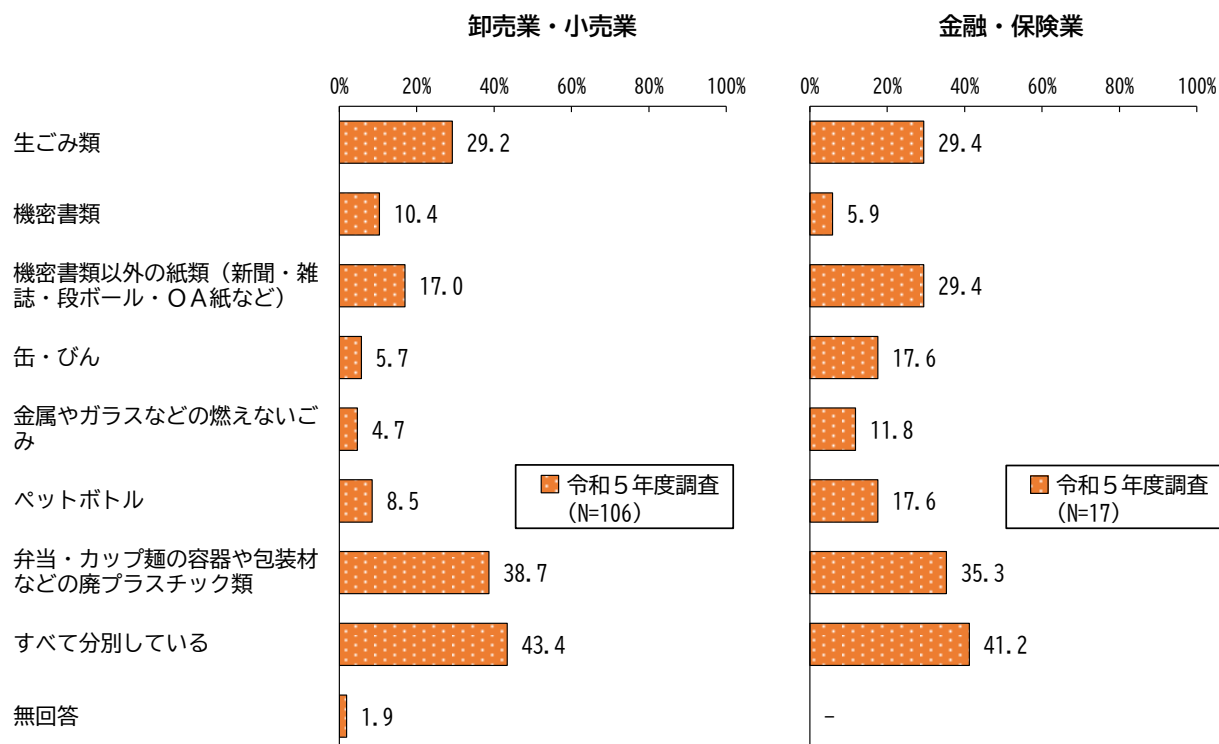
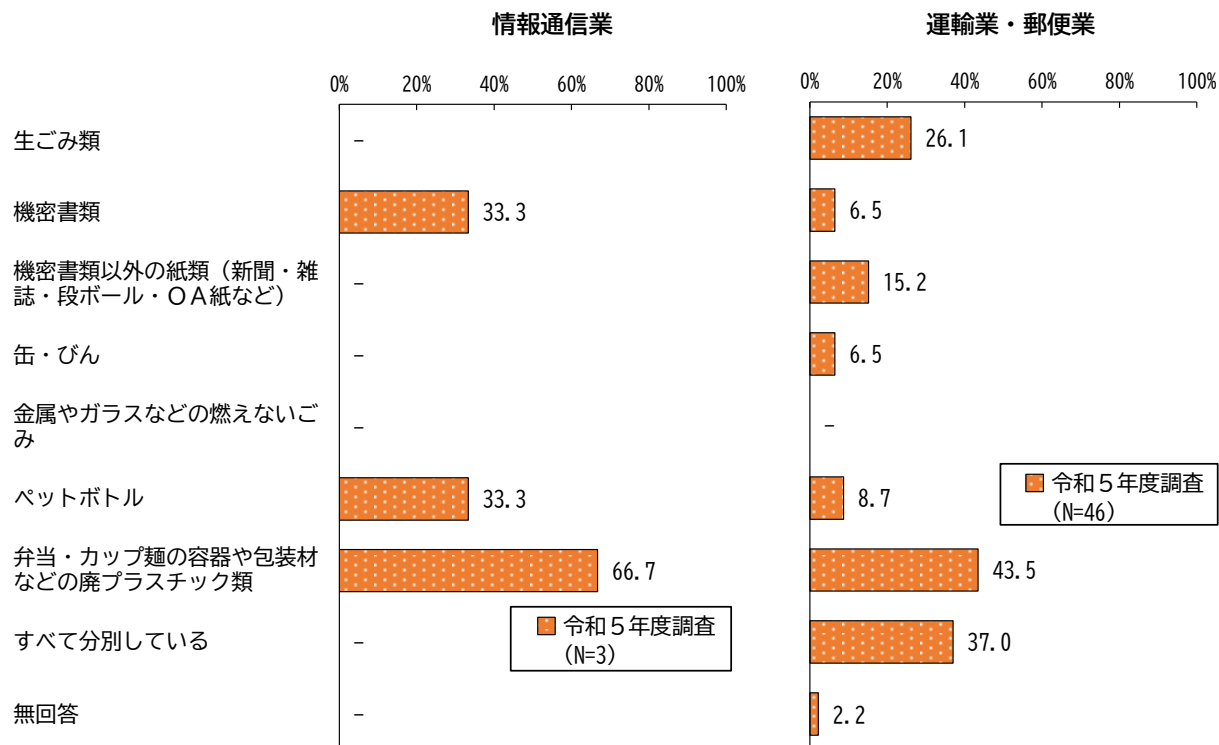
問 8. 次の中から、貴事業所で分別して「いない」ものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

ごみの分別をしていないものについて、市全体でみると、「弁当・カップ麺の廃プラスチック類」が39.4%と最も高く、次いで「生ごみ類」が28.3%、「機密書類以外の紙類」が17.3%となっている。また、「すべて分別している」は40.8%である。

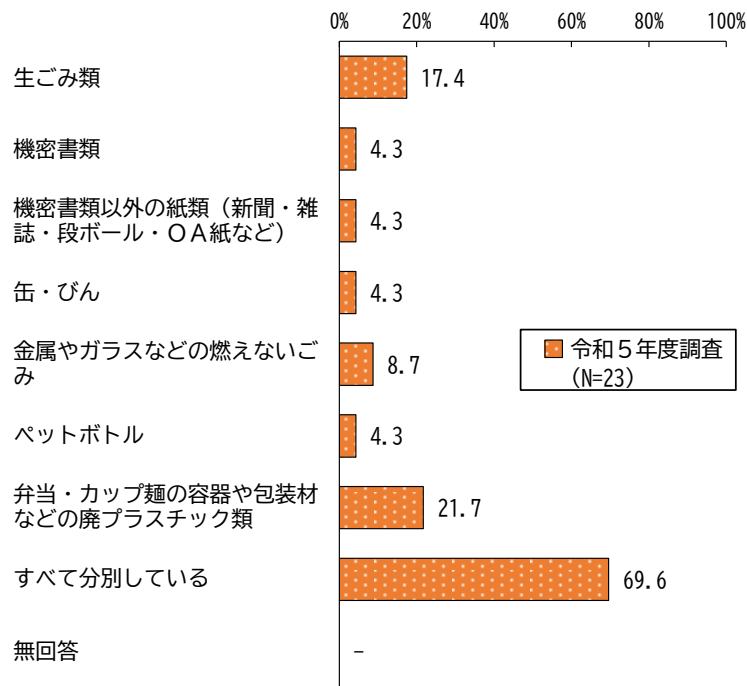
業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち宿泊業・飲食サービス業で「すべて分別している」の割合が25.8%と他業種に比べて低く、「生ごみ類」が35.5%と他業種に比べて高くなっている。サービス業においても「生ごみ類」の割合が34.1%と他業種に比べて高くなっている。



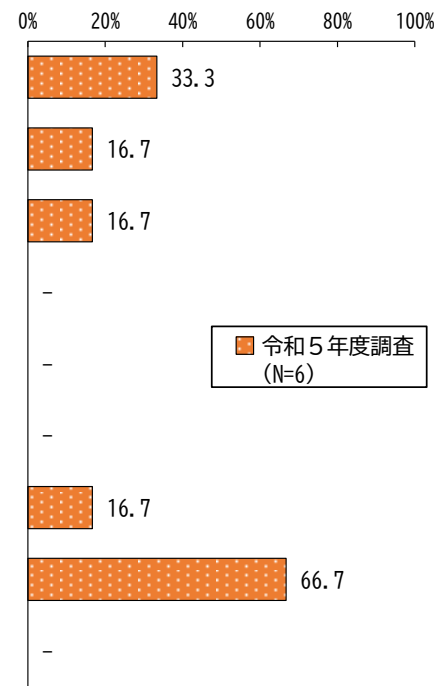




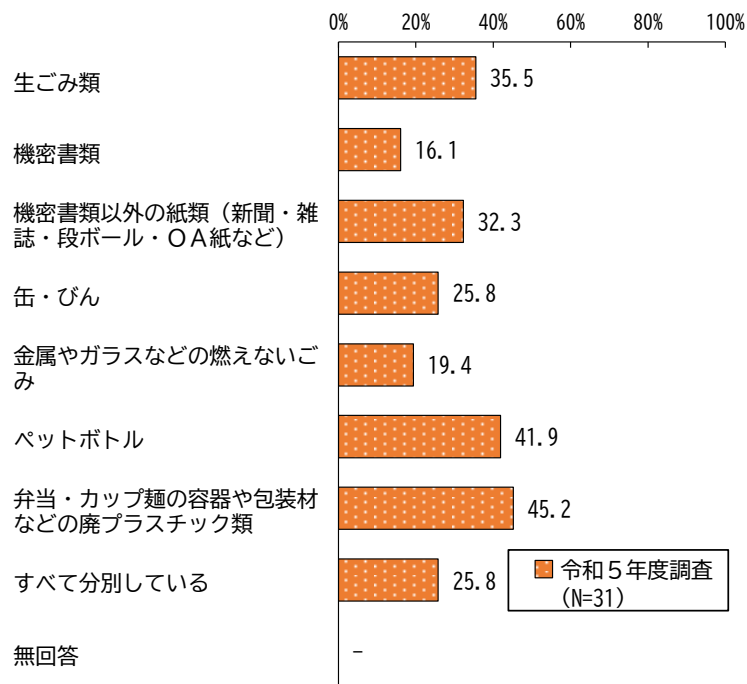
不動産業・物品賃貸業



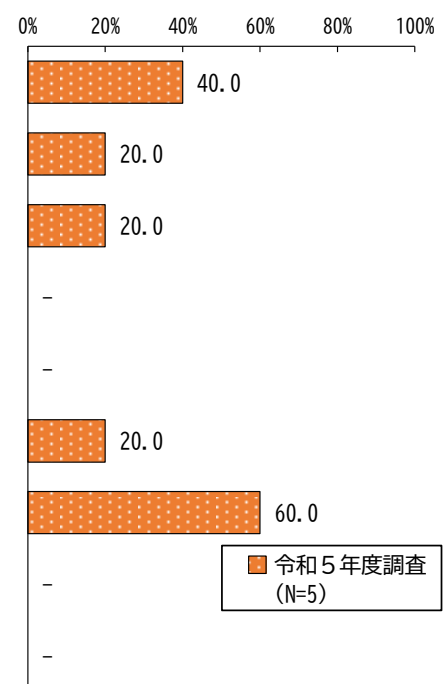
学術研究・専門・技術サービス業



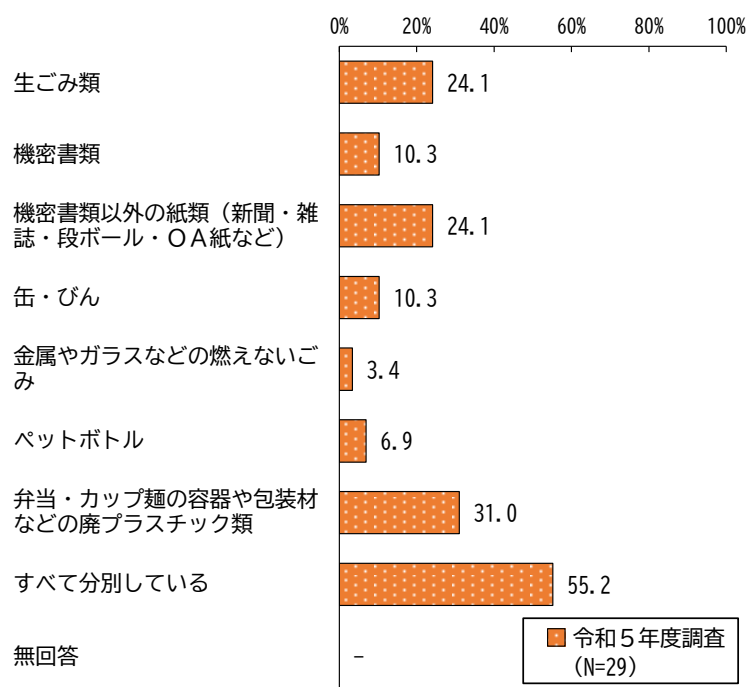
宿泊業・飲食サービス業



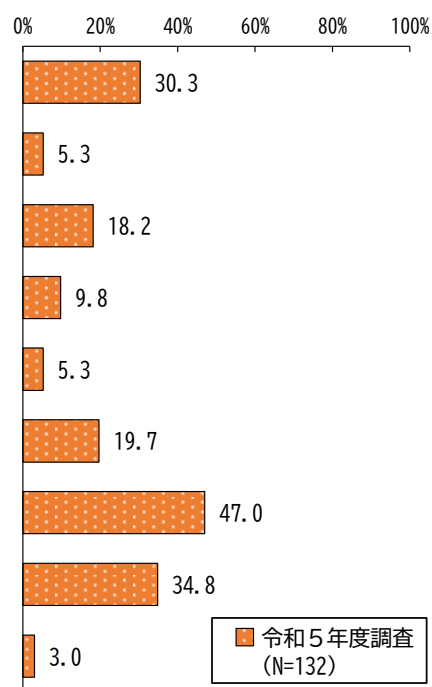
生活関連サービス・娯楽業



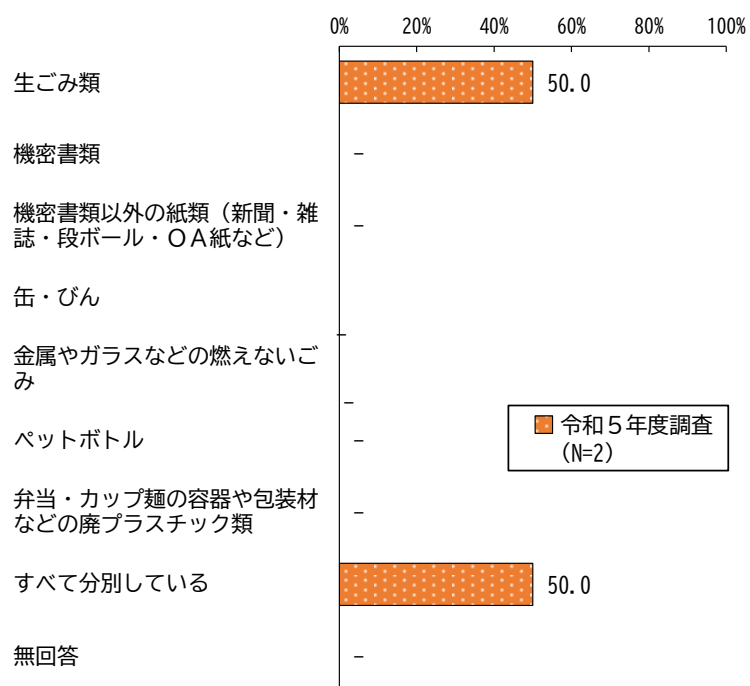
教育・学習支援業



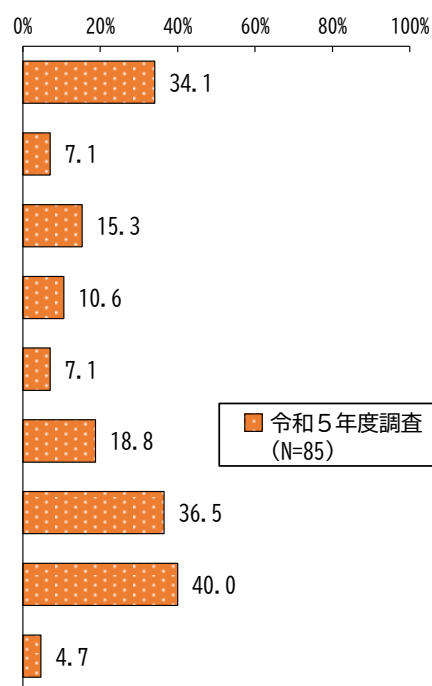
医療・福祉

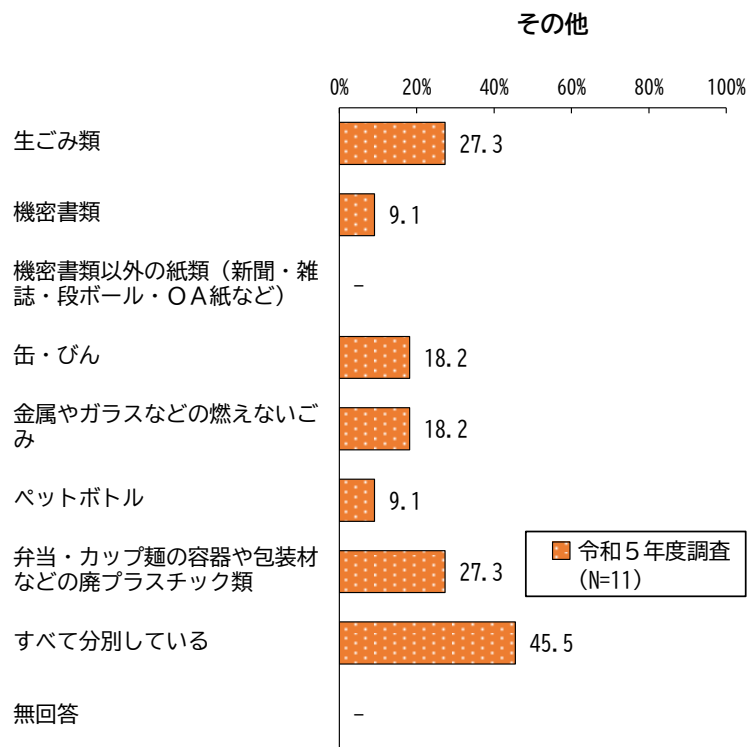


複合サービス業



サービス業





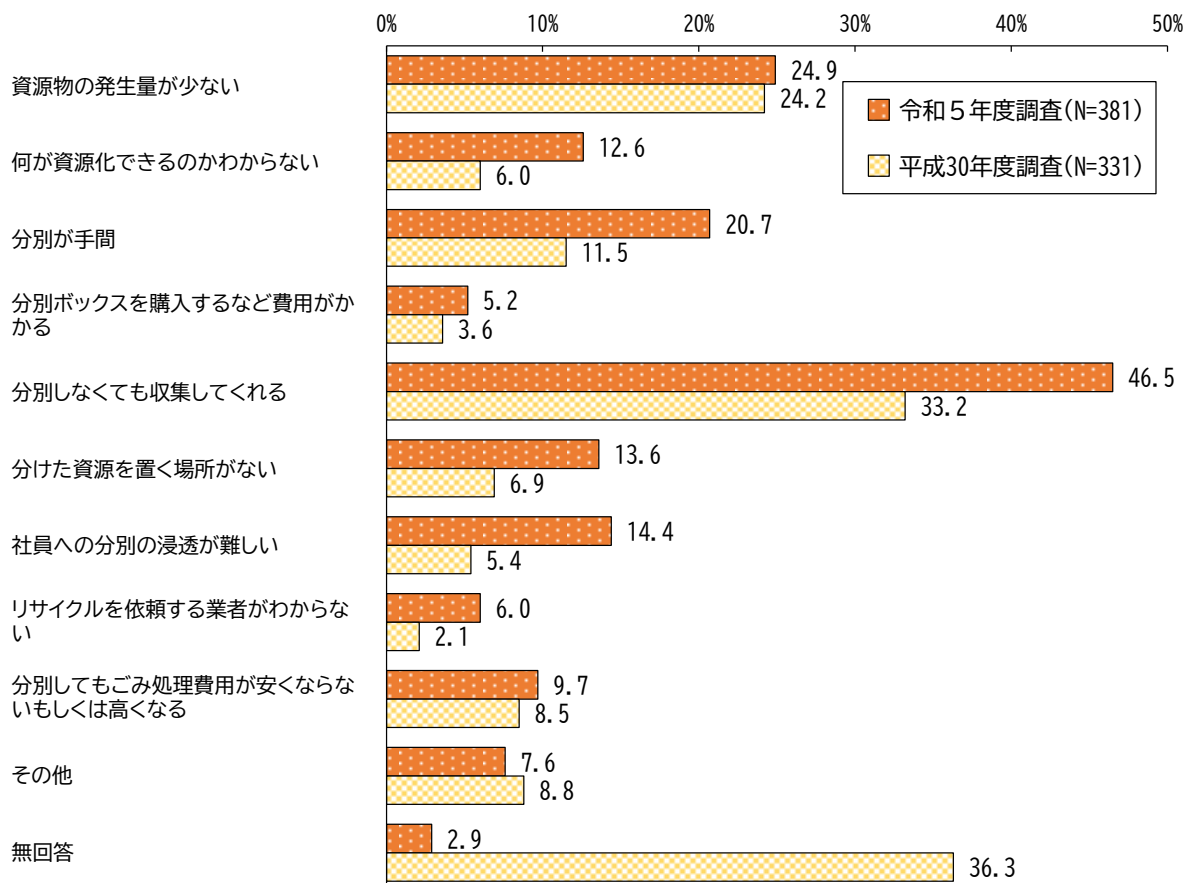
(9)分別をしていない理由

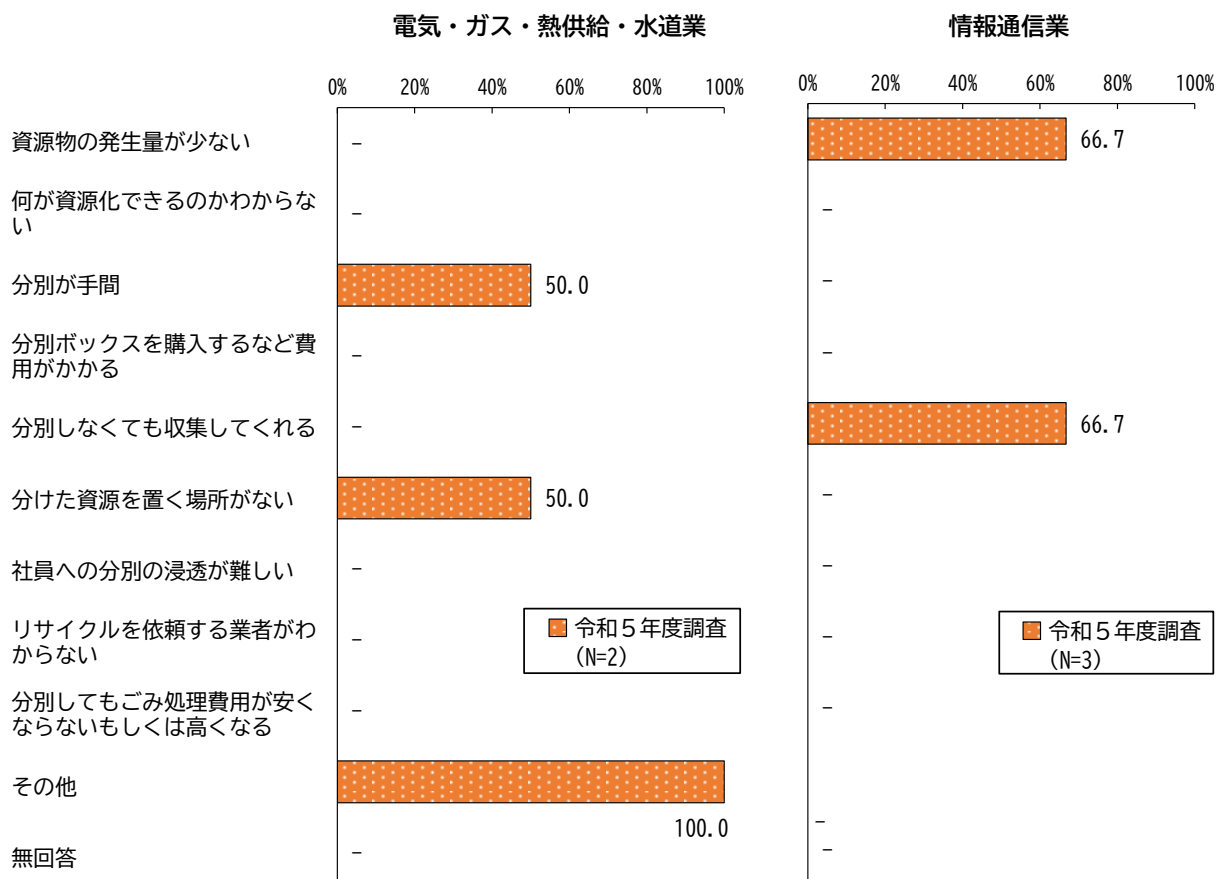
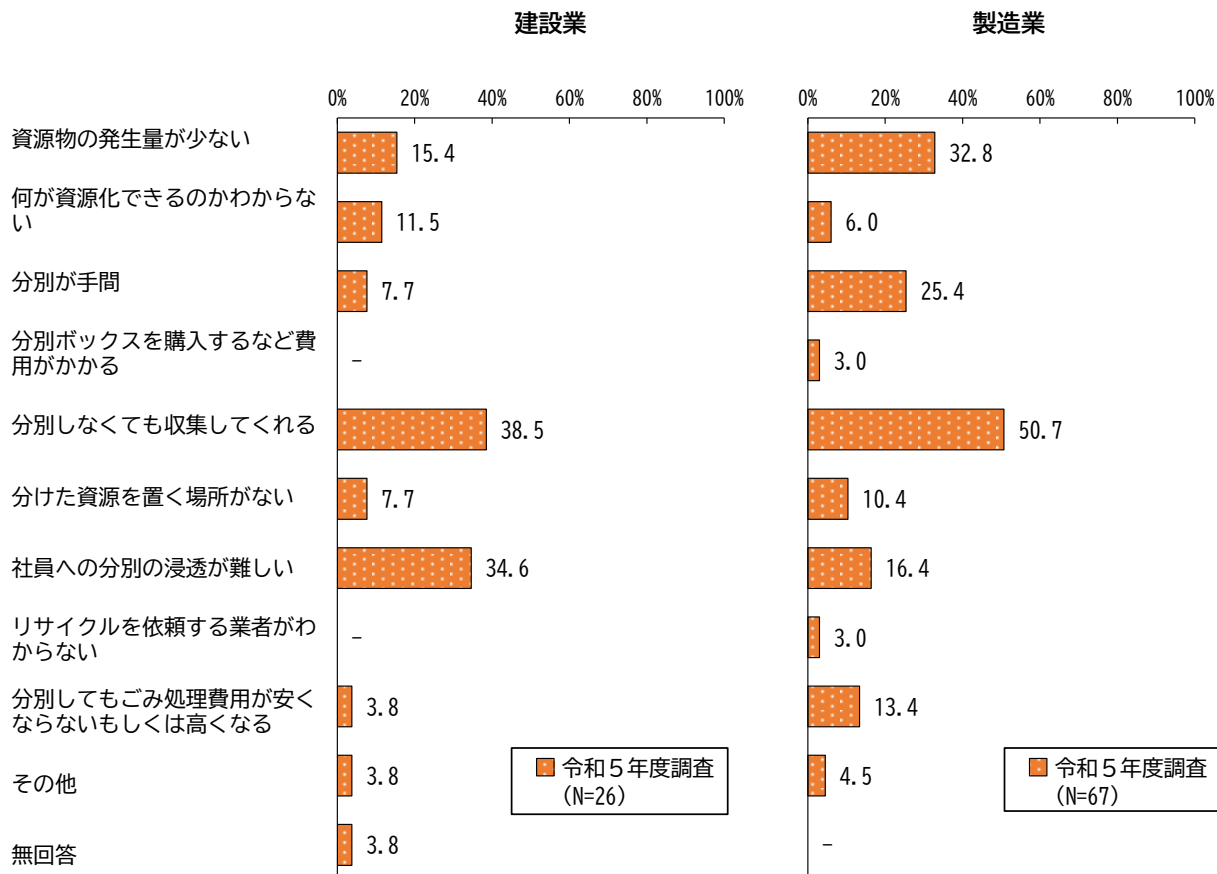
問9. 問8で選択したごみを分別していない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

事業系一般廃棄物の分別をしていない理由は、市全体でみると「分別しなくても収集してくれる」が46.5%と最も高く、次いで「資源物の発生量が少ない」が24.9%、「分別が手間」が20.7%である。

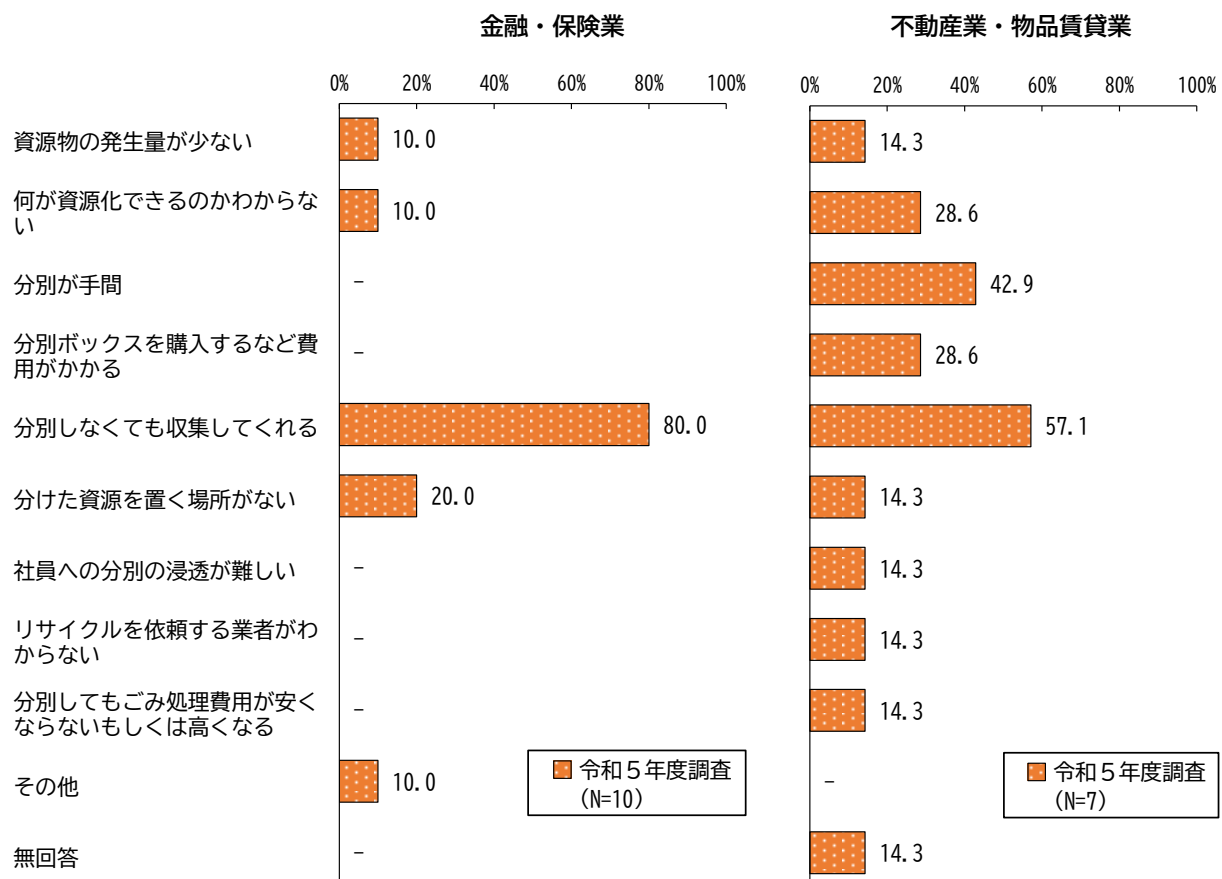
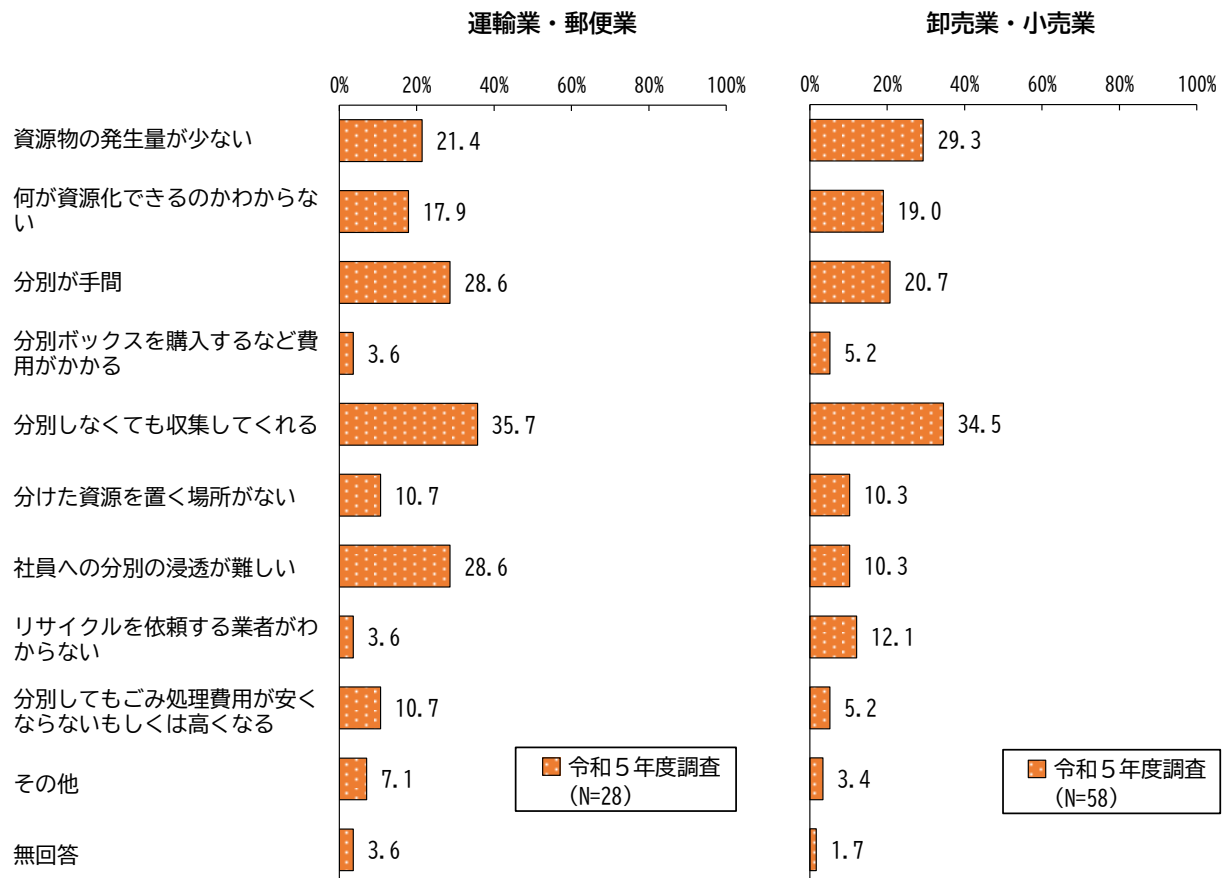
前回調査と比較すると、「分別しなくても収集してくれる」の割合が13.3ポイント、「分別が手間」が9.2ポイント、「社員への分別の浸透が難しい」が9.0ポイント、「何が資源化できるのかわからない」が6.6ポイント上昇している。

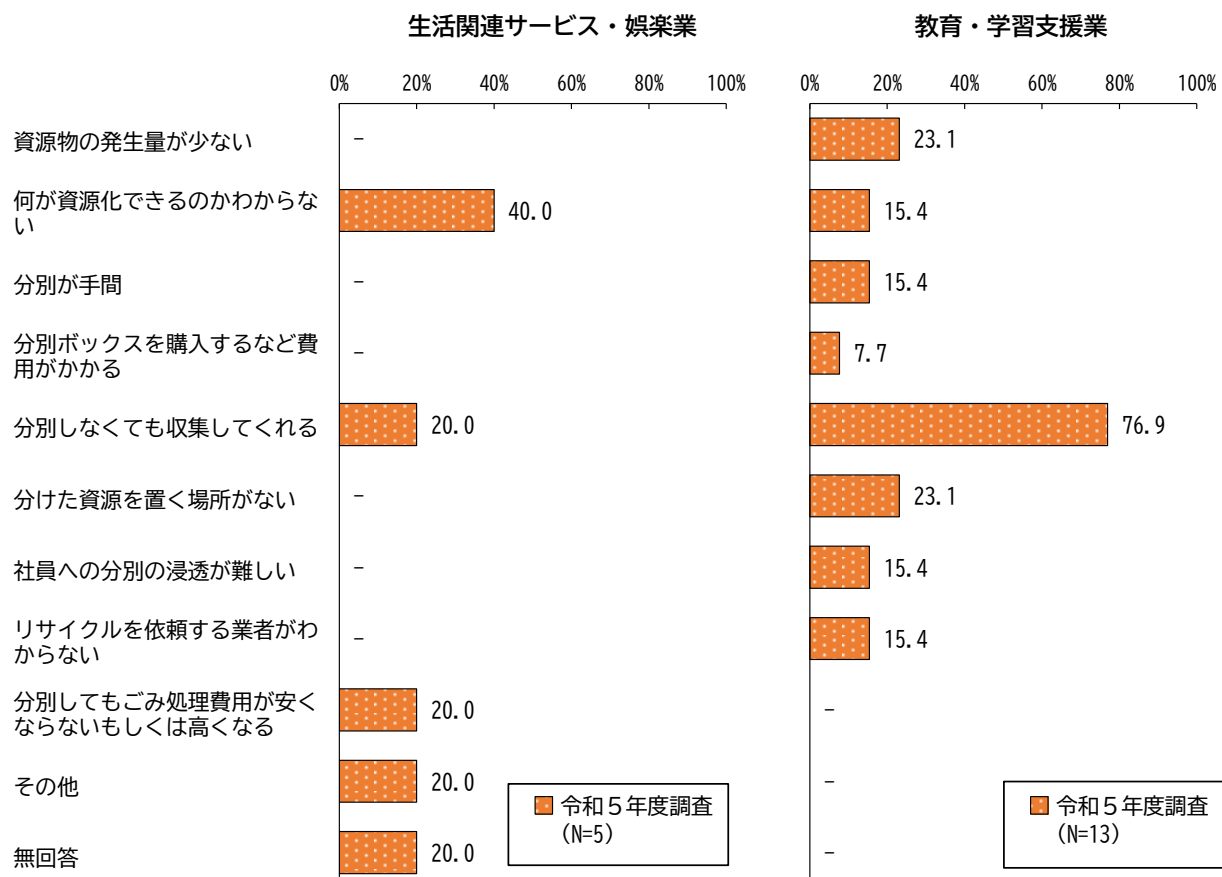
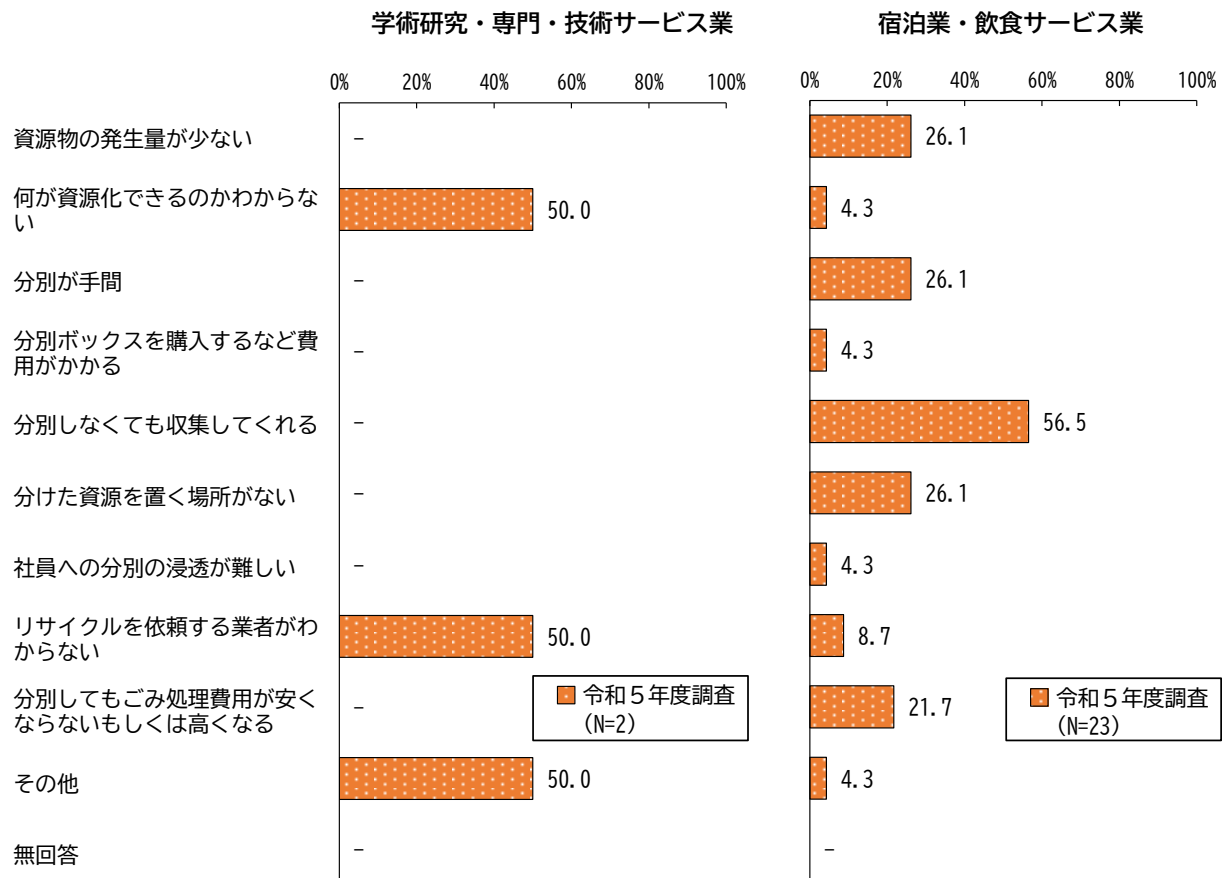
業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち比較的分別していない割合が高めであった宿泊業・飲食サービス業では「分別しても費用が変わらない、もしくは高くなる」「分別が手間」「分けた資源を置く場所がない」などコスト面やスペースの問題がより課題となっている(宿泊業・飲食サービス業はサンプル数が少ない点に留意が必要である)。サービス業では「何が資源化できるのかわからない」の割合が高めで、積極的な情報発信が望まれる。

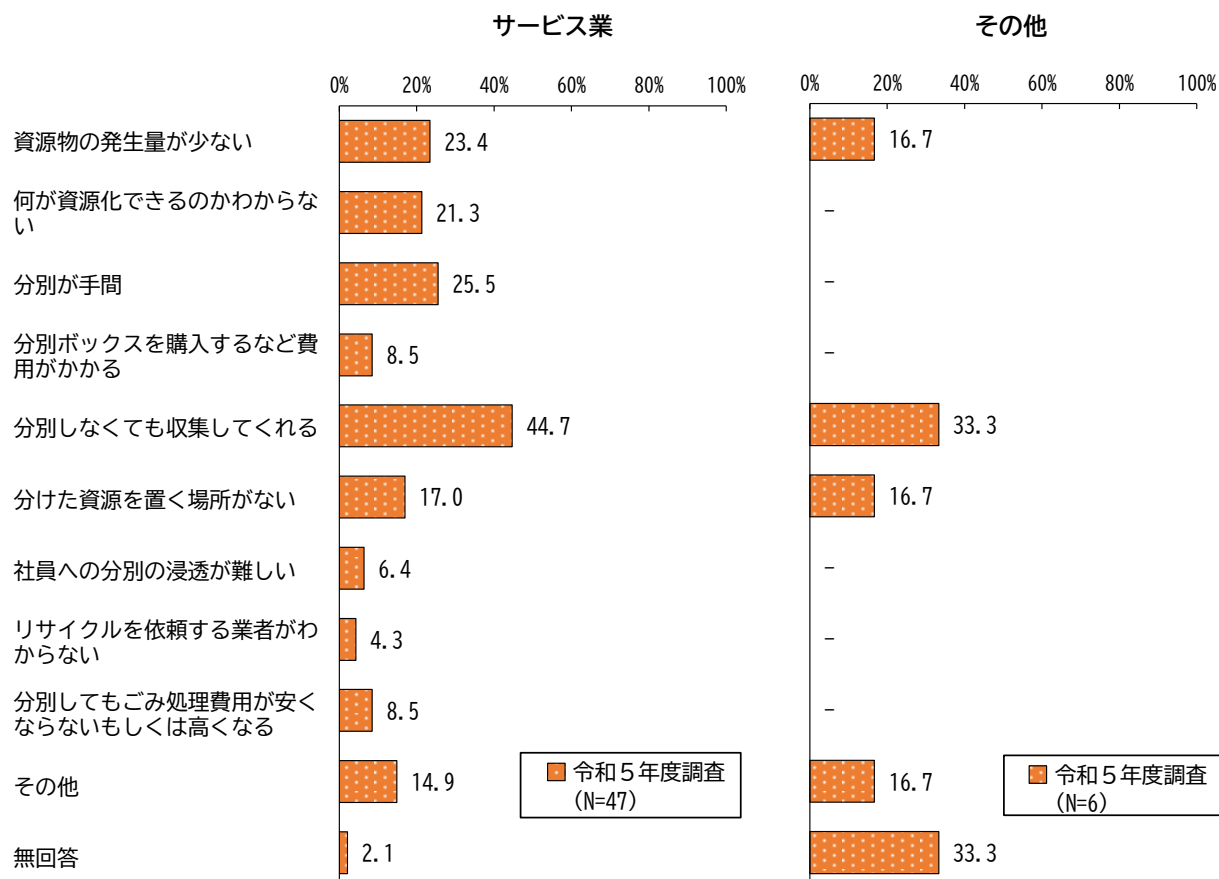
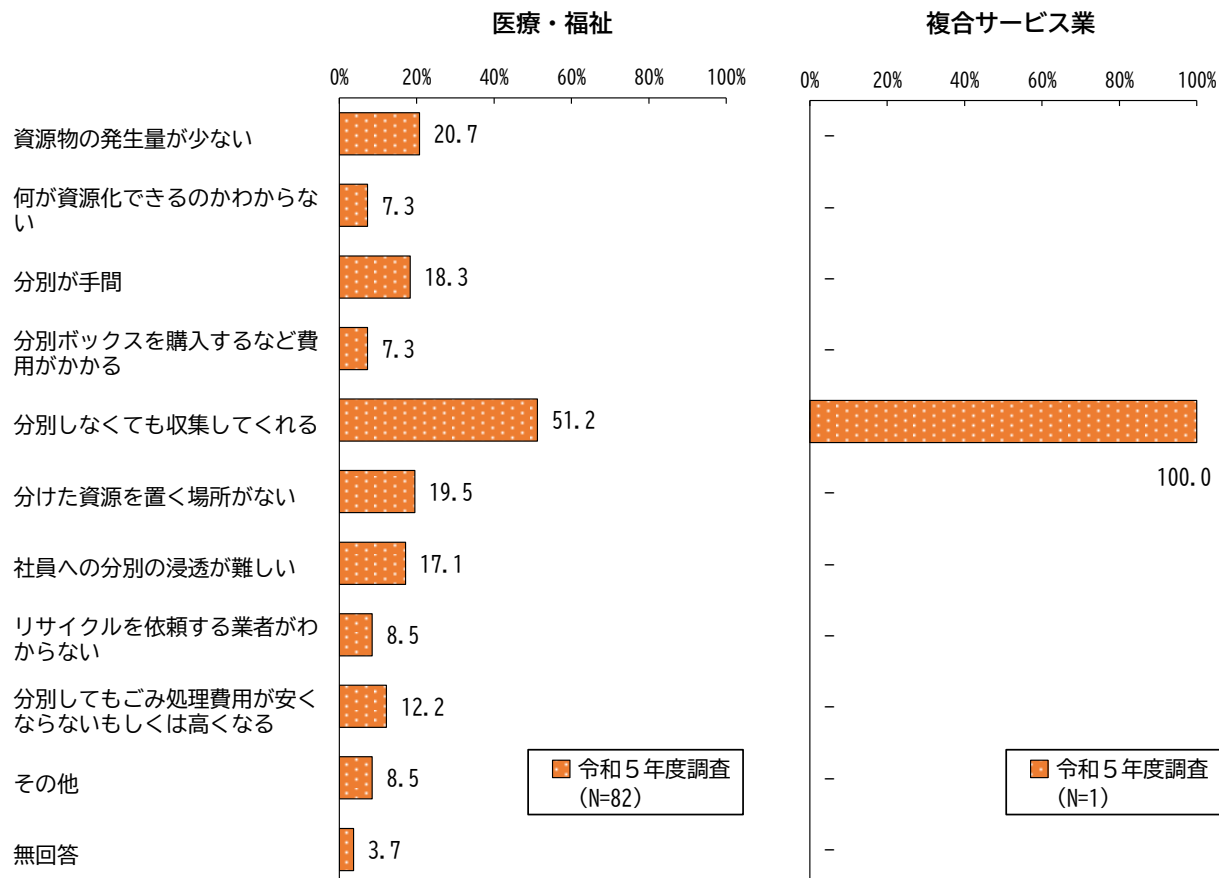




※ 農業はサンプル数0のため非掲載







(10)ごみの処理方法

- 問 10. 「生ごみ類」を、どのように処理していますか。
- 問 11. 「機密書類」を、どのように処理していますか。
- 問 12. 機密書類以外の「紙類（新聞、雑誌、段ボール、OA 紙など）」を、どのように処理していますか。
- 問 13. 「缶・びん」を、どのように処理していますか。
- 問 14. 「金属やガラスなどの燃えないごみ」を、どのように処理していますか。
- 問 15. 「ペットボトル」を、どのように処理していますか。
- 問 16. 「弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類」を、どのように処理していますか。

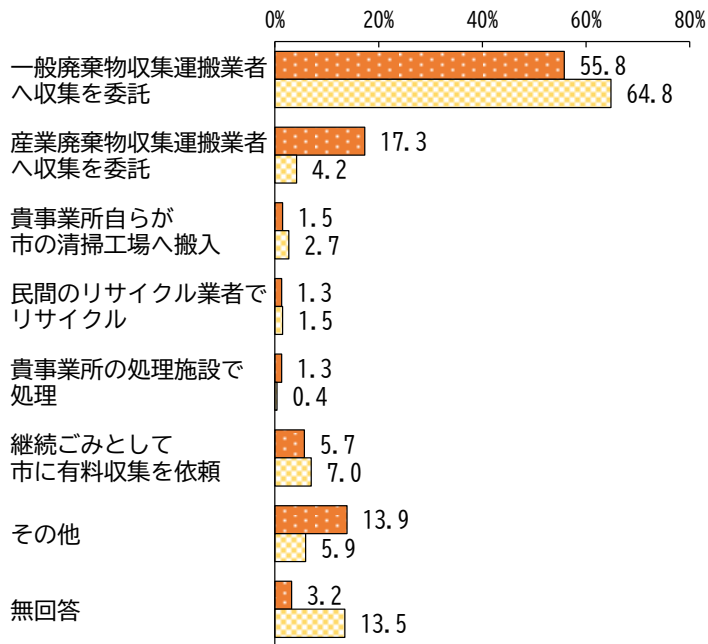
『①生ごみ類』『②機密書類』『③機密書類以外の「紙類」』『④缶・びん』『⑥ペットボトル』『⑦弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類』は「一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」の割合が最も高く、『⑤金属やガラスなどの燃えないごみ』は「産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」の割合が最も高い。

前回調査と比較すると、すべての品目で「一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」する割合が低下し、「産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」の割合が上昇している。『⑤金属やガラスなどの燃えないごみ』は「民間のリサイクル業者でリサイクル」の割合も上昇している。

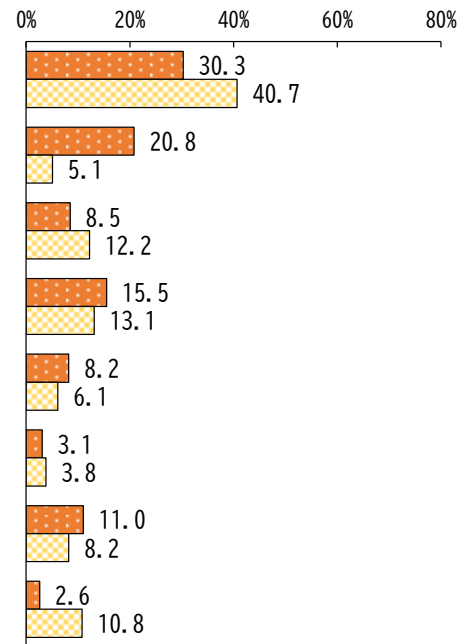
単位：％

	回答者数（N）	一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託	産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託	工場・事業所自らが市の清掃	民間のリサイクル業者でリサイクル	貴事業所の処理施設で処理	スーパーなどの店頭回収	継続ごみとして市に有料	その他	無回答
① 生ごみ類	683	55.8	17.3	1.5	1.3	1.3		5.7	13.9	3.2
② 機密書類	683	30.3	20.8	8.5	15.5	8.2		3.1	11.0	2.6
③ 機密書類以外の「紙類（新聞、雑誌、段ボール、OA紙など）」	683	34.1	16.8	2.8	31.0	1.3		3.4	7.6	2.9
④ 缶・びん	683	34.7	20.8	0.4	13.9		6.9	2.5	18.9	1.9
⑤ 金属やガラスなどの燃えないごみ	683	26.1	40.0	4.2	14.1	1.0		2.9	8.6	3.1
⑥ ペットボトル	683	37.3	16.5	0.4	13.3		9.2	2.8	18.7	1.6
⑦ 弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類	683	53.4	22.4	0.4	4.0		3.8	4.8	8.6	2.5

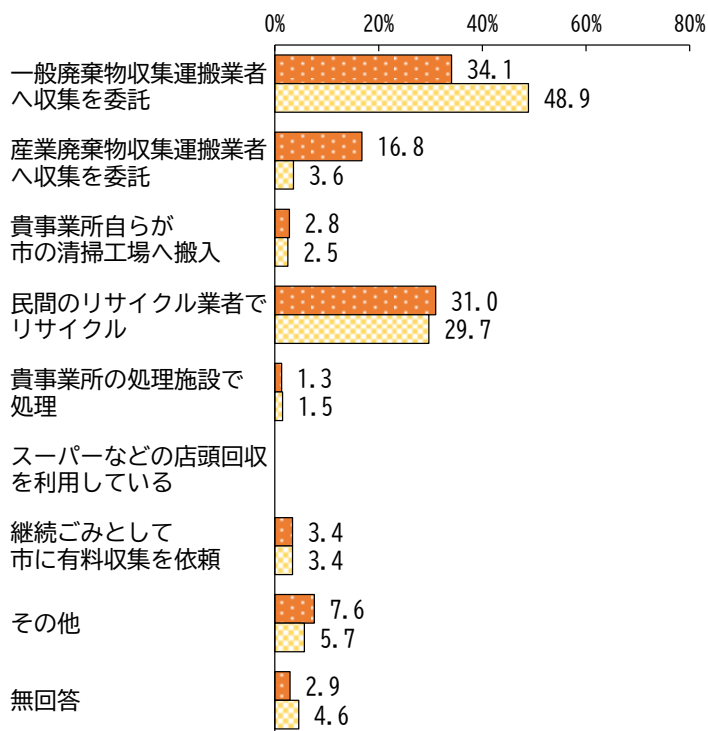
①生ごみ類



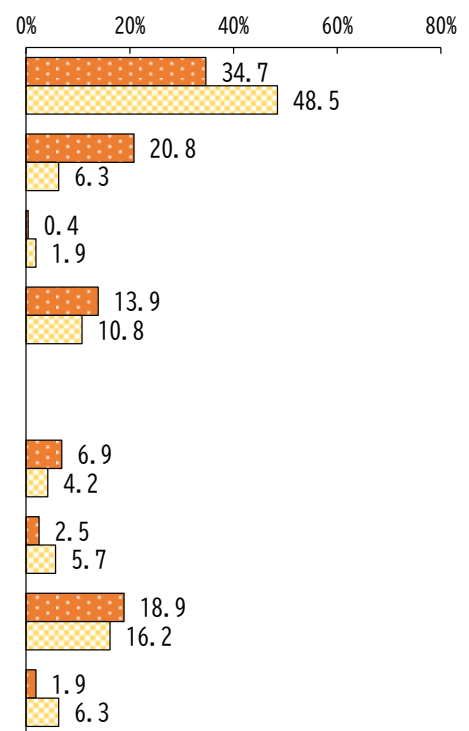
②機密書類



③機密書類以外の「紙類（新聞、雑誌、段ボール、OA紙など）」

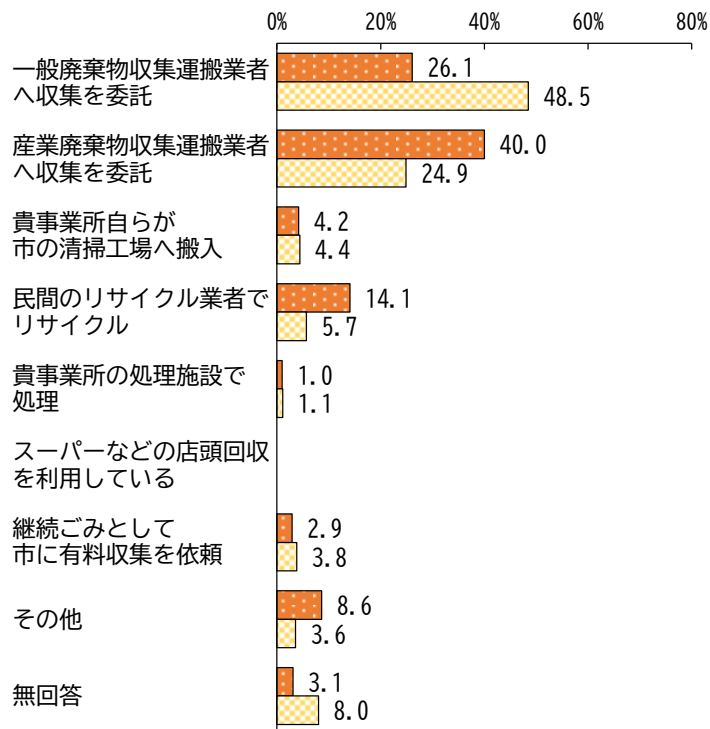


④缶・びん

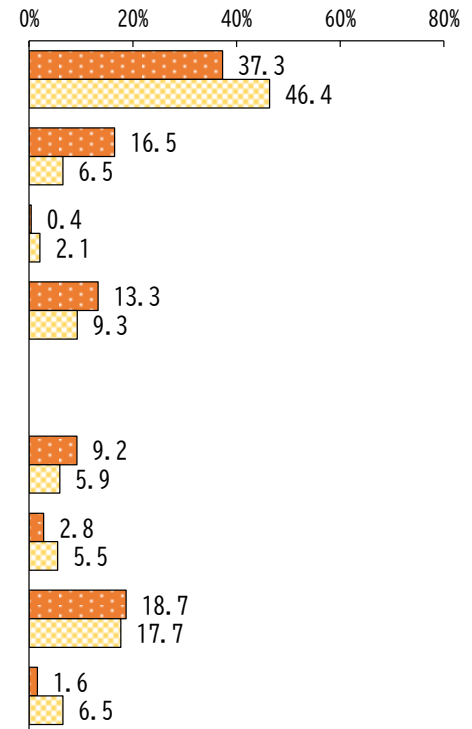


令和5年度調査(N=683)
平成30年度調査(N=474)

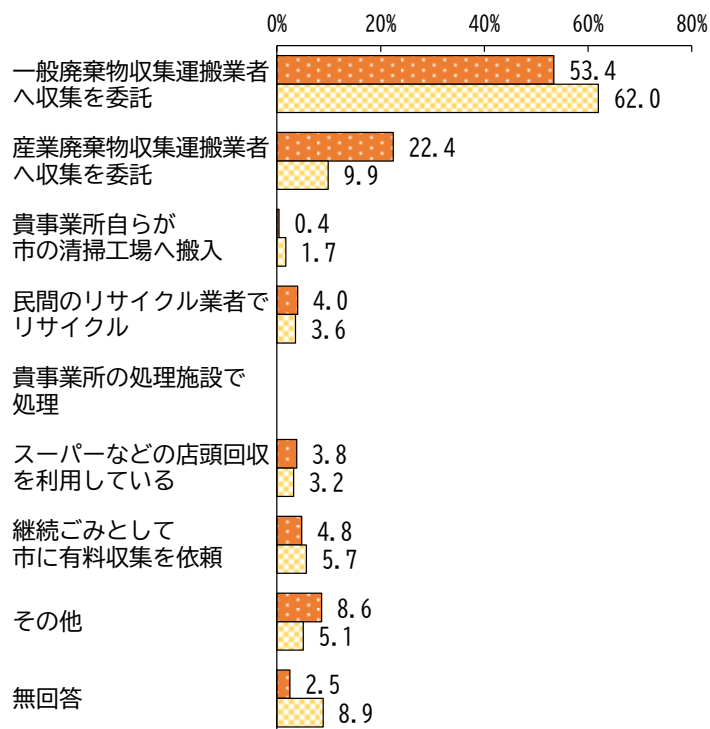
⑤金属やガラスなどの燃えないごみ



⑥ペットボトル



⑦弁当・カップ麺の容器や包装材などの廃プラスチック類



■ 令和5年度調査(N=683)
■ 平成30年度調査(N=474)

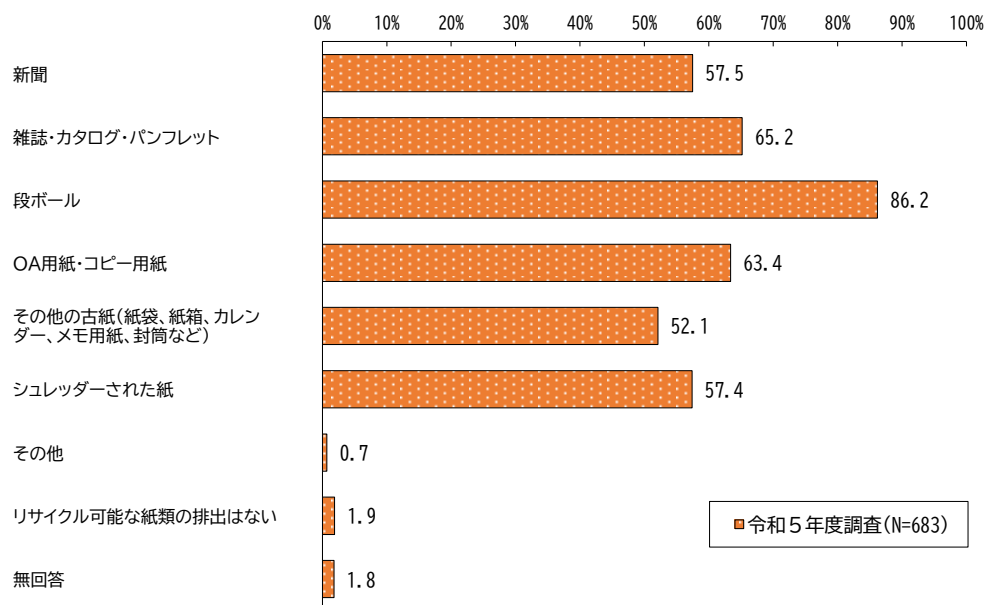
2. ごみの減量やリサイクルについて

(1)排出しているリサイクル可能な紙類

問 17. 貴事業所で出ているリサイクル可能な紙類をすべてお選びください。(〇はいくつでも)

排出しているリサイクル可能な紙類については、市全体でみると「段ボール」が86.2%と最も高く、次いで「雑誌・カタログ・パンフレット」が65.2%、「OA用紙・コピー用紙」が63.4%である。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち製造業、卸売業・小売業、医療・福祉は多くの品目の割合が他業種に比べて高くなっている。



単位：％

		回答者数 (N)	新聞	雑誌・カ タログ・ パンフレ ット	段ボ ール	OA用紙・コ ピー用紙	封筒など (メモ用紙、 タリ、紙箱、 その他古紙、 紙レン、紙 袋、紙箱、 その他古紙、 紙レン、紙
--	--	-------------	----	----------------------------	----------	----------------	---

(2)ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表状況

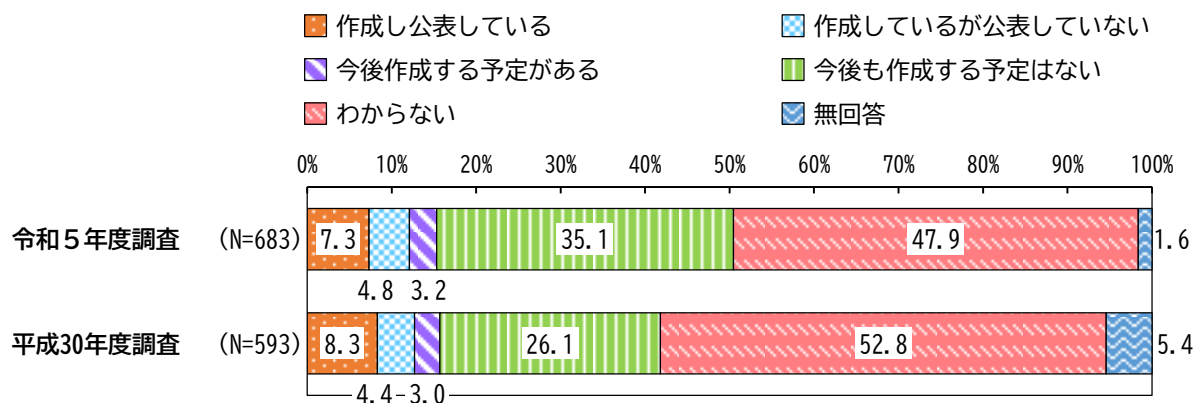
問 18. ごみ減量・リサイクルに関する方針、目標、計画や実施状況などをまとめた「環境報告書※」について、あてはまるものをお選びください。(〇はひとつだけ)

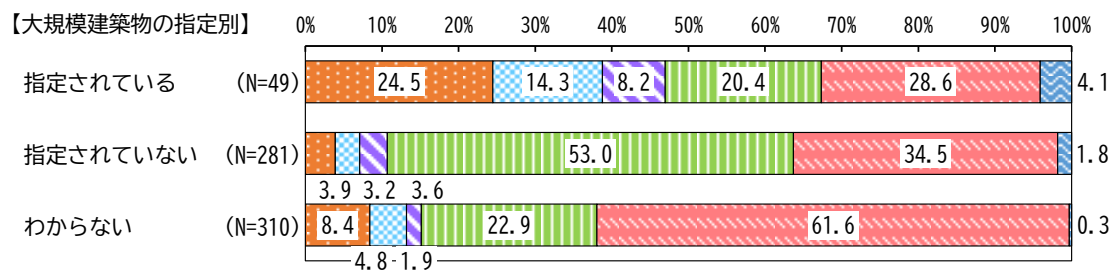
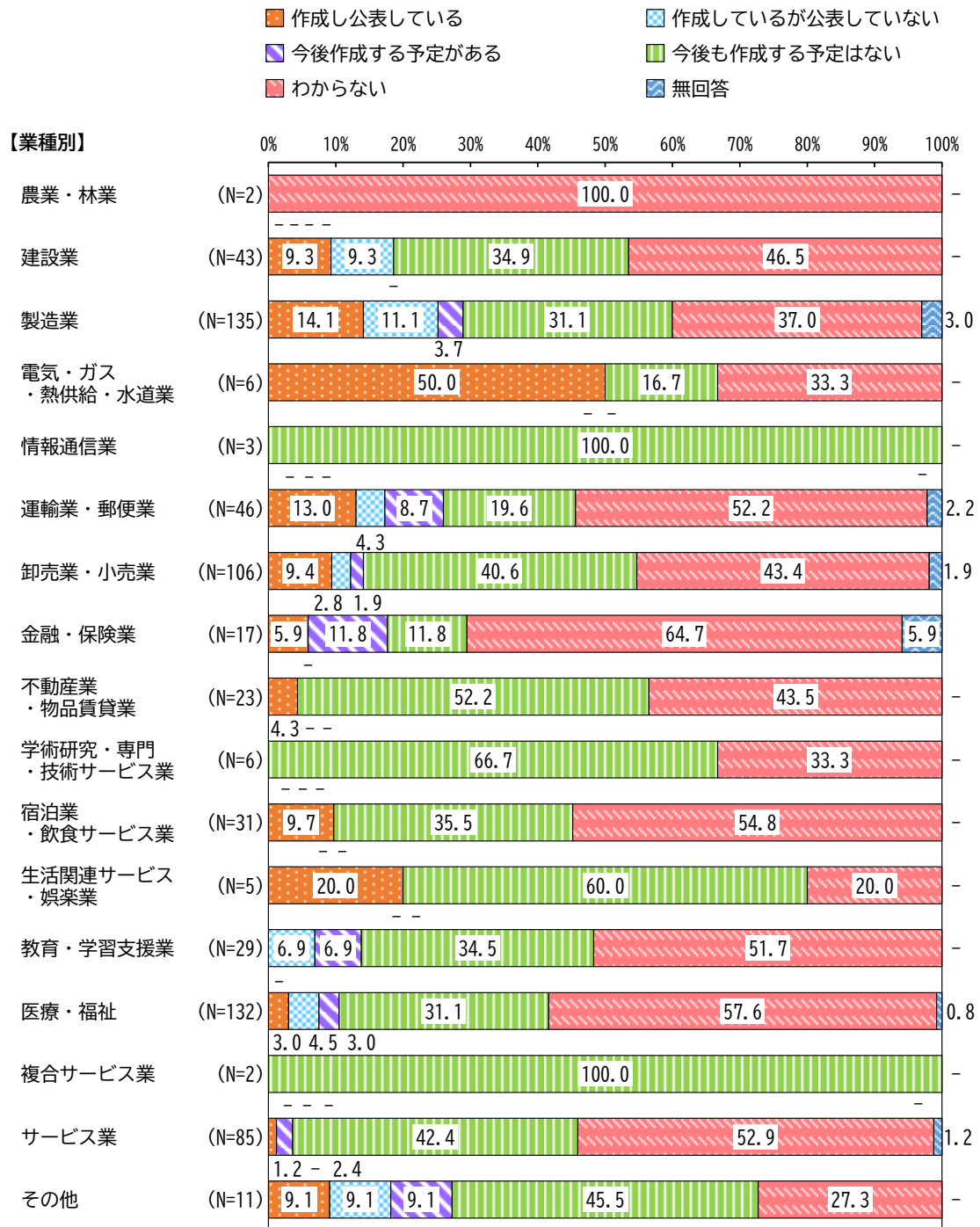
ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無について、市全体でみると「わからない」が 47.9%と最も高く、次いで「今後も作成する予定はない」が 35.1%となっている。「作成し、公表している」「作成しているが公表していない」「今後作成する予定がある」をあわせた割合は 15.3%である。

前回調査と比較すると、「わからない」の割合は 4.9 ポイント低下したものの、「今後も作成する予定はない」は 9.0 ポイント上昇している。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち環境報告書を作成している・今後作成予定がある割合は、製造業が 28.9%、運輸業・郵便業が 26.0%と他業種に比べて高くなっている。宿泊業・飲食サービス業、サービス業では環境報告書を作成している・今後作成予定がある割合が 1 割を下回っている。

大規模建築物の指定別にみると、指定されている事業所で「作成し公表している」割合が 24.5%、非公表・作成予定まであわせると 47.0%となっている。





(3)ごみ減量に取り組む責任者設置状況

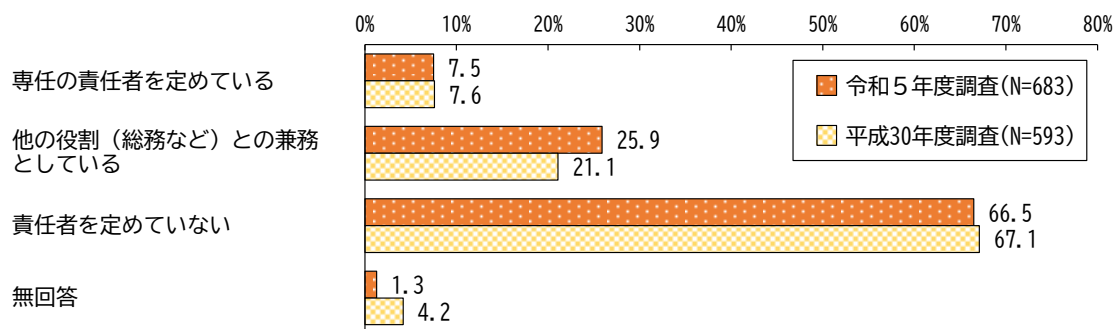
問 19. 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。(○はい/△はどちらでもない/×はいくつでも)

ごみ減量に取り組む責任者の設置の有無について、市全体でみると「専任の責任者を定めている」の割合は7.5%、「他の役割（総務など）との兼務としている」が25.9%、「責任者を定めていない」が66.5%である。

前回調査と比較すると、「専任の責任者を定めている」の割合に大きな差はみられないものの、「他の役割（総務など）との兼務としている」の割合が4.8ポイント上昇している。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち「専任の責任者を定めている」の割合は建設業で11.6%、製造業で12.6%と他業種と比較してやや高くなっている。

大規模建築物の指定別にみると、指定されている事業所で「責任者を定めていない」の割合が18.4%となっている。



単位：％

		回答者数(N)	専任の責任者を定めている割合	他の役割（総務など）との兼務としている割合	責任者を定めていない割合	無回答
全 体		683	7.5	25.9	66.5	1.3
業 種 別	農業・林業	2	-	-	100.0	-
	建設業	43	11.6	16.3	72.1	-
	製造業	135	12.6	41.5	47.4	2.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	-	50.0	50.0	-
	情報通信業	3	-	33.3	66.7	-
	運輸業・郵便業	46	8.7	39.1	54.3	2.2
	卸売業・小売業	106	7.5	28.3	64.2	0.9
	金融・保険業	17	-	23.5	76.5	-
	不動産業・物品賃貸業	23	-	8.7	91.3	-
	学術研究・専門・技術サービス業	6	-	16.7	83.3	-
	宿泊業・飲食サービス業	31	6.5	9.7	80.6	3.2
	生活関連サービス・娯楽業	5	-	20.0	80.0	-
	教育・学習支援業	29	13.8	24.1	62.1	-
	医療・福祉	132	5.3	20.5	73.5	0.8
	複合サービス業	2	50.0	-	50.0	-
	サービス業	85	5.9	15.3	76.5	2.4
	その他	11	9.1	18.2	72.7	-
大規模建築物の指定別	指定されている	49	26.5	57.1	18.4	2.0
	指定されていない	281	7.5	24.9	66.5	2.1
	わからない	310	4.8	22.3	73.5	0.3

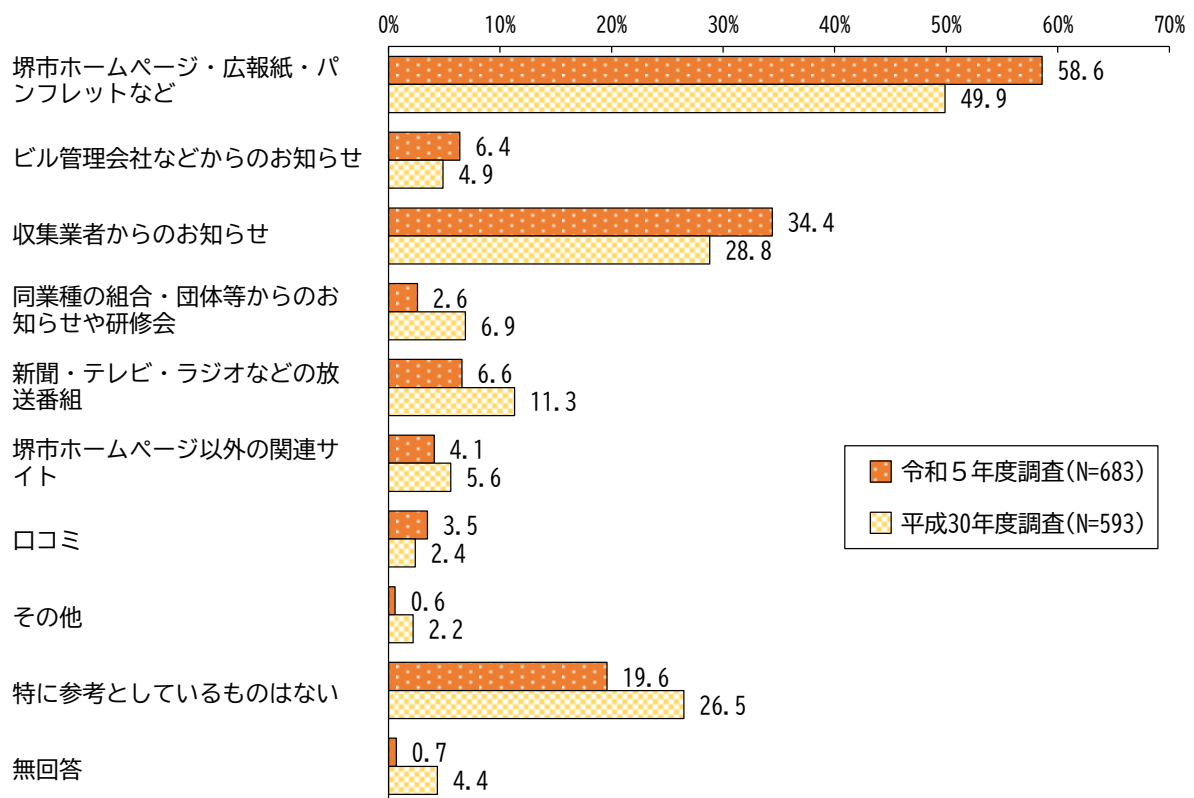
(4)ごみ減量リサイクルに関する情報の入手先

問 20. ごみ減量・リサイクルに関する情報で参考としているものをお聞かせください。(〇はいくつでも)

ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先について、市全体でみると「堺市ホームページ・広報紙・パンフレットなど」が58.6%で最も高く、次いで「収集業者からののお知らせ」が34.4%、「特に参考としているものはない」が19.6%である。

前回調査と比較すると、「堺市ホームページ・広報紙・パンフレットなど」の割合が8.7ポイント上昇し、「特に参考としているものはない」の割合が6.9ポイント低下しているなど、情報発信の効果がうかがえる。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち「堺市ホームページ・広報紙・パンフレットなど」は製造業で63.7%、医療・福祉で68.9%と他業種に比べて高くなっている。建設業、宿泊業・飲食サービス業、サービス業は「特に参考としているものはない」の割合が2割と他業種に比べて高くなっている。



単位：％

		回答者数 (N)	堺市ホームペ ジ・広報紙な ど	せどからの 管理会社な お知ら	お収 集業者 からの お知ら せ	同業種 の組合 ・研修 会	新聞・ テレビ ・放 送番組	新 聞・ テレ ビ・ 放 送	イ ンタ ーネ ッ ト の 利 用 状況	堺市 ホーム ペ ジ 以 外 の 関 連 サ イ ト	口 コ ミ	そ の 他	特 に 参 考 と し て の 内 容	無 回 答
全 体		683	58.6	6.4	34.4	2.6	6.6	4.1	3.5	0.6	19.6	0.7		
業 種 別	農業・林業	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設業	43	51.2	2.3	23.3	4.7	4.7	4.7	2.3	-	25.6	2.3		
	製造業	135	63.7	0.7	41.5	2.2	5.9	8.1	2.2	0.7	19.3	-		
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	66.7	-	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7
	情報通信業	3	100.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運輸業・郵便業	46	41.3	6.5	52.2	2.2	2.2	4.3	-	-	17.4	-		
	卸売業・小売業	106	54.7	6.6	35.8	4.7	9.4	2.8	6.6	0.9	17.0	-		
	金融・保険業	17	58.8	23.5	17.6	-	5.9	-	5.9	5.9	29.4	-		
	不動産業・物品賃貸業	23	43.5	8.7	17.4	-	4.3	-	4.3	-	30.4	4.3		
	学術研究・専門・技術サービス業	6	50.0	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-		
	宿泊業・飲食サービス業	31	41.9	9.7	32.3	-	6.5	-	3.2	-	25.8	-		
	生活関連サービス・娯楽業	5	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	60.0	-		
	教育・学習支援業	29	82.8	6.9	34.5	-	10.3	10.3	6.9	3.4	10.3	-		
	医療・福祉	132	68.9	7.6	41.7	3.8	3.8	6.1	3.0	-	12.1	0.8		
	複合サービス業	2	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-		
サービス業	85	52.9	7.1	20.0	1.2	10.6	1.2	3.5	-	27.1	2.4			
その他	11	81.8	-	27.3	-	9.1	-	18.2	-	9.1	-			

(5)ごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況

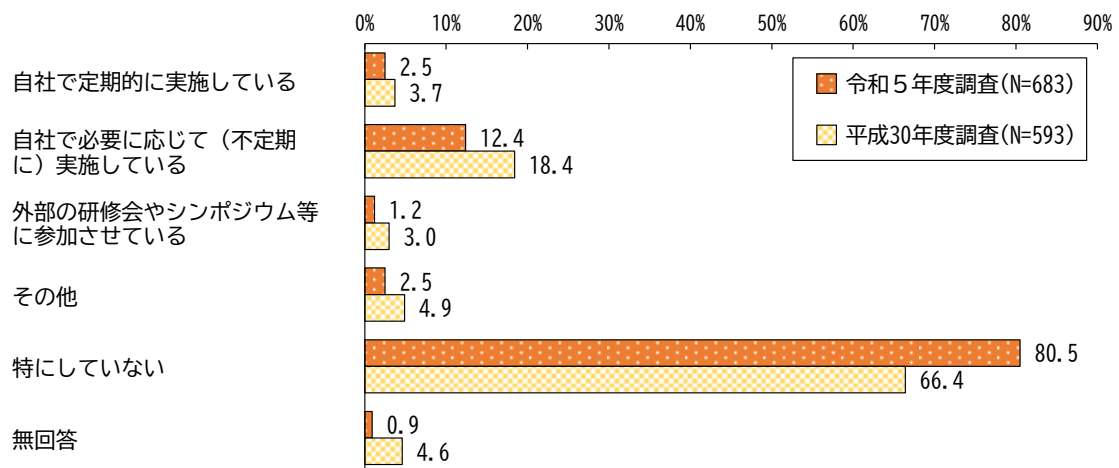
問 21. 従業員に日頃からごみ減量・リサイクルに関する研修会等を実施していますか。(○はいくつでも)

ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について、市全体でみると「自社で定期的実施している」の割合が 2.5%、「自社で必要に応じて（不定期に）実施している」が 12.4%、「外部の研修会やシンポジウム等に参加させている」が 1.2%である。また、「特にしていない」が 80.5%である。

前回調査と比較すると、「特にしていない」の割合が 14.1 ポイント高くなっており、研修会等の実施率が低下している。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち製造業で「特にしていない」の割合が他業種に比べて低く、「自社で必要に応じて（不定期に）実施している」の割合が 20.7%と他業種に比べて高くなっている。

大規模建築物の指定別にみると、指定されている事業所で「特にしていない」の割合が 51.0%と指定されていない事業所に比べて低く、「自社で定期的実施している」の割合が 12.2%、「自社で必要に応じて（不定期に）実施している」が 24.5%と比較的高くなっている。



単位：％

		回答者数（N）	自社で定期的に実施している	自社で必要に応じて（不定期に）実施している	外部の研修会やシンポジウム等に参加させている	その他	特にしていない	無回答
全 体		683	2.5	12.4	1.2	2.5	80.5	0.9
業 種 別	農業・林業	2	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	43	2.3	9.3	2.3	4.7	81.4	-
	製造業	135	3.7	20.7	1.5	4.4	69.6	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7
	情報通信業	3	-	-	-	33.3	66.7	-
	運輸業・郵便業	46	-	13.0	-	-	84.8	2.2
	卸売業・小売業	106	2.8	13.2	0.9	2.8	79.2	0.9
	金融・保険業	17	-	17.6	-	-	82.4	-
	不動産業・物品賃貸業	23	-	4.3	-	-	91.3	4.3
	学術研究・専門・技術サービス業	6	-	-	-	-	100.0	-
	宿泊業・飲食サービス業	31	9.7	3.2	-	-	87.1	-
	生活関連サービス・娯楽業	5	-	-	-	-	100.0	-
	教育・学習支援業	29	-	13.8	3.4	-	82.8	-
	医療・福祉	132	0.8	12.1	1.5	3.0	82.6	-
	複合サービス業	2	-	-	-	-	100.0	-
	サービス業	85	3.5	3.5	1.2	-	88.2	3.5
	その他	11	9.1	9.1	-	-	81.8	-
大規模 指定建築物 の規模 別	指定されている	49	12.2	24.5	4.1	6.1	51.0	2.0
	指定されていない	281	1.8	11.7	1.1	2.5	82.2	0.7
	わからない	310	1.3	11.6	0.6	2.3	84.2	-

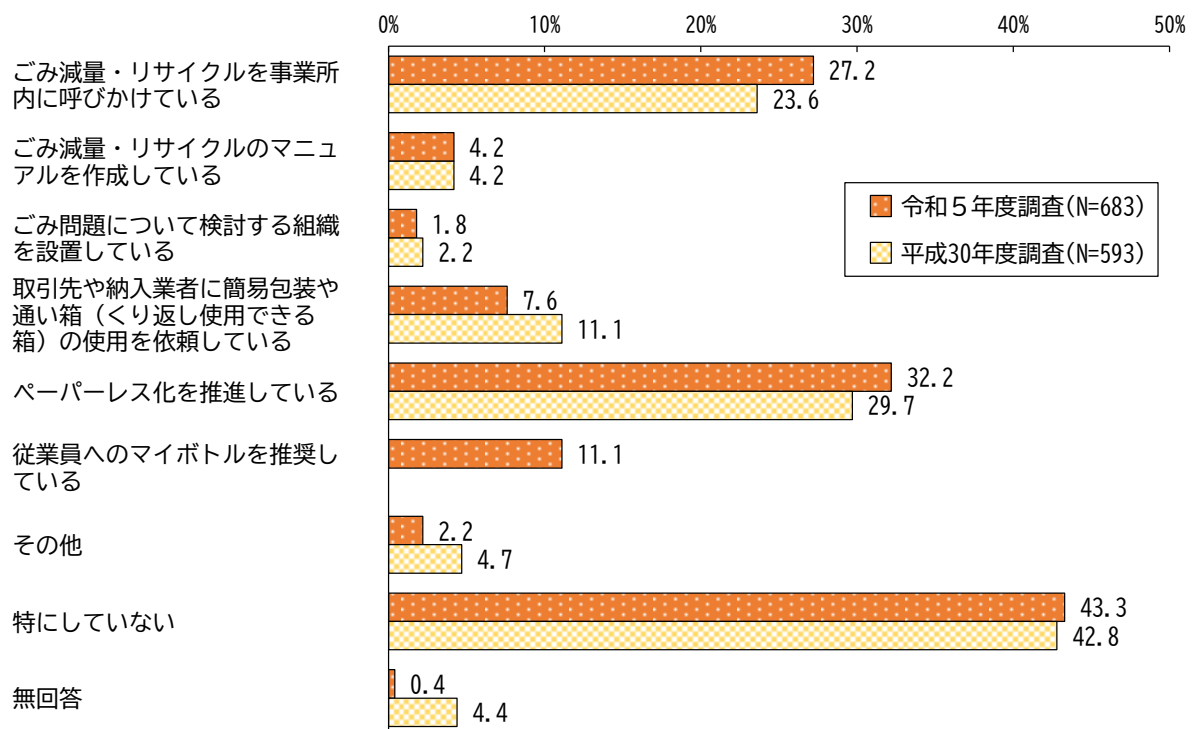
(6)ごみ減量・リサイクルに関する取組

問 22. ごみ減量・リサイクルに関してどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

ごみ減量・リサイクルに関する取組について、市全体でみると「特にしていない」が43.3%と最も高く、半数近い事業者がごみ減量・リサイクルについて具体的な取組までに至っていない。具体的な取組としては「ペーパーレス化を推進している」の割合が32.2%、「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」が27.2%、「従業員へのマイボトルを推奨している」が11.1%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業で「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」、運輸業・郵便業で「ペーパーレス化を推進している」、医療・福祉で「従業員へのマイボトルを推奨している」の割合が他業種に比べて高くなっている。また、宿泊業・飲食サービス業、サービス業で「特にしていない」の割合が他業種に比べて高くなっている。

大規模建築物の指定別でみると、指定されている事業所で「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」「ペーパーレス化を推進している」の割合が6割であるのに対して、指定されていない事業所では2～3割と低めである。



単位：％

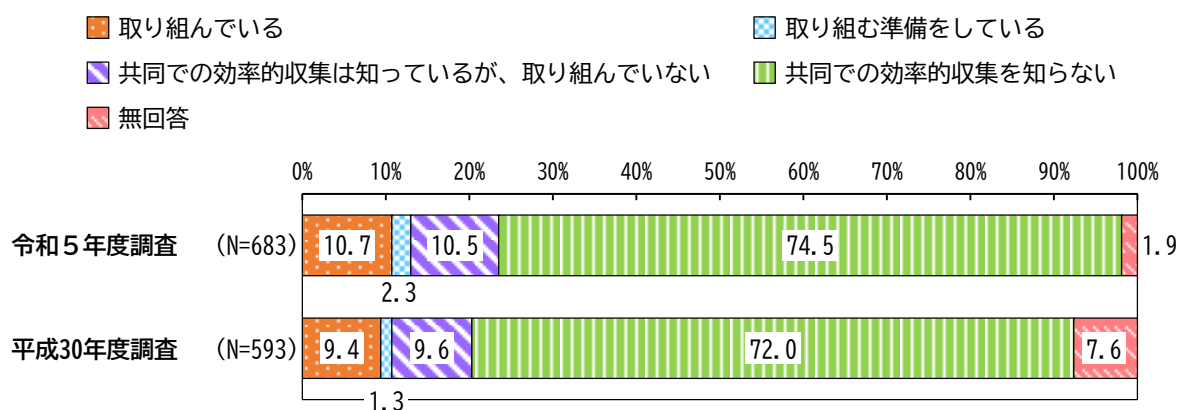
		回答者数（N）	業ごみ 所内減量・リ サイクルを事 業に呼びかけ ている	ニごみ アル減量・リ サイクルのマ 作成している	組 ごみ問題に ついて検討 している	取 引先や納 入業者の簡 易包装（通 箱）の使 用を依頼 している	ペ ーパーレ ス化を推 進してい る	従 業員への マイボ トルを推 奨してい る	そ の 他	特 に し て い ない	無 回 答
全 体		683	27.2	4.2	1.8	7.6	32.2	11.1	2.2	43.3	0.4
業 種 別	農業・林業	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	建設業	43	34.9	2.3	2.3	2.3	25.6	4.7	2.3	44.2	-
	製造業	135	37.0	5.9	4.4	14.1	37.0	8.9	3.7	34.8	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	66.7	33.3	-	-	66.7	-	-	-	16.7
	情報通信業	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-	-
	運輸業・郵便業	46	34.8	4.3	-	8.7	43.5	4.3	2.2	30.4	-
	卸売業・小売業	106	33.0	7.5	2.8	12.3	31.1	13.2	-	41.5	-
	金融・保険業	17	29.4	-	-	-	41.2	5.9	-	52.9	-
	不動産業・物品賃貸業	23	-	-	-	4.3	8.7	8.7	4.3	73.9	4.3
	学術研究・専門・技術サービス業	6	-	-	-	-	16.7	-	-	83.3	-
	宿泊業・飲食サービス業	31	9.7	-	-	9.7	9.7	3.2	-	71.0	-
	生活関連サービス・娯楽業	5	-	-	-	-	20.0	-	-	80.0	-
	教育・学習支援業	29	37.9	10.3	-	-	44.8	27.6	3.4	27.6	-
	医療・福祉	132	27.3	3.0	1.5	3.8	34.8	19.7	2.3	37.9	-
	複合サービス業	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	サービス業	85	9.4	1.2	-	5.9	25.9	10.6	2.4	58.8	2.4
	その他	11	36.4	-	-	9.1	45.5	-	-	36.4	-
大 規 模 建 築 物 の 指 定 建 築 物	指定されている	49	67.3	18.4	10.2	12.2	61.2	8.2	6.1	6.1	2.0
	指定されていない	281	22.4	1.8	0.7	7.5	30.2	11.7	1.4	46.3	0.4
	わからない	310	26.1	4.5	1.6	6.8	30.3	10.3	2.3	46.8	-

(7) 周辺事業所と共同での効率的な収集

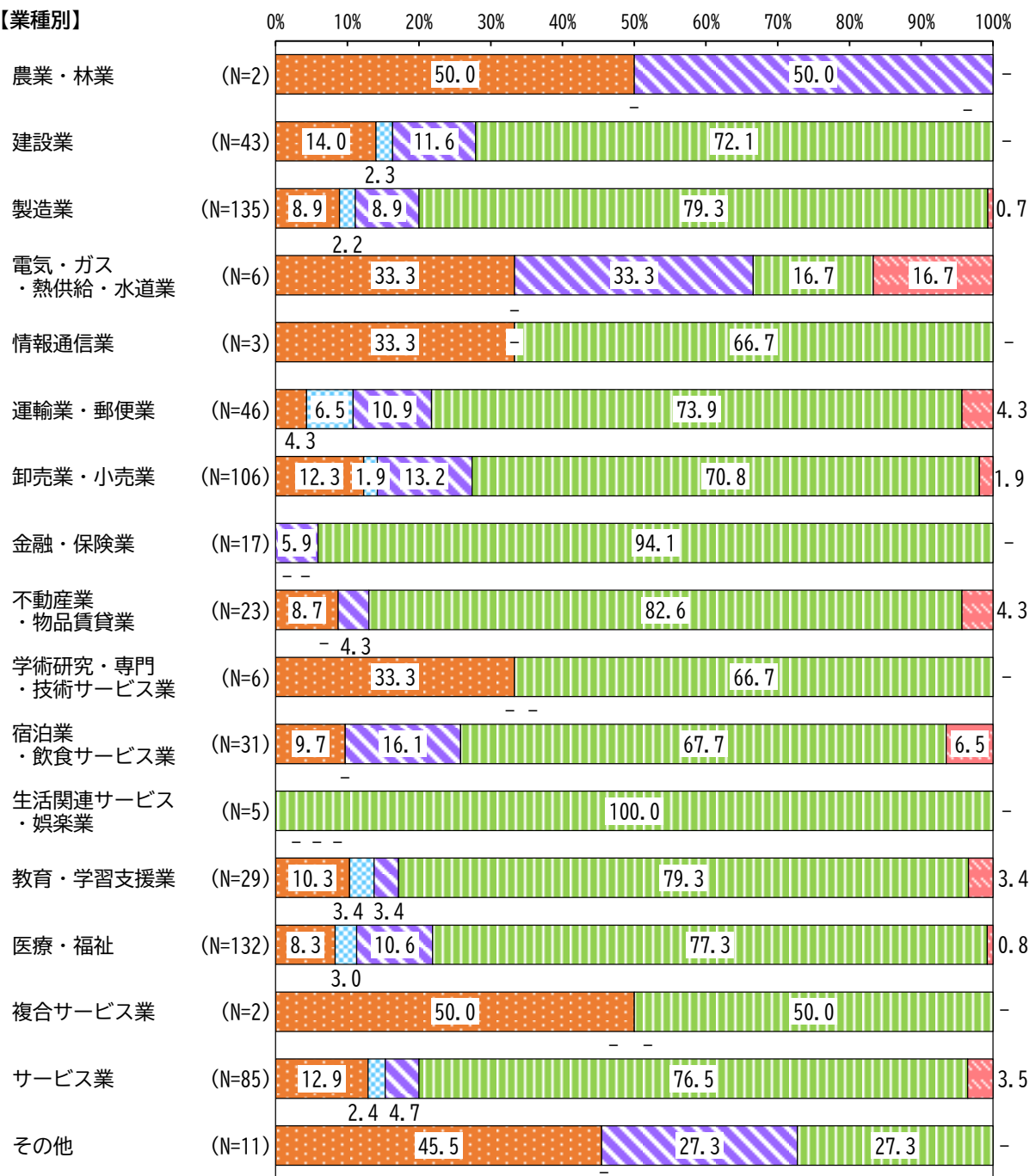
問 23. 資源化の取組について、事業所間のネットワーク（オフィス町内会など）を構成するなど、周辺事業所（ビル単位や商店街単位など）と共同での効率的な収集について取り組んでいますか。（○はひとつだけ）

事業所間のネットワークなど周辺事業所と共同での効率的な収集について、市全体でみると「共同での効率的収集を知らない」が74.5%と多数を占めている。「取り組んでいる」の割合が10.7%、「取り組む準備をしている」が2.3%、「共同での効率的収集は知っているが、取り組んでいない」が10.5%である。前回調査と比較して大きな差はみられない。

業種別にもほぼすべての業種で「共同での効率的収集を知らない」が多数を占めており、まずは一層の周知が望まれる。



【業種別】



(8)地域における美化活動取組状況

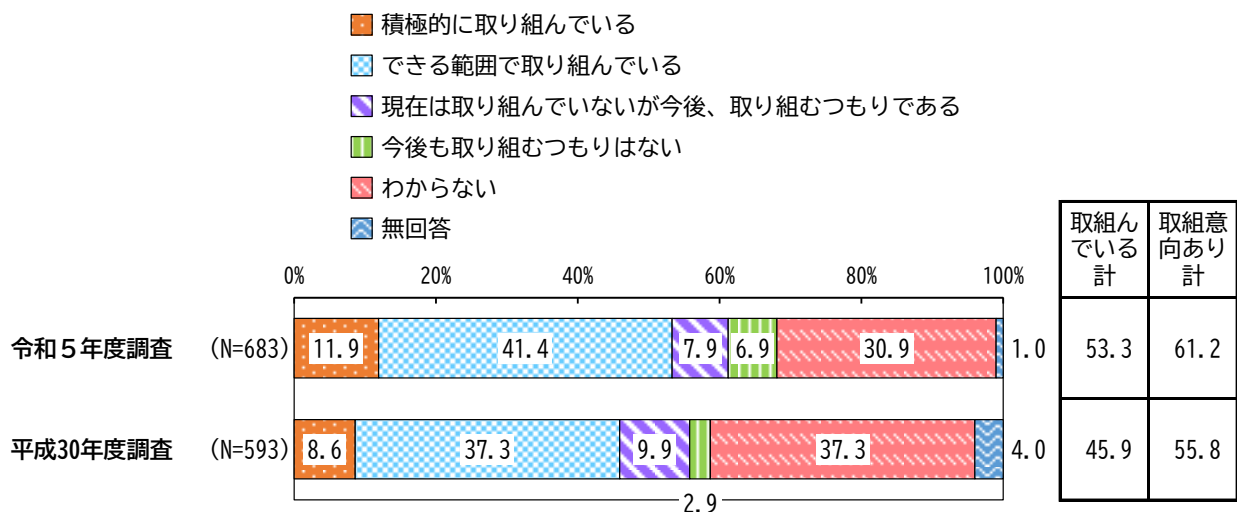
問 24. 地域におけるまちの美化活動に取り組んでいますか。(〇はひとつだけ)

地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動への取組について、市全体でみると「積極的に取り組んでいる」「できる範囲で取り組んでいる」をあわせた割合 53.3%、さらに「現在は取り組んでいないが今後、取り組むつもりである」をあわせた割合が 61.2%である。

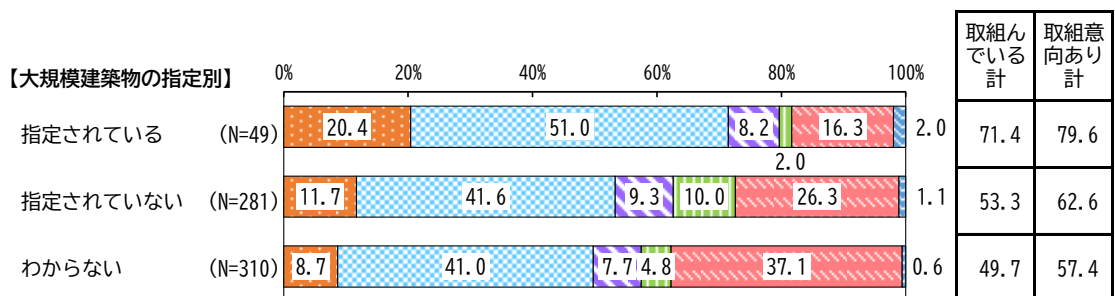
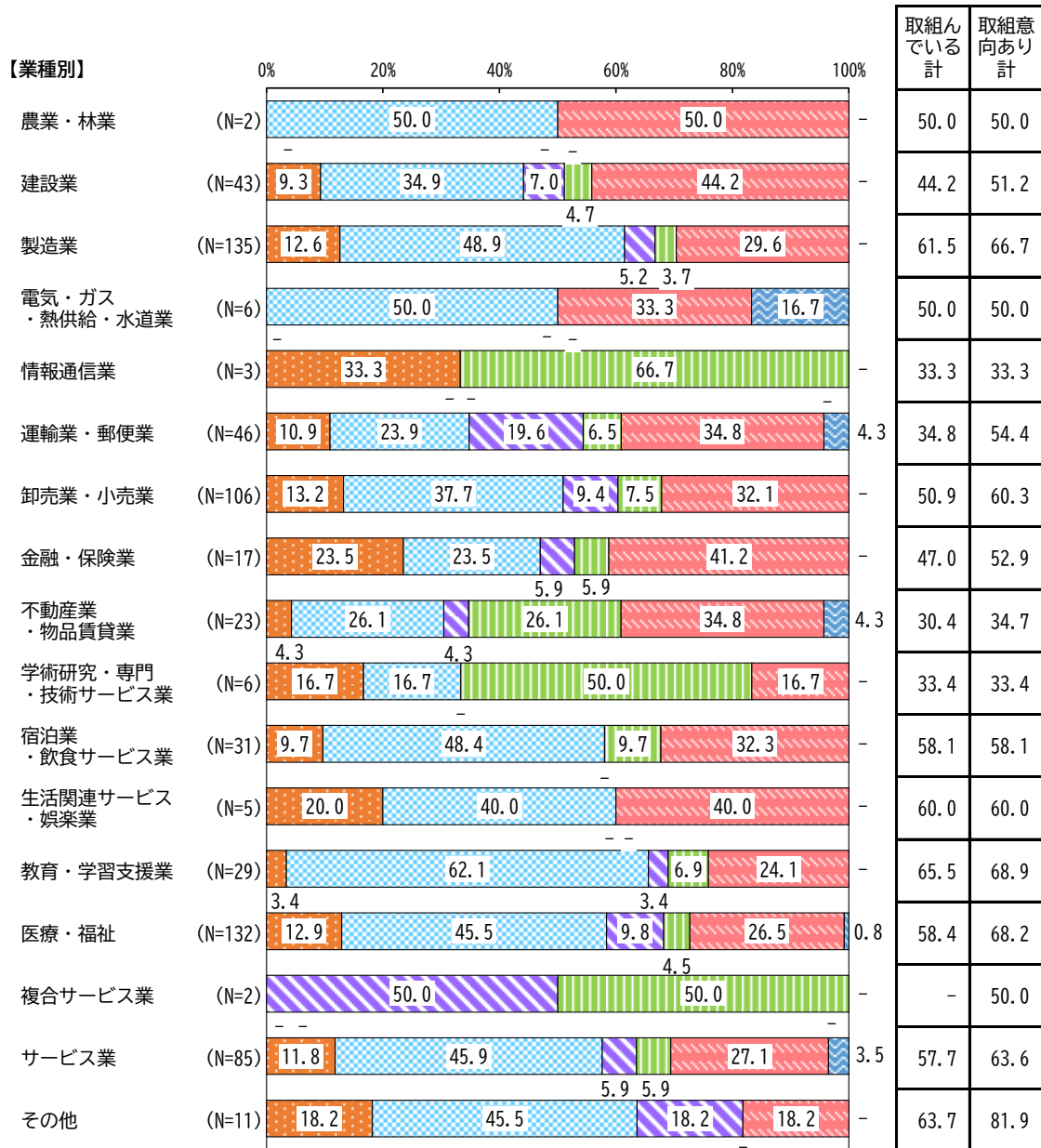
前回調査と比較すると、取り組んでいる割合が 7.4 ポイント高くなっている。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち取り組んでいる割合は製造業で 61.5%と他業種に比べて高くなっている。運輸業・郵便業では取り組んでいる割合は 34.8%と他業種に比べて低いものの、「現在は取り組んでいないが今後、取り組むつもりである」の割合が 19.6%と高くなっている。

大規模建築物の指定別でみると、取り組んでいる割合は 71.4%でその内「積極的に取り組んでいる」が 20.4%となっており、地域におけるまちの美化活動への意識が比較的高くなっている。



- 積極的に取り組んでいる
- できる範囲で取り組んでいる
- 現在は取り組んでいないが今後、取り組むつもりである
- 今後も取り組むつもりはない
- わからない
- 無回答

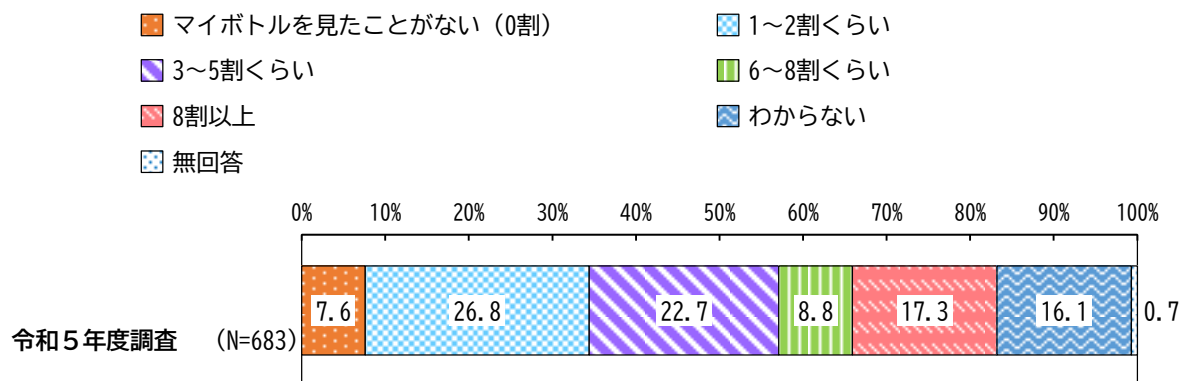


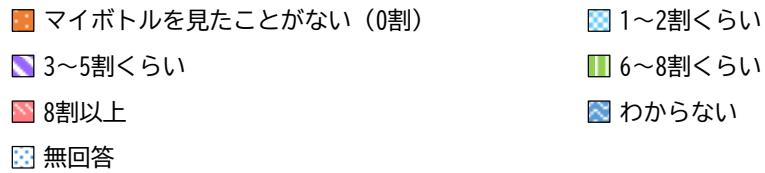
(9)マイボトル普及率

問 25. 現在の貴事業所のマイボトル普及率はどれくらいですか。(〇はひとつだけ)

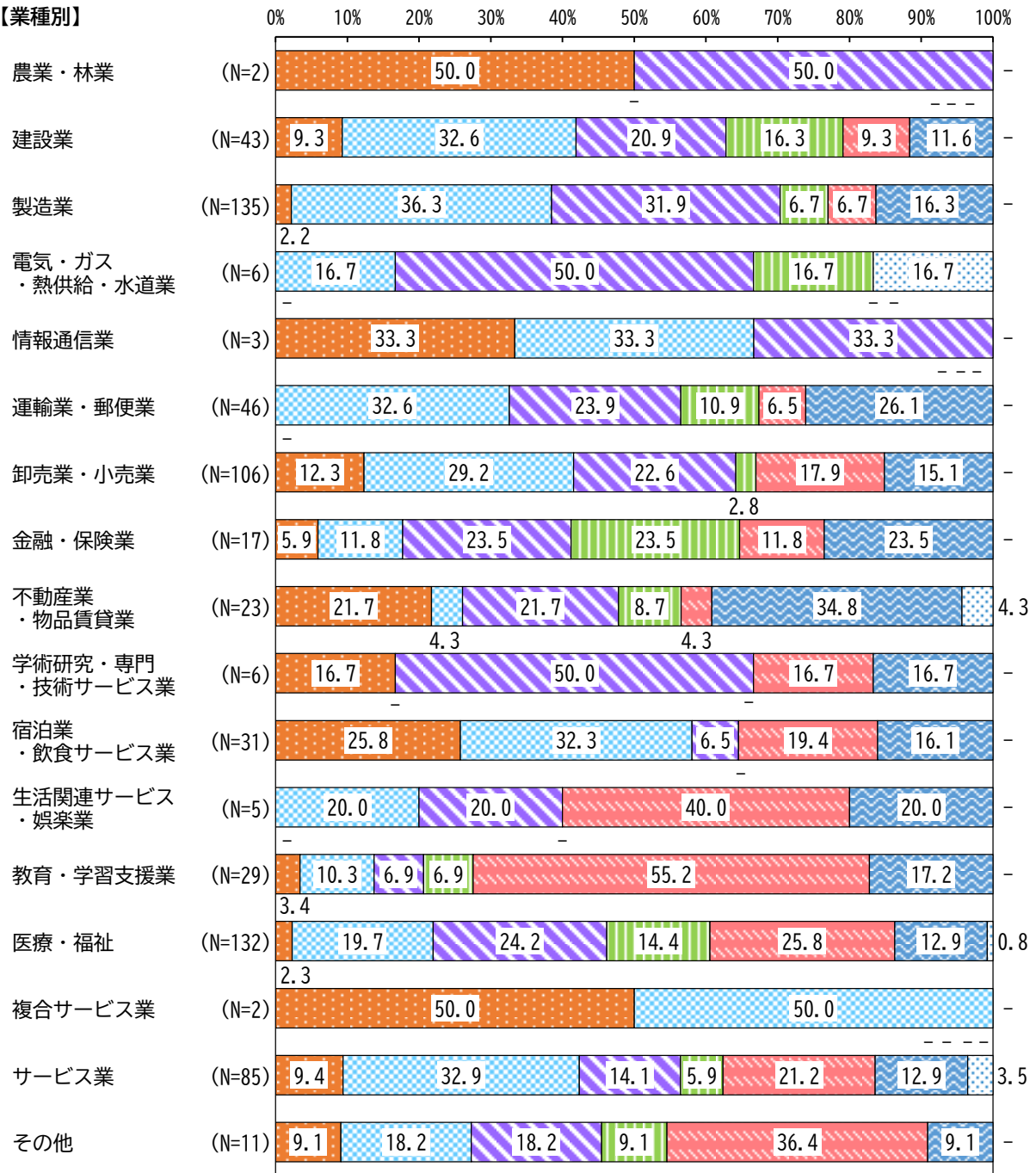
市全体でみると、マイボトル普及率は、「1～2割くらい」が26.8%で最も高く、次いで「3～5割くらい」が22.7%、「8割以上」が17.3%である。また、「マイボトルを見たことがない」が7.6%とわずかである。

業種別でみると、教育・学習支援業、医療・福祉でマイボトルの普及率が比較的高くなっている。





【業種別】



3. 現在のごみ行政について

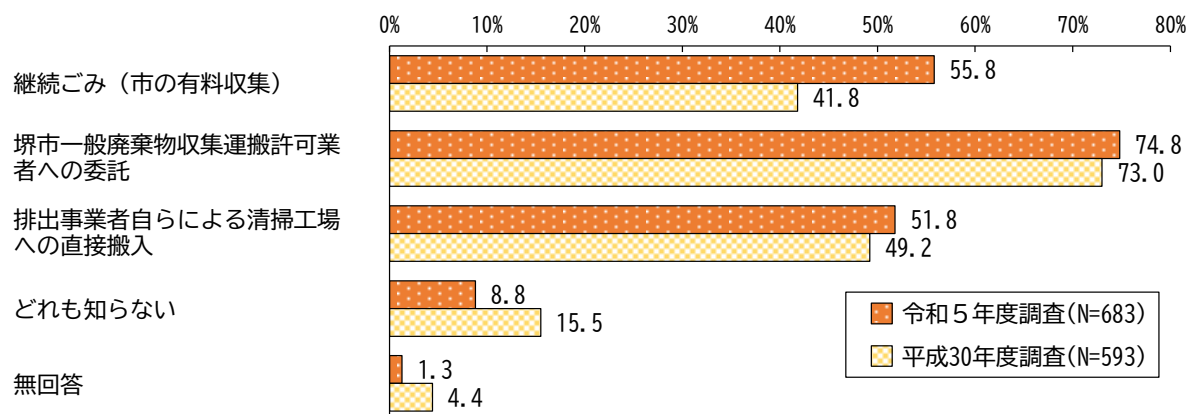
(1) 知っているごみ処理方法

問 26. 市内事業者がごみを処理する方法で、知っているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

事業系一般廃棄物の排出方法について、市全体でみると「許可業者への委託」が74.8%と最も高く、次いで「継続ごみ」が55.8%、「直接搬入」が51.8%である。

前回調査と比較すると、「継続ごみ（市の有料収集）」の割合が14.0ポイント高く、「どれも知らない」が6.7ポイント低くなっており、処理方法の認知率が上昇している。

業種別、大規模建築物の指定の有無別には大きな差はみられない。



単位：％

		回答者数 (N)	継続 有料 収集 (市の 有)	収集 者への 委託 運搬 許可 廃棄 物	堺市 一般 廃棄 物 の 搬入 場 への 直接 搬入	排出 事業者 自らの 清掃 工場の 清掃	どれも 知らない	無 回 答
全 体		683	55.8	74.8	51.8	8.8	1.3	
業 種 別	農業・林業	2	100.0	-	100.0	-	-	
	建設業	43	55.8	67.4	48.8	14.0	-	
	製造業	135	54.8	76.3	48.9	6.7	-	
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	33.3	66.7	66.7	-	16.7	
	情報通信業	3	33.3	66.7	100.0	-	-	
	運輸業・郵便業	46	50.0	76.1	47.8	6.5	-	
	卸売業・小売業	106	53.8	72.6	54.7	9.4	0.9	
	金融・保険業	17	47.1	76.5	47.1	23.5	-	
	不動産業・物品賃貸業	23	52.2	65.2	52.2	8.7	8.7	
	学術研究・専門・技術サービス業	6	33.3	50.0	33.3	16.7	-	
	宿泊業・飲食サービス業	31	51.6	80.6	41.9	9.7	-	
	生活関連サービス・娯楽業	5	80.0	60.0	80.0	20.0	-	
	教育・学習支援業	29	69.0	82.8	55.2	6.9	-	
	医療・福祉	132	61.4	79.5	58.3	8.3	1.5	
	複合サービス業	2	50.0	50.0	100.0	-	-	
	サービス業	85	55.3	77.6	49.4	8.2	3.5	
その他	11	45.5	72.7	36.4	-	-		
大 規 模 建 築 物 の 指 定 模 式 別	指定されている	49	51.0	83.7	57.1	4.1	2.0	
	指定されていない	281	59.8	80.8	58.7	5.7	0.7	
	わからない	310	53.9	70.0	46.5	11.9	0.6	

(2)一般廃棄物業者費用に市に支払う処理手数料が含まれることを知っているか

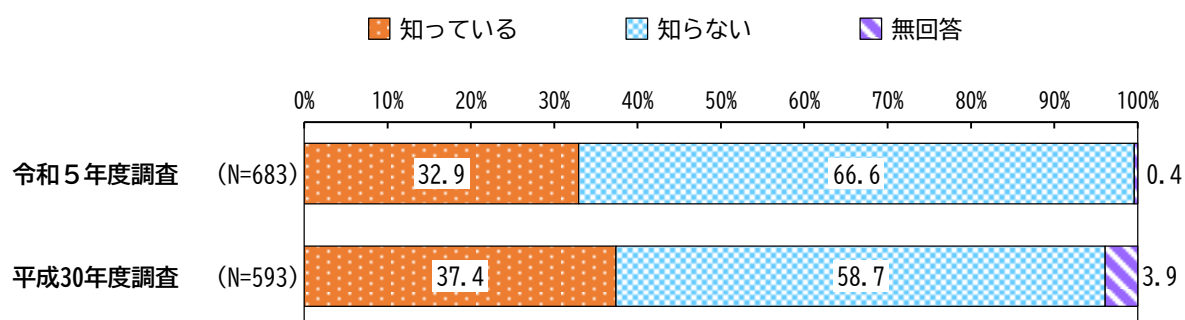
問 27. 一般廃棄物収集運搬業者へ支払う処理（収集運搬）費用には、市の施設での処分（焼却）手数料※が含まれていることを、知っていますか。

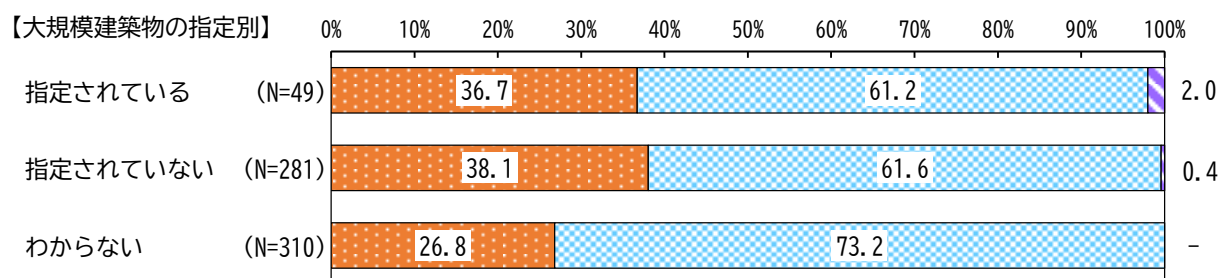
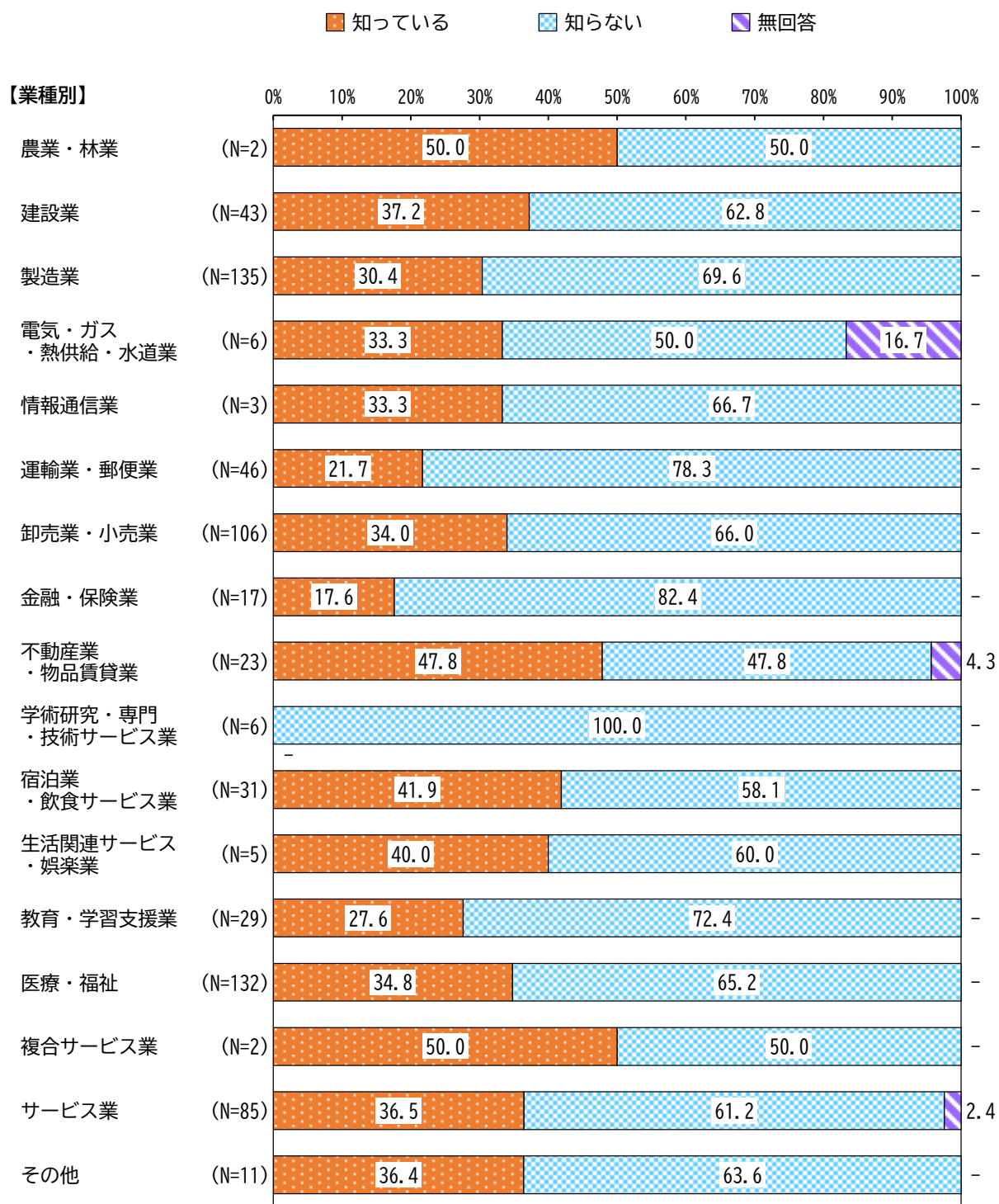
一般廃棄物収集運搬業者へ支払う処理（収集運搬）費用には、市の施設での処分（焼却）手数料が含まれていることについて、市全体でみると「知らない」が 66.6%、「知っている」が 32.9%である。

前回調査と比較して、「知らない」の割合が7.9ポイント高くなっており、認知度が低下している。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち運輸業・郵便業で「知らない」の割合が78.3%と他業種に比べて高くなっている。

大規模建築物の指定の有無別には大きな差はみられない。





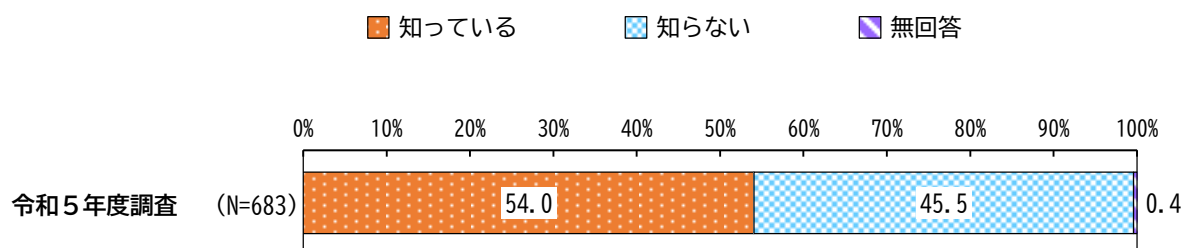
(3)清掃工場へリサイクル可能な紙類搬入禁止を知っているか

問 28. 令和 6 年 1 月から事業所から出るリサイクル可能な紙類の清掃工場への搬入が禁止されることを、知っていますか。

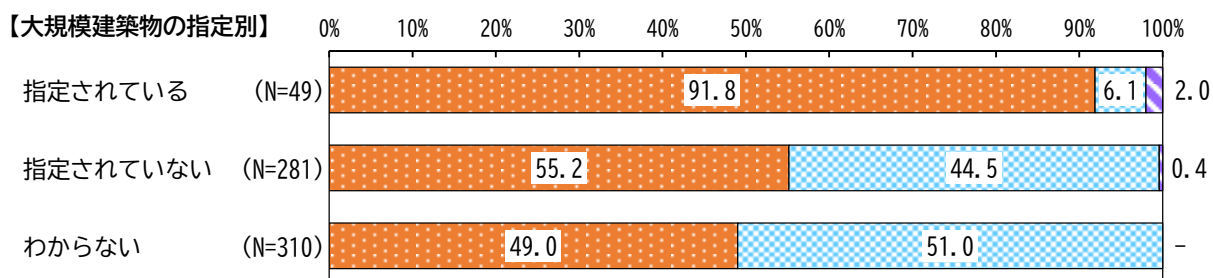
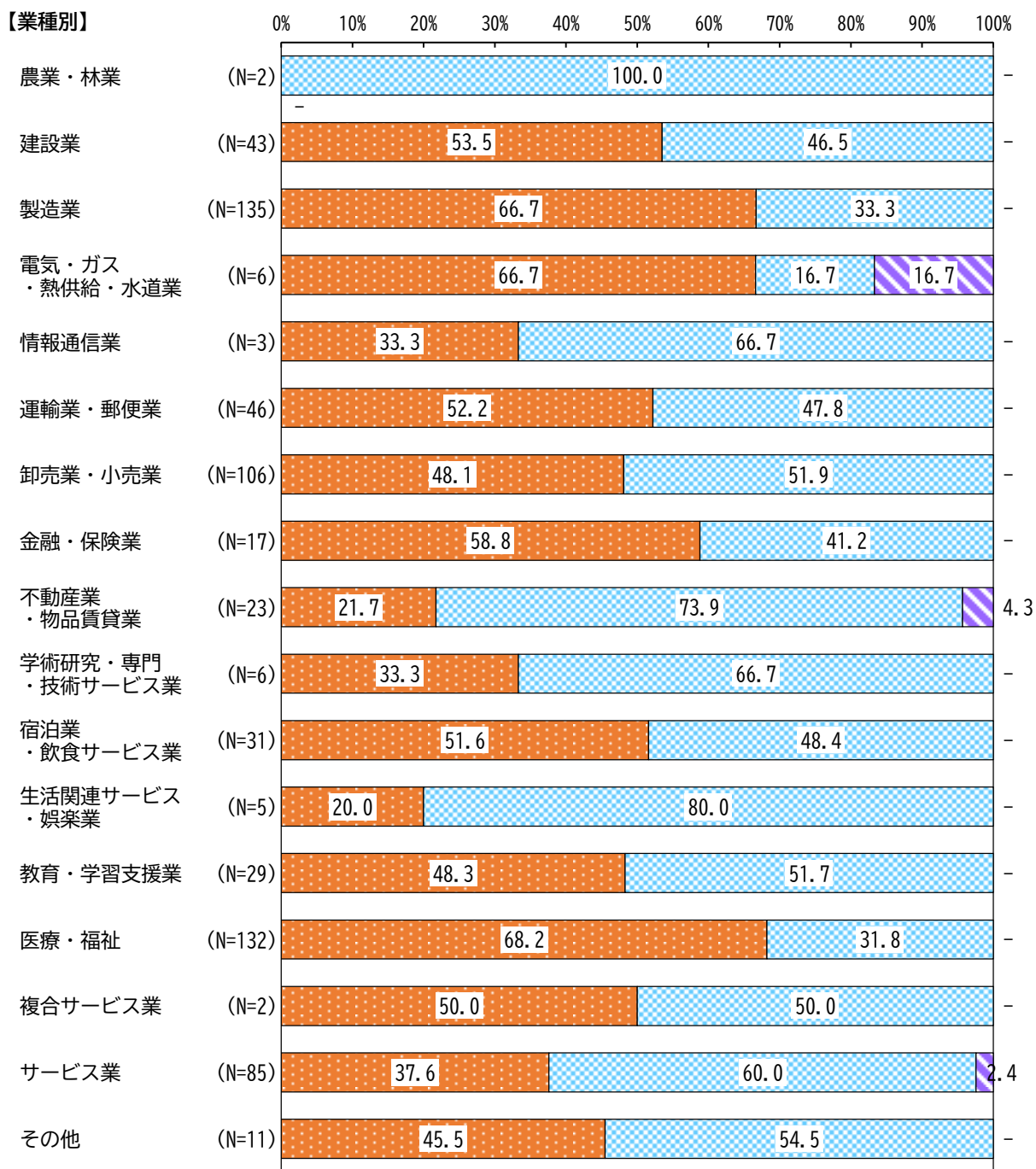
令和 6 年 1 月から事業所から出るリサイクル可能な紙類の清掃工場への搬入が禁止されることについて、市全体でみると「知っている」が 54.0%「知らない」が 45.5%となっている。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち製造業、医療・福祉で「知っている」の割合が 6 割と高めであるものの、卸売業・小売業、サービス業では「知らない」の割合が他業種に比べて高く、積極的な情報提供が望まれる。

大規模建築物の指定別でみると、指定されている事業所で「知っている」の割合が 91.8%とほとんどが認知しているものの、指定されていない事業所では 55.2%に留まる。



■ 知っている
 ■ 知らない
 ■ 無回答

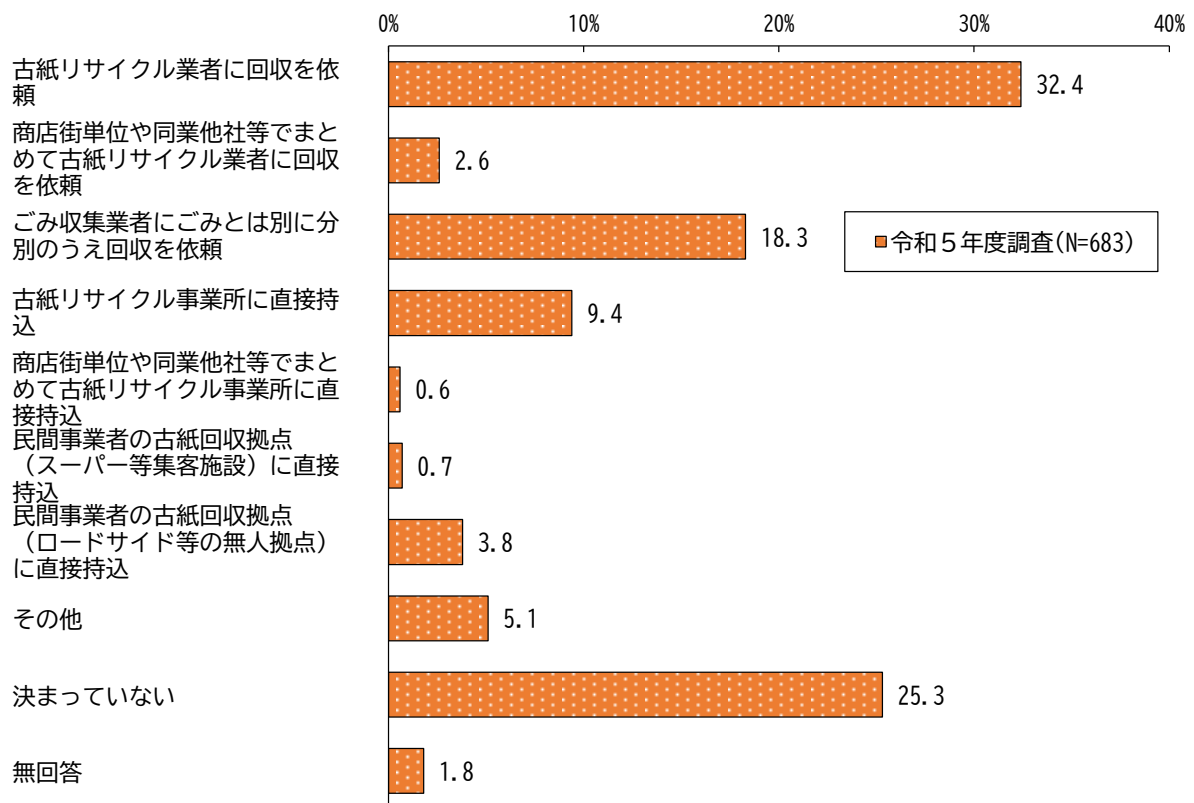


(4)今後のリサイクル可能な紙類の処理方法

問 29. 令和 6 年 1 月以降は、リサイクル可能な紙類の処理をどのようにしますか。(○はひとつだけ)

令和 6 年 1 月以降のリサイクル可能な紙類の処理について、市全体でみると「古紙リサイクル業者に回収を依頼」が 32.4%で最も高く、次いで「ごみ収集業者にごみとは別に分別のうえ回収を依頼」が 18.3%、「古紙リサイクル事業所に直接持込」が 9.4%である。

業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち建設業で「古紙リサイクル事業所に直接持込」の割合が 23.3%、製造業で「古紙リサイクル業者に回収を依頼」が 53.3%、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉で「ごみ収集業者にごみとは別に分別のうえ回収を依頼」の割合が他業種に比べて高くなっている。



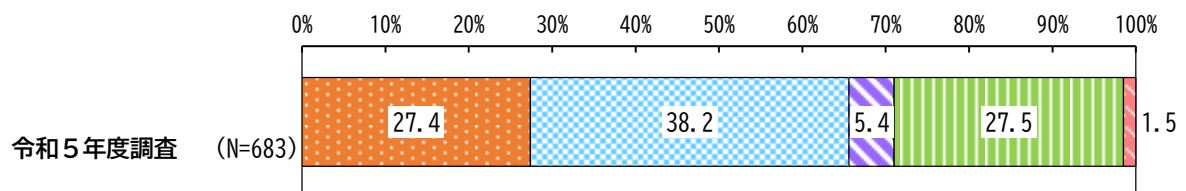
(5)無料の古紙回収場所の利用意向

問 30. 古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）の無料の回収場所があれば利用しますか。（○はひとつだけ）

古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）の無料の回収場所の利用について、市全体でみると「車ですぐに行ける場所なら利用する」が 38.2%、「徒歩や自転車で行ける場所なら利用する」が 27.4%、「場所がどこであっても利用する」が 5.4%で利用意向がある割合は 71.0%である。

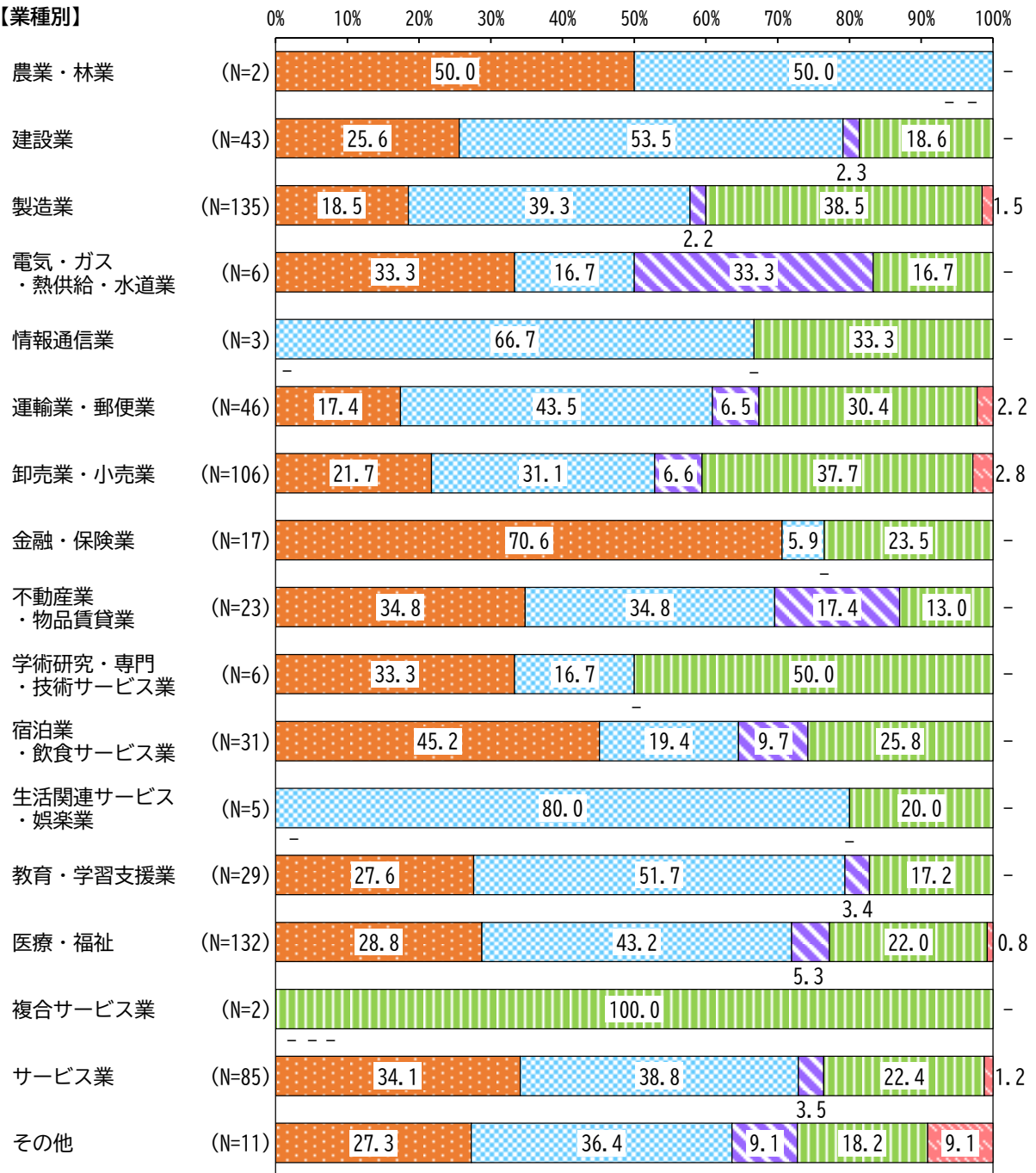
業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうち利用意向がある割合は建設業で 81.4%、医療・福祉で 77.3%、サービス業で 76.4%と他業種に比べて高くなっている。

- 徒歩や自転車で行ける場所なら利用する
- 車ですぐに行ける場所なら利用する
- 場所がどこであっても利用する
- 利用しない
- 無回答



- 徒歩や自転車で行ける場所なら利用する
 ■ 車ですぐに行ける場所なら利用する
 ■ 場所がどこであっても利用する
 ■ 利用しない
 ■ 無回答

【業種別】



(6)事業用大規模建築物を所有する事業者への制度の認知状況

①認知状況

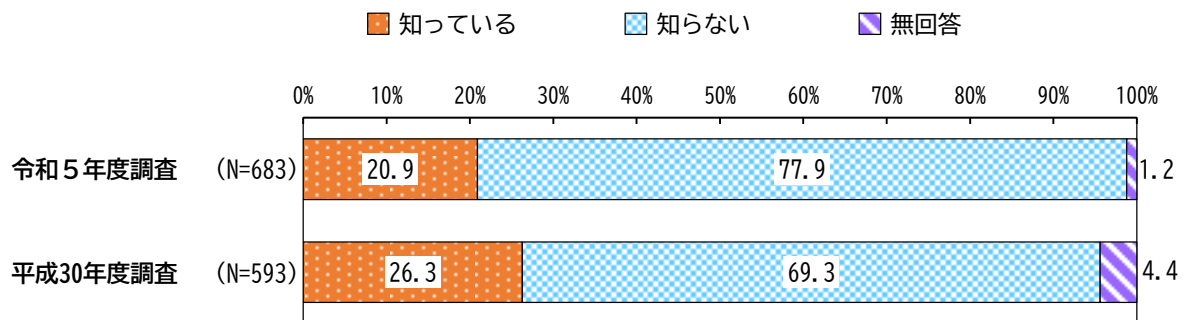
問 31. 堺市では、事業用大規模建築物※を所有する事業者を対象として、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理の推進のため、廃棄物管理責任者の設置及び減量計画書作成を義務付けています。このような制度があることをご存じですか。(○はひとつだけ)

事業用大規模建築物を所有する事業者への制度について、市全体でみると「知らない」が77.9%、「知っている」が20.9%である。

前回調査と比較して、「知らない」の割合が8.6ポイント上昇しており、認知度が低下している。

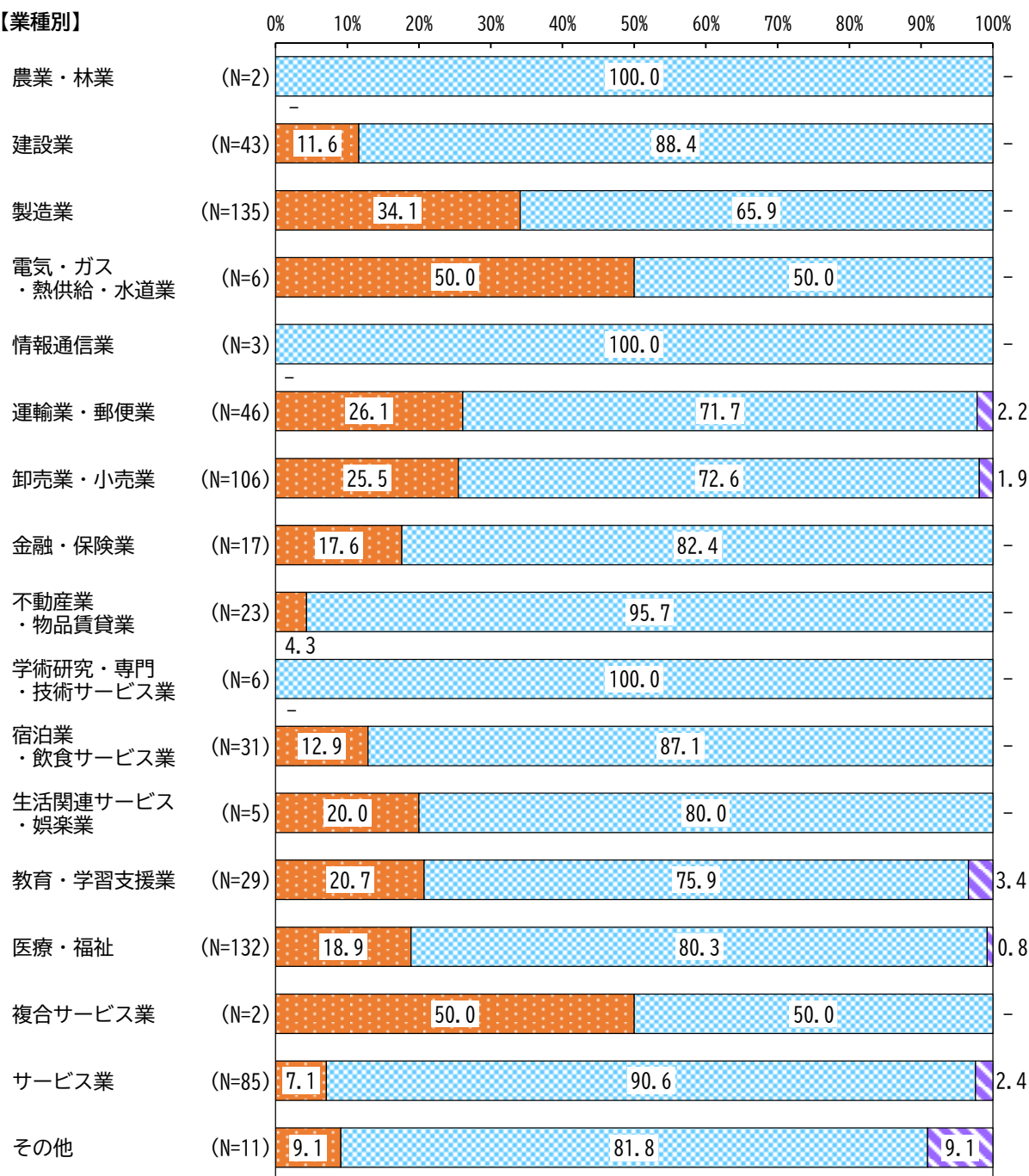
業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち「知らない」の割合が建設業で88.4%、宿泊業・飲食サービス業で87.1%、サービス業で90.6%と他業種に比べて高く、積極的な情報発信が望まれる。

大規模建築物の指定別でみると、指定されていない事業所で「知らない」の割合が86.8%と多数を占める。

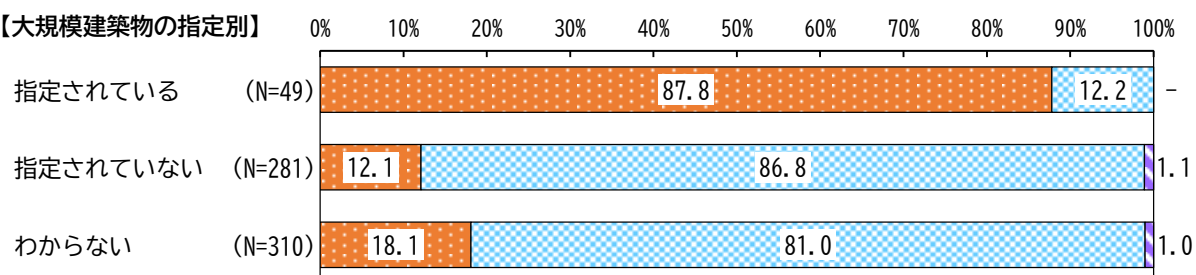


■ 知っている
 ■ 知らない
 ■ 無回答

【業種別】



【大規模建築物の指定別】



②今後の制度の意向

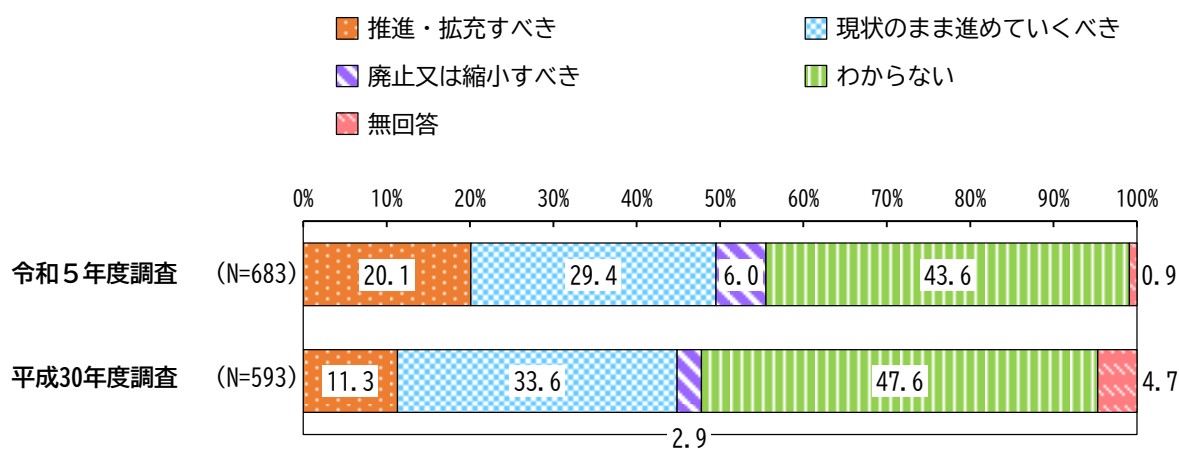
問 32. 今後、この制度をどのようにすべきだと思いますか。(○はひとつだけ)

今後、この制度をどうすべきかについて、市全体でみると「推進・拡充すべき」が 20.1%、「現状のまま進めていくべき」が 29.4%、「廃止又は縮小すべき」が 6.0%となっており、「推進・拡充すべき」「現状のまま進めていくべき」と考える割合が「廃止又は縮小すべき」を上回っている。また、「わからない」が 43.6%と多数を占めている。

前回調査と比較すると、「推進・拡充すべき」の割合が 8.8 ポイント高くなっている。

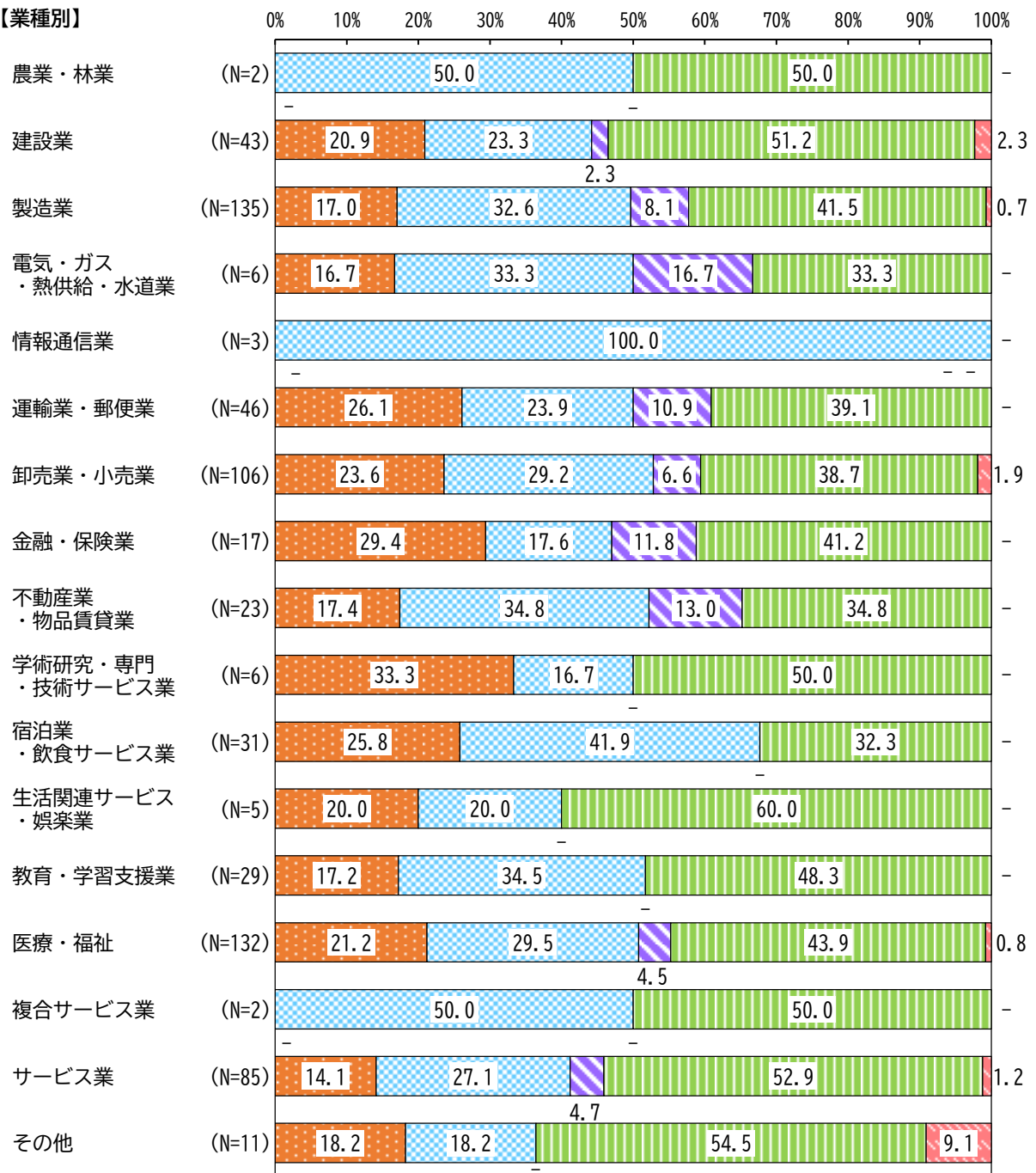
業種別でみると、30 件以上回答のあった業種のうちすべての事業所で「推進・拡充すべき」が「廃止又は縮小すべき」を上回っている。

大規模建築物の指定別でみると、指定されている事業所で「現状のまま進めていくべき」が 44.9%で最も高く、次いで「推進・拡充すべき」の割合が 22.4%である。指定されていない事業所では「わからない」の割合が 41.3%となっている。

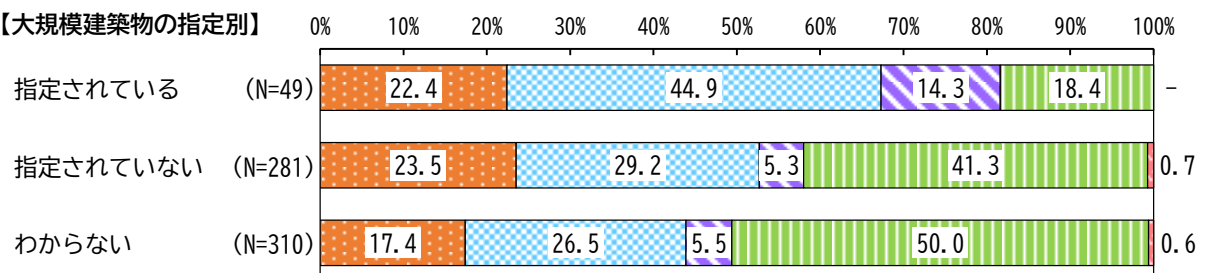




【業種別】



【大規模建築物の指定別】



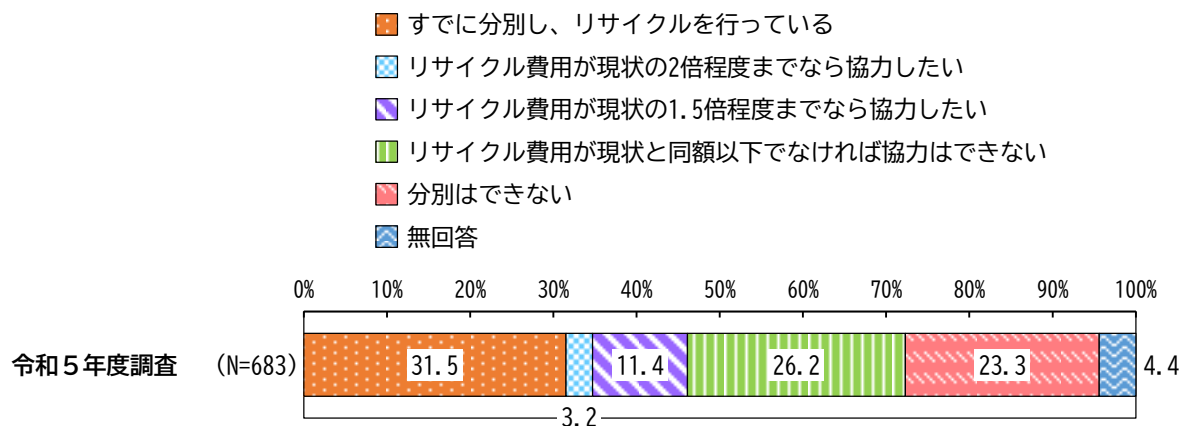
4. 今後のごみ処理行政について

(1) 資源化可能な資源物の分別協力意向

問 33. 堺市の清掃工場に搬入されるごみには、資源化可能と考えられる生ごみの搬入が多く見られます。生ごみの減量化・リサイクルについて、どの程度協力したいと思いますか。

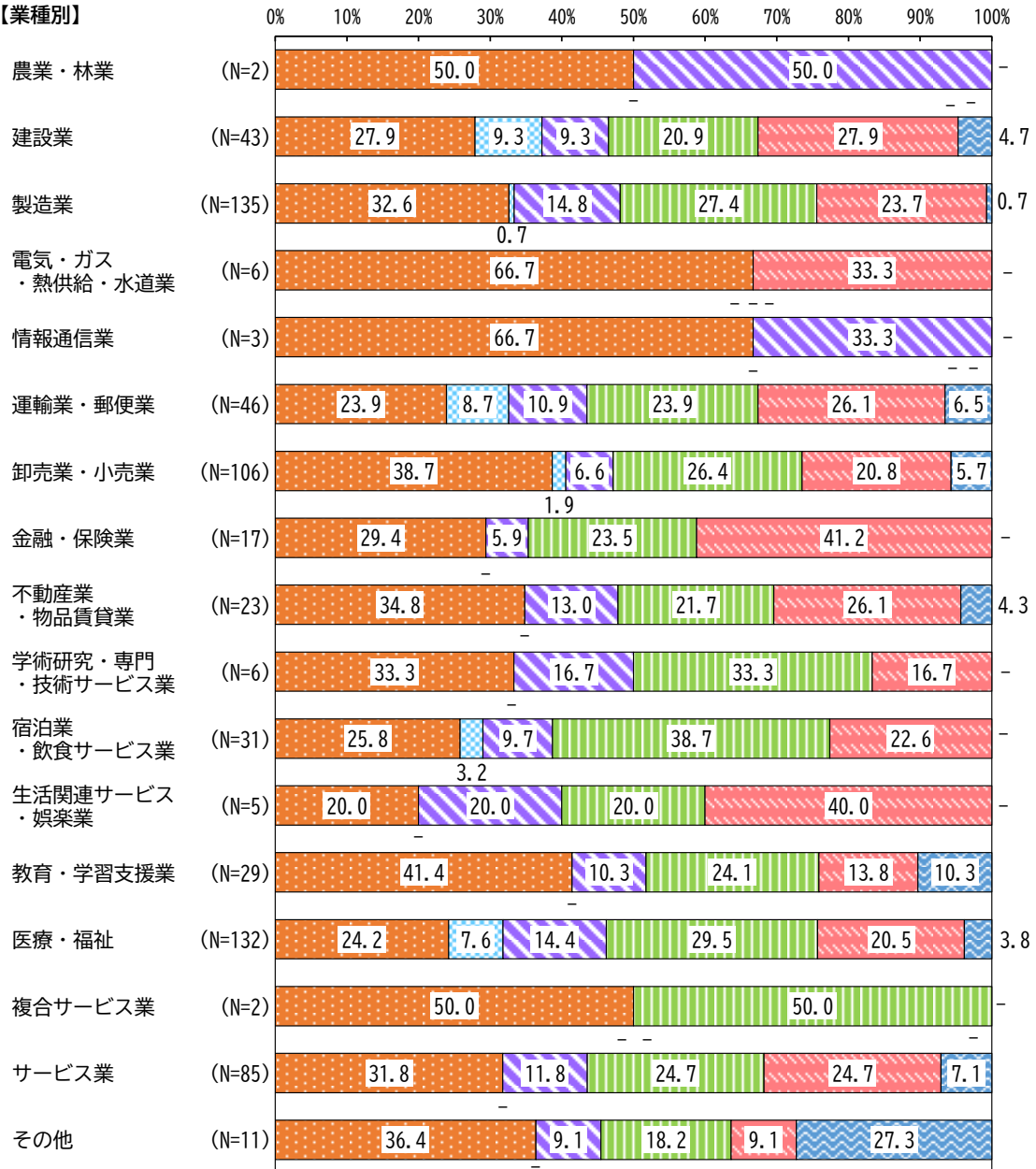
堺市の清掃工場に搬入されるごみの資源化可能な資源物の分別協力意向について、市全体でみると、「すでに分別し、リサイクルを行っている」が31.5%で最も高く、次いで「リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない」が26.2%、「分別はできない」が23.3%になっている。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち宿泊業・飲食サービス業で「リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない」が38.7%と他業種に比べて高くなっている。大規模建築物の指定別に大きな差はみられない。

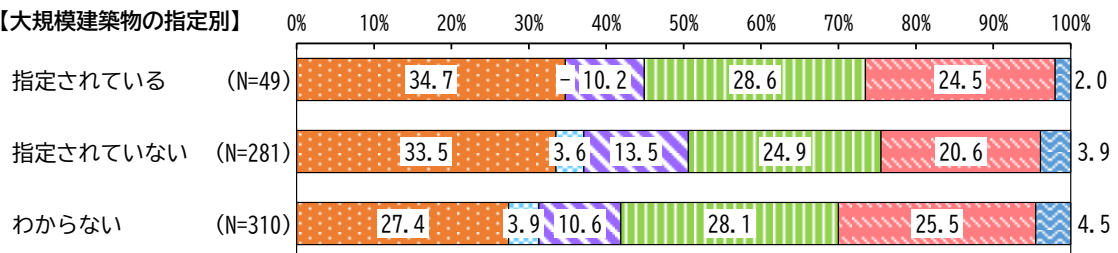


- すでに分別し、リサイクルを行っている
- リサイクル費用が現状の2倍程度までなら協力したい
- リサイクル費用が現状の1.5倍程度までなら協力したい
- リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない
- 分別はできない
- 無回答

【業種別】



【大規模建築物の指定別】



(2)市に求める周知施策

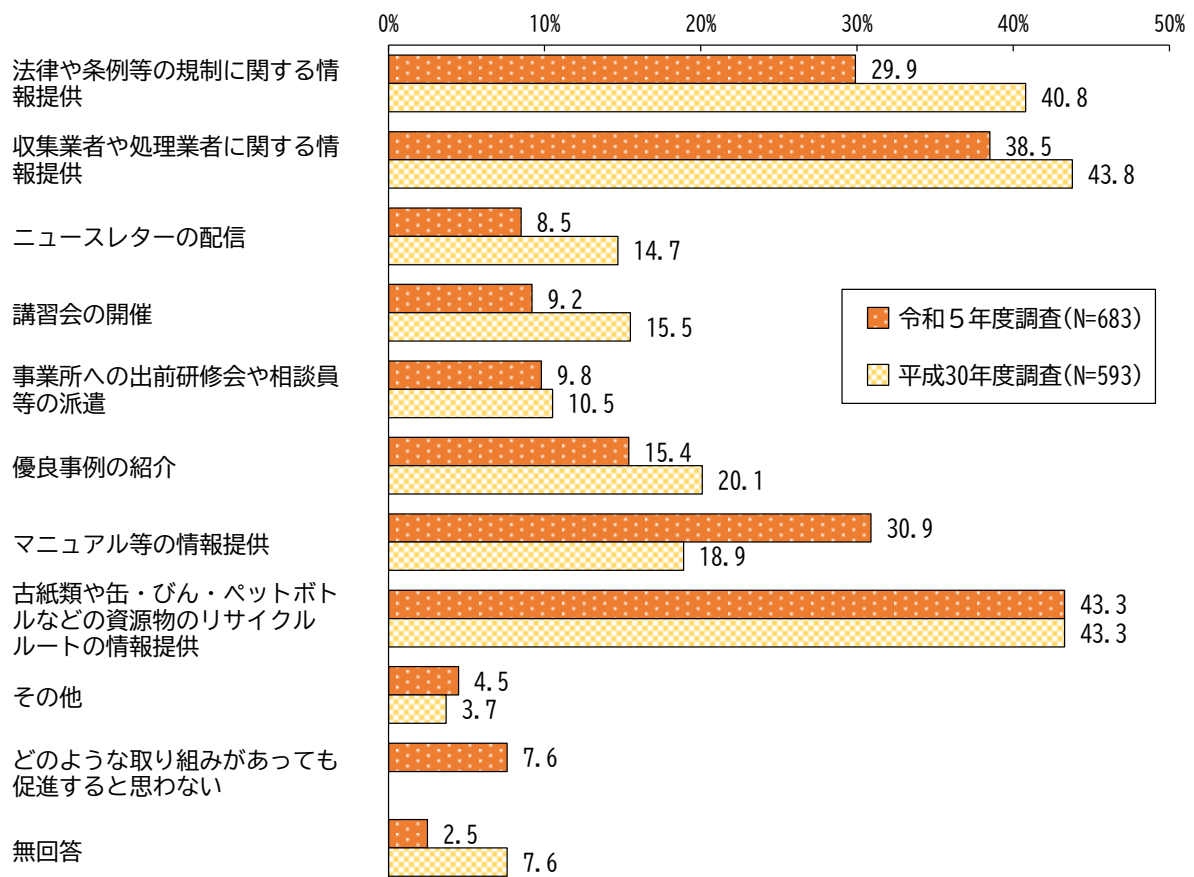
問 34. 堺市が今後、どのような取り組みをすれば、事業系ごみの減量・リサイクルが促進すると思いますか。(〇はいくつでも)

今後、堺市の取組で事業系ごみの減量・リサイクルが促進できる内容について、市全体でみると「古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供」が43.3%で最も高く、次いで「収集業者や処理業者に関する情報提供」が38.5%、「マニュアル等の情報提供」が30.9%である。

前回調査と比較すると「マニュアル等の情報提供」は12.0ポイント高くなっている。

業種別にみると、30件以上回答のあった業種のうち製造業で「収集業者や処理業者に関する情報提供」、運輸業・郵便業で「事業所への出前研修会や相談員等の派遣」、宿泊業・飲食サービス業で「法律や条例等の規制に関する情報提供」、医療・福祉で「収集業者や処理業者に関する情報提供」「マニュアル等の情報提供」の割合が他業種に比べて割合が高くなっている。

大規模建築物の指定別にみると、指定されている事業所では「法律や条例等の規制に関する情報提供」「講習会の開催」「事業所への出前研修会や相談員等の派遣」「優良事例の紹介」の割合が比較的高くなっている。



<その他の内容>

- ・ごみの減量が出来ている事業所に何かお礼を出す
- ・ポイントやクーポンなどの付与
- ・リサイクル品を売却する際の補助金制度の導入
- ・リサイクルゴミの回収箱の設置費用の補助

など

単位：％

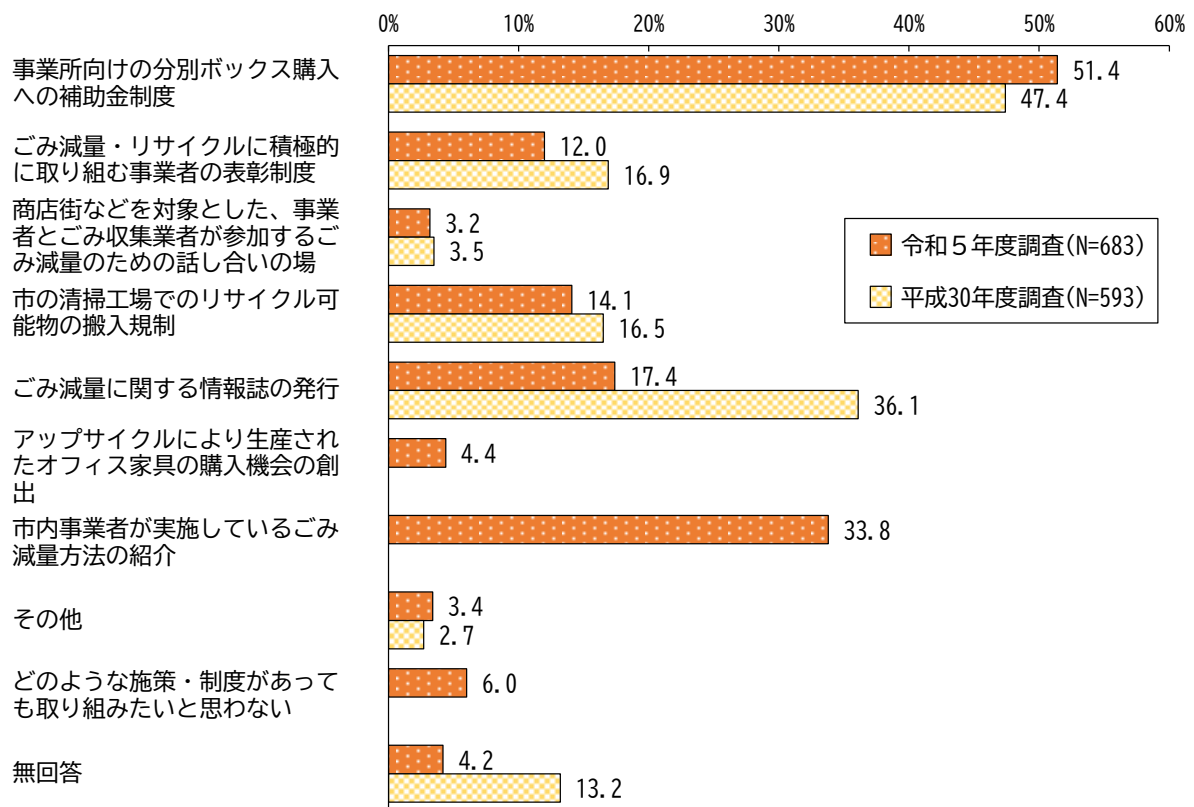
		回答者数（N）	に法律や 条例等の規 制提供	に収集業者 や処理業者 の情報提供	信ニ ースレータ ーの配	講習会 の開催	事業所への 出前研修 会や相談員 等の派遣	優良事例 の紹介	マニ ユアル等 の情報提供	資源物のリ サイクルの 情報提供	古紙類や缶 ・びんのバ ッセルなど の提供	その他	どのような 取り組みが あっても促 進すると思 わない	無回答
全 体		683	29.9	38.5	8.5	9.2	9.8	15.4	30.9	43.3	4.5	7.6	2.5	
業 種 別	農業・林業	2	-	-	-	-	-	-	50.0	100.0	-	-	-	
	建設業	43	25.6	32.6	4.7	4.7	7.0	9.3	34.9	41.9	7.0	2.3	2.3	
	製造業	135	31.9	45.9	10.4	11.1	14.1	15.6	27.4	45.9	1.5	7.4	3.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	33.3	50.0	-	-	-	
	情報通信業	3	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	
	運輸業・郵便業	46	23.9	39.1	8.7	4.3	17.4	17.4	32.6	43.5	4.3	2.2	2.2	
	卸売業・小売業	106	25.5	27.4	8.5	13.2	8.5	15.1	27.4	48.1	4.7	9.4	4.7	
	金融・保険業	17	47.1	58.8	5.9	11.8	5.9	23.5	52.9	35.3	-	-	-	
	不動産業・物品賃貸業	23	39.1	17.4	17.4	8.7	8.7	13.0	39.1	52.2	-	13.0	-	
	学術研究・専門・技術サービス業	6	16.7	16.7	-	-	-	16.7	33.3	66.7	-	33.3	-	
	宿泊業・飲食サービス業	31	38.7	29.0	-	6.5	3.2	12.9	19.4	38.7	9.7	6.5	-	
	生活関連サービス・娯楽業	5	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	
	教育・学習支援業	29	27.6	48.3	10.3	3.4	10.3	20.7	44.8	34.5	13.8	3.4	3.4	
	医療・福祉	132	33.3	45.5	8.3	9.8	9.1	12.1	37.1	43.9	6.8	5.3	1.5	
	複合サービス業	2	-	-	50.0	-	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	
サービス業	85	31.8	42.4	10.6	8.2	7.1	18.8	25.9	37.6	-	9.4	3.5		
その他	11	27.3	18.2	-	9.1	9.1	18.2	9.1	54.5	-	18.2	-		
大規模 指定建 物の指 定別	指定されている	49	40.8	32.7	6.1	26.5	22.4	28.6	30.6	34.7	8.2	-	2.0	
	指定されていない	281	26.3	39.1	10.0	7.1	8.9	16.4	31.0	49.5	4.6	8.9	2.8	
	わからない	310	31.9	39.4	8.4	9.4	9.4	13.9	31.3	39.0	4.2	7.7	1.9	

(3) その他導入してほしい施策・制度

問 35. ごみ減量・リサイクルに関するどのような施策・制度があれば、利用して取り組んでもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

市に導入してほしい施策については、市全体でみると「事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度」が51.4%と最も高く、次いで前回調査から新たに追加された「市内事業者が実施しているごみ減量方法の紹介」が33.8%である。

業種別でみると、30件以上回答のあった業種のうち運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉で「事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度」、卸売業・小売業で「市内事業者が実施しているごみ減量方法の紹介」の割合が他業種に比べて高くなっている。



<その他の内容>

- ・古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの周知や頻度
- ・リサイクル可能な製品を製造している業者への支援、助成
- ・幼少期からの継続的な啓蒙、教育活動への協力 など

単位：％

		回答者数 (N)	事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度	ごみ減量・リサイクルの表彰制度に積極的に取り組む事業者の表	量とごみ収集業者が参加する（ワーキングシヨップなど）の設置の場	商店街などを対象とした、事業者	市の清掃工場でのリサイクル可能物の搬入規制	ごみ減量に関する情報誌の発行	アップサイクルにより生産されたオフィス家具の購入機会の創出	市内事業者が実施しているごみ減量方法の紹介	その他	どのような施策・制度があっても取り組みたいと思わない	無回答
全 体		683	51.4	12.0	3.2	14.1	17.4	4.4	33.8	3.4	6.0	4.2	
業 種 別	農業・林業	2	50.0	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	建設業	43	44.2	18.6	-	14.0	18.6	2.3	41.9	7.0	9.3	2.3	
	製造業	135	49.6	20.7	2.2	18.5	17.0	3.7	35.6	3.0	5.2	3.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	66.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-
	情報通信業	3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
	運輸業・郵便業	46	60.9	15.2	-	15.2	21.7	8.7	23.9	-	2.2	2.2	
	卸売業・小売業	106	42.5	9.4	5.7	10.4	17.0	4.7	41.5	4.7	4.7	3.8	
	金融・保険業	17	64.7	23.5	5.9	29.4	17.6	-	29.4	-	-	5.9	
	不動産業・物品賃貸業	23	30.4	4.3	4.3	8.7	26.1	4.3	39.1	8.7	4.3	8.7	
	学術研究・専門・技術サービス業	6	16.7	16.7	-	-	33.3	-	66.7	-	33.3	-	
	宿泊業・飲食サービス業	31	64.5	3.2	-	9.7	12.9	3.2	29.0	6.5	6.5	-	
	生活関連サービス・娯楽業	5	60.0	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	
	教育・学習支援業	29	51.7	17.2	3.4	10.3	24.1	-	37.9	3.4	3.4	3.4	
	医療・福祉	132	68.9	6.8	3.0	12.9	12.9	6.1	31.1	4.5	0.8	4.5	
	複合サービス業	2	50.0	50.0	-	100.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	
	サービス業	85	44.7	8.2	3.5	11.8	20.0	3.5	31.8	-	12.9	7.1	
	その他	11	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3	-	9.1	9.1	
大 の 規 模 建 築 物	指定されている	49	57.1	16.3	4.1	18.4	14.3	4.1	36.7	4.1	4.1	6.1	
	指定されていない	281	47.0	12.1	2.8	14.2	21.0	5.0	40.2	3.6	6.4	4.3	
	わからない	310	56.5	11.9	3.2	13.2	14.2	4.2	28.4	3.5	5.8	2.9	

(4)ご意見・ご要望（一部抜粋）

番号	ご意見
19	事業所における美化・緑化を進めると比例して植栽・雑草関係のゴミも増えてゆく。ゴミ減量は難しい。リサイクルも何がどのようにそうなるのか「見える化」すれば、もっと分別が必要なのか理解が深まるのではなかろうか
46	レアメタル等高付加価値リサイクル資源ごみの回収率を高める施策を進めていただきたい
102	分別、リサイクルは必要？本当にリサイクルされているの？リサイクルする為に必要な費用は？等々分別してゴミを捨てる事がどの程度役に立っているのかなど分からない事だらけです。広報さかいとかで具体的に情報発信してほしいです
183	ごみ減量等についてはコストメリットがあるので各会社ともに取り組みはしていると思います。今現在も手が付けられていないものは問題の解決が難しいものと考えます。こういったものは専門家や他社取り組みなどの紹介や相談できる場があれば良いと思っておりご検討をお願いします
212	社会的な意義だけではどうしても手間の方が目立ってしまう。取り組みによる事業者サイドへのメリット（回収費用の減額）や負担の少ない分別方法（人的にも金銭的にも）の提案がないと浸透は難しいと思う
256	問34でも回答しましたが専門の相談員等の派遣は大変良いと考えます。ごみ減量やリサイクルについて変更があった際、パンフレットや案内等を確認し取り組んではいますがどうしても認識不足がみられたりします。こういった制度があれば事業所全体の意識の向上にもつながると考えます
319	事業所も別料金で缶・ビン・ペットボトル・プラなど回収してもらえると嬉しい。不法投棄も少なくなると思います
424	1日から紙リサイクルが行われるが、事業所内で保管する場所に苦労する。また近隣に持ち込むリサイクル業者も少ない。もっと持ち込みできる場所を増やさないと分別処理は難しい
573	恥ずかしながら、しっかりと理解できていないのが現状です。情報発信を増やしていただけると有難いです。日々経営に従事している中で、経費コントロールは前提としてありますので、ゴミ減量と両立できる様に取り組んで参りたいです
603	生ごみ処理の設備導入の補助金を検討してほしい

Ⅲ. 事業所意識調査結果まとめ

1. ごみの排出と処理について

- ごみの排出量を把握している割合は7割、ごみ処理費用を把握している割合は7割弱といずれも前回調査より高くなっており、ごみ排出の現状把握が進んでいる状況がうかがえる。
- 5年前と比べてごみの量は減ったと回答している事業所が3割弱と前回調査からやや上昇している。業種別にみると建設業、製造業、医療・福祉ではごみの排出量が増えた割合が他業種に比べて高めで、これらの業種に向けてごみ減量の取組が求められる。
- 今後についてごみの排出量を減らせると想定する事業所が3割となっており、増える想定する割合を大きく上回る。業種別にみてもほとんどの業種で増える想定する割合よりも減らせると想定する割合が高くなっており、卸売業・小売業では減らせると想定する割合が4割と高めである。
- ごみ処理費用の算出については前回調査に引き続き「月極め」の割合が5割弱である。直近5年間でごみの量に変化があった事業所では「重量ごと」の割合が高く、ごみの量に変化がない事業所では「月極め」の割合が高くなっている。ごみの量に変化がない事業所ではごみ処理費用の負担感についても「妥当」と考える割合が高めで、ごみ減量によるコスト削減が意識しづらい状況がうかがえる。
- 事業系一般廃棄物として排出されるごみの種類としては「古紙」「紙くず」「弁当・カップ麺の廃プラスチック類」「生ごみ」などの割合が比較的高い。
- 「弁当・カップ麺の廃プラスチック類」は分類できていない割合が4割弱と高く、前回調査から排出している事業所の割合が高くなっていることを踏まえ、より分別を促進する対策が求められる。また、生ごみ類についても3割弱が分別できていない。
分別していない理由としては「分別しなくても収集してくれる」が主な理由となっている。
- 業種別に分別状況をみると、宿泊業・飲食サービス業や医療・福祉において「すべて分別している」割合が2～3割と低めである。分別していない理由としては「分別しても費用が変わらない、もしくは高くなる」「分別が手間」「分けた資源を置く場所がない」などコスト面やスペースの問題がより課題となっている。
- ごみの処理方法としては、金属やガラスなどの燃えないごみ以外については「一般廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」の割合が最も高くなっているものの、その割合は前回調査から低下しており、「産業廃棄物収集運搬業者へ収集を委託」の割合が上昇している。

2. ごみ減量・リサイクルについて

- ごみ減量・リサイクルに関する環境報告書を作成している事業所は前回調査に引き続き1割程で、「作成する予定がない」事業所の割合が上昇している。前回調査と同様に「わからない」とする事業所も5割弱みられることから積極的な情報発信や啓発推進が求められる。
- ごみ減量に取り組む責任者は「定めていない」が前回調査に引き続き6割を占める。大規模建築物に指定されている事業所でも「定めていない」の割合が18.4%となっており、改めて責任者を定めるよう促す必要があると考えられる。
- ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先は、「堺市ホームページ・広報紙・パンフレットなど」が前回調査から割合が大きく上昇し6割弱となっており、「特に参考としているものはない」の割合が低下していることから情報発信に一定の効果がうかがえる。ただし、建設業、宿泊業・飲食サービス業、サービス業では「特に参考としているものはない」の割合が2割と他業種に比べて高く、情報発信に工夫が求められる。
- ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について、大規模建築物に指定されている事業所では実施している割合は比較的高いものの、全体的に実施率が大きく低下している。
- ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組について、大規模建築物に指定されている事業

所では「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」「ペーパーレス化を推進している」などを中心に実施している割合が高いものの、指定されていない事業所は取組を行っていない割合が5割弱に上る。マイボトルの普及率は1～2割程普及している事業所が最も多い。

- 事業所間のネットワークなど周辺事業所と共同での効率的な収集について、認知率が2割と低く、収集方法に関する情報提供が望まれる。
- 地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動に取り組んでいる割合は5割となっており、前回調査から取組意向が上昇している。

3. 市のごみ行政について

- 事業系一般廃棄物の排出方法について、「許可業者への委託」は7割、「継続ごみ」「直接搬入」を5割が認知している。いずれも前回調査から認知率が上昇している。
ただし、一般廃棄物収集運搬業者へ支払う処理（収集運搬）費用には、市の施設での処分（焼却）手数料が含まれていることについては7割弱が認知していない。
- 令和6年1月から事業所から出るリサイクル可能な紙類の清掃工場への搬入が禁止されることについては5割弱が認知していない。卸売業・小売業、サービス業では認知していない割合が他業種に比べて高く、より一層の周知が望まれる。
- 古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）の無料の回収場所の利用について、7割が利用すると考えており、その内、「車ですぐに行ける場所なら利用する」の割合が4割弱である。
- 事業用大規模建築物を所有する事業者への制度について8割弱が認知しておらず、今後の意向についても4割が「わからない」としており、今後一層の周知が望まれる。

4. 今後のごみ行政について

- 堺市の清掃工場に搬入されるごみの資源化可能な資源物の分別協力意向について、3割がすでに分別し、リサイクルを行っている。「リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない」が3割弱となっており、コスト面への補助が望まれる。分別している割合が比較的低い宿泊業・飲食サービス業では「リサイクル費用が現状と同額以下でなければ協力はできない」の割合が高めと、コスト面での補助が望まれる。
- 市に求める周知施策としては、リサイクルルートや収集業者や処理業者、マニュアル等の情報提供に関するものが上位である。
- その他に導入してほしい施策としては補助金制度の割合が高く、ごみ減量方法の紹介が次いでいるなど経済的支援や情報提供が特に求められている。

ごみの減量化・リサイクルに関する
市民・事業所意識調査結果報告書

令和6年3月発行

編集／ 堺市環境局 環境事業部 環境事業管理課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL:072-228-7478 FAX:072-229-4454

E-mail:kankan@city.sakai.lg.jp

配架資料番号 1-I3-23-0251